富田林市公共施設再配置計画

（前期）

2018
（平成30年度）
➡
2028

富田林市
TONDABAYASHI CITY

目　次

第１章 公共施設の再配置について 1
１．公共施設の再配置計画とは..... 1
２．本計画の運用 4
３．再配置の対象施設一覧 5

第２章 富田林市の現状及び課題 9
１．人口 9
２．財政状況 11
３．施設の現状 14

第３章 市民アンケート結果（抜粋）.....21
１．アンケート調査の概要 21
２．アンケート結果の概要 21
３．市民ニーズのまとめ 26

第４章 公共施設の現状と課題 27
１．施設分類別の公共施設の現状の整理..... 28
２．公共施設の評価（1 次評価） 62
３．公共施設の評価（2 次評価） 72

第５章 公共施設再配置計画 83
１．基本方針 83
２．視点及び基本的な方向 84
３．再配置方針 85
４．再配置計画の目標 142
５．今後の取り組み 146

■ 資料編..... 147
１．再配置計画の策定経過..... 148
２．市民アンケート結果..... 150

※本計画においては、2019 年 5 月 1 日より新元号への改元が予定されているため、同年同月以降を西暦表記のみとしております。

第 1 章 公共施設の再配置について

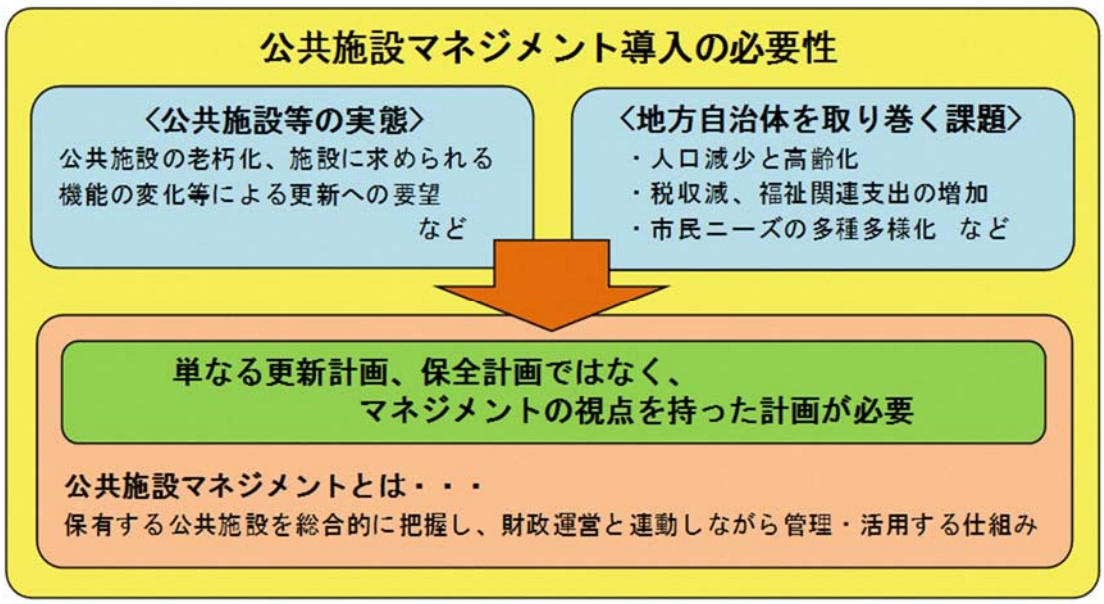
1．公共施設の再配置計画とは

（1） 背景と目的

本市は、高度経済成長期に大阪市近郊の住宅地として大規模な開発が進み、人口が急増したことに伴い、学校をはじめとする公共施設の整備を進めてきました。しかしながら、近年の少子高齢化の進行による人口構造の変化やライフスタイルの多様化により、公共施設へのニーズ、利用実態は大きく変化してきています。また、人口の減少、高齢化の進行等により、今後も厳しい行財政運営が継続すると見込まれています。

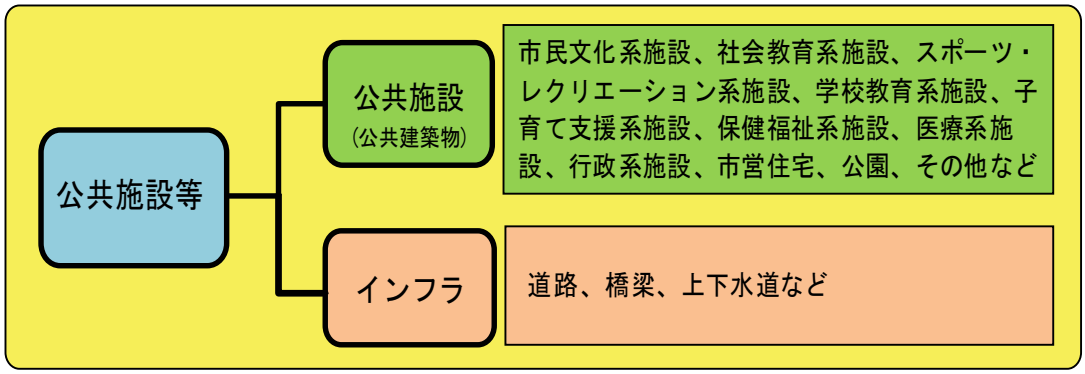
このような状況の中で、高度経済成長期に整備された公共施設の多くが、続々と更新時期を迎えようとしていますが、現在保有しているすべての公共施設を、市民が安心して利用できる状態で維持していくためには、その修繕及び更新等に莫大な費用が必要となります。そのため、公共施設の現状をハードとソフトの両面から正確に把握し、「選択と集中」の観点から、計画的な更新・統廃合等を図るなど、そのあり方を検討することで、将来的に必要となる修繕・更新費用を最小化・平準化していくことが重要となります。

そこで本市では、平成 28（2016）年 3 月に「富田林市公共施設等総合管理計画」（以下「総合管理計画」という。）を策定し、公共施設の「総量の最適化」、「長寿命化」及び「ライフサイクルコストの縮減」を柱とする公共施設マネジメントを推進することとしました。そして、この取り組みを進めるため、総合管理計画に基づき、保有する公共施設について、建物の状況や市民ニーズ、利用状況等を踏まえ、各公共施設の再配置方針を定めた「富田林市公共施設再配置計画（案）」（以下「本計画」という。）を策定します。



（2） 計画の対象

本計画では、庁舎や公民館等の公共施設（公共建築物）の中で市営住宅、給食施設、文化財施設等を除いた 120 施設を対象とします。

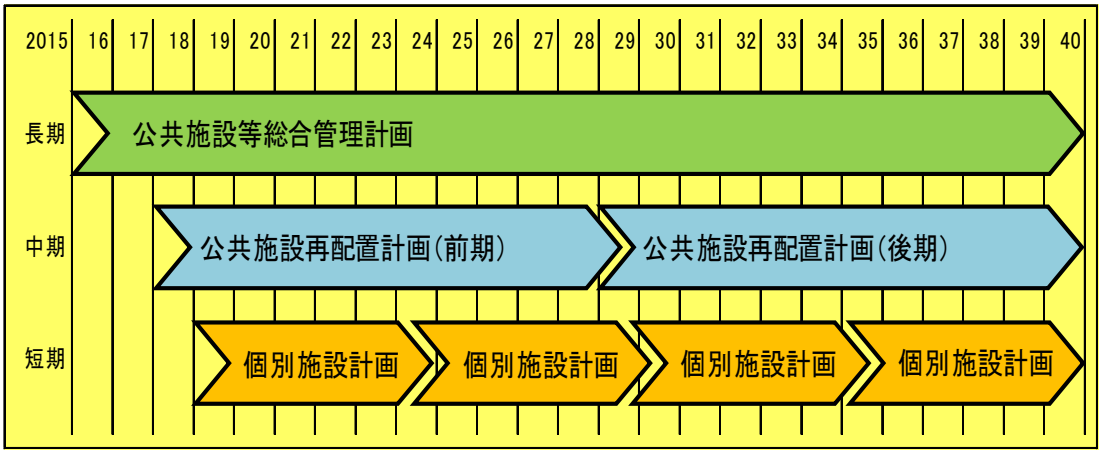


（3） 計画の位置付け

本計画は、基本計画である総合管理計画に基づく実践（個別施設計画）を進めていく上での課題を整理し、再配置の方針を示す行動計画です。

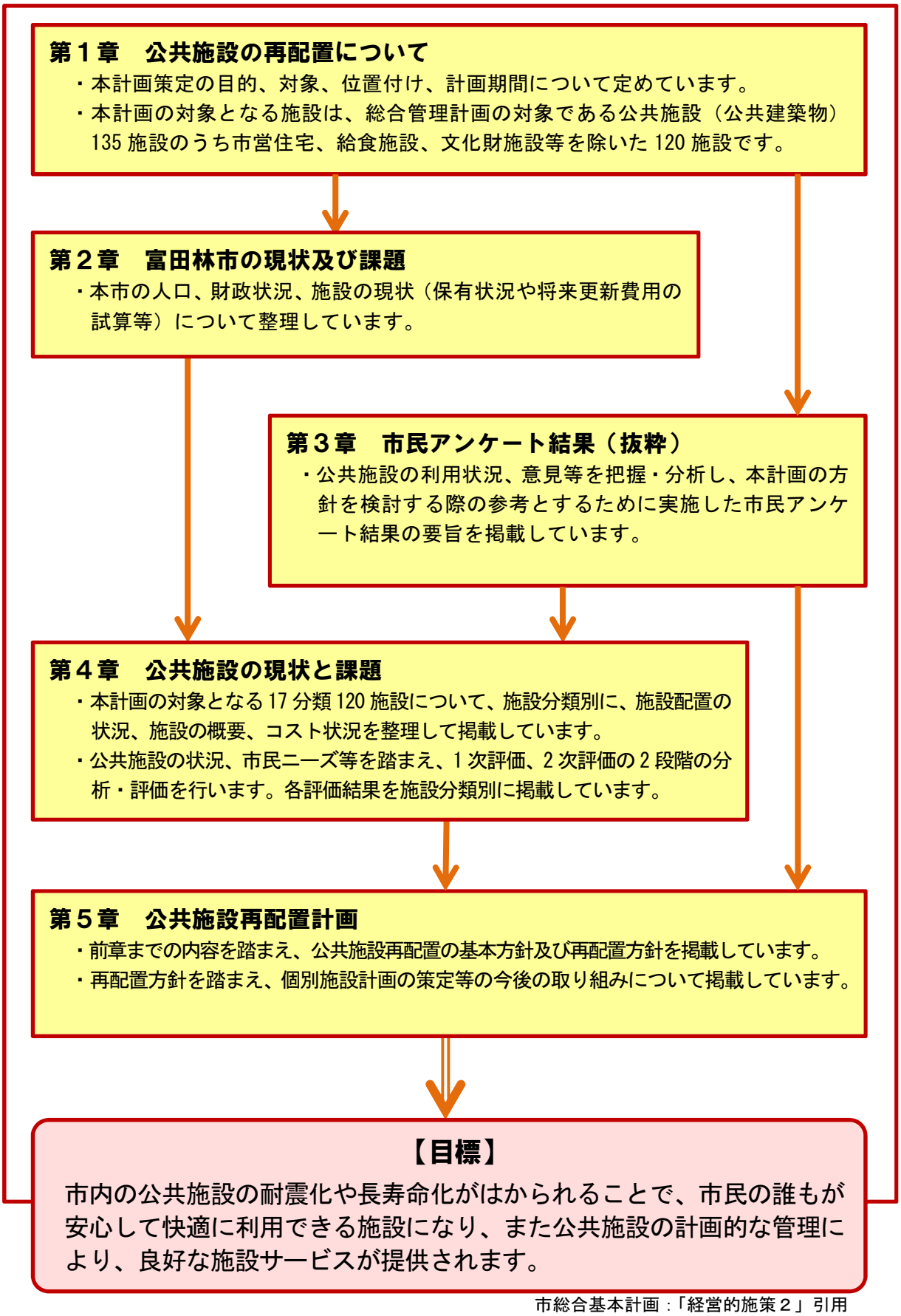
（4） 計画の期間

本計画では、総合管理計画の中間期にあたる 2028 年までを計画期間とします。なお、個別施設計画は、概ね 5 年間を計画期間とし策定を進めていきます。



（5） 本計画の構成

本計画の構成は、以下のとおりです。



市総合基本計画：「経営的施策２」引用

2. 本計画の運用

本計画は、市民の身近にある公共施設について、その現状や市民ニーズ等を踏まえて、今後のあり方を示す計画であり、今後の個別施設計画の策定にあたっては、市民の協力のもとに進めていくことが重要となります。

なお、本計画及び個別施設計画は、ＰＤＣＡサイクル（※）の活用により計画の進捗管理、財政状況等を踏まえた見直し等の改善を行っていきます。

※ＰＤＣＡサイクル…ＰＬＡＮ（計画）、ＤＯ（実施）、ＣＨＥＣＫ（評価）、ＡＣＴＩＯＮ（改善）の４つの視点をプロセスの中に取り込むことで、プロセスを不断のサイクルとし、継続的な改善を推進するマネジメント手法です。

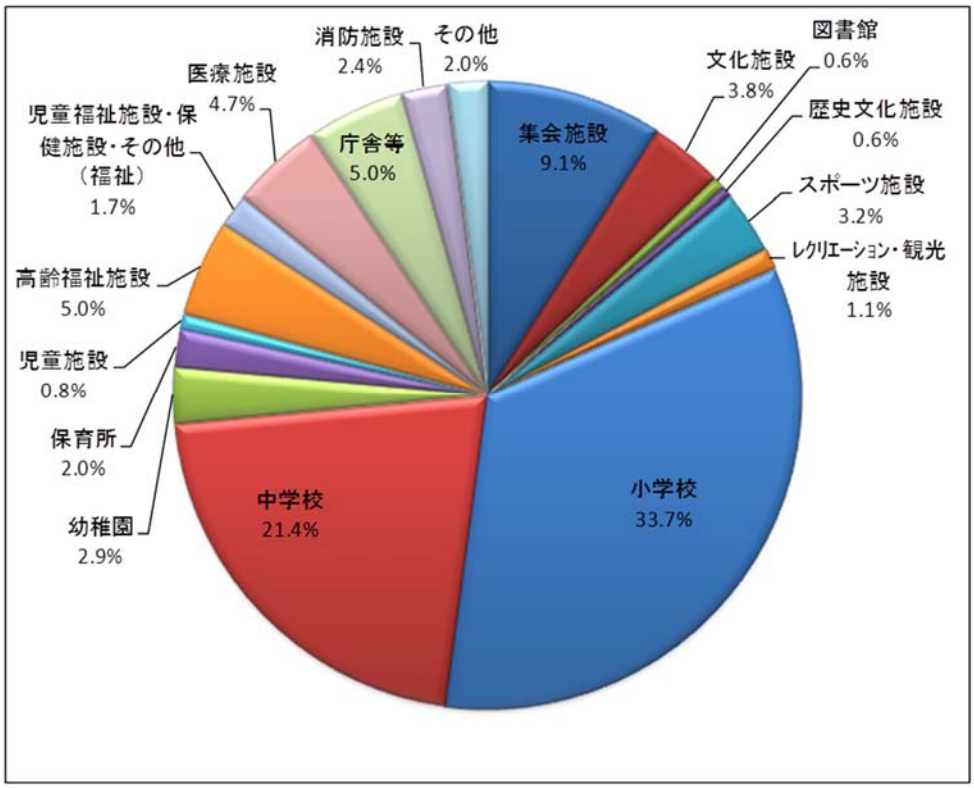
3. 再配置の対象施設一覧

本計画の対象施設は以下の 120 施設とします。

（平成 29（2017）年 3 月末時点）

大分類	中分類	施設数	延床面積（㎡）	延床面積割合（%）
市民文化系施設	集会施設	7	25,610	9.1%
	文化施設	2	10,637	3.8%
社会教育系施設	図書館	2	1,830	0.6%
	歴史文化施設	4	1,553	0.6%
スポーツ・ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ系施設	スポーツ施設	4	9,067	3.2%
	ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ・観光施設	4	3,142	1.1%
学校教育系施設	小学校	16	95,155	33.7%
	中学校	8	60,279	21.4%
子育て支援系施設	幼稚園	13	8,221	2.9%
	保育所	6	5,642	2.0%
	児童施設	16	2,158	0.8%
保健福祉系施設	高齢福祉施設	13	14,081	5.0%
	児童福祉施設・保健施設・その他（福祉）	3	4,746	1.7%
医療系施設	医療施設	4	13,223	4.7%
行政系施設	庁舎等	2	14,235	5.0%
	消防施設	10	6,669	2.4%
その他	その他	6	5,724	2.0%
合計		120	281,974	100.0%

【図　分類別の延床面積割合】



【表　対象施設一覧】

大分類	中分類	小分類	施設名
市民文化系	集会施設	すばるホール	すばるホール
		コミュニティ施設	コミュニティセンター「かがりの郷」
			福祉青少年センター
		高辺台集会所	高辺台集会所
		公民館	東公民館
			中央公民館
			金剛公民館
	文化施設	市民会館「レインボーホール」	市民会館「レインボーホール」
		人権文化センター	人権文化センター
社会教育系	図書館	図書館	中央図書館
			金剛図書館
	歴史文化施設	埋蔵文化財センター	埋蔵文化財センター
		寺内町関連施設	寺内町センター
			じないまち交流館
			じないまち展望広場
スポーツ・レクリエーション系	スポーツ施設	スポーツ施設	市民総合体育館
			総合スポーツ公園
			青少年スポーツホール
			市民プール「アクアパークきらめき」（管理棟）
	レクリエーション・観光施設	レクリエーション・観光施設	農業公園「サバーファーム」
			にこにこ市場
			青少年教育キャンプ場
			観光交流施設きらめきファクトリー
学校教育系	小学校	小学校	富田林小学校
			新堂小学校
			喜志小学校
			大伴小学校
			彼方小学校
			錦郡小学校
			川西小学校
			東条小学校
			高辺台小学校
			久野喜台小学校
			寺池台小学校
			伏山台小学校
			喜志西小学校
			藤沢台小学校
			小金台小学校
			向陽台小学校
	中学校	中学校	第一中学校
			第二中学校
			第三中学校
			金剛中学校
			葛城中学校
			喜志中学校
			藤陽中学校
			明治池中学校
子育て支援系	幼稚園	幼稚園	富田林幼稚園
			新堂幼稚園
			喜志幼稚園
			大伴幼稚園
			板持幼稚園
			彼方幼稚園
			錦郡幼稚園
			川西幼稚園
			東条幼稚園
			伏山台幼稚園
			喜志西幼稚園
			青葉丘幼稚園
			津々山台幼稚園
	保育所	保育所	富田林保育園
			彼方保育園
			大伴保育園
			若葉保育園
			金剛保育園
			金剛東保育園

大分類	中分類	小分類	施設名
子育て支援系	児童施設	学童クラブ	富田林学童クラブ
			新堂学童クラブ
			喜志学童クラブ
			大伴学童クラブ
			彼方学童クラブ
			錦郡学童クラブ
			川西学童クラブ
			東条学童クラブ
			高辺台学童クラブ
			久野喜台学童クラブ
			寺池台学童クラブ
			伏山台学童クラブ
			喜志西学童クラブ
			藤沢台学童クラブ
			小金台学童クラブ
			向陽台学童クラブ
保健福祉系	高齢福祉施設	シルバー人材センター	シルバー人材センター
		老人いこいの家	若松町一丁目老人いこいの家
			若松老人いこいの家
			錦織老人いこいの家
			東条老人いこいの家
			金剛老人いこいの家
			高辺プラザ
			金剛東老人いこいの家
			明治池老人いこいの家
			向陽台老人いこいの家
			青葉地区老人いこいの家
			西板持老人いこいの家
		富田林市ケアセンター「けあぱる」	富田林市ケアセンター「けあぱる」
	児童福祉施設・保健施設・その他（福祉）	児童館	児童館
		保健センター	保健センター
		総合福祉会館	総合福祉会館
医療系	医療施設	病院	富田林病院
			富田林病院健診センター
		診療所	休日診療所
			新堂診療所
行政系	庁舎等	市庁舎	市庁舎
		金剛連絡所	金剛連絡所
	消防施設	消防庁舎	消防庁舎
		消防署金剛分署	消防署金剛分署
		分団消防車庫	第1分団消防車庫
			第2分団消防車庫
			第5分団消防車庫
			第8分団消防車庫
			第10分団消防車庫
			第12分団消防車庫
			第13分団消防車庫
			第16分団消防車庫
その他	その他	富田林斎場	富田林斎場
		富田林霊園	富田林霊園
		駐輪場関連施設	喜志駅地下自転車駐車場
			第1自転車等保管所
		共同浴場「葛城温泉」	共同浴場「葛城温泉」
		水道局旧庁舎	水道局旧庁舎

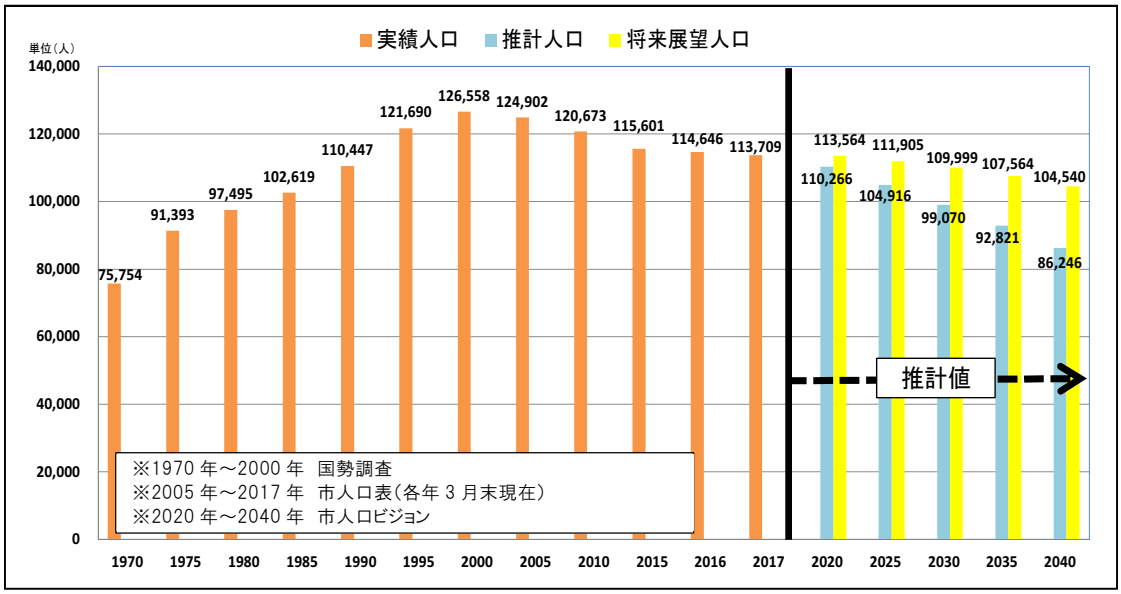
第２章　富田林市の現状及び課題

1．人口

本市の人口は、平成 14（2002）年 10 月の 126,725 人をピークとして、平成 23（2011）年以降は、年間平均約 1,000 人のペースで減少を続けています。 このまま人口減少が進むと 2040 年には、推計人口で 86,000 人台、将来展望人口でも 104,000 人台にまで減少が進み、平成 29（2017）年との比較において最大 24%程度、人口規模が縮小するものと見込まれています。

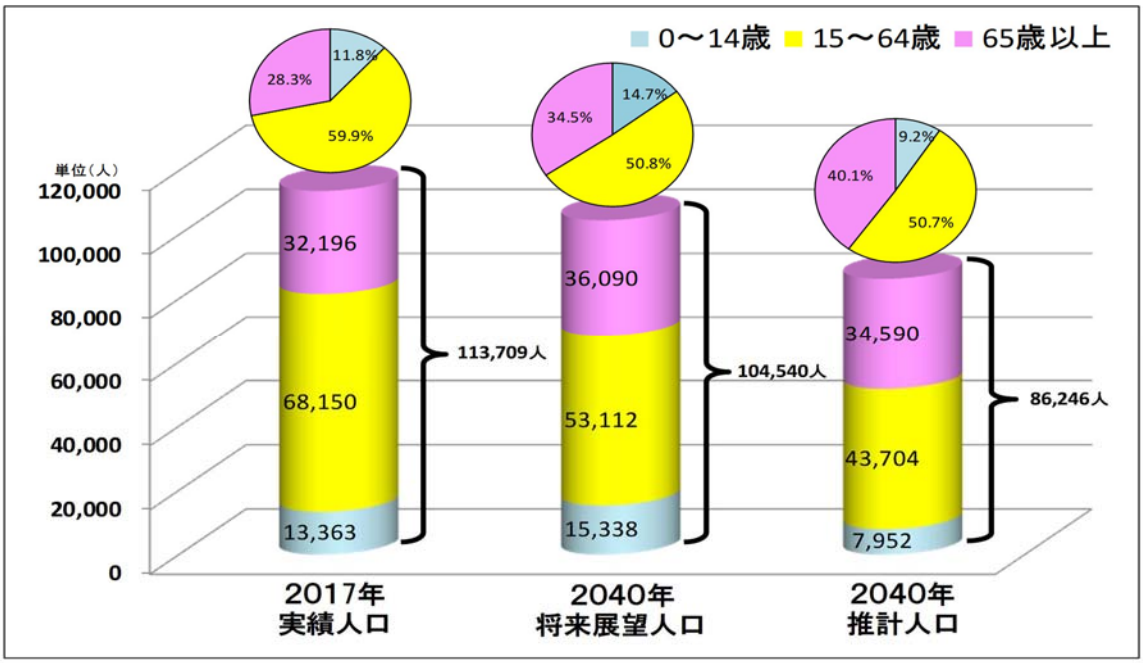
また、年齢階層別にみると、高齢化率（全人口に占める 65 歳以上人口の割合）が上昇し、逆に 0 歳～14 歳人口及び 15 歳～64 歳人口の減少傾向が続いています。この傾向は今後も続き、総人口が減少し、高齢化が進む近年の傾向が一層顕著になると考えられます。

【図　人口の推移】



※市人口ビジョン…まち・ひと・しごと創生法に基づく、本市の人口の現状と将来展望です。
※推計人口…市人口ビジョンにおける将来推計人口です。
※将来展望人口…市人口ビジョンにおける、合計特殊出生率の回復（2040 年に 2.07）と社会移動の均衡（増減ゼロ）を仮定した場合のシミュレーション人口です。

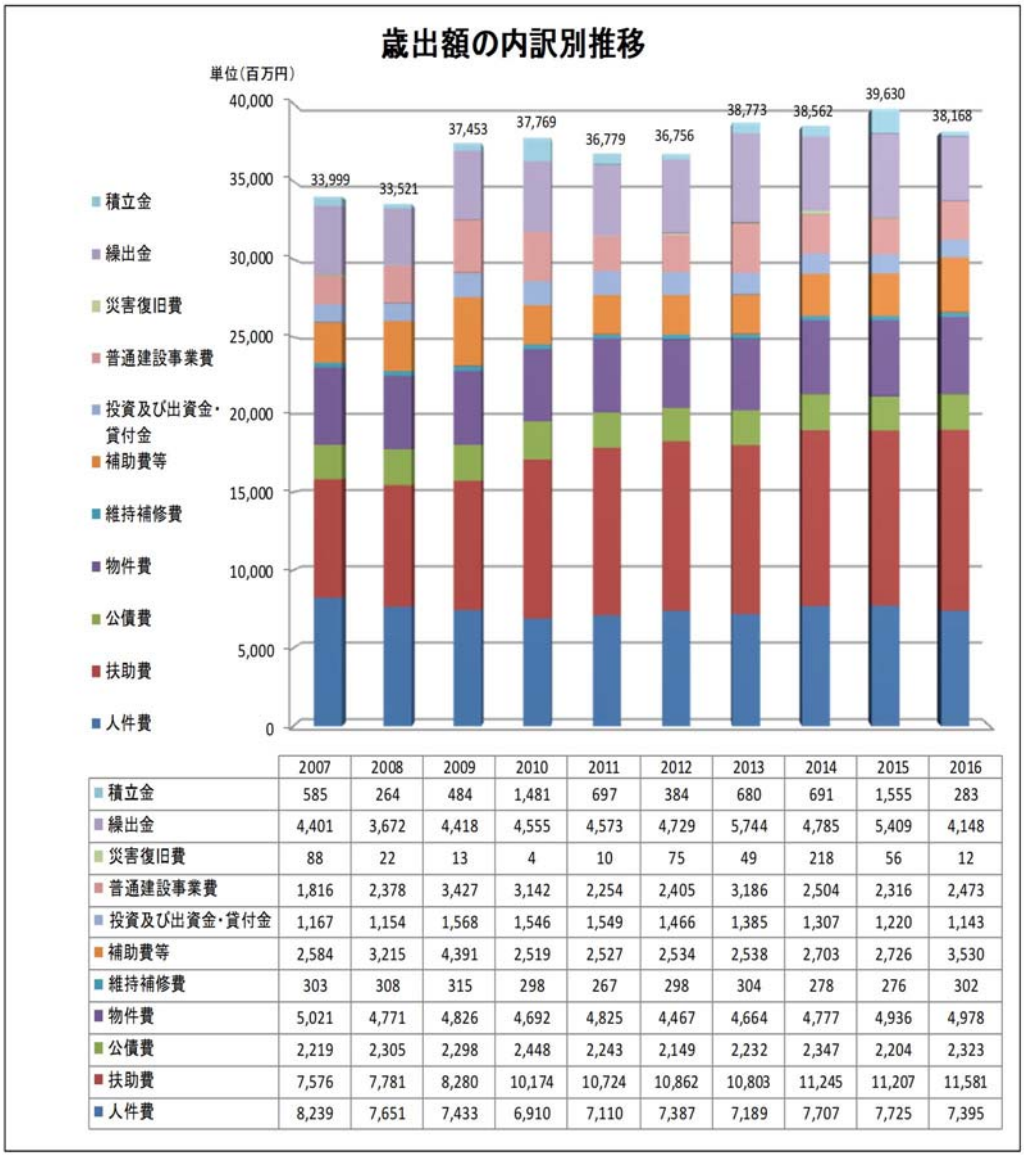
【図　人口構成の比較】


0～14歳
15～64歳
65歳以上
単位（人）
120,000
100,000
80,000
60,000
40,000
20,000
0
11.8%
59.9%
28.3%
14.7%
50.8%
34.5%
9.2%
50.7%
40.1%
32,196
68,150
13,363
36,090
53,112
15,338
34,590
43,704
7,952
113,709人
104,540人
86,246人
2017年
実績人口
2040年
将来展望人口
2040年
推計人口

2. 財政状況

（1） 歳出

歳出額については、平成 19（2007）年度と平成 28（2016）年度とを比較すると、総額で約 42 億円（12.3%）増加しています。また、その内訳別推移を見ると、人件費では約 82 億円から約 8 億円減少して約 74 億円に、扶助費では約 76 億円から約 40 億円増加して約 116 億円となっています。

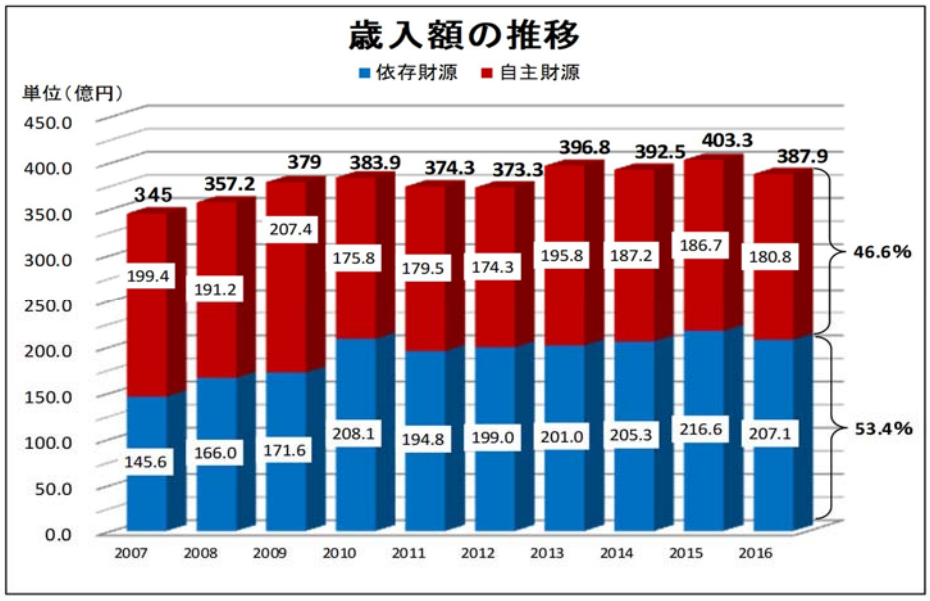


	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
積立金	585	264	484	1,481	697	384	680	691	1,555	283
繰出金	4,401	3,672	4,418	4,555	4,573	4,729	5,744	4,785	5,409	4,148
災害復旧費	88	22	13	4	10	75	49	218	56	12
普通建設事業費	1,816	2,378	3,427	3,142	2,254	2,405	3,186	2,504	2,316	2,473
投資及び出資金･貸付金	1,167	1,154	1,568	1,546	1,549	1,466	1,385	1,307	1,220	1,143
補助費等	2,584	3,215	4,391	2,519	2,527	2,534	2,538	2,703	2,726	3,530
維持補修費	303	308	315	298	267	298	304	278	276	302
物件費	5,021	4,771	4,826	4,692	4,825	4,467	4,664	4,777	4,936	4,978
公債費	2,219	2,305	2,298	2,448	2,243	2,149	2,232	2,347	2,204	2,323
扶助費	7,576	7,781	8,280	10,174	10,724	10,862	10,803	11,245	11,207	11,581
人件費	8,239	7,651	7,433	6,910	7,110	7,387	7,189	7,707	7,725	7,395

※公債費…地方公共団体が借り入れた借金の元利償還金等です。
※扶助費…社会保障制度の一環として、生活困窮者、高齢者、児童、心身障がい者等に対して行っている様々な支援に要する経費です。

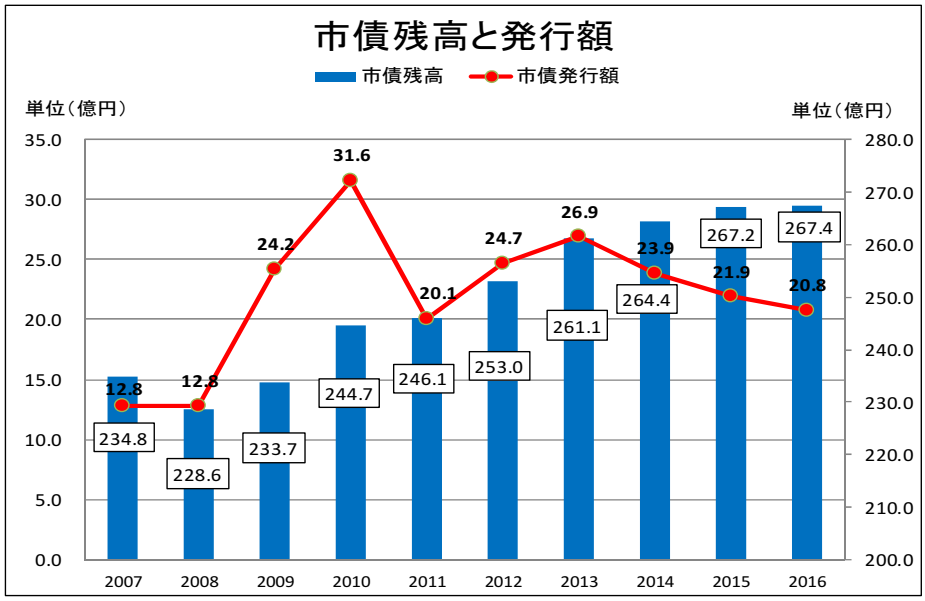
（2） 歳入

歳入額の推移については、平成 19（2007）年度と平成 28（2016）年度とを比較すると、総額で約 43 億円（12.4%）増加しています。 しかし、平成 22（2010）年度以降、依存財源の構成割合が自主財源を上回り、平成28(2016)年度においては、自主財源の割合が46.6%となっています。



（3） 市債

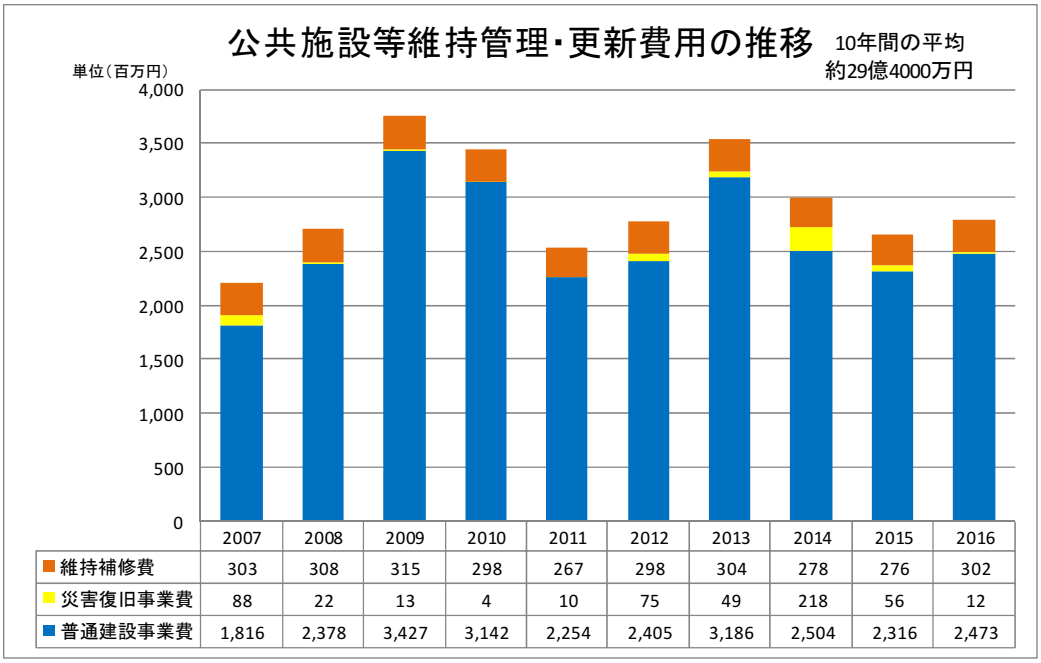
市債残高については、平成 20（2008）年度まで減少傾向にありましたが、それ以降は、地方交付税として交付すべき財源の不足を補てんするための、臨時財政対策債の発行等の影響により増加傾向となっています。



※市債…学校や福祉施設等を建設する場合のように、多額の費用が必要なもののために、市が、政府・地方公共団体金融機構等から調達する長期的な借入金です。

※臨時財政対策債…地方一般財源の不足を補うために特例として発行される地方債です。必要に応じて地方公共団体が発行し、償還費用は普通交付税の基準財政需要額に算入され全額国が負担します。

（4） 公共施設等に係る経費の推移



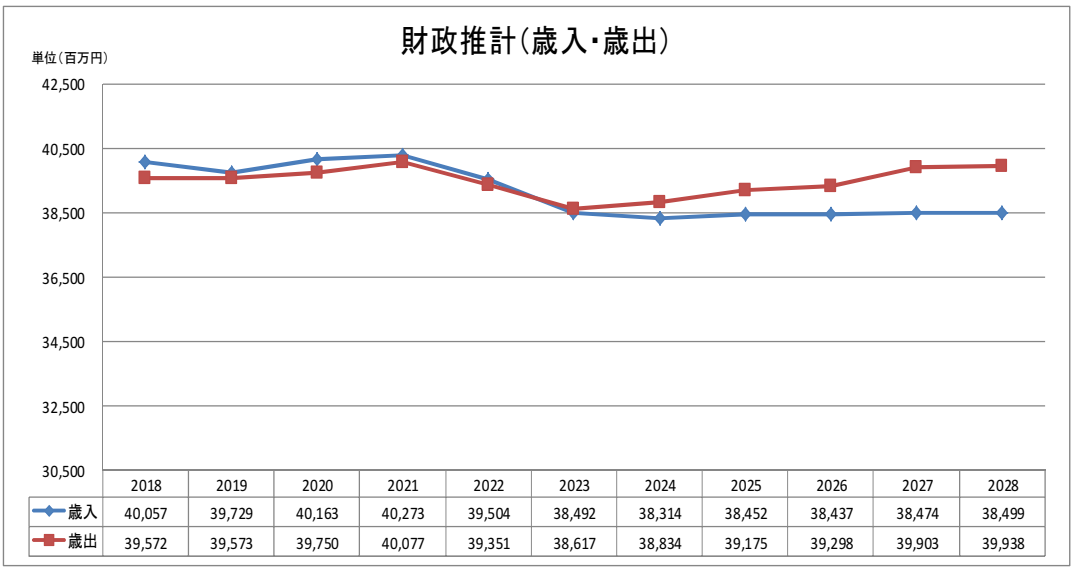
	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
維持補修費	303	308	315	298	267	298	304	278	276	302
災害復旧事業費	88	22	13	4	10	75	49	218	56	12
普通建設事業費	1,816	2,378	3,427	3,142	2,254	2,405	3,186	2,504	2,316	2,473

※維持補修費…公共施設等の機能を正常に保つための経費です。
※災害復旧事業費…大雨、暴風、地震等の災害により被災した公共施設等を復旧するための経費です。
※普通建設事業費…道路、橋梁、学校、公園等各種社会資本の新増設事業に必要な経費です。

（5） 今後の財政推計

今後、歳入については、人口減少や高齢化等の影響により、根幹となる市税等の自主財源が減少し、地方交付税等の依存財源の割合が増加していくと思われますが、今後の国の地方交付税制度に係る動向に依る部分が多いため、不透明な状態です。

一方、歳出については、高齢化等による社会保障費の自然増、とりわけ介護保険事業や後期高齢者医療に係る支出の増加が見込まれることから、公共施設等に係る投資的な経費や老朽化した公共施設の更新・維持管理等に要する経費の増加に対する財源の確保が困難になってくると考えられます。



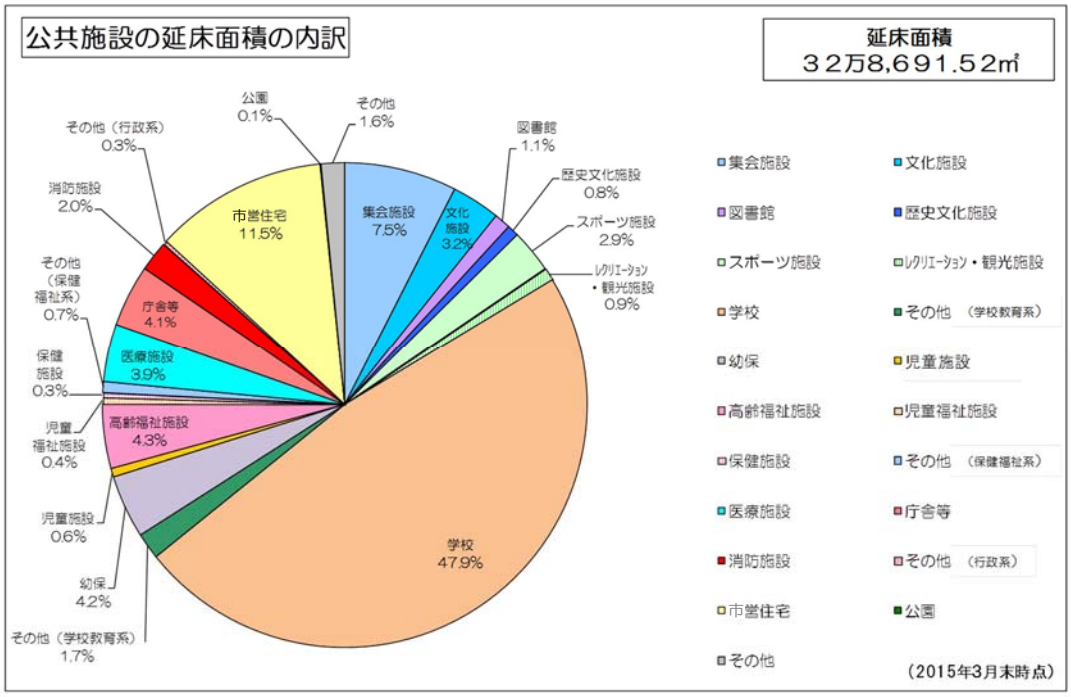
	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028
歳入	40,057	39,729	40,163	40,273	39,504	38,492	38,314	38,452	38,437	38,474	38,499
歳出	39,572	39,573	39,750	40,077	39,351	38,617	38,834	39,175	39,298	39,903	39,938

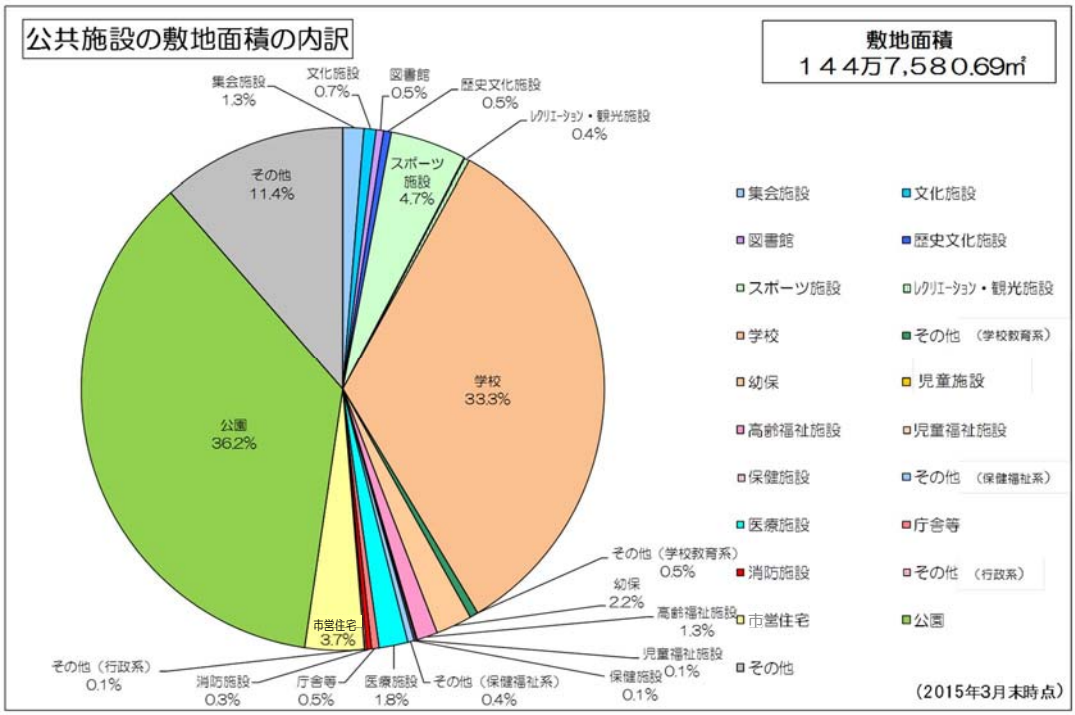
3. 施設の現状

（1） 保有状況 ［平成 26 年度末（2015 年 3 月末）時点］

本項目の記載内容は、本計画の対象施設を含む、本市が保有する主な公共施設 135 施設に関するものとなります。

公共施設の延床面積は、全体で 328,691.52 ㎡、そのうち学校が 47.9%と全体の約半分を占め、次いで市営住宅の 11.5%となっています。また、敷地面積については、全体で 1,447,580.69 ㎡、そのうち公園が 36.2%、学校が 33.3%と両者で全体の約 7 割を占めています。



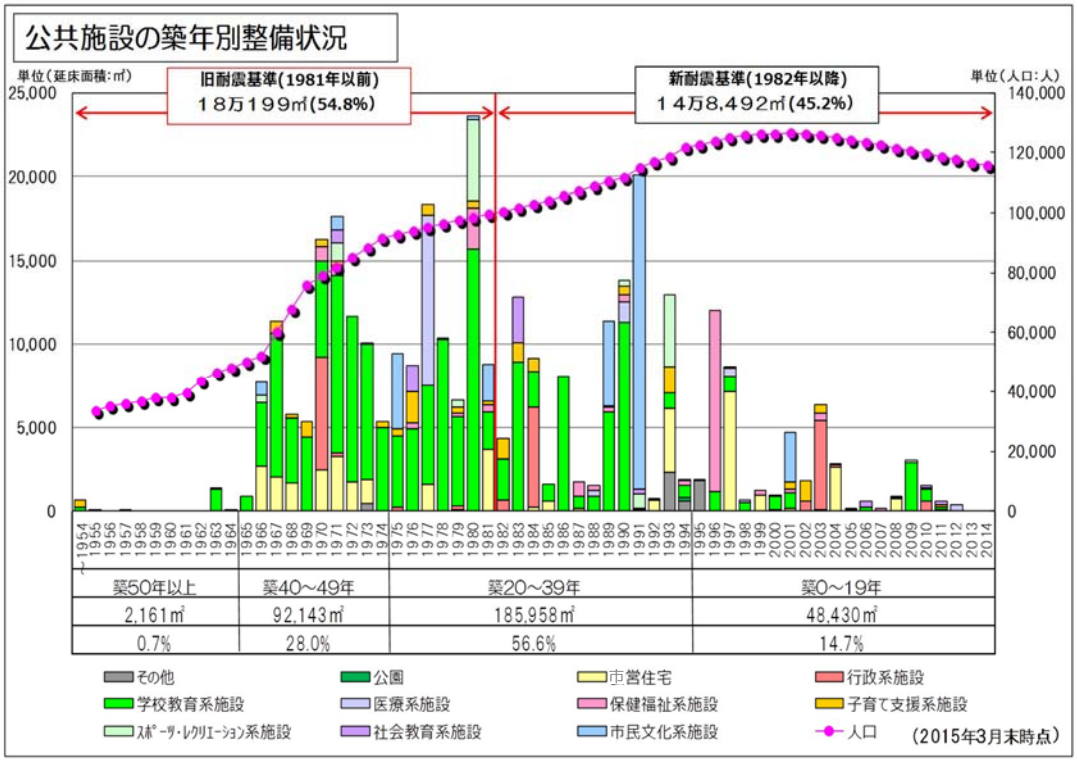


（2） 築年別整備状況 [平成 26 年度末（2015 年 3 月末）時点]

本市が保有している主な公共施設 135 施設について、旧耐震基準（※1）で建築されたものが 180,199 ㎡（54.8%）、新耐震基準（※1）で建築されたものが、148,492 ㎡（45.2%）となっています。また、旧耐震基準で建築されたもののうち耐震化未実施建築物（※2）は 24,562 ㎡（7.5%）となっています。

一般的に大規模改修（※3）が必要となる目安は、築 30 年以上の建築物とされていますが、本市の公共施設の現状を築年別割合でみると、築 40 年以上の建築物が 28.7%（94,304 ㎡）あり、ここに築 30 年から 39 年までの建築物を加えた全体の 62.8%（206,477 ㎡）が、この目安に該当することになります。

こうした現状から、公共施設のあり方が大きな課題となっています。

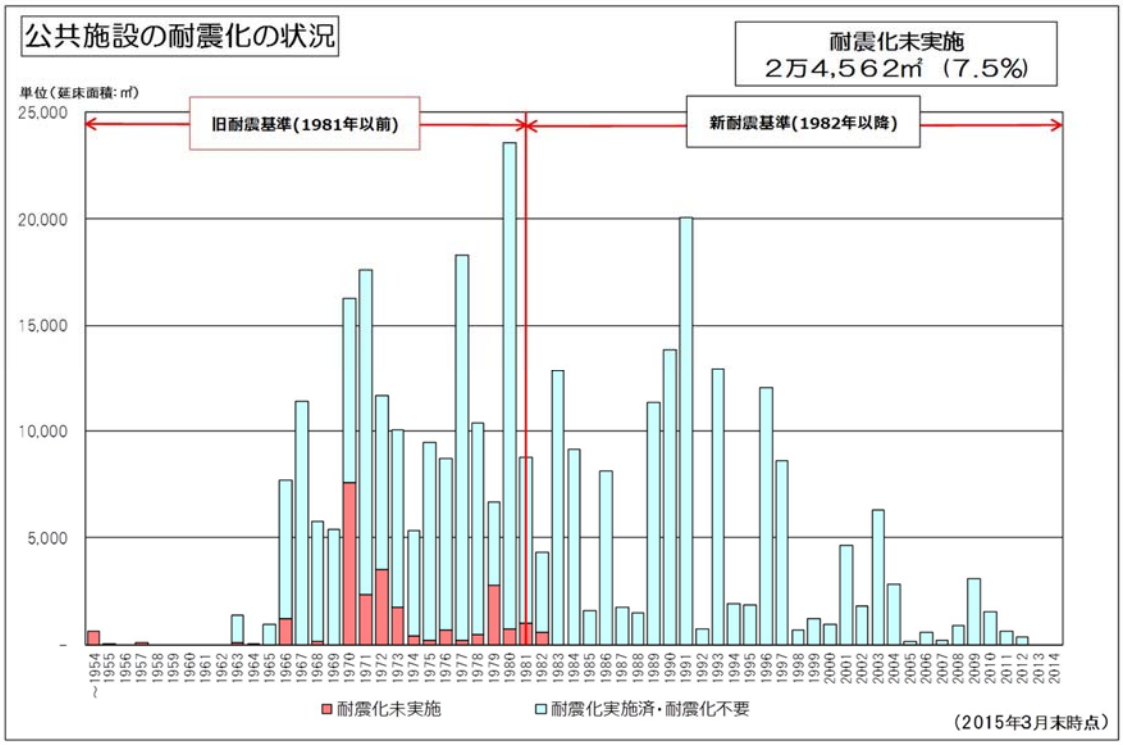


※1 旧耐震基準・新耐震基準…新耐震基準とは昭和 56（1981）年に改正された建築基準法に定められている新しい耐震基準のことで、昭和 56（1981）年以前の耐震基準のことを旧耐震基準と呼んでいます。また、新耐震基準における建築物の強度は、震度 6 強から震度 7 に達する程度の揺れでも建築物が倒壊・崩壊しないような基準となっています。

※2 耐震化未実施建築物…旧耐震基準で建設された建築物の内、耐震診断を実施していない又は耐震診断の結果、新耐震基準を満たしていないと判定された建築物です。

※3 大規模改修…建築物は耐用年数が異なる多種な材料（屋根材、外壁材、内装材（天井、壁、床）、給排水設備、空調機、換気設備、建具等）によって形成されており、それらの大部分について交換・修繕等を行うことを指しています。

但し、耐震補強や、アスベスト除去等は大規模改修に含まれません。


公共施設の耐震化の状況
耐震化未実施
2万4,562㎡ （7.5%）
単位（延床面積：㎡）
25,000
20,000
15,000
10,000
5,000
-
旧耐震基準(1981年以前)
新耐震基準(1982年以降)
1954 ～
1955
1956
1957
1958
1959
1960
1961
1962
1963
1964
1965
1966
1967
1968
1969
1970
1971
1972
1973
1974
1975
1976
1977
1978
1979
1980
1981
1982
1983
1984
1985
1986
1987
1988
1989
1990
1991
1992
1993
1994
1995
1996
1997
1998
1999
2000
2001
2002
2003
2004
2005
2006
2007
2008
2009
2010
2011
2012
2013
2014
耐震化未実施
耐震化実施済・耐震化不要
（2015年3月末時点）

（3） 公共施設と人口【平成 26 年度末（2015 年 3 月末時点）時点】

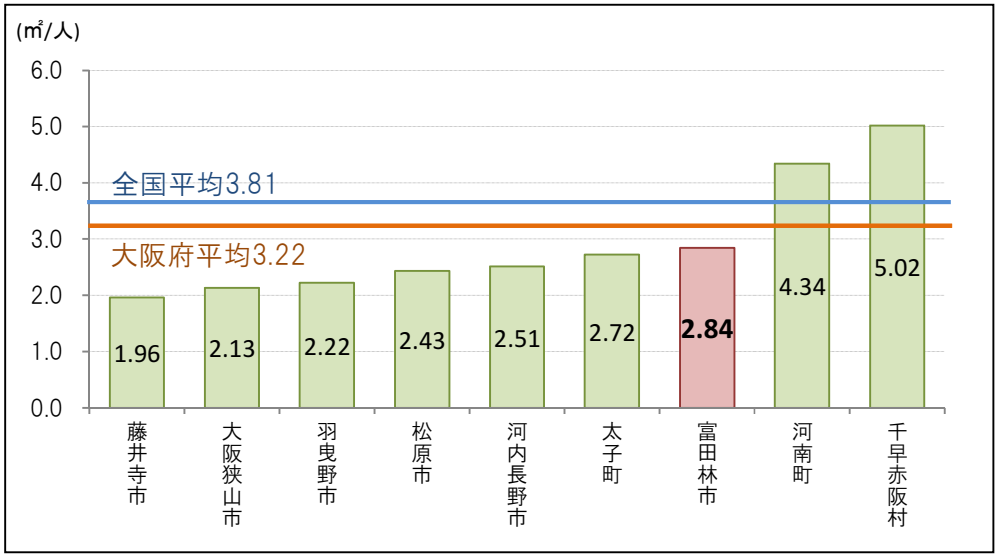
本市の人口 115,601 人に対して公共施設の延床面積は 328,691 ㎡となっており、人口一人当たりで 2.84 ㎡となります。これは、人口規模が同程度の近隣自治体に比べて、やや高い数値となっています。

なお、近隣自治体の人口一人当たりの延床面積については、下表・図のようになります。

【表　近隣自治体の人口一人当たり延床面積】

周辺市	人口（人）	総延床面積（㎡）	人口一人当たりの延床面積（㎡/人）
藤井寺市	65,438	128,055	1.96
大阪狭山市	57,792	122,859	2.13
羽曳野市	112,683	250,537	2.22
松原市	120,750	292,924	2.43
河内長野市	106,987	268,637	2.51
太子町	13,748	37,329	2.72
富田林市	115,601	328,691	2.84
河南町	16,126	69,990	4.34
千早赤阪村	5,378	26,971	5.02

【図　近隣自治体の人口一人当たり延床面積】



※公共施設状況調経年比較表（平成 27 年度）、国勢調査（平成 27 年度）より算出しています。本市については、総合管理計画に掲載の「延床面積・人口：平成 26 年度末（2015 年 3 月末）時点」を使用しています。

（4） 将来更新費用の試算

現在保有している公共施設を全て維持すると仮定し、耐用年数に応じて建替え・大規模改修を行った場合の今後 40 年間の財政負担を試算しました。

① 試算に関する基本的な考え方

建替え、大規模改修について更新年数経過後に、現在と同じ延床面積等で更新すると仮定し、延床面積等の数量に更新単価を乗じることとします。また、建替え、大規模改修の種類ごとに、調査年度から 40 年間の更新費用を試算します。

また、数量については、過去 60 年分は公有財産台帳より把握した年度ごとの延床面積を用いることとし、昭和 25（1950）年以前の公共施設については、合計した延床面積を用います。

② 試算条件等

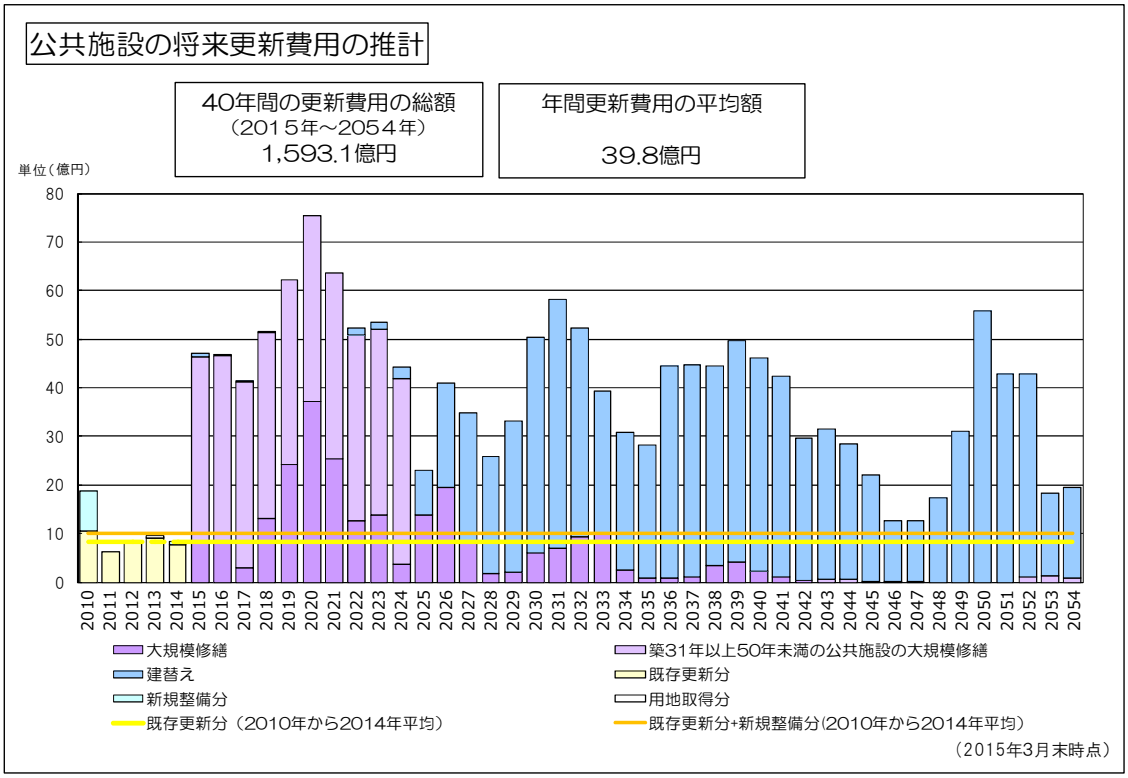
公共施設等更新費用試算ソフトを使用し、以下の条件設定で試算を行いました。

【表　試算条件等】

<table>
<tr><th>項　　目</th><th>内　　容</th></tr>
<tr><td>試算期間</td><td>40 年間（2054 年まで）</td></tr>
<tr><td>更新周期</td><td>建替え：建築後 60 年（建替え期間 3 年）
大規模改修：建築後 30 年（改修期間 2 年）
※建築後 30 年で大規模改修を行い、その後 30 年で建替え
※建築後 31 年～50 年以下のものは、今後 10 年間で均等に大規模改修、建築後 51 年以上経過しているものは、大規模改修を行わずに 60 年を経た年度に建替え</td></tr>
<tr><td>更新費用</td><td>事業費ベースで算出（国庫補助、起債等は考慮しない工事費総額）</td></tr>
<tr><td>更新単価</td><td>更新（建替え）及び大規模改修の単価
<table>
<tr><th>公共施設の種類</th><th>更新
（建替え）</th><th>大規模
改修</th></tr>
<tr><td>市民文化系、社会教育系、行政系施設</td><td>40 万円/㎡</td><td>25 万円/㎡</td></tr>
<tr><td>スポーツ・レクリエーション系等施設</td><td>36 万円/㎡</td><td>20 万円/㎡</td></tr>
<tr><td>学校教育、子育て支援系等施設</td><td>33 万円/㎡</td><td>17 万円/㎡</td></tr>
<tr><td>市営住宅</td><td>28 万円/㎡</td><td>17 万円/㎡</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

③ 公共施設の将来更新費用の推計結果 ［平成 26 年度末（2015 年 3 月末）時点］

2054 年までの公共施設の更新費用総額は、40 年間で 1,593 億 1 千万円、年間平均では約 39 億 8 千万円となります。



（5） まとめ

本市の人口は、減少傾向が継続し、また、高齢化率も上昇が続いており、今後、ますます人口減少、高齢化が進行すると予測されます。

これに伴い、本市財源の根幹となる市税等の自主財源が減少し、地方交付税等の依存財源の割合が増す一方で、社会保障費の増加により歳出額が増加することで、今後も厳しい財政状況が続くと考えられます。

今後 40 年間に要する公共施設の更新費用は、1,593 億 1 千万円、平均額で約 39 億 8 千万円となりますが、道路や水道施設等のインフラ施設の更新に要する費用も含めると、これまでに本市が投入してきた投資的経費の 2 倍以上の予算が必要とみられます。

このような状況の中、本市の公共施設については、建築後 30 年を経過しているものが 60%を占め、老朽化対策や耐震化等を進めていく必要があります。しかしながら、厳しい財政状況が見込まれる中で、現在の施設総量のまま、更新や大規模改修していくことは難しく、公共施設マネジメントを着実に推進していく必要があります。

第３章 市民アンケート結果（抜粋）

１．アンケート調査の概要

本計画の策定にあたり、公共施設の利用状況や意見等を把握・分析するため、「富田林市公共施設の再配置に関する市民アンケート調査」を実施しました。

【表　アンケート調査実施概要】

対象・配布数	市内 18 歳以上を対象に 3,000 票配布
実施時期	平成 28 年 7 月 12 日発送　9 月 12 日回収締切
実施方法 回収・回答方法	郵送、インターネットを利用したウェブアンケート
回収状況	総回収票数　1,072 票　回収率　35.7% （郵送：1,007 票、インターネット：65 票）
設問項目	（1）回答者属性（性別、年代、居住地区、通勤・通学、職業） （2）公共施設の今後のあり方 （3）施設分類ごとの充足度 （4）各施設の利用状況 （5）小学校・中学校について （6）幼稚園・保育所について （7）公共施設のあり方に対する自由意見

２．アンケート結果の概要

（１） 回答者属性

アンケート回答者の属性は、下表のとおりです。

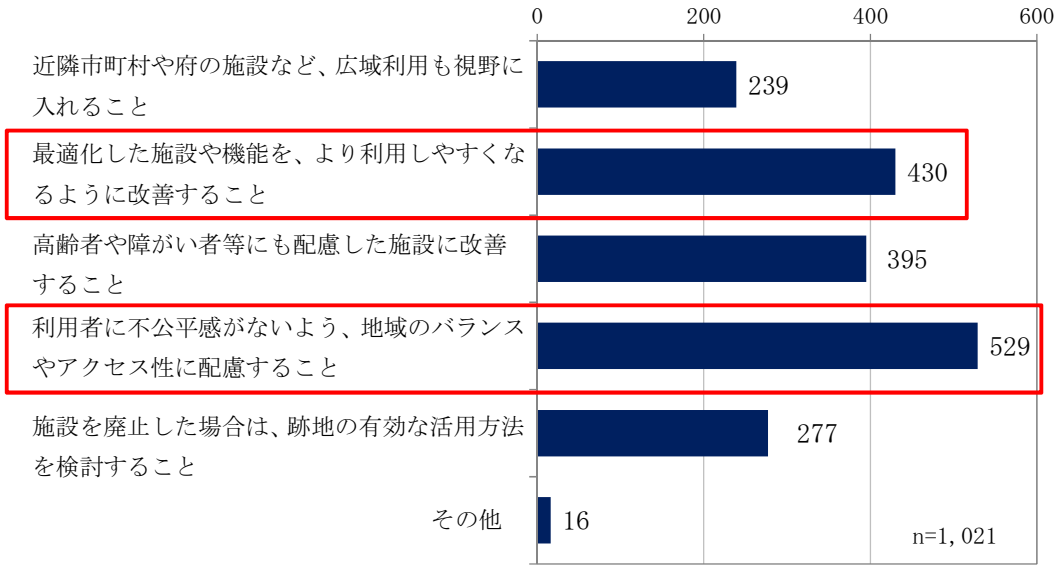
【表　回答者属性】

性　別	男性：39.9%　女性：60.1%
年　代	10 代：1.7%　20 代：7.9%　30 代：12.9%　40 代：15.3% 50 代：10.5%　60 代：23.0%　70 代以上：28.7%
居住地	小学校区別で、23.8%～48.7%の回収率
通勤・通学	市内：12.9%　市外：32.5%　通勤・通学していない：54.6%
職　業	会社員・公務員：25.6%　パート・アルバイト：12.4% 自営業・農林水産業：4.7%　家事専業：19.1% 無職：30.2%　学生：3.2%　その他：4.8%

（2） 公共施設の最適化を進めるにあたり特に考慮すること

〇全体的には「地域のバランス」や「アクセス性」、「施設や機能の改善」の回答が多い。

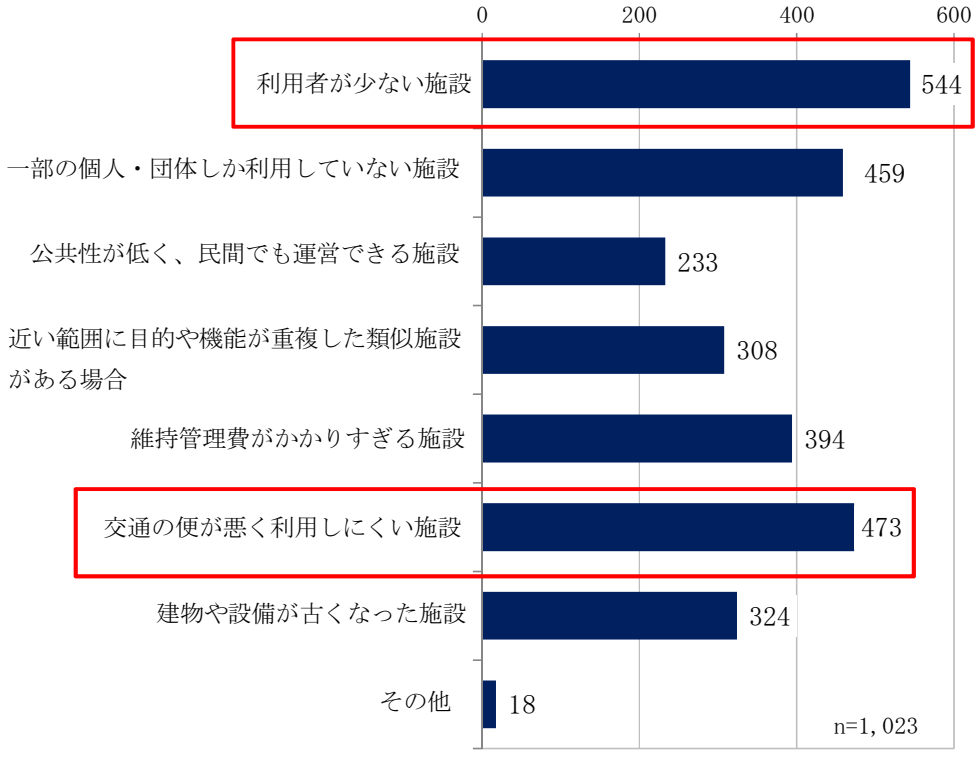
〇年代別では、若い年代で「施設や機能の改善」、50 代以上で「高齢者や障がい者への配慮」の回答が多い。（資料編参照）



（3） 機能統合の対象にしてもよい施設

〇全体的には、「利用者が少ない施設」「交通の便が悪く利用しにくい施設」「一部の個人・団体しか利用していない施設」の回答が多い。

〇地区別では、喜志西、高辺台、大伴小学校区では「交通の便が悪く利用しにくい施設」、他校区で「一部の個人・団体しか利用していない施設」の回答が最も多い。（資料編参照）

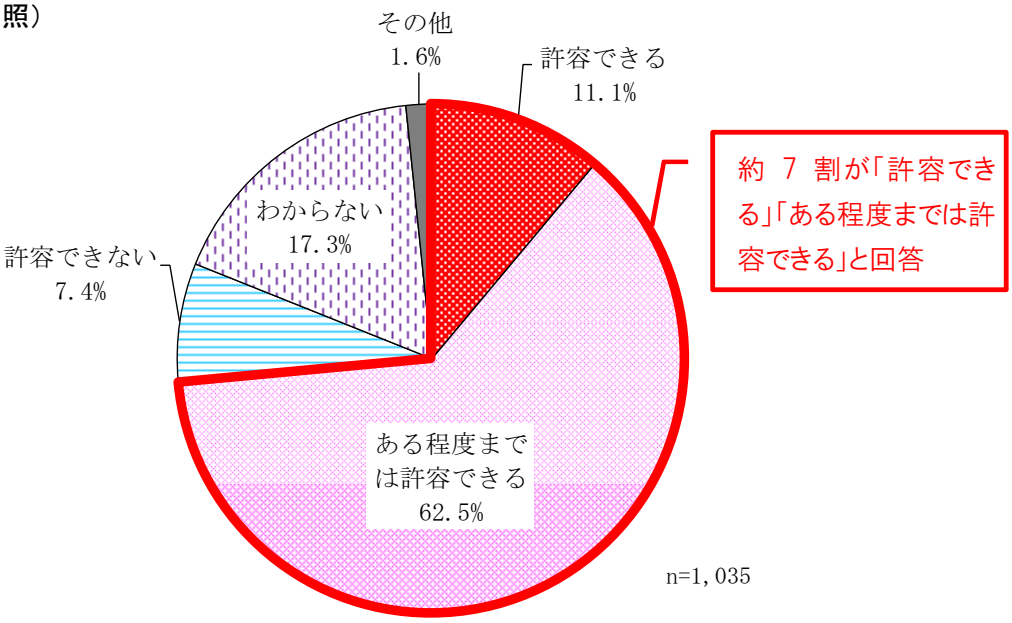


（4） 機能統合を許容できるか

〇全体的には、「許容できる」「ある程度は許容できる」の回答が約 7 割を占める。

〇地区別では、喜志西、新堂、富田林小学校区で「許容できない」の回答割合が高い。（資料編参照）

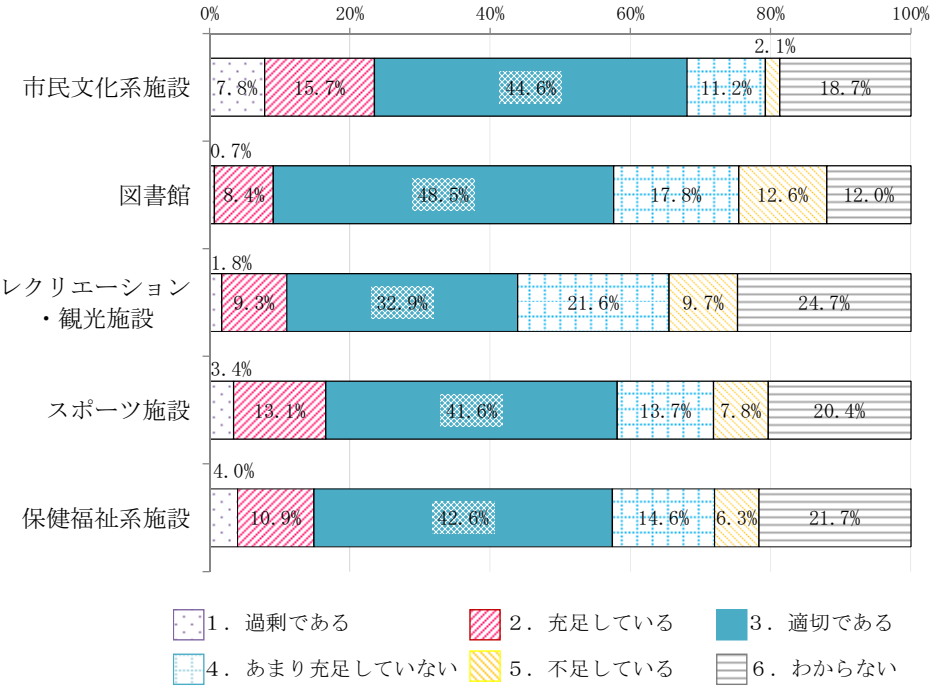
〇年代別では、40 歳代以下の若い年代ほど、「許容できる」の回答割合が高い。（資料編参照）



（5） 施設の充足度

〇レクリエーション・観光施設を除き、「充足している」又は「適切である」の回答割合が過半数を占めている。また、図書館については、「不足している」の意見の割合が全分類で一番高い。

〇全体的には、若い年代ほど「充足している」と回答している。（資料編参照）

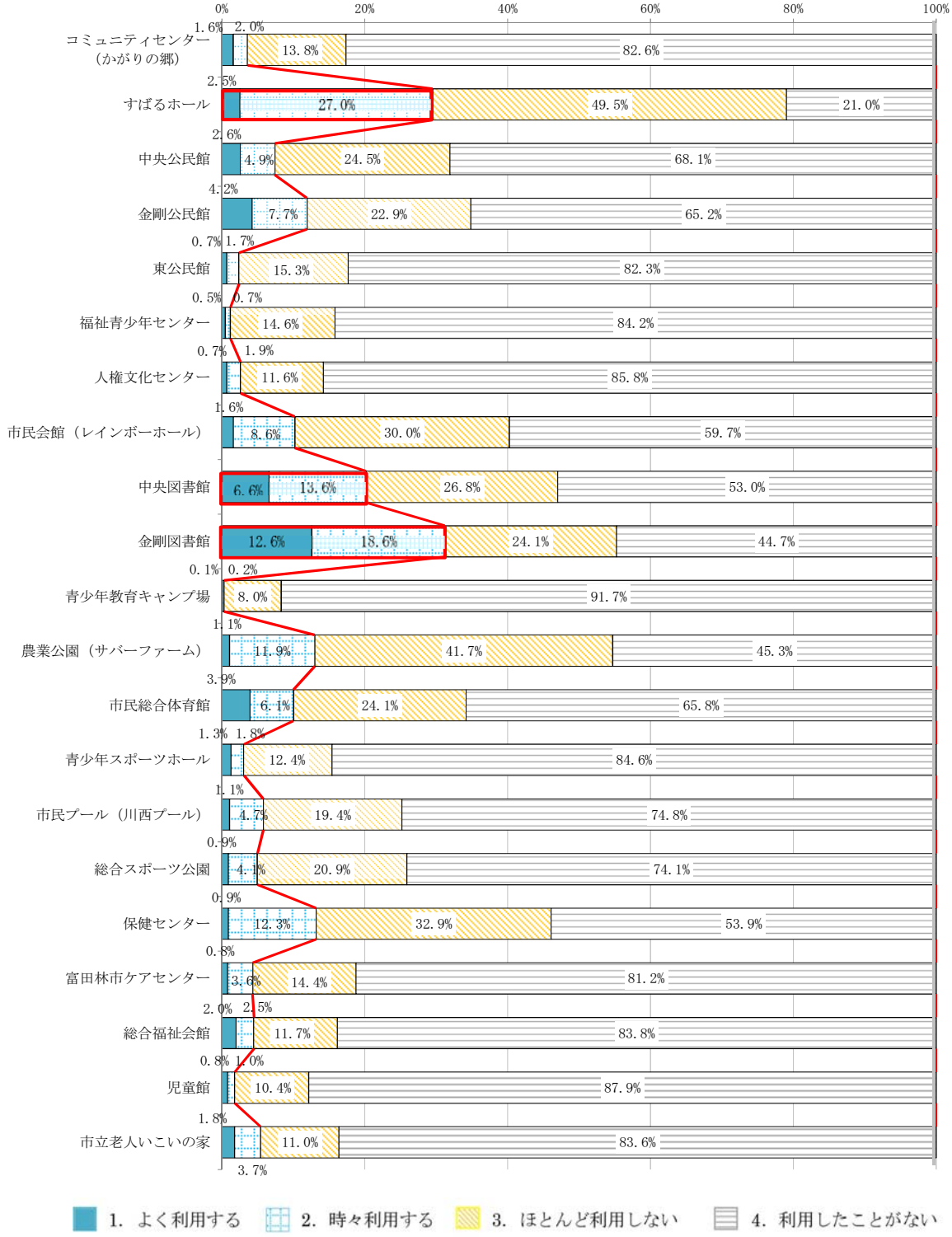


（6） 利用頻度等

〇全ての施設で「利用したことがない」「ほとんど利用しない」が約７割以上を占める。利用が多いのは、金剛図書館、すばるホール、中央図書館となっている。

〇全体的には、施設の周辺地区の利用が一番多く、特にその割合が高いのはコミュニティセンターとなっている。（資料編参照）

〇利用しない理由については、各施設で「利用する必要がない」との回答が半数以上を占める。また、「施設の設備・サービス・料金」より「遠い・不便」の回答が多く、アクセス性を重視している傾向がうかがえる。（資料編参照）



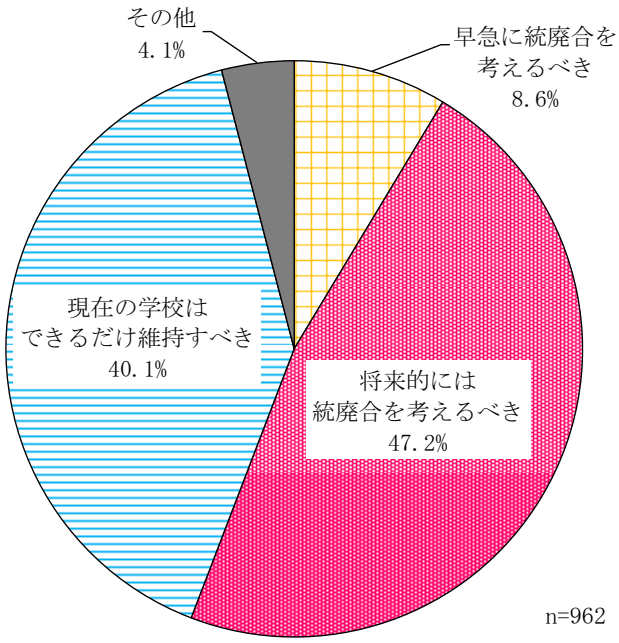
（7） 小・中学校及び幼稚園・保育所の統廃合

〇小・中学校の統廃合については、「早急に統廃合を考えるべき」が 8.6%、「将来的に統廃合を考えるべき」が 47.2%、「維持すべき」が 40.1%となっている。

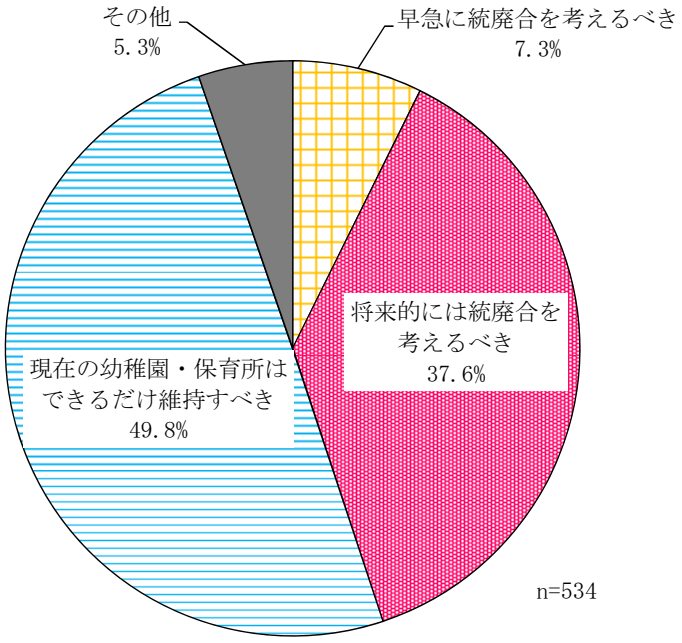
〇幼稚園・保育所の統廃合については、「早急に統廃合を考えるべき」が 7.3%、「将来的に統廃合を考えるべき」が 37.6%、「維持すべき」が 49.8%となっている。

〇維持すべきだと答えた理由としては、小・中学校、幼稚園・保育所とも、「通学距離（通園距離）が遠くなると思われるから」が最も多い。（資料編参照）

【図　小・中学校の統廃合について】



【図　幼稚園・保育所の統廃合について】



３．市民ニーズのまとめ

市民アンケート結果より､本市の公共施設の最適化に対しての市民ニーズを整理すると、以下のとおりとなります。

公共施設の機能統合に対しては､「許容できる」「ある程度は許容できる」が全体の約７割を占めており、概ね市民の理解は得られていると考えられますが、その推進にあたっては、利用しやすい施設・機能への改善等を考慮することが同時に求められます。

施設への交通アクセスについての視点についても重要視されており、機能統合の検討にあたっては、施設の駐車スペース、公共交通でのアクセス性についても考慮が必要です。

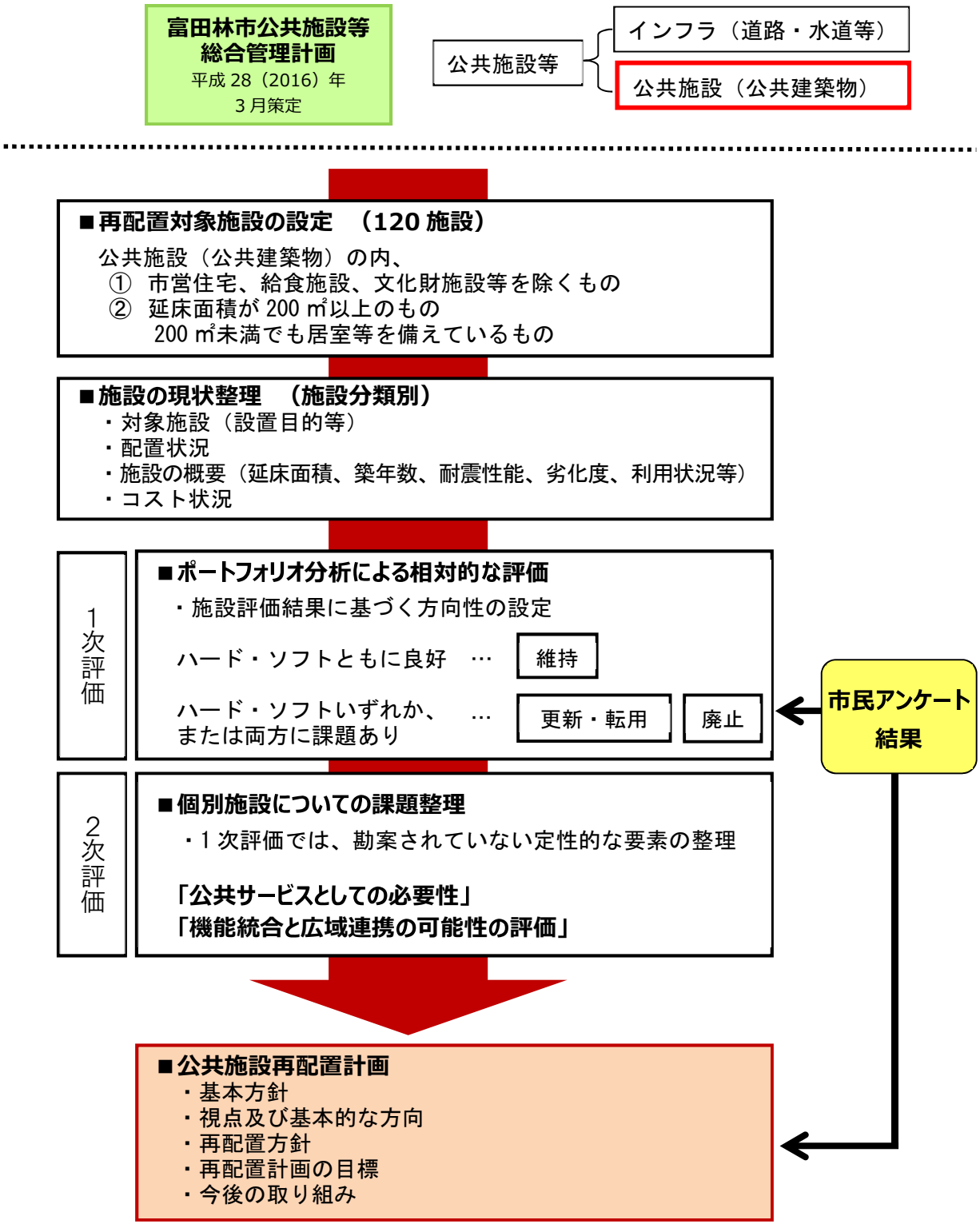
施設の充足度については､「適切である」が全体の約４割を占めており、供給サービスについては、概ね理解を得ていると考えられますが、一方で、利用頻度について「利用しない」又は「ほとんど利用しない」が全体の約７割以上を占めており、施設の供給バランスについては検討が必要です。

小・中学校、幼稚園・保育所の統廃合については、今後の少子化を考えるとやむを得ないと考える市民も多くいますが､十分な検討が必要です。

第４章　公共施設の現状と課題

本計画の策定にあたり、総合管理計画に基づき、公共施設の現状、市民ニーズ等を踏まえ、2 段階の施設評価を行ったうえで総合的に再配置の方向性を示します。

【施設の現状整理と分析の流れ・位置付け】



1 施設分類別の公共施設の現状の整理

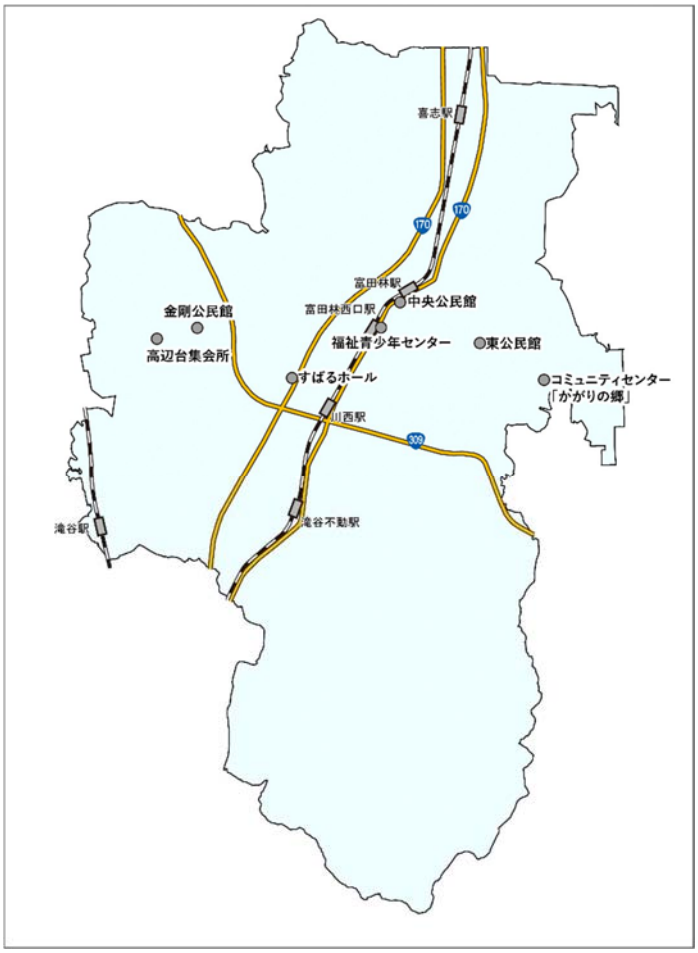
「■施設の概要」及び「■施設のコスト」は、平成 27（2015）年度実績に基づき掲載します。

（1）集会施設

■対象施設

小分類	施設名	設置の目的
すばるホール	すばるホール	地域文化の創造に寄与し、市民文化の振興を図る。
コミュニティ施設	コミュニティセンター「かがりの郷」	世代間の交流の場を提供し、もって市民福祉の向上を図る。
	福祉青少年センター	本市青少年に学習といこいの場を与え、青少年活動を助成し、健康的な余暇利用により青少年の健全な育成を図る。
高辺台集会所	高辺台集会所	地域住民の集会等の使用に供する。
公民館	公民館(3 館)	実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する。

■施設配置状況



■施設の概要

No	施設名	延床面積（㎡）	敷地面積（㎡）	駐車可能台数	代表建築年度	築年数（年）	建物構造	耐震性能	劣化度	年間利用者数（人）
1	すばるホール	18,799.20	10135.93 ※1	266	1991	25	RC	新基準	36.12	214,656
2	コミュニティセンター「かがりの郷」	2,935.88	5,035.57	42	2001	15	RC	新基準	22.65	69,709
3	福祉青少年センター	737.36	538.84	4	1971	45	RC	旧基準	58.88	15,678
4	高辺台集会所	217.00	※2	0	1975	41	RC	旧基準（耐震性能あり）	51.90	2,136
5	東公民館	1,128.72	1,737.51	31	1981	35	RC	旧基準（補強済）	53.90	23,578
6	中央公民館	873.91	3494.59 ※3	20	1976	40	SRC	旧基準（補強済）	43.76	35,194
7	金剛公民館	918.04	3800.18 ※3	24.5	1983	33	RC	新基準	40.94	38,757

※1 借地（2,440 ㎡）を除きます。
※2 高辺台小学校敷地を使用しています。
※3 図書館部分の敷地を含みます。

建物構造…SRC：鉄筋鉄骨コンクリート造　　RC：鉄筋コンクリート造　　S：鉄骨造　　W：木造

劣化度…建物の外部、内部、電気・給排水・空調・防災設備等、11 項目 111 部位について、目視等による現況の劣化状況と建築経過年による構造体内部の劣化状況を数値化したものです。数値が大きいほど劣化しています。

■施設のコスト（単位:円）

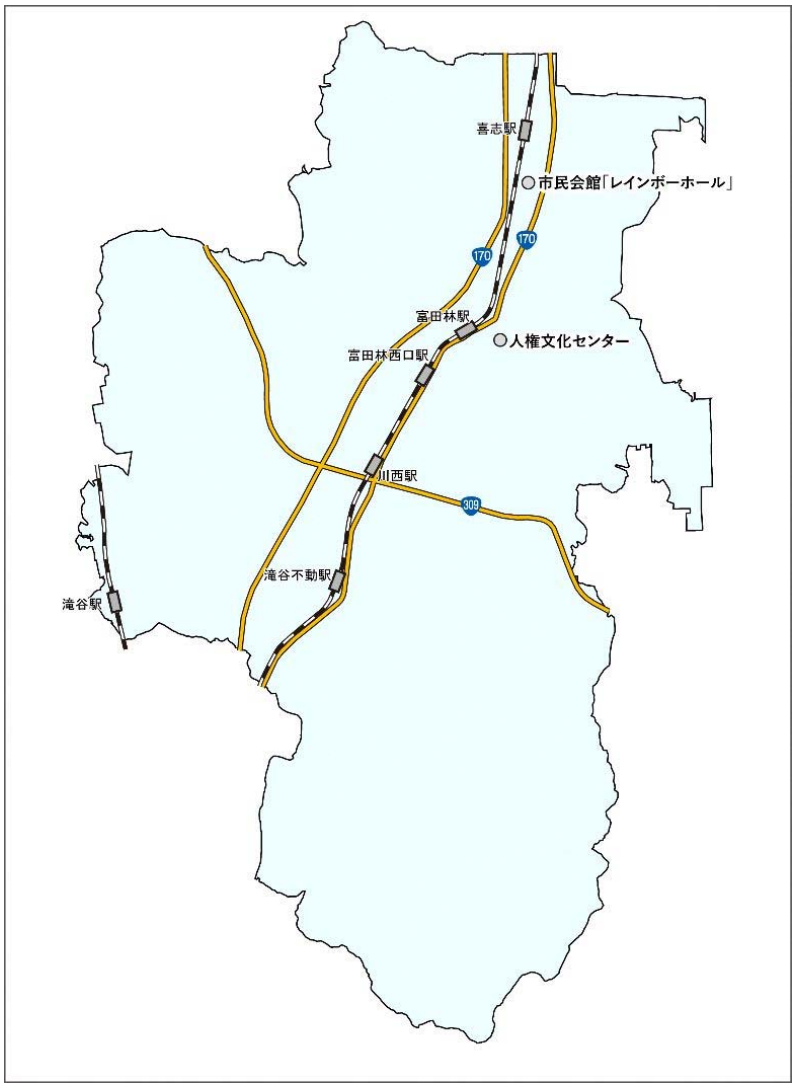
No	施設名	光熱水費	燃料費	修繕費	建物管理委託料	使用料及び賃借料	公有財産・備品購入費	年間総コスト
1	すばるホール	37,866,891	60,000	16,539,223	77,901,724	8,450,657	1,349,568	142,168,063
2	コミュニティセンター「かがりの郷」	11,439,565	42,025	2,988,250	9,354,138	0	0	23,823,978
3	福祉青少年センター	1,638,459	0	515,218	3,450,666	0	0	5,604,343
4	高辺台集会所	285,998	0	0	240,000	0	0	525,998
5	東公民館	1,730,291	10,224	666,133	2,386,722	0	325,240	5,118,610
6	中央公民館	1,807,730	0	637,191	2,976,108	0	118,626	5,539,655
7	金剛公民館	2,082,624	0	110,000	2,741,222	0	513,216	5,447,062

（2） 文化施設

■対象施設

小分類	施設名	設置の目的
市民会館 「レインボーホール」	市民会館 「レインボーホール」	【市民センター】 市民の集会等の用に供し、もって市民生活の向上を図る。 【多目的ホール】 スポーツ･文化の振興を図るとともに、広く市民の集会等の用に供する。 【老人･身体障害者(児)福祉センター】 老人･身体障害者(児)の用に供し、もって福祉の増進に寄与する。 【農林会議室】 農林業技術の改善と経営の近代化を図り農林業振興に寄与する。
人権文化 センター	人権文化センター	基本的人権尊重の精神に基づき、人権啓発の推進及び地域福祉の向上を図るとともに、市民の交流を促進し、もって市民一人ひとりの人権が尊重される潤いのある豊かなまちの実現に資する。

■施設配置状況



■施設の概要

No	施設名	延床面積（㎡）	敷地面積（㎡）	駐車可能台数	代表建築年度	築年数（年）	建物構造	耐震性能	劣化度	年間利用者数（人）
1	市民会館「レインボーホール」	9,624.61	9,511.00	138	1975	41	RC	旧基準（補強済）	51.69	113,520
2	人権文化センター	1,012.80	1,329.01	11	1966	50	RC	旧基準	58.20	21,012

■施設のコスト（単位:円）

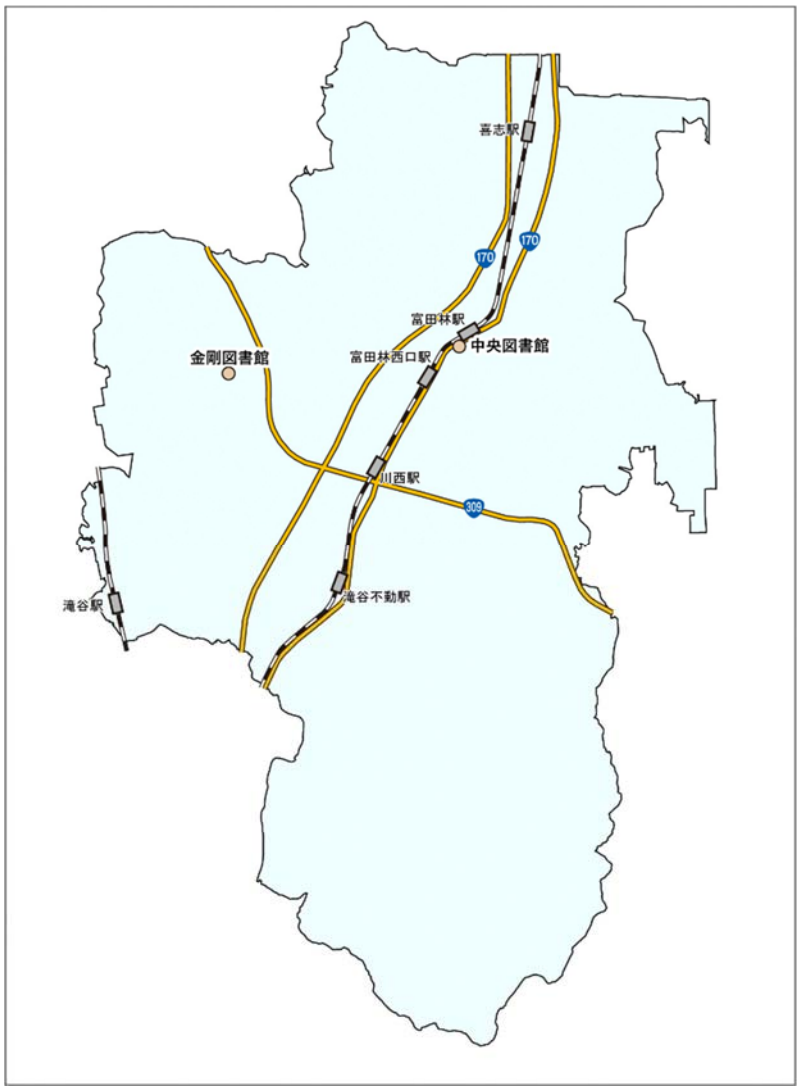
No	施設名	光熱水費	燃料費	修繕費	建物管理委託料	使用料及び賃借料	公有財産・備品購入費	年間総コスト
1	市民会館「レインボーホール」	19,350,468	0	6,047,217	34,412,599	385,867	141,828	60,337,979
2	人権文化センター	2,083,547	0	457,490	4,484,562	0	107,784	7,133,383

（3）図書館

■対象施設

小分類	施設名	設置の目的
図書館	図書館（2 館）	図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーションに資する。

■施設配置状況



■施設の概要

No	施設名	延床面積（㎡）	敷地面積（㎡）	駐車可能台数	代表建築年度	築年数（年）	建物構造	耐震性能	劣化度	年間利用者数（人）
1	中央図書館	902.32	3,494.59 ※1	20	1976	40	SRC	旧基準（補強済）	43.76	142,737
2	金剛図書館	927.54	3,800.18 ※1	24.5	1983	33	RC	新基準	40.94	213,868

※1 公民館部分の敷地を含みます。

■施設のコスト（単位:円）

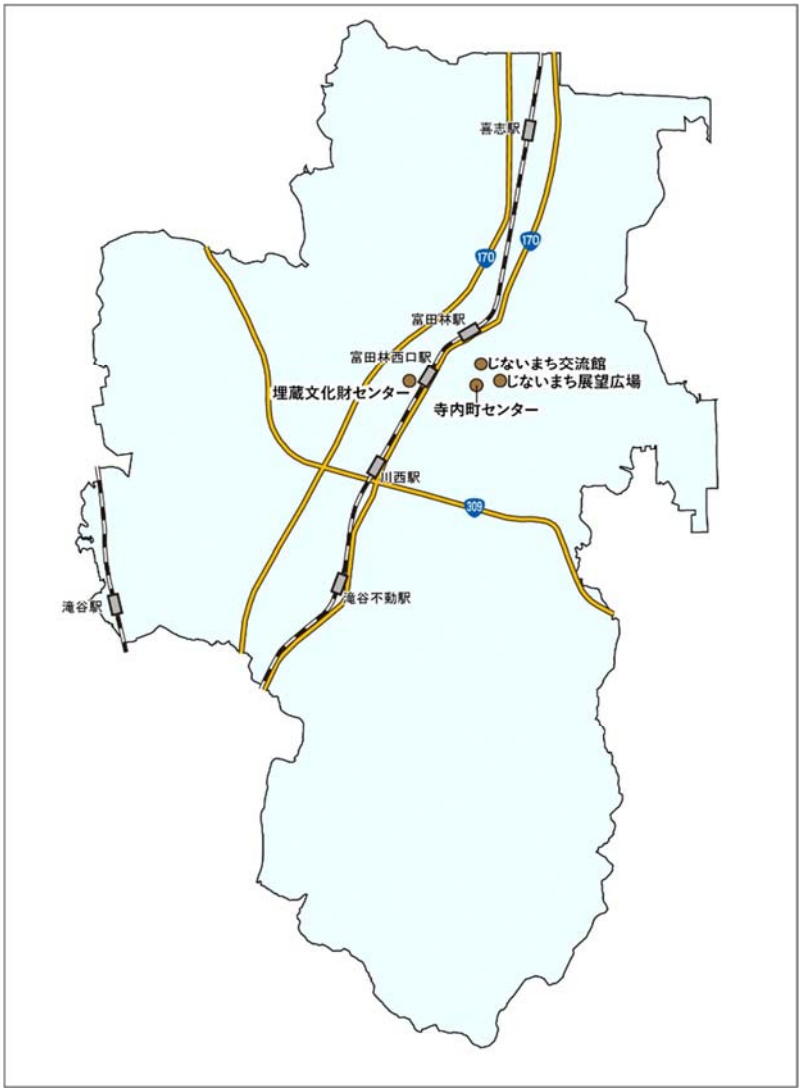
No	施設名	光熱水費	燃料費	修繕費	建物管理委託料	使用料及び賃借料	公有財産・備品購入費	年間総コスト
1	中央図書館	1,866,517	0	220,244	3,072,892	0	42,768	5,202,421
2	金剛図書館	2,107,766	0	437,000	2,774,316	0	0	5,319,082

（4） 歴史文化施設

■対象施設

小分類	施設名	設置の目的
埋蔵文化財センター	埋蔵文化財センター	市内で発掘した埋蔵文化財資料の復元･保存作業等を行い、資料を保管･展示する。
寺内町関連施設	寺内町センター	寺内町町並み保全事業の推進を図る。
	じないまち交流館	寺内町の啓発を図る。
	じないまち展望広場	寺内町及びその周辺の景観の展望に供する。

■施設配置状況



■施設の概要

No	施設名	延床面積（㎡）	敷地面積（㎡）	駐車可能台数	代表建築年度	築年数（年）	建物構造	耐震性能	劣化度	年間利用者数（人）
1	埋蔵文化財センター	819.00	※1	0	1971	45	RC	旧基準（補強済）	52.25	177
2	寺内町センター	300.75	267.43	1	1991	25	W	新基準	36.86	1,807
3	じないまち交流館	316.05	322.02	1	2006	10	W	新基準	12.13	33,330
4	じないまち展望広場	117.46	611.58	1	2010	6	W	新基準	30.60	12,615

※1 第一中学校敷地を使用しています。

■施設のコスト（単位:円）

No	施設名	光熱水費	燃料費	修繕費	建物管理委託料	使用料及び賃借料	公有財産・備品購入費	年間総コスト
1	埋蔵文化財センター	0※1	0	0	39,006	0	0	39,006
2	寺内町センター	593,110	0	108,000	63,544	0	0	764,654
3	じないまち交流館	584,963	0	71,756	119,516	0	312,402	1,088,637
4	じないまち展望広場	239,200	0	46,958	1,229,552	0	0	1,515,710

※1 光熱水費は第一中学校に計上しています。

（5）スポーツ施設

■対象施設

小分類	施設名	設置の目的
スポーツ施設	市民総合体育館	市民の体育及びスポーツの振興を図るとともに、青少年の健全育成並びに市民生活の向上に寄与する。
	総合スポーツ公園	豊かな自然に親しむ憩いの場及びスポーツ活動の場を市民に提供することにより、相互の交流を深め、心身の健全な発達を図り、市民生活の向上に寄与する。
	青少年スポーツホール	青少年の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の向上を図る。
	市民プール「アクアパークきらめき」（管理棟）	市民の健康増進と体力向上を図る。

■施設配置状況

■施設の概要

No	施設名	延床面積（㎡）	敷地面積（㎡）	駐車可能台数	代表建築年度	築年数（年）	建物構造	耐震性能	劣化度	年間利用者数（人）
1	市民総合体育館	4,781.60	13,225.67	160	1980	36	RC	旧基準（補強済）	37.98	164,339
2	総合スポーツ公園	2,888.14	50,287.00	200	1993	23	RC	新基準	37.92	87,025
3	青少年スポーツホール	1,069.42	※1	19	1971	45	S	旧基準	66.58	36,112
4	市民プール「アクアパークきらめき」（管理棟）	328.00	3,770.24	2	1978	38	S	旧基準 ※2	41.80	18,581

※1 金剛中央公園敷地を使用しています。
※2 耐震診断未実施のため耐震性能は不明です。

■施設のコスト（単位:円）

No	施設名	光熱水費	燃料費	修繕費	建物管理委託料	使用料及び賃借料	公有財産・備品購入費	年間総コスト
1	市民総合体育館	11,055,611	0	974,094	14,030,870	1,276,364	2,626,533	29,963,472
2	総合スポーツ公園	9,813,636	177,328	782,516	16,591,897	665,172	945,280	28,975,829※1
3	青少年スポーツホール	2,969,144	0	299,720	1,650,690	319,090	656,633	5,895,277
4	市民プール「アクアパークきらめき」（管理棟）	3,224,559	0	0	1,027,324	46,311	733,711	5,031,905

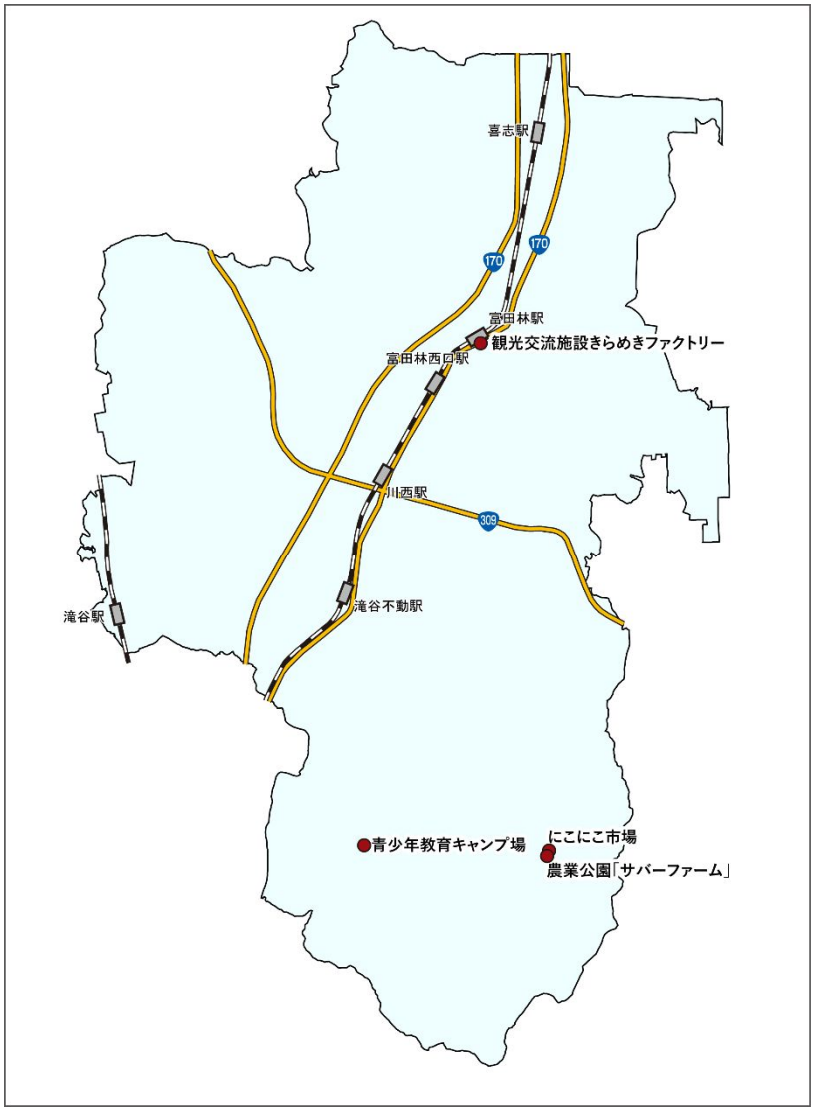
※1 公園施設管理コストを含んでいます。

（6） レクリエーション・観光施設

■対象施設

小分類	施設名	設置の目的
レクリエーション・観光施設	農業公園 「サバーファーム」	農業と豊かな自然に親しむ機会を市民に提供し、都市と農村の交流を図り、農業の振興と地域の活性化に寄与する。
	にこにこ市場	サバ―ファーム内で採れた農産物や苗ものなどのほか、地元富田林で生産された季節の野菜･果物･卵･切花などを販売する。
	青少年教育キャンプ場	本市青少年に対し、集団活動を通じて生活指導及び野外活動を行い、もって健全な青少年を育成する。
	観光交流施設 きらめきファクトリー	富田林市内に点在する観光資源を活用し、地域の取組みを基盤としたにぎわいの拠点づくりを進める。

■施設配置状況



■施設の概要

No	施設名	延床面積（㎡）	敷地面積（㎡）	駐車可能台数	代表建築年度	築年数（年）	建物構造	耐震性能	劣化度	年間利用者数（人）
1	農業公園「サバーファーム」	2,584.06	336.00 ※1	300	1990	26	S	新基準	32.85	81,342
2	にこにこ市場	141.96	※2	0	2009	7	S	新基準	7.54	71,633
3	青少年教育キャンプ場	164.93	4,955.00	12	1979	37	W	旧基準 ※3	71.66	223
4	観光交流施設 きらめきファクトリー	251.39	275.65	6	2015	1	S	新基準	3.00	28,740

※1 借地（193,027 ㎡）を除きます。
※2 農業公園敷地を使用しています。
※3 耐震診断未実施のため耐震性能は不明です。

■施設のコスト（単位:円）

No	施設名	光熱水費	燃料費	修繕費	建物管理委託料	使用料及び賃借料	公有財産・備品購入費	年間総コスト
1	農業公園「サバーファーム」	12,006,112	1,129,000	3,275,463	3,488,301	99,214,167	1,296,000	120,409,043※1
2	にこにこ市場	446,888	0	0	0	0	0	446,888
3	青少年教育キャンプ場	308,363	0	74,930	825,345	0	0	1,208,638
4	観光交流施設きらめきファクトリー	591,332	0	14,800	647,050	293,460	309,240	1,855,882

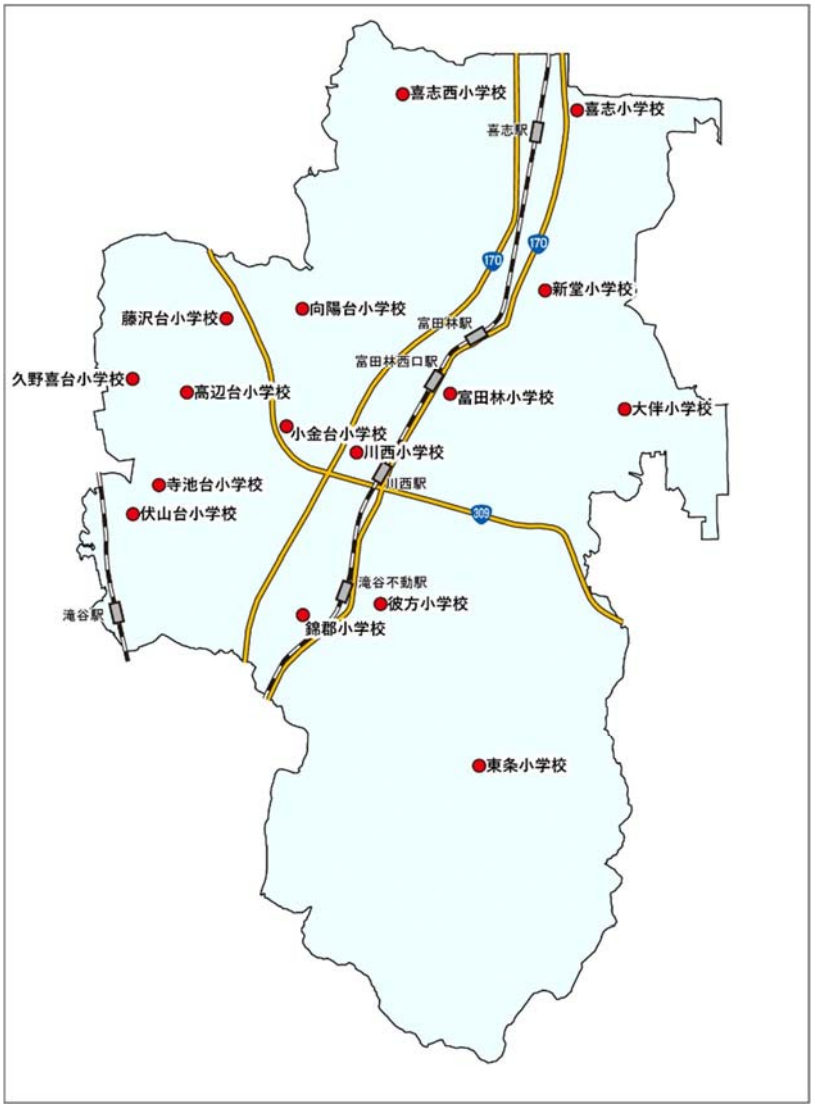
※1 公園施設管理コストを含んでいます。

（7）小学校

■対象施設

小分類	施設名	設置の目的
小学校	小学校(16 校)	心身の発達に応じて、義務教育として行われる普通教育のうち基礎的なものを施すこと。

■施設配置状況



■施設の概要

No	施設名称	延床面積（㎡）	敷地面積（㎡）	駐車可能台数	代表建築年度	築年数（年）	建物構造	耐震性能	劣化度	児童数（人）
1	富田林小学校	5,810.85	13,017.00	0	1967	49	RC	旧基準（補強済）	42.62	310
2	新堂小学校	9,256.00	16433.25 ※1	0	1966	50	RC	旧基準（補強済）	57.92	457
3	喜志小学校	4,971.61	7316.74 ※2	0	1968	48	RC	旧基準（耐震性能あり）	42.04	457
4	大伴小学校	5,652.00	12,772.00	0	1965	51	RC	旧基準（補強済）	51.25	465
5	彼方小学校	5,692.68	13590.12 ※3	0	1968	48	RC	旧基準（補強済）	44.56	258
6	錦郡小学校	5,124.90	10,790.90	0	1972	44	RC	旧基準（補強済）	39.55	301
7	川西小学校	5,821.84	13254 ※4	0	1970	46	RC	旧基準（補強済）	35.62	398
8	東条小学校	3,694.00	8,783.62	0	1974	42	RC	旧基準（補強済）	40.51	129
9	高辺台小学校	6,867.00	16,183.86	0	1967	49	RC	旧基準（補強済）	50.06	166
10	久野喜台小学校	6,527.59	20,044.23	0	1968	48	RC	旧基準（補強済）	60.16	297
11	寺池台小学校	7,051.36	17,558.56	0	1969	47	RC	旧基準（補強済）	58.47	467
12	伏山台小学校	4,738.36	18,853.00	0	1977	39	RC	旧基準（補強済）	50.89	312
13	喜志西小学校	3,905.00	17,349.00	0	1978	38	RC	旧基準（耐震性能あり）	56.38	304
14	藤沢台小学校	6,073.12	28,900.13	0	1980	36	RC	旧基準（補強済）	37.52	426
15	小金台小学校	7,433.15	24,498.62	0	1989	27	RC	新基準	32.74	502
16	向陽台小学校	6,787.00	26,912.66	0	1990	26	RC	新基準	31.96	214

※1 借地（710 ㎡）を除きます。
※2 借地（593 ㎡）を除きます。
※3 借地（918 ㎡）を除きます。
※4 借地（114 ㎡）を除きます。

■施設のコスト（単位:円）

No	施設名	光熱水費	燃料費	修繕費	建物管理委託料	使用料及び賃借料	公有財産・備品購入費	年間総コスト
1	富田林小学校	4,173,965	79,589	847,662	962,741	0	307,044	6,371,001
2	新堂小学校	5,271,336	140,881	435,078	906,706	1,799,540	0	8,553,541
3	喜志小学校	5,288,618	95,131	1,488,663	725,835	1,651,050	0	9,249,297
4	大伴小学校	4,178,236	80,254	764,610	725,720	0	0	5,748,820
5	彼方小学校	4,213,258	153,894	292,526	849,495	1,530,420	0	7,039,593
6	錦郡小学校	3,098,093	90,719	587,034	636,641	0	0	4,412,487
7	川西小学校	4,605,059	169,984	560,412	640,641	311,640	0	6,287,736
8	東条小学校	2,834,751	40,478	621,694	1,270,072	0	0	4,766,995
9	高辺台小学校	3,497,155	59,578	88,560	586,932	0	0	4,232,225
10	久野喜台小学校	4,312,397	102,942	416,286	748,112	0	0	5,579,737
11	寺池台小学校	4,801,215	133,956	512,049	816,096	0	0	6,263,316
12	伏山台小学校	4,454,968	138,451	409,320	846,326	0	0	5,849,065
13	喜志西小学校	2,743,865	45,975	243,096	686,415	0	0	3,719,351
14	藤沢台小学校	4,411,416	107,872	563,620	780,796	0	0	5,863,704
15	小金台小学校	5,068,894	126,341	1,414,761	854,957	0	0	7,464,953
16	向陽台小学校	3,352,206	65,643	924,966	964,991	0	1,131,683	6,439,489

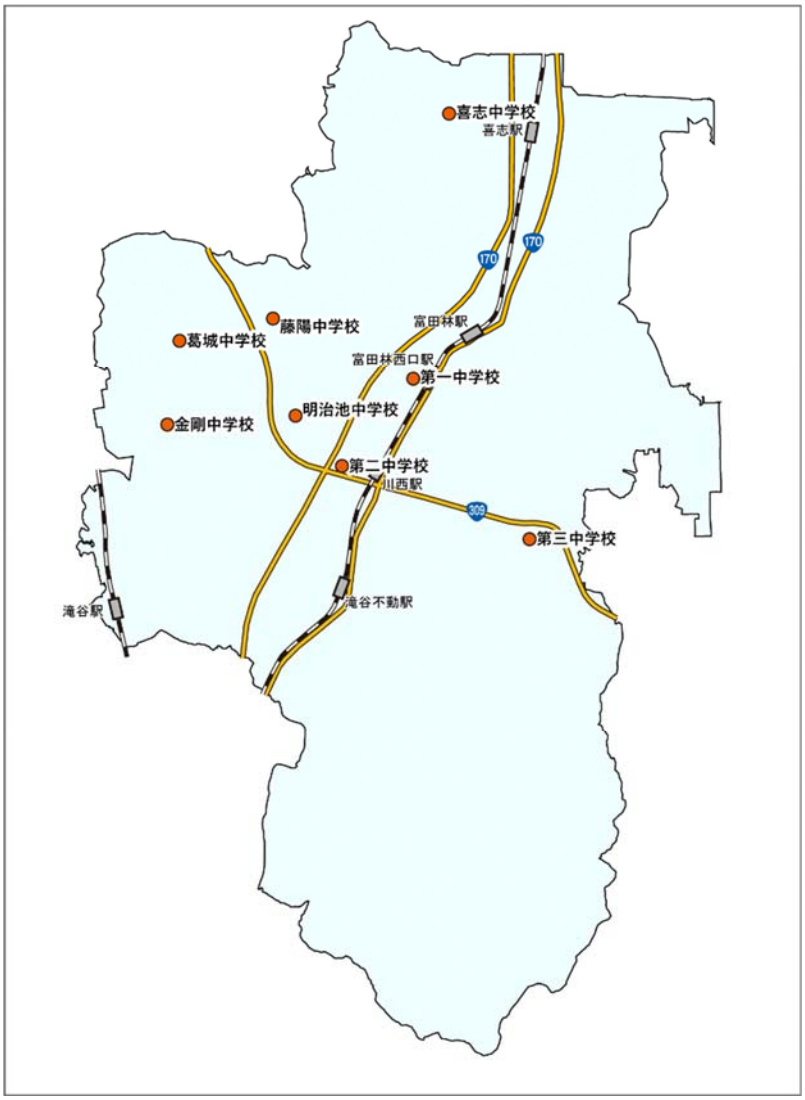
※喜志、大伴、彼方、川西、東条、伏山台小学校については、併設している幼稚園の光熱水費の一部または全部をコストに計上しています。また、全ての小学校について、学童クラブの光熱水費の一部をコストに計上しています。

（8）中学校

■対象施設

小分類	施設名	設置の目的
中学校	中学校(8 校)	小学校における教育の基礎の上に、心身の発達に応じて、義務教育として行われる普通教育を施すこと。

■施設配置状況



■施設の概要

No	施設名	延床面積（㎡）	敷地面積（㎡）	駐車可能台数	代表建築年度	築年数（年）	建物構造	耐震性能	劣化度	生徒数（人）
1	第一中学校	9,657.90	25,195.00	0	1963	53	RC	旧基準（補強済）	46.42	467
2	第二中学校	7,271.29	20,384.91	0	1966	50	RC	旧基準（補強済）	45.14	500
3	第三中学校	6,986.05	17,386.61	0	1971	45	RC	旧基準（補強済）	50.50	442
4	金剛中学校	9,066.30	30,253.19	0	1967	49	RC	旧基準（補強済）	54.18	456
5	葛城中学校	7,398.00	33,936.11	0	1980	36	RC	旧基準（補強済）	44.56	267
6	喜志中学校	6,003.00	22,048.00	0	1983	33	RC	新基準	35.71	430
7	藤陽中学校	7,808.93	29,400.14	0	1986	30	RC	新基準	39.82	325
8	明治池中学校	6,087.26	26,585.90	0	1990	26	RC	新基準	34.90	296

■施設のコスト（単位:円）

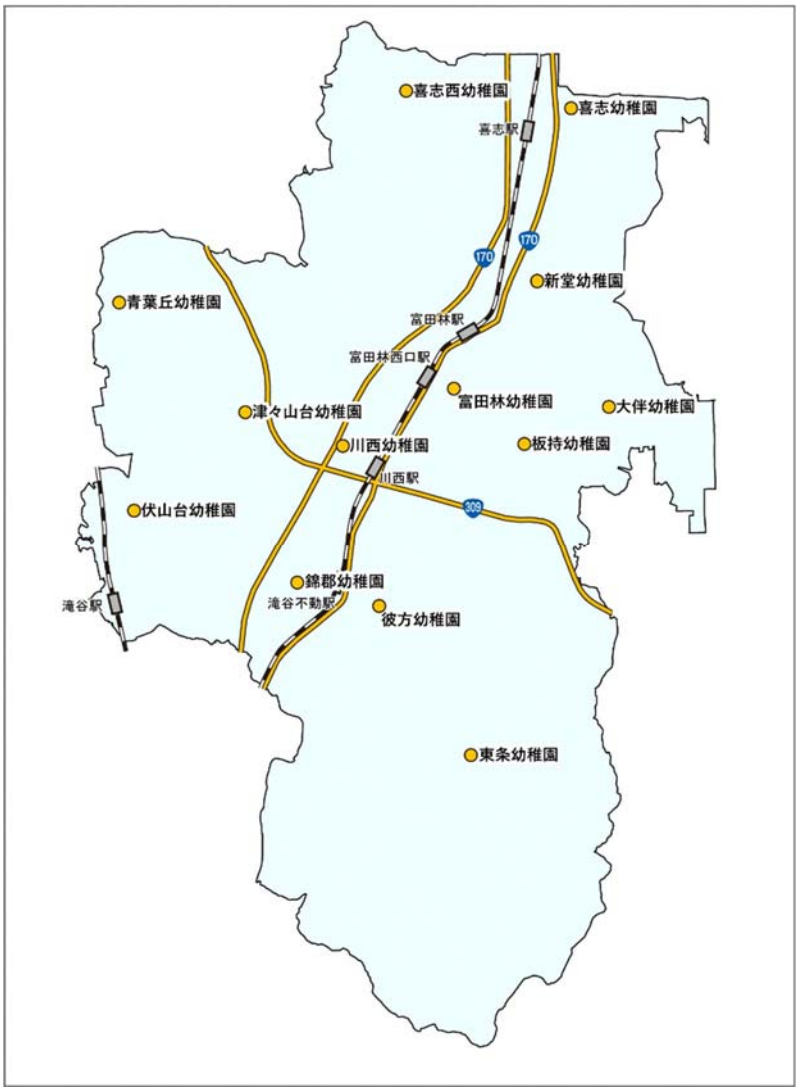
No	施設名	光熱水費	燃料費	修繕費	建物管理委託料	使用料及び賃借料	公有財産・備品購入費	年間総コスト
1	第一中学校	8,018,380	187,496	2,011,543	974,051	0	0	11,191,470
2	第二中学校	8,932,174	199,609	857,416	600,691	0	310,716	10,900,606
3	第三中学校	5,641,798	95,137	837,000	1,325,139	0	0	7,899,074
4	金剛中学校	8,623,156	115,995	238,105	987,369	0	0	9,964,625
5	葛城中学校	5,994,897	108,302	361,152	874,019	0	2,972,317	10,310,687
6	喜志中学校	10,007,742	128,577	355,784	1,012,803	0	0	11,504,906
7	藤陽中学校	7,198,203	135,786	227,988	876,746	0	0	8,438,723
8	明治池中学校	7,973,548	113,565	1,467,450	914,246	0	0	10,468,809

（9）幼稚園

■対象施設

小分類	施設名	設置の目的
幼稚園	幼稚園(13 園)	義務教育及びその後の教育の基礎を培うものとして、幼児を保育し、幼児の健やかな成長のために適当な環境を与えて、その心身の発達を助長すること。

■施設配置状況



■施設の概要

No	施設名	延床面積（㎡）	敷地面積（㎡）	駐車可能台数	代表建築年度	築年数（年）	建物構造	耐震性能	劣化度	園児数（人）
1	富田林幼稚園	888.00	※1	0	1983	33	S	新基準	38.27	34
2	新堂幼稚園	937.00	2,907.00	0	1976	40	RC	旧基準（耐震性能あり）	58.25	29
3	喜志幼稚園	413.00	3,362.00	0	1976	40	S	旧基準（補強済）	45.92	31
4	大伴幼稚園	647.00	2,340.06	0	1976	40	S	旧基準（補強済）	41.57	51
5	板持幼稚園	573.00	※2	0	1982	34	S	旧基準	40.85	0
6	彼方幼稚園	432.00	1,820.00	0	1980	36	S	旧基準（補強済）	43.75	37
7	錦郡幼稚園	416.00	1,983.73	0	1979	37	S	旧基準（補強済）	46.50	27
8	川西幼稚園	713.00	2,850.00	0	1984	32	S	新基準	38.22	35
9	東条幼稚園	238.00	608.00	0	1974	42	S	旧基準	52.55	0
10	伏山台幼稚園	686.00	4,821.00	0	1977	39	S	旧基準（補強済）	54.91	22
11	喜志西幼稚園	453.00	1,811.00	0	1982	34	S	旧基準（補強済）	35.75	14
12	青葉丘幼稚園	1,122.00	4,558.22	0	1970	46	S	旧基準（補強済）	65.11	37
13	津々山台幼稚園	702.50	2,000.01	0	1993	23	S	新基準	26.48	74

※1 敷地のすべてが借地（2,554 ㎡）です。
※2 敷地のすべてが借地（1,755 ㎡）です。

■施設のコスト（単位:円）

No	施設名	光熱水費	燃料費	修繕費	建物管理委託料	使用料及び賃借料	公有財産・備品購入費	年間総コスト
1	富田林幼稚園	1,089,928	36,332	334,584	233,511	6,705,940	0	8,400,295
2	新堂幼稚園	826,913	50,348	37,800	312,699	0	0	1,227,760
3	喜志幼稚園	33,480	34,932	121,806	272,585	0	0	462,803
4	大伴幼稚園	487,780	54,198	0	199,520	0	0	741,498
5	板持幼稚園	195,056	0	0	135,214	0	0	330,270
6	彼方幼稚園	400,842	23,211	403,488	266,480	0	0	1,094,021
7	錦郡幼稚園	569,359	37,696	67,932	272,585	0	0	947,572
8	川西幼稚園	781,559	64,204	329,292	233,511	0	0	1,408,566
9	東条幼稚園	0	0	0	149,223	0	0	149,223
10	伏山台幼稚園	11,208	41,919	0	199,520	0	0	252,647
11	喜志西幼稚園	760,501	38,976	147,096	199,520	0	0	1,146,093
12	青葉丘幼稚園	1,025,598	57,930	146,340	457,670	0	0	1,687,538
13	津々山台幼稚園	866,546	50,610	64,800	199,520	0	0	1,181,476

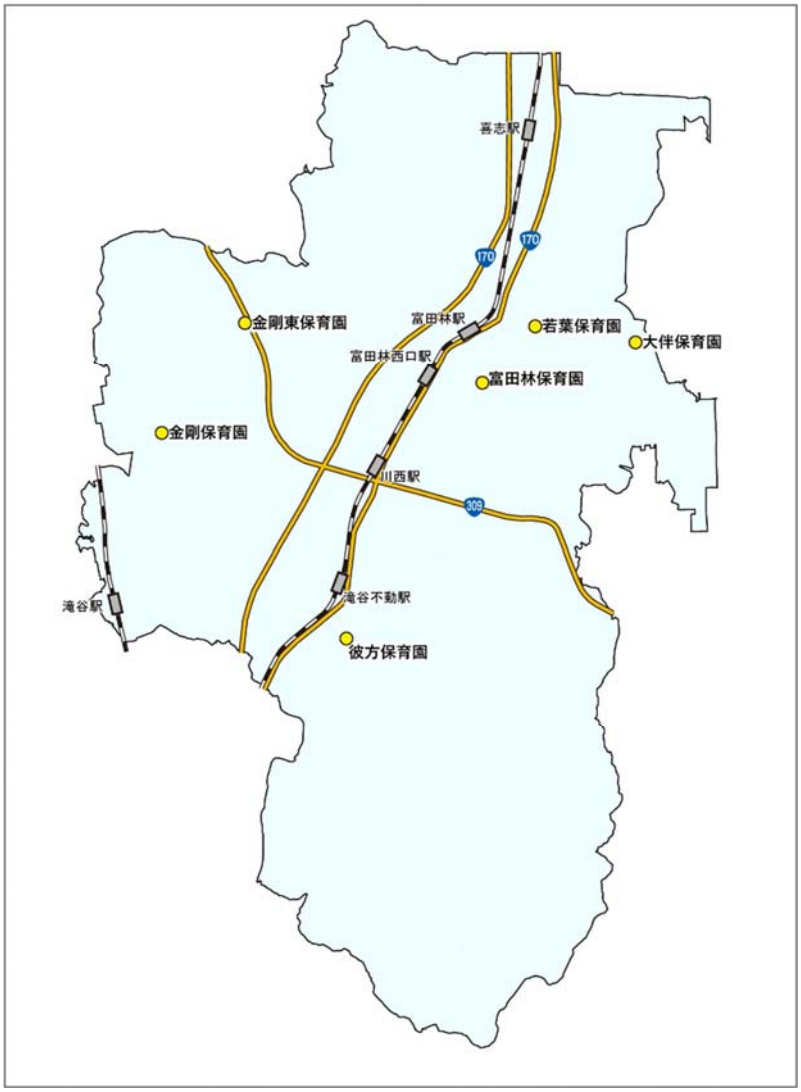
※喜志、大伴、彼方、川西、東条、伏山台幼稚園については、光熱水費の一部または全部を小学校のコストに計上しています。

（10）保育所

■対象施設

小分類	施設名	設置の目的
保育所	保育園(6 園)	保護者の労働又は疾病その他の事由により、その監護すべき乳児、幼児について保育を行うことを目的とする。

■施設配置状況



■施設の概要

No	施設名	延床面積（㎡）	敷地面積（㎡）	駐車可能台数	代表建築年度	築年数（年）	建物構造	耐震性能	劣化度	園児数（人）
1	富田林保育園	541.30	740.48	0	1990	26	S	新基準	32.78	68
2	彼方保育園	736.57	2,304.75	5	1971	45	S	旧基準（補強済）	36.13	103
3	大伴保育園	686.18	1,886.16	3	1968	48	S	旧基準（耐震性能あり）	54.99	103
4	若葉保育園	951.76	3,346.00	7	1969	47	S	旧基準（補強済）	37.96	109
5	金剛保育園	1,731.00	※1	12	1969	47	S	旧基準（補強済）	33.46	243
6	金剛東保育園	995.44	※2	4	1993	23	RC	新基準	37.95	113

※1 敷地のすべてが借地（3,507㎡）です。
※2 敷地のすべてが借地（2,400㎡）です。

■施設のコスト（単位:円）

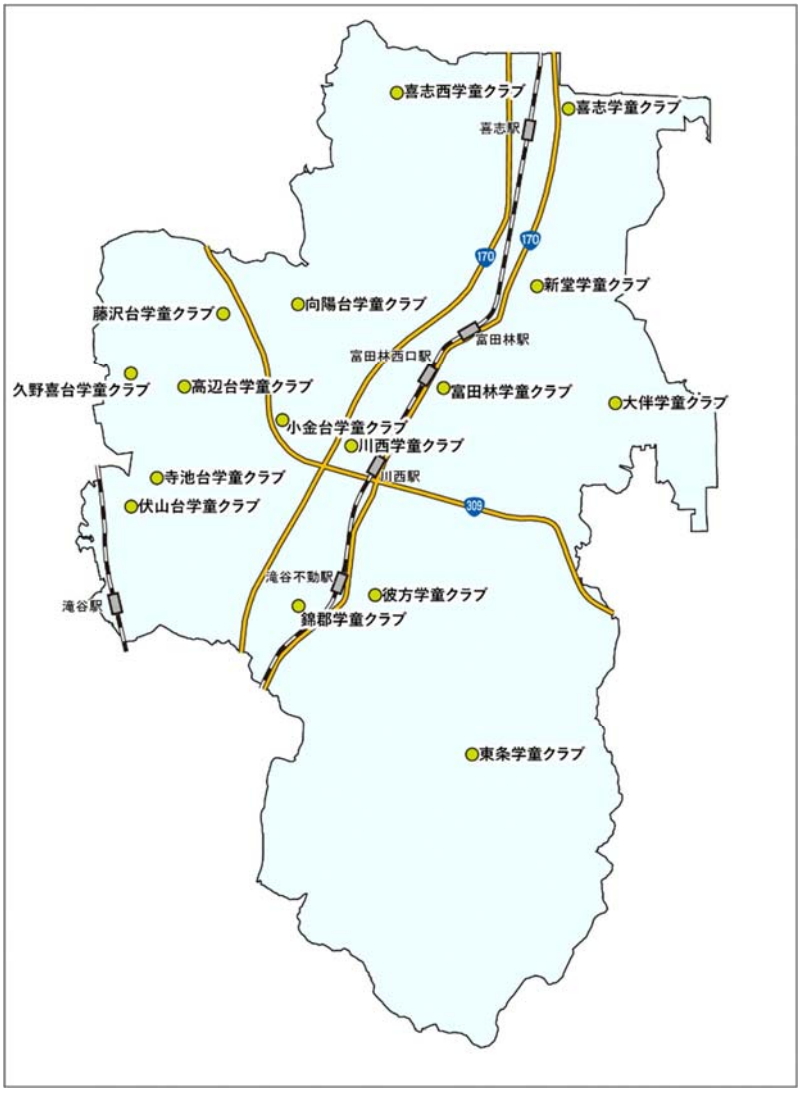
No	施設名	光熱水費	燃料費	修繕費	建物管理委託料	使用料及び賃借料	公有財産・備品購入費	年間総コスト
1	富田林保育園	2,898,499	0	350,006	557,493	351,564	58,766	4,216,328
2	彼方保育園	3,096,483	0	277,836	1,240,183	263,232	91,785	4,969,519
3	大伴保育園	3,168,296	0	392,360	1,362,859	350,104	507,348	5,780,967
4	若葉保育園	4,599,850	0	211,248	836,240	308,760	84,173	6,040,271
5	金剛保育園	7,212,183	0	246,367	2,339,361	520,356	133,621	10,451,888
6	金剛東保育園	4,422,769	0	683,856	873,290	330,972	110,582	6,421,469

（11）児童施設

■対象施設

小分類	施設名	設置の目的
学童クラブ	学童クラブ（16 施設）	小学校に就学している児童であって、その保護者が労働等により昼間家庭にいないものに、授業の終了後に児童厚生施設等の施設を利用して適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図る。

■施設配置状況



■施設の概要

No	施設名	延床面積（㎡）	敷地面積（㎡）	駐車可能台数	代表建築年度	築年数（年）	建物構造	耐震性能	劣化度	児童数（人）
1	富田林学童クラブ	90.00		0	1967	49	RC	旧基準（補強済）	55.47	47
2	新堂学童クラブ	177.00		0	1971	45	RC	旧基準（補強済）	59.63	50
3	喜志学童クラブ	184.20		0	2011	5	S	新基準	7.88	88
4	大伴学童クラブ	98.02		0	2010	6	S	新基準	11.91	49
5	彼方学童クラブ	88.00		0	1981	35	RC	旧基準（補強済）	38.80	21
6	錦郡学童クラブ	148.09		0	2000	16	S	新基準	22.05	61
7	川西学童クラブ	125.44		0	1983	33	S	新基準	32.81	52
8	東条学童クラブ	91.00		0	1974	42	RC	旧基準（補強済）	45.49	20
9	高辺台学童クラブ	85.00	※	0	1975	41	RC	旧基準（耐震性能あり）	50.32	34
10	久野喜台学童クラブ	105.00		0	1968	48	RC	旧基準（補強済）	68.55	58
11	寺池台学童クラブ	236.00		0	1969	47	RC	旧基準（補強済）	57.37	70
12	伏山台学童クラブ	152.86		0	2013	3	S	新基準	7.29	49
13	喜志西学童クラブ	80.00		0	1982	34	S	新基準	48.53	56
14	藤沢台学童クラブ	88.30		0	1983	33	S	新基準	44.45	55
15	小金台学童クラブ	146.62		0	1989	27	S	新基準	31.88	61
16	向陽台学童クラブ	76.75		0	1992	24	S	新基準	31.02	28

※各小学校の敷地を使用しています。

■施設のコスト（単位:円）

No	施設名	光熱水費	燃料費	修繕費	建物管理委託料	使用料及び賃借料	公有財産・備品購入費	年間総コスト
1	富田林学童クラブ	0	0	0	25,116	0	34,560	59,676
2	新堂学童クラブ	0	0	65,340	50,232	0	29,160	144,732
3	喜志学童クラブ	517,464	0	0	25,116	0	119,996	662,576
4	大伴学童クラブ	304,238	0	0	25,116	0	6,522	335,876
5	彼方学童クラブ	48,780	0	56,160	25,116	0	26,114	156,170
6	錦郡学童クラブ	307,262	0	18,360	25,116	0	17,280	368,018
7	川西学童クラブ	62,940	0	0	50,232	0	52,600	165,772
8	東条学童クラブ	60,682	11,242	0	25,116	0	52,670	149,710
9	高辺台学童クラブ	225,372	0	10,584	25,116	0	68,066	329,138
10	久野喜台学童クラブ	0	0	0	25,116	0	0	25,116
11	寺池台学童クラブ	0	30,345	10,800	50,232	0	24,768	116,145
12	伏山台学童クラブ	343,148	0	0	25,116	0	2,138	370,402
13	喜志西学童クラブ	142,049	0	0	25,116	0	0	167,165
14	藤沢台学童クラブ	368,014	0	38,340	25,116	0	0	431,470
15	小金台学童クラブ	494,644	0	0	50,232	0	25,580	570,456
16	向陽台学童クラブ	39,120	0	0	25,116	0	36,180	100,416

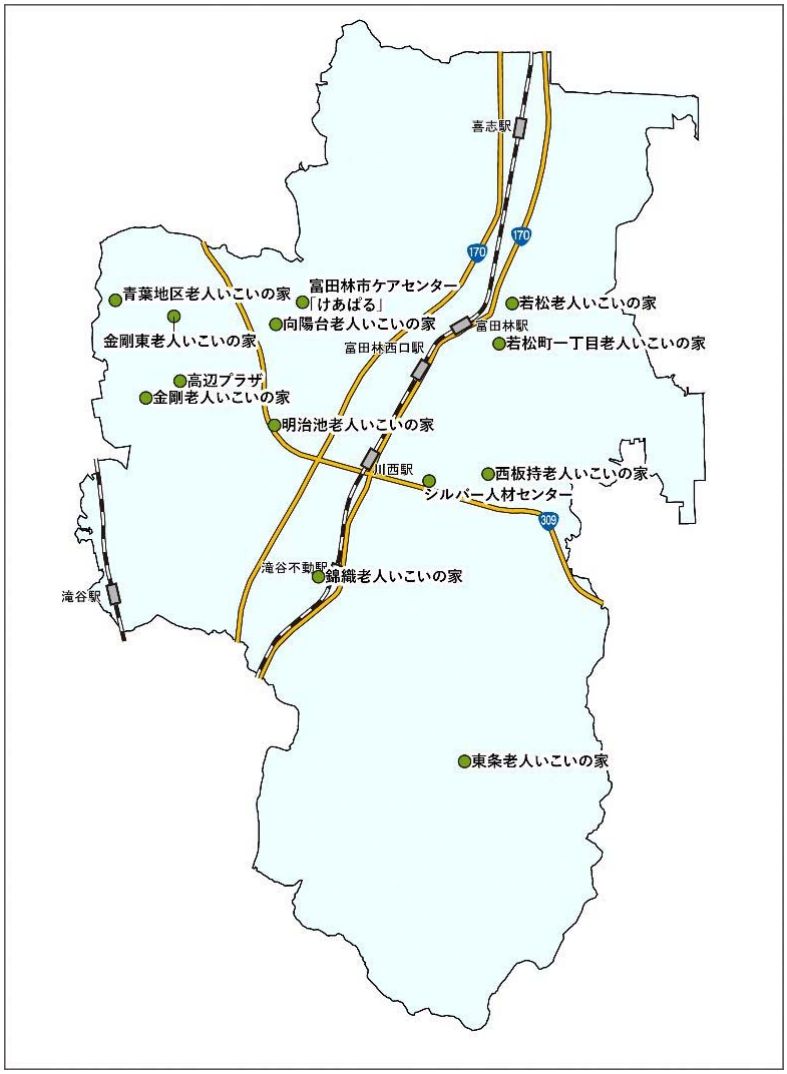
※ 全ての学童クラブにおいて、光熱水費の一部を各小学校のコストに計上しています。

（12）高齢福祉施設

■対象施設

小分類	施設名	設置の目的
シルバー人材センター	シルバー人材センター	
老人いこいの家	老人いこいの家（11 施設）	老人福祉の増進を図る。
富田林市ケアセンター「けあぱる」	富田林市ケアセンター「けあぱる」	【介護老人保健施設】 ・要介護者及び要支援者に対し、介護計画に基づき、看護、医学的管理の下における介護及び機能訓練その他必要な医療並びに日常生活上の世話を行うことにより、その者の有する能力に応じ自立した日常生活を営む事ができるようにするとともに、その者の居宅における生活への復帰を目指すこと。 【健康づくり・世代間交流施設】 ・健康づくり・世代間交流施設（以下「交流センター」という。）は、世代を越えての健康づくり、交流の場を提供し、もって高齢者の保健福祉の増進を図る。

■施設配置状況



■施設の概要

No	施設名	延床面積（㎡）	敷地面積（㎡）	駐車可能台数	代表建築年度	築年数（年）	建物構造	耐震性能	劣化度	年間利用者数（人）
1	シルバー人材センター	310.44	2,239.00	20	1989	27	S	新基準	31.22	8,640
2	若松町一丁目老人いこいの家	324.66	836.18	0	1976	40	W	旧基準	48.45	8,138
3	若松老人いこいの家	250.00	406.61	2	1981	35	RC	新基準	40.31	6,091
4	錦織老人いこいの家	148.09	280.99	1	1980	36	S	旧基準（耐震性能あり）	37.25	4,638
5	東条老人いこいの家	433.44	1,438.81	4	1990	26	RC	新基準	31.21	6,634
6	金剛老人いこいの家	160.00	※1	0	1979	37	S	旧基準（耐震性能あり）	39.50	11,758
7	高辺プラザ	219.00	※2	0	1975	41	RC	旧基準（耐震性能あり）	51.44	3,012
8	金剛東老人いこいの家	314.97	500.00	2	1988	28	S	新基準	38.44	6,071
9	明治池老人いこいの家	299.73	※3	1	1999	17	S	新基準	18.67	4,772
10	向陽台老人いこいの家	290.18	500.00	0	1994	22	S	新基準	25.01	5,011
11	青葉地区老人いこいの家	183.02	※4	0	1936	80	W	旧基準 ※5	82.57	3,701
12	西板持老人いこいの家	328.00	780.23	4	2003	13	S	新基準	15.70	8,824
13	富田林市ケアセンター「けあぱる」	10,819.56	12,048.90	57	1996	20	RC	新基準	25.75	42,148

※1 借地（282.79 ㎡）を除きます。
※2 高辺台小学校敷地を使用しています。
※3 借地（499.75 ㎡）を除きます。
※4 青葉丘幼稚園敷地を使用しています。
※5 耐震診断未実施のため耐震性能は不明です。

■施設のコスト（単位:円）

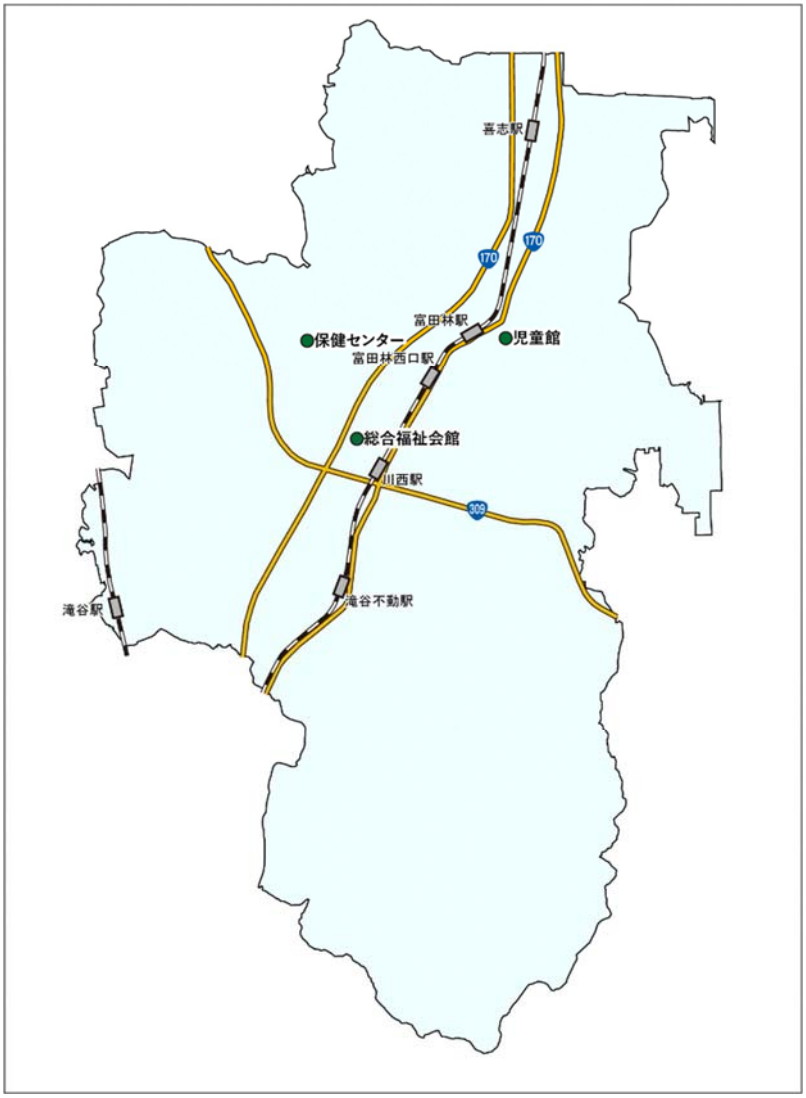
No	施設名	光熱水費	燃料費	修繕費	建物管理委託料	使用料及び賃借料	公有財産・備品購入費	年間総コスト
1	シルバー人材センター	584,892	0	0	0	0	0	584,892
2	若松町一丁目老人いこいの家	449,048	0	0	0	0	0	449,048
3	若松老人いこいの家	467,889	0	422,760	0	0	0	890,649
4	錦織老人いこいの家	337,241	0	18,360	0	0	0	355,601
5	東条老人いこいの家	827,653	0	610,200	0	0	0	1,437,853
6	金剛老人いこいの家	273,493	0	42,984	0	0	15,984	332,461
7	高辺プラザ	121,930	0	0	0	0	0	121,930
8	金剛東老人いこいの家	704,597	0	0	0	0	0	704,597
9	明治池老人いこいの家	553,772	0	7,600	0	0	29,700	591,072
10	向陽台老人いこいの家	577,540	0	185,972	0	0	304,020	1,067,532
11	青葉地区老人いこいの家	184,403	0	150,282	0	0	0	334,685
12	西板持老人いこいの家	791,480	0	50,000	0	0	0	841,480
13	富田林市ケアセンター「けあぱる」	59,654,979	0	4,013,289	47,385,948	0	0	111,054,216

（13）児童福祉施設・保健施設・その他（福祉）

■対象施設

小分類	施設名	設置の目的
児童館	児童館	児童の教育文化の向上を図ると共に健全な育成を期する。
保健センター	保健センター	市民の健康の保持及び増進を図る。住民に対し、健康相談、保健指導及び健康診査その他地域保健に関し必要な事業を行う。
総合福祉会館	総合福祉会館	市民福祉の向上を図る。

■施設配置状況



■施設の概要

No	施設名	延床面積（㎡）	敷地面積（㎡）	駐車可能台数	代表建築年度	築年数（年）	建物構造	耐震性能	劣化度	年間利用者数（人）
1	児童館	1,402.60	1,140.00	29	1970	46	RC	旧基準	63.77	28,548
2	保健センター	1,034.98	1,455.43	182	1987	29	RC	新基準	31.60	15,454
3	総合福祉会館	2,307.95	4,437.60	38	1980	36	RC	旧基準（耐震性能あり）	41.49	105,674

■施設のコスト（単位:円）

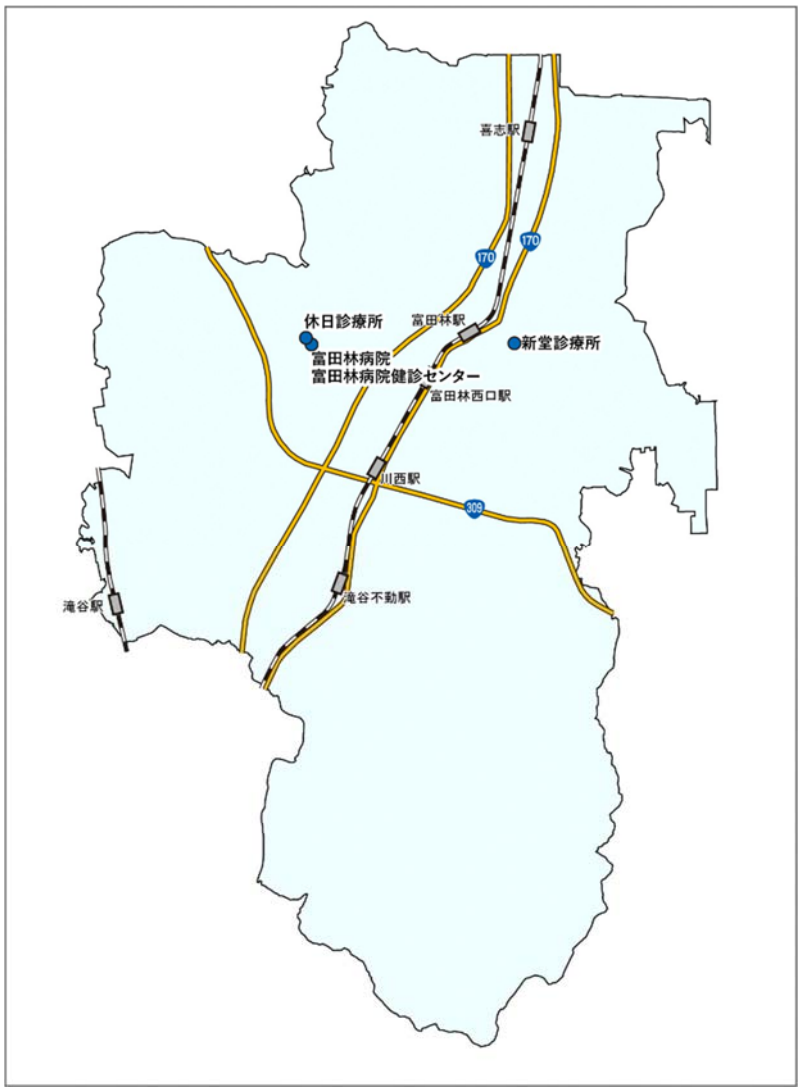
No	施設名	光熱水費	燃料費	修繕費	建物管理委託料	使用料及び賃借料	公有財産・備品購入費	年間総コスト
1	児童館	1,489,852	0	338,244	5,136,286	0	0	6,964,382
2	保健センター	1,438,770	0	151,254	4,190,996	0	0	5,781,020
3	総合福祉会館	9,510,464	0	4,150,069	12,004,488	0	0	25,665,021

（14）医療施設

■対象施設

小分類	施設名	設置の目的
病院	富田林病院	市民の健康保持に必要な医療を提供する。
	富田林病院 健診センター	
診療所	休日診療所	休日において市民に応急的な医療を提供する。
	新堂診療所	

■施設配置状況



■施設の概要

No	施設名	延床面積（㎡）	敷地面積（㎡）	駐車可能台数	代表建築年度	築年数（年）	建物構造	耐震性能	劣化度	年間利用者数（人）
1	富田林病院	11,162.05 ※1	24,621.82	182	1977	39	RC	旧基準（耐震性能あり）	66.27	254,802
2	富田林病院健診センター	552.75	※2		1997	19	S	新基準	33.50	7,671
3	休日診療所	297.47	※3		2012	4	RC	新基準	4.00	2,487
4	新堂診療所	1,210.38	1,131.25	8	1990	26	RC	新基準	30.99	23,385

※1 表記は市所有面積のみです。
※2 富田林病院敷地を使用しています。
※3 保健センター敷地を使用しています。

■施設のコスト（単位:円）

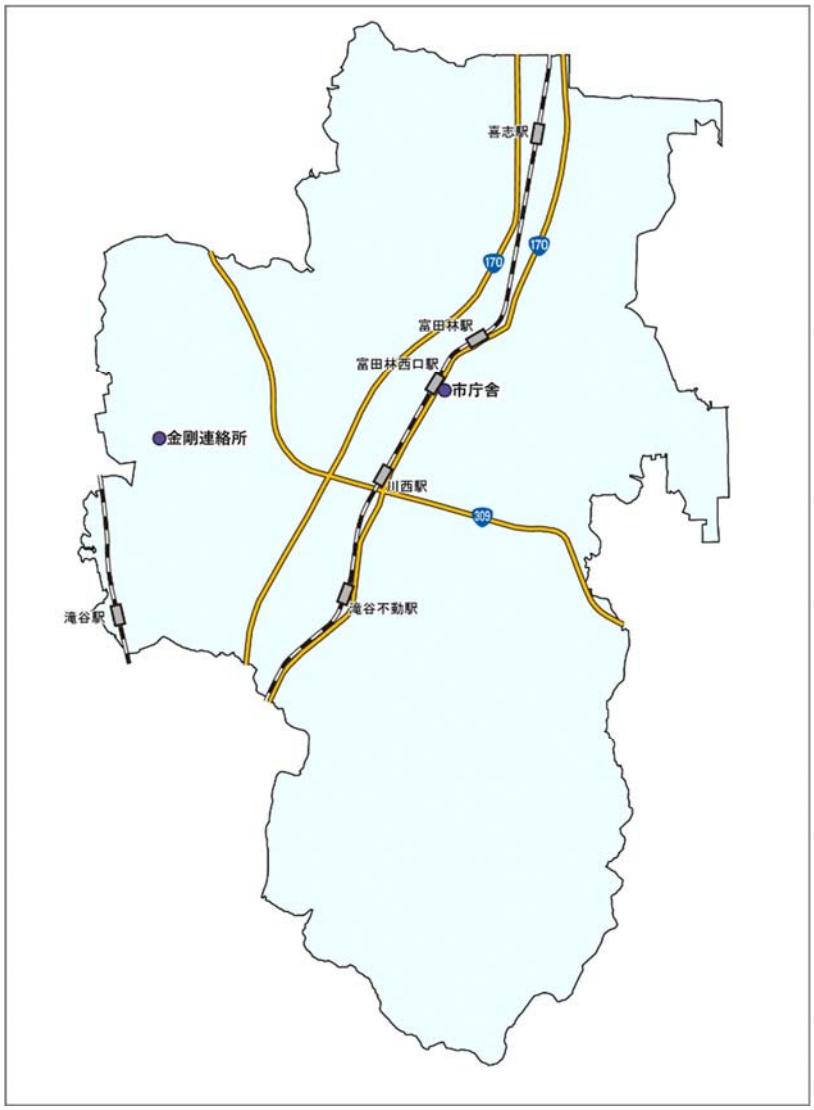
No	施設名	光熱水費	燃料費	修繕費	建物管理委託料	使用料及び賃借料	公有財産・備品購入費	年間総コスト
1	富田林病院	0	0	13,692,000	92,880	0	0	13,784,880
2	富田林病院健診センター							
3	休日診療所	412,172	0	0	445,178	0	0	857,350
4	新堂診療所	0	0	0	0	0	0	0

（15）庁舎等

■対象施設

小分類	施設名	設置の目的
市庁舎	市庁舎	行政上の執務や手続き事務の処理、市民への便宜を図る。
金剛連絡所	金剛連絡所	【金剛連絡所】…金剛団地内及び隣接地域住民の窓口事務の手続を容易にするとともに、要望等の調整連絡を行い、円滑な行政活動を図る。 【ホール】…住民活動及び地域住民の交流の場を提供し、もって市民生活の向上を図る。

■施設配置状況



■施設の概要

No	施設名	延床面積（㎡）	敷地面積（㎡）	駐車可能台数	代表建築年度	築年数（年）	建物構造	耐震性能	劣化度	年間利用者数（人）
1	市庁舎	13,631.89	5,824.29※1	155	1970	46	SRC	旧基準	58.04	143,936
2	金剛連絡所	603.59	460.24	0	2010	6	S	新基準	11.13	37,765

※1：借地（3,027 ㎡）を除きます。

■施設のコスト（単位:円）

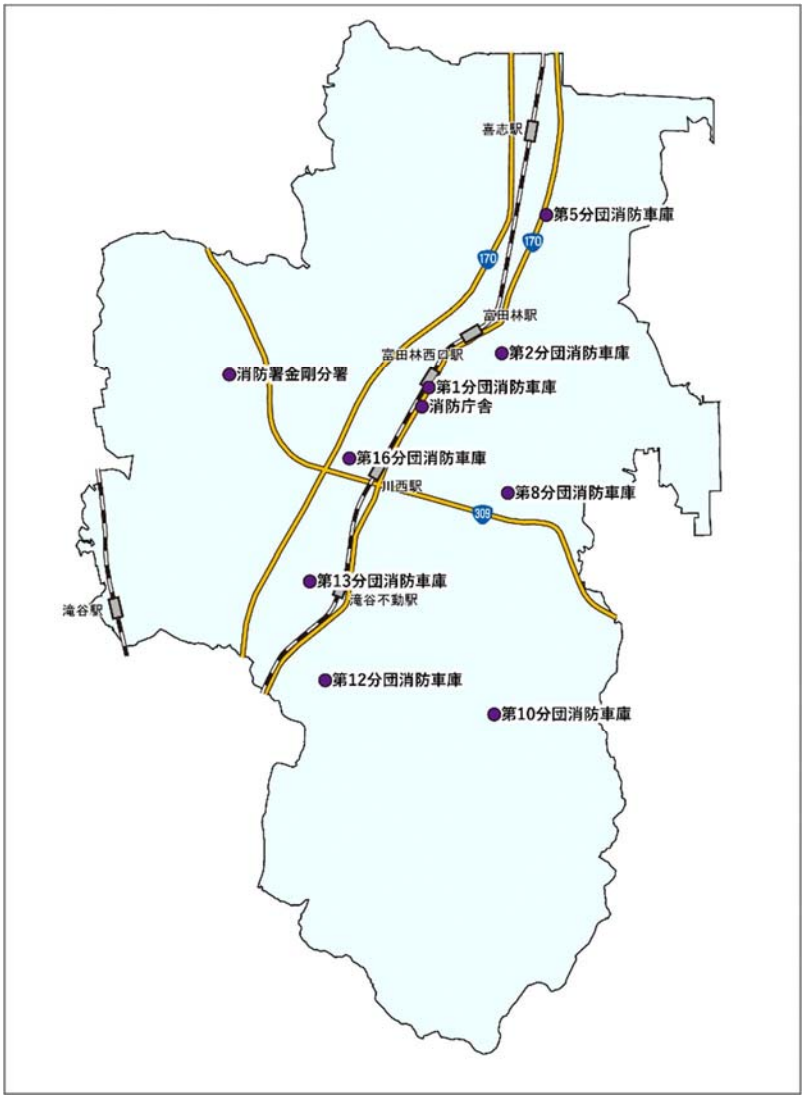
No	施設名	光熱水費	燃料費	修繕費	建物管理委託料	使用料及び賃借料	公有財産・備品購入費	年間総コスト
1	市庁舎	32,344,883	0	3,709,853	36,741,564	27,511,632	2,444,634	102,752,566
2	金剛連絡所	1,672,789	0	182,844	4,776,800	307,160	0	6,939,593

（16）消防施設

■対象施設

小分類	施設名	設置の目的
消防庁舎	消防庁舎	国民の生命、身体及び財産を火災から保護するとともに、水火災又は地震等の災害を防除し、及びこれらの災害による被害を軽減するほか、災害等による傷病者の搬送を適切に行う。
消防署金剛分署	消防署金剛分署	
分団消防車庫	第1,2,5,8,10,12,13,16 分団消防車庫	

■施設配置状況



■施設の概要

No	施設名	延床面積（㎡）	敷地面積（㎡）	駐車可能台数	代表建築年度	築年数（年）	建物構造	耐震性能	劣化度	年間利用者数（人）
1	消防庁舎	5,312.20	2,677.00	7	2003	13	SRC	新基準	15.06	502
2	消防署金剛分署	577.92	935.00	3	1982	34	RC	新基準	36.36	―
3	第1分団消防車庫	69.15	89.24	0	1957	59	S	旧基準	60.39	―
4	第2分団消防車庫	220.66	182.87	0	1975	41	RC	旧基準	45.41	―
5	第5分団消防車庫	69.61	※1	10	2009	7	S	新基準	7.00	―
6	第8分団消防車庫	120.30	※2	3	2005	11	S	新基準	15.70	―
7	第10分団消防車庫	73.40	125.39	0	1982	34	S	新基準	37.70	―
8	第12分団消防車庫	70.83	※3	5	2011	5	S	新基準	5.00	―
9	第13分団消防車庫	88.14	254.54	0	1977	39	S	旧基準（耐震性能あり）	48.12	―
10	第16分団消防車庫	66.72	※4	0	2008	8	S	新基準	8.00	―

注：第 4、第 9、第 14 分団消防車庫は欠番です。また、第 3、第 6、第 7、第 11、第 15、第 17 分団消防車庫は地元管理です。
※1：借地（90.92 ㎡）を除きます。
※2：借地（68.84 ㎡）を除きます。
※3：借地（328.71 ㎡）を除きます。
※4：川西小学校敷地を使用しています。

■施設のコスト（単位:円）

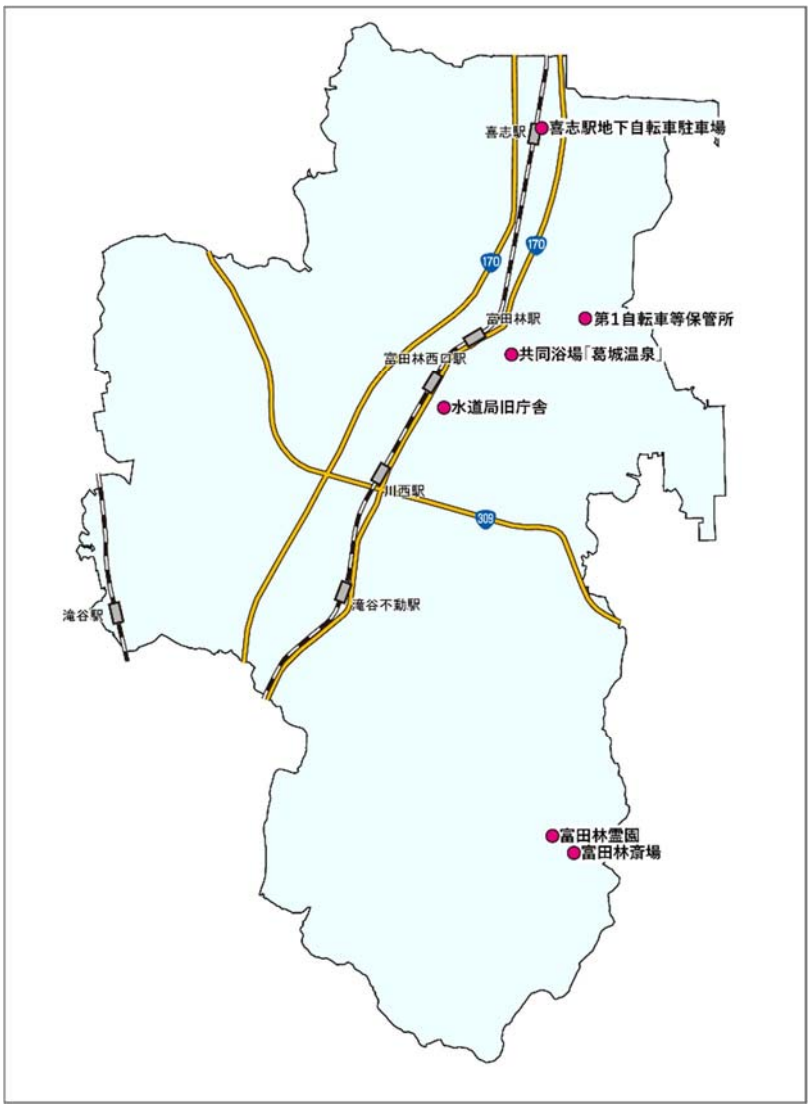
No	施設名	光熱水費	燃料費	修繕費	建物管理委託料	使用料及び賃借料	公有財産・備品購入費	年間総コスト
1	消防庁舎	11,568,712	0	1,592,632	10,346,687	0	0	23,508,031
2	消防署金剛分署	1,429,756	0	0	0	0	0	1,429,756
3	第1分団消防車庫	40,068	0	0	0	0	0	40,068
4	第2分団消防車庫	137,713	0	0	0	0	0	137,713
5	第5分団消防車庫	110,303	0	0	0	0	0	110,303
6	第8分団消防車庫	143,641	0	210,222	0	0	0	353,863
7	第10分団消防車庫	59,995	0	0	0	0	0	59,995
8	第12分団消防車庫	110,197	0	0	0	0	0	110,197
9	第13分団消防車庫	40,416	0	0	0	0	0	40,416
10	第16分団消防車庫	65,512	0	0	0	0	0	65,512

（17）その他

■対象施設

小分類	施設名	設置の目的
富田林斎場	富田林斎場	市民に、火葬および葬儀の場を提供する。
富田林霊園	富田林霊園	市民に広く墳墓を提供する。
駐輪場関連施設	喜志駅 地下自転車駐車場	自転車利用者の利便の増進及び道路交通の安全と円滑化を図る。
	第１自転車等保管所	放置禁止区域内において放置された自転車などを撤去、移送したときに保管する。
共同浴場 「葛城温泉」	共同浴場「葛城温泉」	
水道局旧庁舎	水道局旧庁舎	

■施設配置状況



■施設の概要

No	施設名	延床面積（㎡）	敷地面積（㎡）	駐車可能台数	代表建築年度	築年数（年）	建物構造	耐震性能	劣化度	年間利用者数（人）
1	富田林斎場	2,321.72	8,401.12	37	1993	23	RC	新基準	36.67	1,575
2	富田林霊園	565.30	81,259.00	380	1994	22	RC	新基準	30.29	4,701
3	喜志駅地下自転車駐車場	1,792.80	※1	0	1995	21	RC	新基準	33.60	226,846
4	第1自転車等保管所	363.86	634.94	2	1993	23	S	新基準	35.49	256
5	共同浴場「葛城温泉」	425.67	823.15	0	1973	43	S	旧基準（耐震性能あり）	59.72	34,972
6	水道局旧庁舎	255.14	309.37	2	1980	36	S	旧基準 ※2	59.32	3,358

※1 借地（235.98 ㎡）及び道路用地（1556.82 ㎡）です。
※2 耐震診断未実施のため耐震性能は不明です。

■施設のコスト（単位:円）

No	施設名	光熱水費	燃料費	修繕費	建物管理委託料	使用料及び賃借料	公有財産・備品購入費	年間総コスト
1	富田林斎場	6,665,519	8,471,857	9,700,614	22,387,236	0	166,228	47,391,454
2	富田林霊園	2,368,343	0	411,642	16,895,266	0	0	19,675,251
3	喜志駅地下自転車駐車場	2,284,451	0	9,720	13,693,045	226,560	0	16,213,776
4	第1自転車等保管所	128,409	0	0	3,450,858	0	0	3,579,267
5	共同浴場「葛城温泉」	3,072,448	3,648,823	600,102	203,038	0	0	7,524,411
6	水道局旧庁舎	0	0	0	0	0	0	0

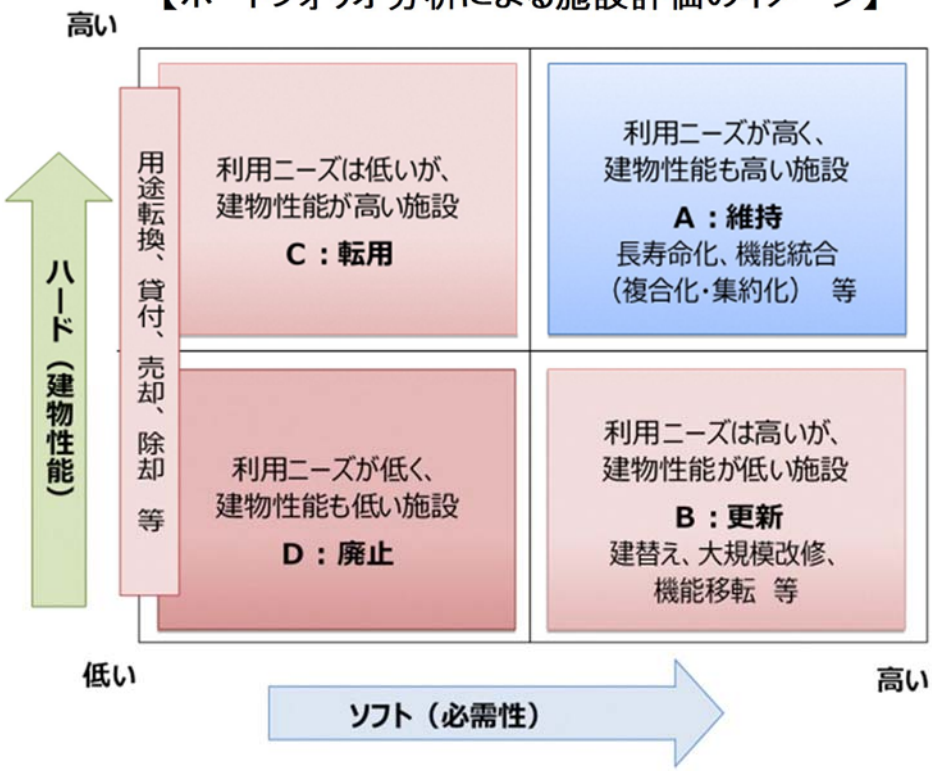
2 公共施設の評価（1 次評価）

（1）1 次評価の考え方

各施設についてポートフォリオ分析により、維持・更新・転用・廃止の客観的評価を行います。この評価は、今後の公共施設の方向性を検討する基礎情報とし、個別施設についての課題整理を行う 2 次評価につなげるものです。

・タテ軸で「ハード（建物性能）」：建物や敷地の状況の評価
・ヨコ軸で「ソフト（必需性）」：コストやアクセス性、稼働状況の評価

【ポートフォリオ分析による施設評価のイメージ】



1） ハード（建物性能）・ソフト（必需性）の評価内容

各評価内容については、公共施設の再配置を検討する上で一般的に考慮する項目に加え、市民アンケート調査の結果、「市総合ビジョンおよび総合基本計画」に示される施策内容も参考にしながら設定したものであり、評価点の算出に当たっては、評価内容毎に「重付係数」を設け、市として重視するポイントを明確にしています。

① ハード（建物性能）の重付係数

公共施設のハード面を評価する上では、建物の健全性が重要であることから、これに関する項目の重付係数を最も高く設定し、以下、災害発生時の安全性等の敷地状況、施設規模に関する拠点性状況、バリアフリー・省資源エネルギー対策の順に重付係数を設定しています。

評価項目	評価内容	重付係数
建物状況	・法定耐用年数に対する経過年数	5
	・構造体の耐震安全性	5
	・劣化度調査結果	5
	・バリアフリー新法への対応性	1
	・省資源エネルギー（太陽光発電設備の有無）	1
敷地状況	・借地の有無	2
	・土砂災害の回避性（土砂災害警戒区域の該当の有無）	2
	・浸水災害の回避性（浸水想定区域の該当の有無）	2
拠点性状況	・延床面積	2

② ソフト（必需性）の重付係数

公共施設のソフト面を評価する上では、いかに市民に利用されているかが重要であることから、稼働状況の重付係数を最も高く設定し、以下、市民アンケートで重要視されていたアクセス状況、コスト状況の順に重付係数を設定しています。

評価項目	評価内容	重付係数
コスト状況	・延床面積 1 ㎡当たりの年間総コスト（※）	7
アクセス状況	・大量輸送交通機関からの利便性（バス停からの距離）	2
	・大量輸送交通機関からの利便性（鉄道駅からの距離）	4
	・駐車場の確保	2
稼働状況	・稼働状況（延床面積に対する利用者数）	10

※総コスト…光熱水費、燃料費、修繕費、建物管理委託料、使用料及び賃借料、公有財産・備品購入費の合計（人件費・指定管理料・工事請負費は含まない）です。

2）1 次評価内容一覧

1 次評価の評価項目・内容、評価区分、重付係数等を整理した 1 次評価項目表を次ページに示します。

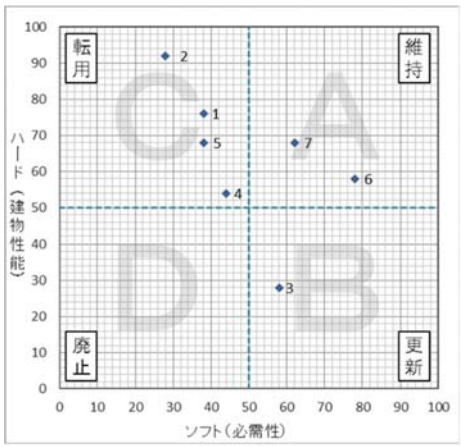
【1 次評価項目表】

	評価項目		評価内容		評価区分(a)　※配点4点 0点	2点	4点	重付係数(b)	評価点(a)×(b)
ハード（建物性能）	建物状況	1	経過年数	法定耐用年数に対する経過年数	築年数が法定耐用年数の75%以上	築年数が法定耐用年数の50%以上75%未満	築年数が法定耐用年数の50%未満	5	20
		2	安全性	構造体の耐震安全性	耐震診断未実施または耐震補強未実施	-	耐震診断不要または耐震補強実施済	5	20
		3		劣化度調査結果	施設類型平均の130%以上	施設類型平均の70%以上130%未満	施設類型平均の70%未満	5	20
		4	バリアフリー化	バリアフリー新法への対応性	バリアフリー新法の建築物移動等円滑化基準(最低限のレベル)を満たしていない	バリアフリー新法の建築物移動等円滑化基準(最低限のレベル)を満たしている	バリアフリー新法の建築物移動等円滑化誘導基準(望ましいレベル)を満たしている	1	4
		5	資源循環性	省資源エネルギー	自然エネルギー活用の取組が採用されていない	-	自然エネルギー活用の取組が採用されている	1	4
	小計(c)								68
	敷地状況	6	借地の有無		借地・一部借地	-	借地無し	2	8
		7	災害からの回避性	土砂災害の回避性	土砂災害の恐れのある特別警戒区域または警戒区域に該当している	-	土砂災害の恐れのある警戒区域・特別警戒区域の両区域にも該当していない	2	8
		8		浸水災害の回避性	浸水想定区域に該当している	-	浸水想定区域に該当していない	2	8
	小計(d)								24
	拠点性状況	9	施設規模	延床面積	施設類型平均の70%未満	施設類型平均の70%以上130%未満	施設類型平均の130%以上	2	8
	小計(e)								8
ハード合計(f)＝(c)＋(d)＋(e)									100
ソフト（必需性）	コスト状況	10	○延床面積1㎡当たりの年間総コスト＝総コスト/延床面積		施設類型平均の130%以上	施設類型平均の70%以上130%未満	施設類型平均の70%未満	7	28
	アクセス状況	11	立地特性	大量輸送交通機関からの利便性	最寄りのバス停から500m以上離れている	最寄りのバス停から500m圏内	最寄りのバス停から200m圏内	2	8
		12		大量輸送交通機関からの利便性	鉄道最寄り駅から1000m以上離れている	鉄道最寄り駅から1000m圏内	鉄道最寄り駅から500m圏内	4	16
		13		駐車場の確保	施設類型平均未満	-	施設類型平均以上	2	8
	稼動状況	14	○稼働状況＝学校：生徒数/延床面積 その他：利用者数/延床面積		施設類型平均の50%未満	施設類型平均の50%以上130%未満	施設類型平均の130%以上	10	40
	小計(g)								100
ソフト合計(g)									100
総合計(h)＝(f)＋(g)									200

※項目が不明な場合：2点

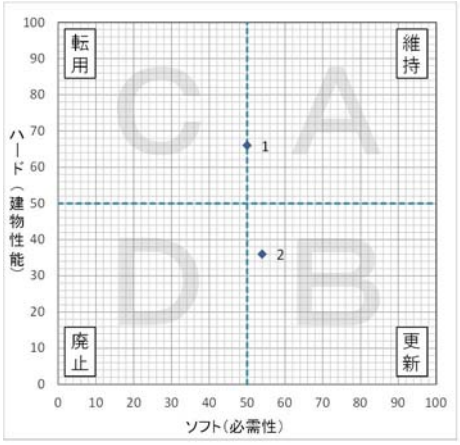
（2）評価結果

1）集会施設



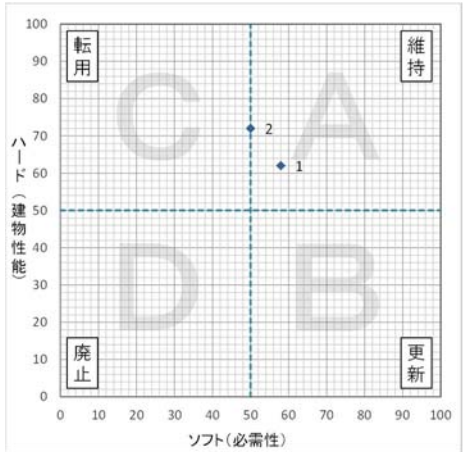
施設名称	ハード（建物性能）【点】				ソフト（必需性）【点】				総合計	施設分類内順位
	建物	敷地	拠点	ハード計	コスト	アクセス	稼働	ソフト計		
1 すばるホール	44	24	8	76	14	24	0	38	114	4
2 コミュニティセンター「かがりの郷」	64	24	4	92	0	8	20	28	120	3
3 福祉青少年センター	4	24	0	28	14	24	20	58	86	7
4 高辺台集会所	30	24	0	54	28	16	0	44	98	6
5 東公民館	44	24	0	68	14	4	20	38	106	5
6 中央公民館	34	24	0	58	14	24	40	78	136	1
7 金剛公民館	44	24	0	68	14	8	40	62	130	2

2）文化施設



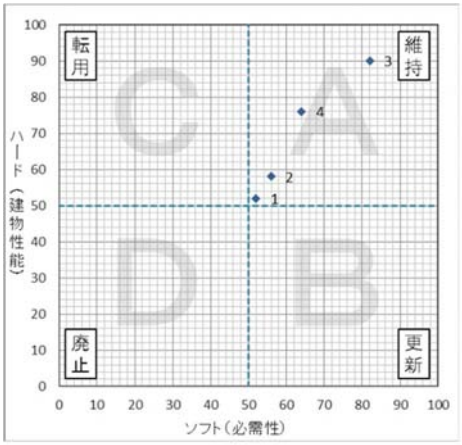
施設名称	ハード（建物性能）【点】				ソフト（必需性）【点】				総合計	施設分類内順位
	建物	敷地	拠点	ハード計	コスト	アクセス	稼働	ソフト計		
1 市民会館「レインボーホール」	34	24	8	66	14	16	20	50	116	1
2 人権文化センター	12	24	0	36	14	20	20	54	90	2

3）図書館



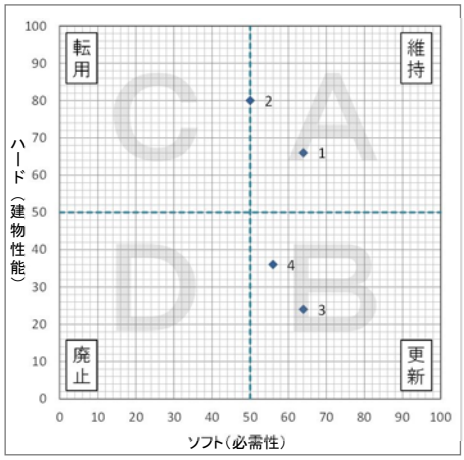
施設名称	ハード（建物性能）【点】				ソフト（必需性）【点】				総合計	施設分類内順位
	建物	敷地	拠点	ハード計	コスト	アクセス	稼働	ソフト計		
1 中央図書館	34	24	4	62	14	24	20	58	120	2
2 金剛図書館	44	24	4	72	14	16	20	50	122	1

4）歴史文化施設



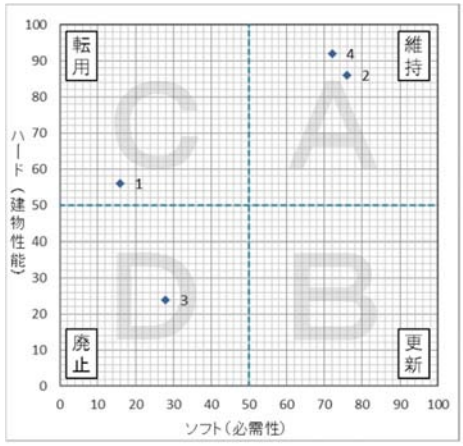
施設名称		ハード（建物性能）【点】				ソフト（必需性）【点】				総合計	施設分類内順位
		建物	敷地	拠点	ハード計	コスト	アクセス	稼働	ソフト計		
1	埋蔵文化財センター	20	24	8	52	28	24	0	52	104	4
2	寺内町センター	30	24	4	58	28	28	0	56	114	3
3	じないまち交流館	62	24	4	90	14	28	40	82	172	1
4	じないまち展望広場	52	24	0	76	0	24	40	64	140	2

5）スポーツ施設



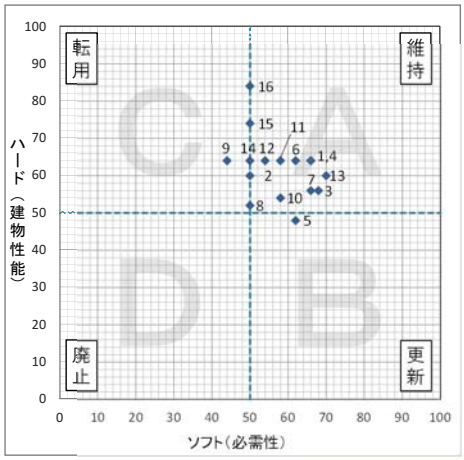
施設名称		ハード（建物性能）【点】				ソフト（必需性）【点】				総合計	施設分類内順位
		建物	敷地	拠点	ハード計	コスト	アクセス	稼働	ソフト計		
1	市民総合体育館	34	24	8	66	28	16	20	64	130	1
2	総合スポーツ公園	52	24	4	80	14	16	20	50	130	1
3	青少年スポーツホール	0	24	0	24	28	16	20	64	88	4
4	市民プール「アクアパークきらめき」（管理棟）	12	24	0	36	0	16	40	56	92	3

6）レクリエーション・観光施設



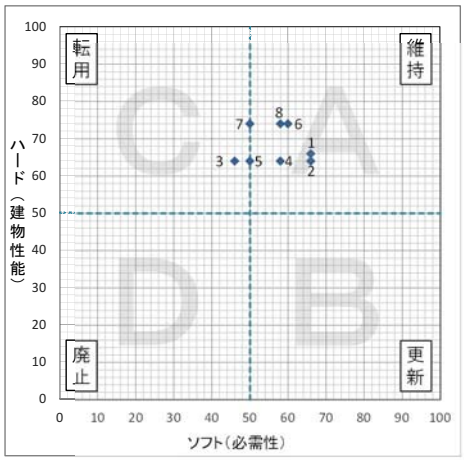
施設名称		ハード（建物性能）【点】				ソフト（必需性）【点】				総合計	施設分類内順位
		建物	敷地	拠点	ハード計	コスト	アクセス	稼働	ソフト計		
1	農業公園「サバーファーム」	32	16	8	56	0	16	0	16	72	3
2	にこにこ市場	62	24	0	86	28	8	40	76	162	2
3	青少年教育キャンプ場	0	24	0	24	28	0	0	28	52	4
4	観光交流施設きらめきファクトリー	68	24	0	92	28	24	20	72	164	1

7）小学校



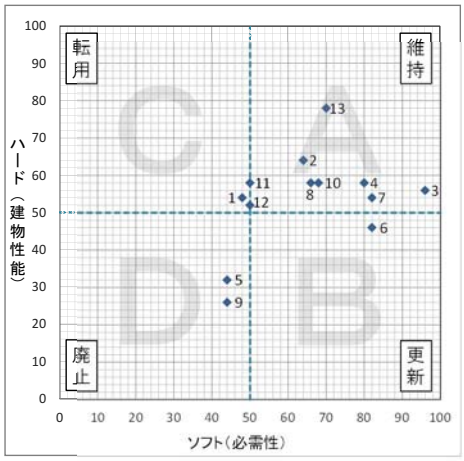
	施設名称	ハード（建物性能）【点】				ソフト（必需性）【点】				総合計	施設分類内順位
		建物	敷地	拠点	ハード計	コスト	アクセス	稼働	ソフト計		
1	富田林小学校	36	24	4	64	14	32	20	66	130	2
2	新堂小学校	36	16	8	60	14	16	20	50	110	13
3	喜志小学校	36	16	4	56	0	28	40	68	124	6
4	大伴小学校	36	24	4	64	14	12	40	66	130	2
5	彼方小学校	36	8	4	48	14	28	20	62	110	13
6	錦郡小学校	36	24	4	64	14	28	20	62	126	5
7	川西小学校	36	16	4	56	14	32	20	66	122	8
8	東条小学校	36	16	0	52	14	16	20	50	102	16
9	高辺台小学校	36	24	4	64	28	16	0	44	108	15
10	久野喜台小学校	26	24	4	54	14	24	20	58	112	12
11	寺池台小学校	36	24	4	64	14	24	20	58	122	8
12	伏山台小学校	36	24	4	64	14	20	20	54	118	10
13	喜志西小学校	36	24	0	60	14	16	40	70	130	2
14	藤沢台小学校	36	24	4	64	14	16	20	50	114	11
15	小金台小学校	46	24	4	74	14	16	20	50	124	6
16	向陽台小学校	56	24	4	84	14	16	20	50	134	1

8）中学校



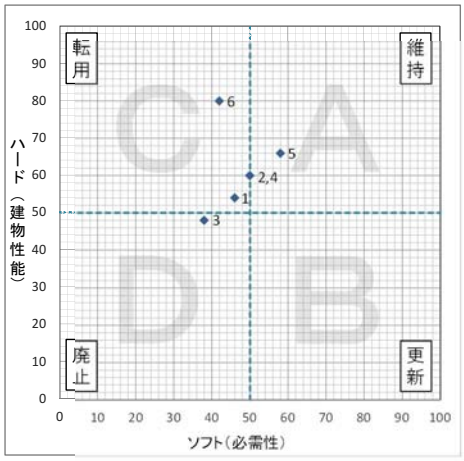
	施設名称	ハード（建物性能）【点】				ソフト（必需性）【点】				総合計	施設分類内順位
		建物	敷地	拠点	ハード計	コスト	アクセス	稼働	ソフト計		
1	第一中学校	38	24	4	66	14	32	20	66	132	2
2	第二中学校	36	24	4	64	14	32	20	66	130	4
3	第三中学校	36	24	4	64	14	12	20	46	110	8
4	金剛中学校	36	24	4	64	14	24	20	58	122	6
5	葛城中学校	36	24	4	64	14	16	20	50	114	7
6	喜志中学校	46	24	4	74	0	20	40	60	134	1
7	藤陽中学校	46	24	4	74	14	16	20	50	124	5
8	明治池中学校	46	24	4	74	14	24	20	58	132	2

9）幼稚園



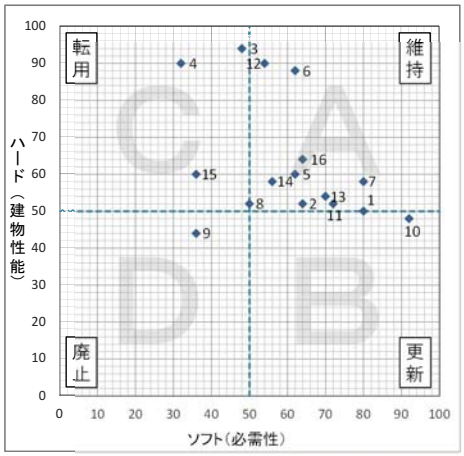
施設名称		ハード（建物性能）【点】				ソフト（必需性）【点】				総合計	施設分類内順位
		建物	敷地	拠点	ハード計	コスト	アクセス	稼働	ソフト計		
1	富田林幼稚園	30	16	8	54	0	28	20	48	102	10
2	新堂幼稚園	32	24	8	64	28	16	20	64	128	5
3	喜志幼稚園	32	24	0	56	28	28	40	96	152	1
4	大伴幼稚園	30	24	4	58	28	12	40	80	138	3
5	板持幼稚園	12	16	4	32	28	16	0	44	76	12
6	彼方幼稚園	30	16	0	46	14	28	40	82	128	5
7	錦郡幼稚園	30	24	0	54	14	28	40	82	136	4
8	川西幼稚園	30	24	4	58	14	32	20	66	124	8
9	東条幼稚園	10	16	0	26	28	16	0	44	70	13
10	伏山台幼稚園	30	24	4	58	28	20	20	68	126	7
11	喜志西幼稚園	30	24	4	58	14	16	20	50	108	9
12	青葉丘幼稚園	20	24	8	52	14	16	20	50	102	10
13	津々山台幼稚園	50	24	4	78	14	16	40	70	148	2

10）保育所



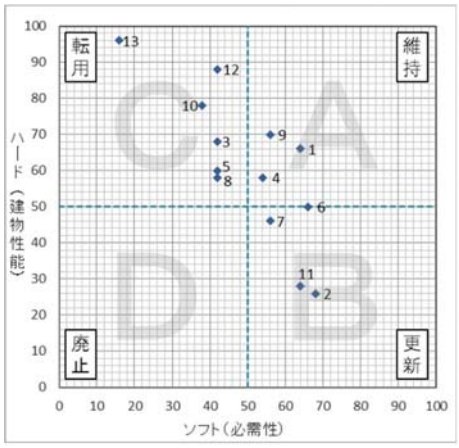
施設名称		ハード（建物性能）【点】				ソフト（必需性）【点】				総合計	施設分類内順位
		建物	敷地	拠点	ハード計	コスト	アクセス	稼働	ソフト計		
1	富田林保育園	30	24	0	54	14	12	20	46	100	5
2	彼方保育園	32	24	4	60	14	16	20	50	110	3
3	大伴保育園	20	24	4	48	14	4	20	38	86	6
4	若葉保育園	32	24	4	60	14	16	20	50	110	3
5	金剛保育園	34	24	8	66	14	24	20	58	124	1
6	金剛東保育園	52	24	4	80	14	8	20	42	122	2

11）児童施設



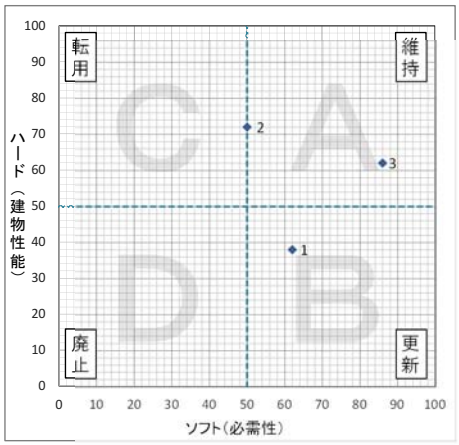
	施設名称	ハード（建物性能）【点】				ソフト（必需性）【点】				総合計	施設分類内順位
		建物	敷地	拠点	ハード計	コスト	アクセス	稼働	ソフト計		
1	富田林学童クラブ	22	24	4	50	28	32	20	80	130	6
2	新堂学童クラブ	20	24	8	52	28	16	20	64	116	12
3	喜志学童クラブ	62	24	8	94	0	28	20	48	142	3
4	大伴学童クラブ	62	24	4	90	0	12	20	32	122	10
5	彼方学童クラブ	40	16	4	60	14	28	20	62	122	10
6	錦郡学童クラブ	60	24	4	88	14	28	20	62	150	1
7	川西学童クラブ	30	24	4	58	28	32	20	80	138	5
8	東条学童クラブ	32	16	4	52	14	16	20	50	102	14
9	高辺台学童クラブ	20	24	0	44	0	16	20	36	80	16
10	久野喜台学童クラブ	20	24	4	48	28	24	40	92	140	4
11	寺池台学童クラブ	20	24	8	52	28	24	20	72	124	8
12	伏山台学童クラブ	62	24	4	90	14	20	20	54	144	2
13	喜志西学童クラブ	30	24	0	54	14	16	40	70	124	8
14	藤沢台学童クラブ	30	24	4	58	0	16	40	56	114	13
15	小金台学童クラブ	32	24	4	60	0	16	20	36	96	15
16	向陽台学童クラブ	40	24	0	64	28	16	20	64	128	7

12）高齢福祉施設



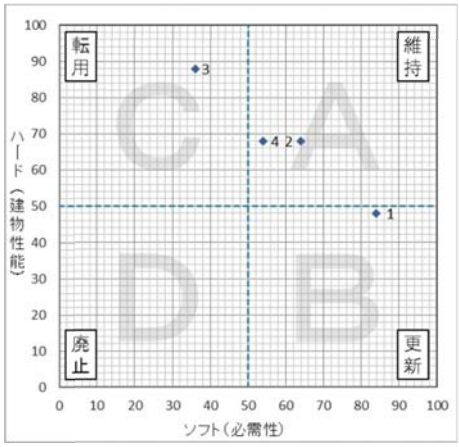
	施設名称	ハード（建物性能）【点】				ソフト（必需性）【点】				総合計	施設分類内順位
		建物	敷地	拠点	ハード計	コスト	アクセス	稼働	ソフト計		
1	シルバー人材センター	42	24	0	66	28	16	20	64	130	1
2	若松町一丁目老人いこいの家	2	24	0	26	28	20	20	68	94	12
3	若松老人いこいの家	44	24	0	68	14	8	20	42	110	8
4	錦織老人いこいの家	34	24	0	58	14	20	20	54	112	6
5	東条老人いこいの家	44	16	0	60	14	8	20	42	102	9
6	金剛老人いこいの家	34	16	0	50	14	12	40	66	116	4
7	高辺プラザ	22	24	0	46	28	8	20	56	102	9
8	金剛東老人いこいの家	34	24	0	58	14	8	20	42	100	11
9	明治池老人いこいの家	54	16	0	70	28	8	20	56	126	3
10	向陽台老人いこいの家	54	24	0	78	14	4	20	38	116	4
11	青葉地区老人いこいの家	4	24	0	28	28	16	20	64	92	13
12	西板持老人いこいの家	64	24	0	88	14	8	20	42	130	1
13	富田林市ケアセンター「けあぱる」	64	24	8	96	0	16	0	16	112	6

13）児童福祉説・保健施設・その他（福祉）



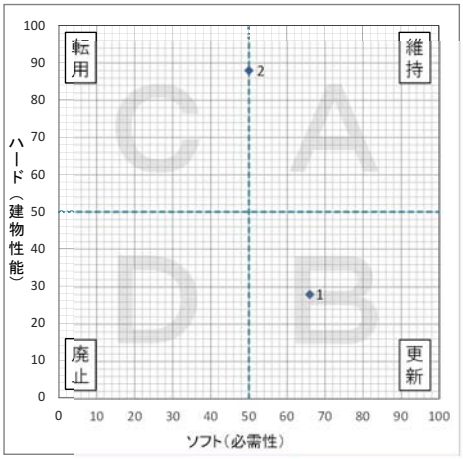
	施設名称	ハード（建物性能）【点】				ソフト（必需性）【点】				総合計	施設分類内順位
		建物	敷地	拠点	ハード計	コスト	アクセス	稼働	ソフト計		
1	児童館	10	24	4	38	14	28	20	62	100	3
2	保健センター	44	24	4	72	14	16	20	50	122	2
3	総合福祉会館	34	24	4	62	14	32	40	86	148	1

14）医療施設



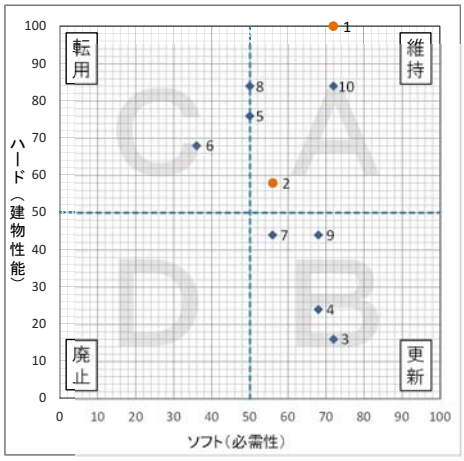
	施設名称	ハード（建物性能）【点】				ソフト（必需性）【点】				総合計	施設分類内順位
		建物	敷地	拠点	ハード計	コスト	アクセス	稼働	ソフト計		
1	富田林病院	24	16	8	48	28	16	40	84	132	1
2	富田林病院健診センター	52	16	0	68	28	16	20	64	132	1
3	休日診療所	64	24	0	88	0	16	20	36	124	3
4	新堂診療所	44	24	0	68	14	20	20	54	122	4

15）庁舎等



	施設名称	ハード（建物性能）【点】				ソフト（必需性）【点】				総合計	施設分類内順位
		建物	敷地	拠点	ハード計	コスト	アクセス	稼働	ソフト計		
1	市庁舎	4	16	8	28	14	32	20	66	94	2
2	金剛連絡所	64	24	0	88	14	16	20	50	138	1

16）消防施設



	施設名称	ハード（建物性能）【点】				ソフト（必需性）【点】				総合計	施設分類内順位
		建物	敷地	拠点	ハード計	コスト	アクセス	稼働	ソフト計		
1	消防庁舎	68	24	8	100	0	32	40	72	172	1
2	消防署金剛分署	30	24	4	58	0	16	40	56	114	5
3	第1分団消防車庫	0	16	0	16	28	24	20	72	88	10
4	第2分団消防車庫	0	24	0	24	28	20	20	68	92	9
5	第5分団消防車庫	60	16	0	76	14	16	20	50	126	4
6	第8分団消防車庫	60	8	0	68	0	16	20	36	104	7
7	第10分団消防車庫	20	24	0	44	28	8	20	56	100	8
8	第12分団消防車庫	60	24	0	84	14	16	20	50	134	3
9	第13分団消防車庫	20	24	0	44	28	20	20	68	112	6
10	第16分団消防車庫	60	24	0	84	28	24	20	72	156	2

17）その他

ポートフォリオ分析については、類似目的の施設同士のコスト状況や稼働状況等を比較することにより、その結果を得ていますが、「17）その他」については、どの施設分類にも属さない施設を括る分類であるため、評価対象外としています。

	施設名称
1	富田林斎場
2	富田林霊園
3	喜志駅地下自転車駐車場
4	第1自転車等保管所
5	共同浴場「葛城温泉」
6	水道局旧庁舎

3 公共施設の評価（2 次評価）

（1）2 次評価の考え方

1 次評価では、定量的な要素に基づくポートフォリオ分析により、維持・更新・転用・廃止の客観的評価を行い、続く 2 次評価では、1 次評価では勘案されていない定性的な要素について整理します。

◆2 次評価について

評価項目	評 価 判 定	
公共サービスとしての必要性	●基本的要件 ①法律等により設置義務の位置付けがあるか ②上位･関連計画の位置付けがあるか	➡要件のない施設についての廃止又は用途転換を検討
	●民間サービスによる代替可能性 ①同じ利用圏域で既に民間でサービスが提供されているか ②民間への補助等により、サービスの代替が可能か	➡代替可能性が高いと判断される施設の機能の廃止又は民間への譲渡を検討
	●地元･市民への移管可能性 ①既に自治会、町内会等、市民が管理･運営等をしているか ②自治会、町内会等、市民への移管が可能か	➡移管可能性が高いと判断される施設の譲渡を検討
機能統合と広域連携の可能性	●機能統合の可能性 ①主な機能が重複する施設について共存できるものであるか ②主な利用者が重複する施設について互換が可能であるか ③周辺他施設との立地状況がどのようになっているのか	➡可能と判断される施設の機能統合を検討
	●広域連携の可能性 他自治体において主な機能が重複する施設があり、連携（維持･管理･運営）が可能か	➡可能と判断される施設の広域連携を検討

◆評価判定の見方

評価項目	評価判定	
公共サービスとしての必要性	●基本的要件	
	① 法律等により設置義務の位置付けがあるか	○：義務付けがある ×：義務付けはない ・法律等により市町村に設置が義務付けられている施設。
	② 上位・関連計画の位置付けがあるか	○：位置付けがある ×：位置付けはない ・「総合ビジョンおよび総合基本計画」や「まち・ひと・しごと総合戦略」に施設名を挙げた位置付けや重要業績評価指標（KPI）のある施設。 ・関連計画で再配置に関する方向性が既に整理されている施設。
	●民間サービスによる代替可能性	
	① 同じ利用圏域で既に民間でサービスが供給されているか	○：供給されている ×：供給されていない
	② 民間への補助等により、サービスの代替が可能か	○：代替の可能性がある ×：代替は困難である
	●地元・市民への移管可能性	
	① 既に自治会、町内会等、市民が管理・運営等をしているか	○：している ×：していない
	② 自治会、町内会等、市民への移管が可能か	○：移管の可能性がある ×：移管は困難である
機能統合と広域連携の可能性	●機能統合	
	① 重複する機能を有する施設について、共存できるものであるか ② 利用者が重複する施設について互換が可能であるか ③ 周辺他施設との立地状況がどのようになっているのか	半径 500m圏内に、設置の目的は異なるが、機能または主な利用者が概ね同じと考えられる施設がある場合に、機能統合を検討
	●広域連携 他自治体において主な機能が重複する施設があり、連携（維持・管理・運営）が可能か	○：広域連携の可能性がある ×：広域連携は困難

（2）評価結果

1）公共サービスとしての必要性

公共サービスとしての必要性についての評価結果を、以下に示します。

公共サービスとしての必要性（１／３）

施設名	基本的要件		民間サービスによる代替性		指定管理	地元等への移管可能性	
	①法律等の義務	②上位・関連計画	①利用圏域内での民間サービス供給	②補助等による民間への代替可能性		①自治会等による管理・運営の有無	②自治会等への移管可能性
すばるホール	×	○	×	×	○	×	×
コミュニティセンター「かがりの郷」	×	×	×	×	○	×	×
福祉青少年センター	×	×	×	×	－	×	×
高辺台集会所	×	×	×	×	－	○	○
東公民館	×	○	×	×	－	×	×
中央公民館	×	○	×	×	－	×	×
金剛公民館	×	○	×	×	－	×	×
市民会館「レインボーホール」	×	○	×	×	○	×	×
人権文化センター	×	○	×	×	－	×	×
中央図書館	×	○	×	×	－	×	×
金剛図書館	×	○	×	×	－	×	×
埋蔵文化財センター	×	×	×	×	－	×	×
寺内町センター	×	○	×	×	－	×	×
じないまち交流館	×	○	×	×	○	×	×
じないまち展望広場	×	○	×	×	－	×	×
市民総合体育館	×	○	×	×	○	×	×
総合スポーツ公園	×	○	×	×	○	×	×
青少年スポーツホール	×	○	×	×	○	×	×
市民プール「アクアパークきらめき」（管理棟）	×	○	×	×	○	×	×
農業公園「サバーファーム」	×	○	○	○	○	×	×
にこにこ市場	×	○	○	○	－	×	×
青少年教育キャンプ場	×	×	○	○	○	×	×
観光交流施設きらめきファクトリー	×	○	×	×	○	×	×
富田林小学校	○	○	○	×	－	×	×
新堂小学校	○	○	○	×	－	×	×
喜志小学校	○	○	○	×	－	×	×
大伴小学校	○	○	○	×	－	×	×
彼方小学校	○	○	○	×	－	×	×
錦郡小学校	○	○	○	×	－	×	×
川西小学校	○	○	○	×	－	×	×
東条小学校	○	○	○	×	－	×	×
高辺台小学校	○	○	○	×	－	×	×
久野喜台小学校	○	○	○	×	－	×	×
寺池台小学校	○	○	○	×	－	×	×
伏山台小学校	○	○	○	×	－	×	×
喜志西小学校	○	○	○	×	－	×	×
藤沢台小学校	○	○	○	×	－	×	×
小金台小学校	○	○	○	×	－	×	×
向陽台小学校	○	○	○	×	－	×	×
第一中学校	○	○	○	×	－	×	×
第二中学校	○	○	○	×	－	×	×
第三中学校	○	○	○	×	－	×	×
金剛中学校	○	○	○	×	－	×	×

公共サービスとしての必要性（２／３）

施設名	基本的要件		民間サービスによる代替性		指定管理	地元等への移管可能性	
	①法律等の義務	②上位・関連計画	①利用圏域内での民間サービス供給	②補助等による民間への代替可能性		①自治会等による管理・運営の有無	②自治会等への移管可能性
葛城中学校	○	○	○	×	－	×	×
喜志中学校	○	○	○	×	－	×	×
藤陽中学校	○	○	○	×	－	×	×
明治池中学校	○	○	○	×	－	×	×
富田林幼稚園	×	○	○	○	－	×	×
新堂幼稚園	×	○	○	○	－	×	×
喜志幼稚園	×	○	○	○	－	×	×
大伴幼稚園	×	○	○	○	－	×	×
板持幼稚園	×	○	○	○	－	×	×
彼方幼稚園	×	○	○	○	－	×	×
錦郡幼稚園	×	○	○	○	－	×	×
川西幼稚園	×	○	○	○	－	×	×
東条幼稚園	×	○	○	○	－	×	×
伏山台幼稚園	×	○	○	○	－	×	×
喜志西幼稚園	×	○	○	○	－	×	×
青葉丘幼稚園	×	○	○	○	－	×	×
津々山台幼稚園	×	○	○	○	－	×	×
富田林保育園	×	○	○	○	－	×	×
彼方保育園	×	○	○	○	－	×	×
大伴保育園	×	○	○	○	－	×	×
若葉保育園	×	○	○	○	－	×	×
金剛保育園	×	○	○	○	－	×	×
金剛東保育園	×	○	○	○	－	×	×
富田林学童クラブ	×	○	×	×	－	×	×
新堂学童クラブ	×	○	×	×	－	×	×
喜志学童クラブ	×	○	×	×	－	×	×
大伴学童クラブ	×	○	×	×	－	×	×
彼方学童クラブ	×	○	×	×	－	×	×
錦郡学童クラブ	×	○	×	×	－	×	×
川西学童クラブ	×	○	×	×	－	×	×
東条学童クラブ	×	○	×	×	－	×	×
高辺台学童クラブ	×	○	×	×	－	×	×
久野喜台学童クラブ	×	○	×	×	－	×	×
寺池台学童クラブ	×	○	×	×	－	×	×
伏山台学童クラブ	×	○	×	×	－	×	×
喜志西学童クラブ	×	○	×	×	－	×	×
藤沢台学童クラブ	×	○	×	×	－	×	×
小金台学童クラブ	×	○	×	×	－	×	×
向陽台学童クラブ	×	○	×	×	－	×	×
シルバー人材センター	×	×	×	×	－	×	×
若松町一丁目老人いこいの家	×	○	×	×	－	○	○
若松老人いこいの家	×	×	×	×	－	○	○
錦織老人いこいの家	×	×	×	×	－	○	○
東条老人いこいの家	×	×	×	×	－	○	○
金剛老人いこいの家	×	×	×	×	－	○	○
高辺プラザ	×	×	×	×	－	○	○
金剛東老人いこいの家	×	×	×	×	－	○	○
明治池老人いこいの家	×	×	×	×	－	○	○
向陽台老人いこいの家	×	×	×	×	－	○	○
青葉地区老人いこいの家	×	×	×	×	－	○	○
西板持老人いこいの家	×	×	×	×	－	○	○

公共サービスとしての必要性（３／３）

施設名	基本的要件		民間サービスによる代替性		指定管理	地元等への移管可能性	
	①法律等の義務	②上位・関連計画	①利用圏域内での民間ｻｰﾋﾞｽ供給	②補助等による民間への代替可能性		①自治会等による管理・運営の有無	②自治会等への移管可能性
富田林市ケアセンター「けあぱる」	×	×	○	○	○	×	×
児童館	×	○	×	×	－	×	×
保健センター	×	×	×	×	－	×	×
総合福祉会館	×	×	×	×	○	×	×
富田林病院	×	○	○	○	○	×	×
富田林病院健診センター	×	○	○	○	○	×	×
休日診療所	×	○	○	○	－	×	×
新堂診療所	×	×	○	○	－	×	×
市庁舎	×	○	×	×	－	×	×
金剛連絡所	×	×	×	×	－	×	×
消防庁舎	○	○	×	×	－	×	×
消防署金剛分署	○	○	×	×	－	×	×
第1分団消防車庫	×	○	×	×	－	×	×
第2分団消防車庫	×	○	×	×	－	×	×
第5分団消防車庫	×	○	×	×	－	×	×
第8分団消防車庫	×	○	×	×	－	×	×
第10分団消防車庫	×	○	×	×	－	×	×
第12分団消防車庫	×	○	×	×	－	×	×
第13分団消防車庫	×	○	×	×	－	×	×
第16分団消防車庫	×	○	×	×	－	×	×
富田林斎場	×	×	×	○	－	×	×
富田林霊園	×	×	×	○	－	×	×
喜志駅地下自転車駐車場	×	×	○	○	○	×	×
第1自転車等保管所	×	×	×	○	－	×	×
共同浴場「葛城温泉」	×	○	○	○	－	×	×
水道局旧庁舎	×	×	×	×	－	×	×

2）機能統合と広域連携の可能性

機能統合と広域連携の可能性についての評価結果を、以下に示します。

なお、一覧表の「重複する機能を有する施設」の欄は、その施設の半径 500m 圏内に立地している、同じ機能を有する公共施設を記載しているものであり、必ずしもその施設との機能統合を考えていくというものではありません。

機能統合と広域連携の可能性（1／5）

施設名	延床面積（㎡）	利用圏域	主な機能			主な利用者	周辺施設数	重複する機能を有する施設	広域連携の可能性
すばるホール	18,799.20	広域	貸館･集会	レク･観光	講座	市民等	8	総合福祉会館	○
コミュニティセンター「かがりの郷」	2,935.88	市域	貸館･集会	医療･福祉	講座	市民	3	－	×
福祉青少年センター	737.36	市域	貸館･集会			市民	14	中央公民館 寺内町センター じないまち交流館	×
高辺台集会所	217.00	市域	貸館･集会			地域住民	13	金剛公民館 青少年スポーツホール 金剛老人いこいの家 高辺プラザ 金剛連絡所	×
東公民館	1,128.72	市域	貸館･集会	講座	図書館	市民	0	－	×
中央公民館	873.91	市域	貸館･集会	講座		市民	15	福祉青少年センター 人権文化センター 中央図書館 寺内町センター じないまち交流館 観光交流施設きらめきファクトリー 若松町一丁目老人いこいの家 児童館	×
金剛公民館	918.04	市域	貸館･集会	講座		市民	7	高辺台集会所 金剛図書館 高辺プラザ	×
市民会館「レインボーホール」	9,624.61	市域	貸館･集会	講座	その他（浴室）	市民等	1	－	×
人権文化センター	1,012.80	市域	貸館･集会	講座		市民	13	中央公民館 中央図書館 じないまち交流館 じないまち展望広場 観光交流施設きらめきファクトリー 若松町一丁目老人いこいの家 若松老人いこいの家 児童館	×
中央図書館	902.32	広域	図書館	講座		市民	15	中央公民館 人権文化センター 児童館	×
金剛図書館	927.54	広域	図書館	講座		市民	7	金剛公民館	×
埋蔵文化財センター	819.00	市域	その他（文化財保管）	展示		市民等	10	－	×
寺内町センター	300.75	広域	展示	レク･観光	貸館･集会	市民等	16	福祉青少年センター 中央公民館 じないまち交流館 じないまち展望広場 観光交流施設きらめきファクトリー 若松町一丁目老人いこいの家	×
じないまち交流館	316.05	広域	レク･観光	貸館･集会	展示	市民等	17	福祉青少年センター 中央公民館 人権文化センター 寺内町センター じないまち展望広場 観光交流施設きらめきファクトリー 若松町一丁目老人いこいの家 児童館	×

機能統合と広域連携の可能性（2／5）

施設名	延床面積（㎡）	利用圏域	主な機能			主な利用者	周辺施設数	重複する機能を有する施設	広域連携の可能性
じないまち展望広場	117.46	広域	レク・観光	貸館・集会		市民等	10	人権文化センター 寺内町センター じないまち交流館 若松町一丁目老人いこいの家 児童館	×
市民総合体育館	4,781.60	広域	スポーツ	貸館・集会		市民等	2	－	○
総合スポーツ公園	2,888.14	広域	スポーツ			市民等	4	－	○
青少年スポーツホール	1,069.42	広域	スポーツ	貸館・集会		市民等	10	高辺台集会所 金剛老人いこいの家 高辺プラザ 金剛連絡所	○
市民プール 「アクアパークきらめき」(管理棟)	328.00	広域	スポーツ			市民等	7	－	○
農業公園 「サバーファーム」	2,584.04	広域	レク・観光	講座	貸館・集会	市民等	4	－	×
にこにこ市場	141.96	広域	その他(農産物販売)			市民等	4	－	×
青少年教育キャンプ場	164.93	広域	レク・観光			市民等	0	－	×
観光交流施設 きらめきファクトリー	251.39	広域	レク・観光	貸館・集会	展示	市民等	11	中央公民館 人権文化センター 寺内町センター じないまち交流館 若松町一丁目老人いこいの家 児童館	×
富田林小学校	5,810.85	市域	教育			市民（校区内）	14	第一中学校	×
新堂小学校	9,256.00	市域	教育			市民（校区内）	5	－	×
喜志小学校	4,971.61	市域	教育			市民（校区内）	3	－	×
大伴小学校	5,652.00	市域	教育			市民（校区内）	3	－	×
彼方小学校	5,692.68	市域	教育			市民（校区内）	2	－	×
錦郡小学校	5,124.90	市域	教育			市民（校区内）	4	－	×
川西小学校	5,821.84	市域	教育			市民（校区内）	7	第二中学校	×
東条小学校	3,694.00	市域	教育			市民（校区内）	3	－	×
高辺台小学校	6,867.00	市域	教育			市民（校区内）	13	久野喜台小学校 金剛中学校	×
久野喜台小学校	6,527.59	市域	教育			市民（校区内）	7	高辺台小学校	×
寺池台小学校	7,051.36	市域	教育			市民（校区内）	6	伏山台小学校	×
伏山台小学校	4,738.36	市域	教育			市民（校区内）	4	寺池台小学校	×
喜志西小学校	3,905.00	市域	教育			市民（校区内）	2	－	×
藤沢台小学校	6,073.12	市域	教育			市民（校区内）	4	藤陽中学校	×
小金台小学校	7,433.15	市域	教育			市民（校区内）	4	明治池中学校	×
向陽台小学校	6,787.00	市域	教育			市民（校区内）	8	藤陽中学校	×
第一中学校	9,657.90	市域	教育			市民（校区内）	10	富田林小学校	×
第二中学校	7,271.29	市域	教育			市民（校区内）	7	川西小学校	×
第三中学校	6,986.05	市域	教育			市民（校区内）	1	－	×
金剛中学校	9,066.30	市域	教育			市民（校区内）	8	高辺台小学校	×
葛城中学校	7,398.00	市域	教育			市民（校区内）	1	－	×
喜志中学校	6,003.00	市域	教育			市民（校区内）	1	－	×
藤陽中学校	7,808.93	市域	教育			市民（校区内）	11	藤沢台小学校 向陽台小学校	×
明治池中学校	6,087.26	市域	教育			市民（校区内）	5	小金台小学校	×

機能統合と広域連携の可能性（3／5）

施設名	延床面積（㎡）	利用圏域	主な機能			主な利用者	周辺施設数	重複する機能を有する施設	広域連携の可能性
富田林幼稚園	888.00	市域	教育			市民	15	富田林保育園	×
新堂幼稚園	937.00	市域	教育			市民	4	若葉保育園	×
喜志幼稚園	413.00	市域	教育			市民	3	－	×
大伴幼稚園	647.00	市域	教育			市民	3	－	×
板持幼稚園	573.00	市域	教育			市民	1	－	×
彼方幼稚園	432.00	市域	教育			市民	3	彼方保育園	×
錦郡幼稚園	416.00	市域	教育			市民	4	－	×
川西幼稚園	713.00	市域	教育			市民	7	－	×
東条幼稚園	238.00	市域	教育			市民	3	－	×
伏山台幼稚園	686.00	市域	教育			市民	4	－	×
喜志西幼稚園	453.00	市域	教育			市民	3	－	×
青葉丘幼稚園	1,122.00	市域	教育			市民	1	－	×
津々山台幼稚園	702.50	市域	教育			市民	7	－	×
富田林保育園	541.30	市域	育児・児童育成	教育		市民	16	富田林幼稚園	×
彼方保育園	736.57	市域	育児・児童育成	教育		市民	2	彼方幼稚園	×
大伴保育園	686.18	市域	育児・児童育成	教育		市民	0	－	×
若葉保育園	951.76	市域	育児・児童育成	教育		市民	11	新堂幼稚園 児童館	×
金剛保育園	1,731.00	市域	育児・児童育成	教育		市民	10	－	×
金剛東保育園	995.44	市域	育児・児童育成	教育		市民	4	－	×
富田林学童クラブ	90.00	市域	育児・児童育成			市民（校区内）	14	－	×
新堂学童クラブ	177.00	市域	育児・児童育成			市民（校区内）	5	－	×
喜志学童クラブ	184.20	市域	育児・児童育成			市民（校区内）	3	－	×
大伴学童クラブ	98.02	市域	育児・児童育成			市民（校区内）	3	－	×
彼方学童クラブ	88.00	市域	育児・児童育成			市民（校区内）	2	－	×
錦郡学童クラブ	148.09	市域	育児・児童育成			市民（校区内）	4	－	×
川西学童クラブ	125.44	市域	育児・児童育成			市民（校区内）	7	－	×
東条学童クラブ	91.00	市域	育児・児童育成			市民（校区内）	3	－	×
高辺台学童クラブ	85.00	市域	育児・児童育成			市民（校区内）	13	久野喜台学童クラブ	×
久野喜台学童クラブ	105.00	市域	育児・児童育成			市民（校区内）	7	高辺台学童クラブ	×
寺池台学童クラブ	236.00	市域	育児・児童育成			市民（校区内）	6	伏山台学童クラブ	×
伏山台学童クラブ	152.86	市域	育児・児童育成			市民（校区内）	4	寺池台学童クラブ	×
喜志西学童クラブ	80.00	市域	育児・児童育成			市民（校区内）	2	－	×
藤沢台学童クラブ	88.30	市域	育児・児童育成			市民（校区内）	4	－	×
小金台学童クラブ	146.62	市域	育児・児童育成			市民（校区内）	4	－	×
向陽台学童クラブ	76.75	市域	育児・児童育成			市民（校区内）	8	－	×

機能統合と広域連携の可能性（4／5）

施設名	延床面積（㎡）	利用圏域	主な機能			主な利用者	周辺施設数	重複する機能を有する施設	広域連携の可能性
シルバー人材センター	310.44	市域	その他（貸付）			市民	0	－	×
若松町一丁目老人いこいの家	324.66	市域	貸館･集会			地域住民	14	中央公民館 人権文化センター 寺内町センター じないまち交流館 じないまち展望広場 観光交流施設きらめきファクトリー 若松老人いこいの家 児童館	×
若松老人いこいの家	250.00	市域	貸館･集会			地域住民	10	人権文化センター 若松町一丁目老人いこいの家 児童館	×
錦織老人いこいの家	148.09	市域	貸館･集会			地域住民	4	－	×
東条老人いこいの家	433.44	市域	貸館･集会			地域住民	3	－	×
金剛老人いこいの家	160.00	市域	貸館･集会			地域住民	10	高辺台集会所 青少年スポーツホール 高辺プラザ 金剛連絡所	×
高辺プラザ	219.00	市域	貸館･集会			地域住民	13	高辺台集会所 金剛公民館 青少年スポーツホール	×
金剛東老人いこいの家	314.97	市域	貸館･集会			地域住民	3	－	×
明治池老人いこいの家	299.73	市域	貸館･集会			地域住民	4	－	×
向陽台老人いこいの家	290.18	市域	貸館･集会			地域住民	9	富田林市ケアセンター「けあぱる」	×
青葉地区老人いこいの家	183.02	市域	貸館･集会			地域住民	1	－	×
西板持老人いこいの家	328.00	市域	貸館･集会			地域住民	2	－	×
富田林市ケアセンター「けあぱる」	10,819.56	市域	医療･福祉	スポーツ	貸館･集会	市民等	8	向陽台老人いこいの家	×
児童館	1,402.60	市域	育児･児童育成	貸館･集会	講座	市民	12	中央公民館 人権文化センター 中央図書館 じないまち交流館 じないまち展望広場 観光交流施設きらめきファクトリー 若葉保育園 若松町一丁目老人いこいの家 若松老人いこいの家	×
保健センター	1,034.98	市域	事務	医療･福祉	講座	市民	8	－	×
総合福祉会館	2,307.95	市域	貸館･集会	医療･福祉	講座	市民	7	すばるホール	×
富田林病院	11,162.05	広域	医療･福祉			市民等	8	富田林病院健診センター	○
富田林健診センター	552.75	広域	医療･福祉			市民等	8	富田林病院	○
休日診療所	297.47	市域	医療･福祉			市民等	8	－	×
新堂診療所	1,210.38	市域	医療･福祉	その他（貸付）		市民等	10	－	×
市庁舎	13,631.89	市域	事務			市民	14	消防庁舎	×
金剛連絡所	603.59	市域	事務	貸館･集会		市民	10	高辺台集会所 青少年スポーツホール 金剛老人いこいの家 高辺プラザ	×
消防庁舎	5,312.20	市域	事務	その他		市民（貸館利用）	9	市庁舎	×
消防署金剛分署	577.92	市域	その他			－	7	－	×

機能統合と広域連携の可能性（5／5）

施設名	延床面積（㎡）	利用圏域	主な機能			主な利用者	周辺施設数	重複する機能を有する施設	広域連携の可能性
第1分団消防車庫	69.15	市域	その他			－	10	－	×
第2分団消防車庫	220.66	市域	その他			－	14	－	×
第5分団消防車庫	69.61	市域	その他			－	1	－	×
第8分団消防車庫	120.30	市域	その他			－	2	－	×
第10分団消防車庫	73.40	市域	その他			－	0	－	×
第12分団消防車庫	70.83	市域	その他			－	1	－	×
第13分団消防車庫	88.14	市域	その他			－	4	－	×
第16分団消防車庫	66.72	市域	その他			－	7	－	×
富田林斎場	2,321.72	市域	その他			市民等	4	－	×
富田林霊園	565.30	市域	その他			市民等	4	－	×
喜志駅地下自転車駐車場	1,792.80	分類不可	その他			市民（駅利用者）	3	－	×
第1自転車等保管所	363.86	分類不可	その他			市民等	3	－	×
共同浴場「葛城温泉」	425.67	市域	その他			地域住民	14	－	×
水道局旧庁舎	255.14	分類不可	その他（貸付）			市民（NPO 法人）	11	－	×

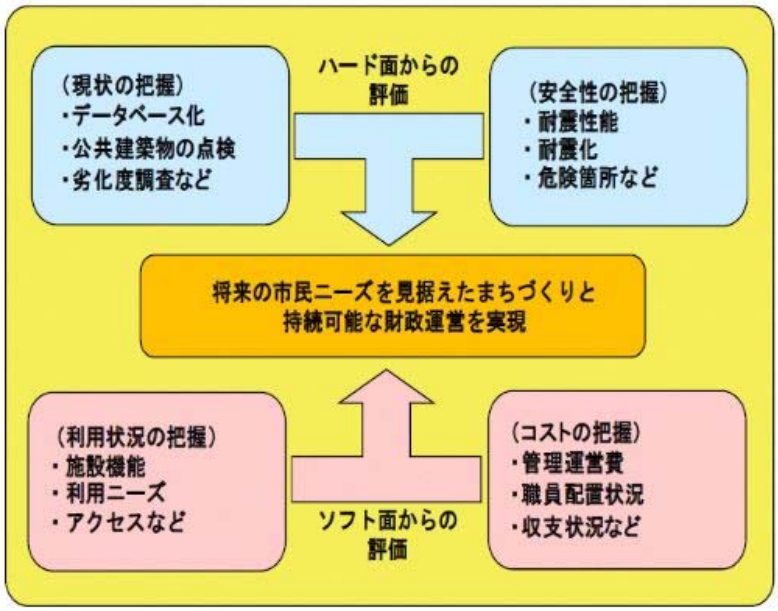
第５章 公共施設再配置計画

1. 基本方針

（1）総　則

本市では、平成 28（2016）年 3 月に総合管理計画を策定し、公共施設の現状や安全性の把握といったハード面からの評価や、利用状況やコストの把握といったソフト面からの評価を適切に行うことで、将来の市民ニーズを見据えたまちづくりと持続可能な財政運営を実現するため、「公共施設マネジメント」を推進していくこととしています。

また、「量から質へ」の考え方を基に、公共施設の方向性を検討し、「総量の最適化」や「長寿命化」「ライフサイクルコストの縮減」を「公共施設マネジメント」の基本方針とします。

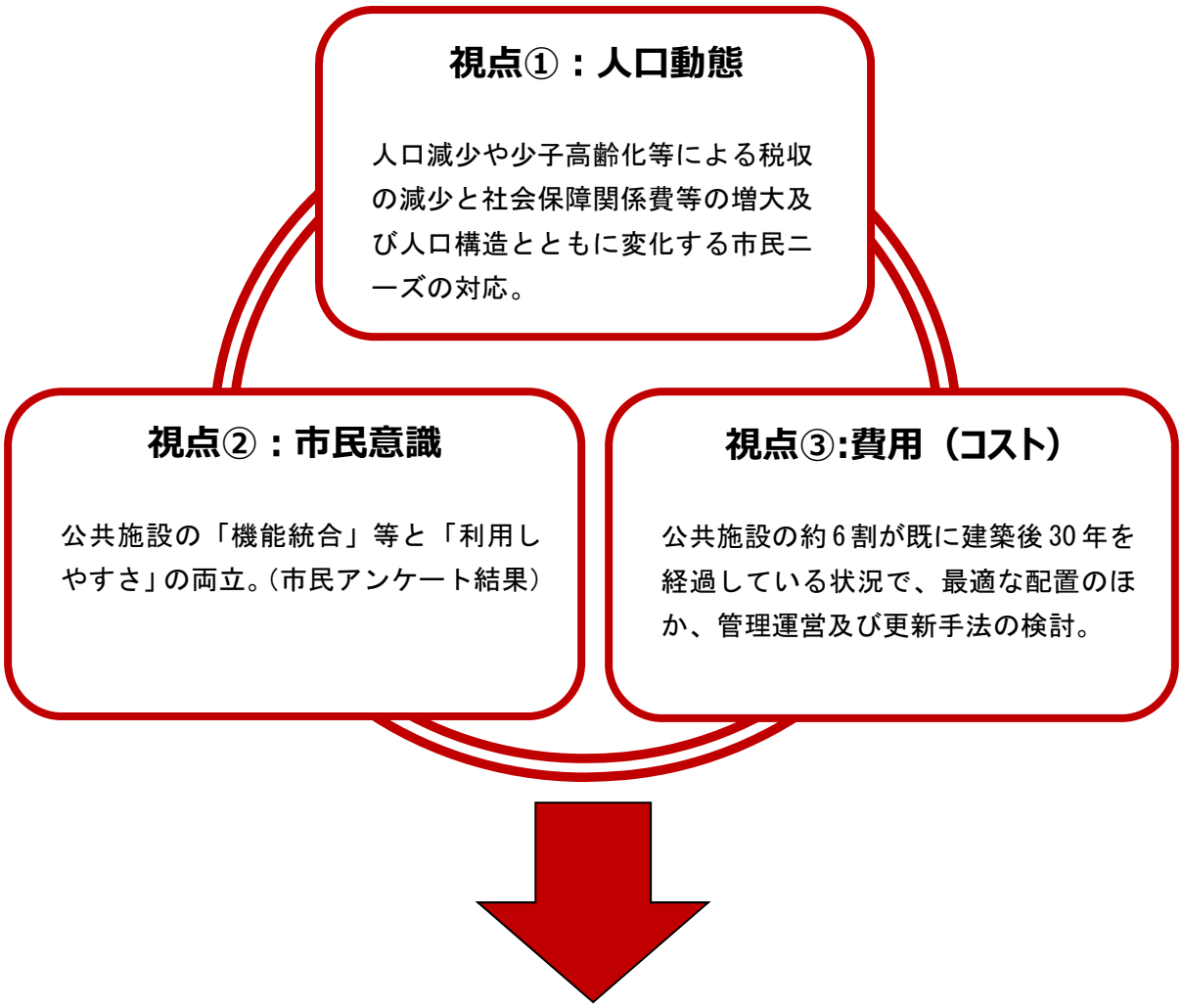


【表　富田林市公共施設等総合管理計画における基本方針（概要）】

基本方針①	基本方針②	基本方針③
総量の最適化	長寿命化	ﾗｲﾌｻｲｸﾙｺｽﾄの縮減
将来的にも市民一人あたりの公共施設の延床面積を現況と同程度に維持することを目標とする。	公共施設の劣化状況を的確に把握し、不具合が生じる前からの保全（予防保全）を計画的に進める手法への転換を図る。	公共施設の設計・建設費等の初期費用と建築後に発生する維持管理費・修繕・改修費用、除却費用などの総費用（ライフサイクルコスト）の縮減を図る。

2. 視点及び基本的な方向

前章までの本市及び公共施設に関する現状と評価、また市民アンケート結果を踏まえ、再配置方針の設定に向けた大きな視点と基本的な方向を下図のとおり設定します。



市総合基本計画：「経営的施策 2」引用

3. 再配置方針

（1）集会施設

対象施設の概要	
小分類	施設名
すばるホール	すばるホール
コミュニティ施設	コミュニティセンター「かがりの郷」、福祉青少年センター
高辺台集会所	高辺台集会所
公民館	東公民館、中央公民館、金剛公民館

■施設の状況

1. 施設の概要と建物の状況

小分類	施設名	延床面積（㎡）	敷地面積（㎡）	代表建築年度	築年数（年）	建物構造	耐震性能
すばるホール	すばるホール	18,799.20	10,135.93 ※1	1991	25	ＲＣ	新基準
コミュニティ施設	コミュニティセンター「かがりの郷」	2,935.88	5,035.57	2001	15	ＲＣ	新基準
	福祉青少年センター	737.36	538.84	1971	45	ＲＣ	旧基準
高辺台集会所	高辺台集会所	217.00	※2	1975	41	ＲＣ	旧基準（耐震性能あり）
公民館	東公民館	1,128.72	1,737.51	1981	35	ＲＣ	旧基準（補強済）
	中央公民館	873.91	3,494.59 ※3	1976	40	ＳＲＣ	旧基準（補強済）
	金剛公民館	918.04	3800.18 ※3	1983	33	ＲＣ	新基準

※1 借地（2,440 ㎡）を除きます。
※2 高辺台小学校敷地を使用しています。
※3 図書館部分の敷地を含みます。

・高辺台集会所は、高辺台小学校内に併設されています。
・中央公民館には中央図書館が、金剛公民館には金剛図書館が併設されています。
・7 施設中 5 施設で大規模改修が必要となる目安の建築後 30 年を経過しています。
・福祉青少年センターは、建築後 45 年を経過しており、耐震補強が未実施であるため、耐震性が確保されていません。

2. 利用状況とコスト

小分類	施設名	年間利用者数（人）	年間総コスト（円）	一人当たりコスト（円／人）	延床面積当たりコスト（円／㎡）
すばるホール	すばるホール	214,656	142,168,063	662	7,562
コミュニティ施設	コミュニティセンター「かがりの郷」	69,709	23,823,978	342	8,115
	福祉青少年センター	15,678	5,604,343	357	7,601
高辺台集会所	高辺台集会所	2,136	525,998	246	2,424
公民館	東公民館	23,578	5,118,610	217	4,535
	中央公民館	35,194	5,539,655	157	6,339
	金剛公民館	38,757	5,447,062	141	5,933

【すばるホール】

・本施設は、指定管理者制度を導入しています。
・本施設の敷地の一部は、有償借地です。

【コミュニティ施設】

・コミュニティセンター「かがりの郷」は、指定管理者制度を導入しています。
・コミュニティセンター「かがりの郷」の年間利用者数が、福祉青少年センターよりも多くなっているのは、各種講座等の開催や入浴施設を備えているためです。

・コミュニティセンター「かがりの郷」の年間総コストが、福祉青少年センターよりも高くなっているのは、施設延床面積が大きく、入浴施設を備えているためです。

【公民館】

・東公民館は、年間利用者数が最も少なく、一人当たりのコストが最も高くなっています。

・中央公民館は、年間総コスト及び延床面積当たりのコストが最も高くなっています。

・金剛公民館は、年間利用者数が最も多く、一人当たりのコストが最も低くなっています。

施設評価結果

■施設評価結果（1 次）

小分類	施設名	評価分類	ハード面（建物性能）				ソフト面（必需性）				総合計
			建物状況（満点68）	敷地状況（満点24）	拠点性状況（満点8）	ハード計（満点100）	コスト状況（満点28）	アクセス状況（満点32）	稼働状況（満点40）	ソフト計（満点100）	
すばるホール	すばるホール	C 転用	44	24	8	76	14	24	0	38	114
コミュニティ施設	コミュニティセンター「かがりの郷」	C 転用	64	24	4	92	0	8	20	28	120
	福祉青少年センター	B 更新	4	24	0	28	14	24	20	58	86
高辺台集会所	高辺台集会所	C 転用	30	24	0	54	28	16	0	44	98
公民館	東公民館	C 転用	44	24	0	68	14	4	20	38	106
	中央公民館	A 維持	34	24	0	58	14	24	40	78	136
	金剛公民館	A 維持	44	24	0	68	14	8	40	62	130

【評価分類Ａ】

・中央公民館及び金剛公民館は、ハード面、ソフト面共に大きな課題はありません。

【評価分類Ｂ】

・福祉青少年センターは、建築後 45 年を経過しており、耐震補強が未実施であるため、ハード面の評価が低くなっています。

【評価分類Ｃ】

・すばるホール及び高辺台集会所は、ハード面に大きな課題はありませんが、延床面積当たりの利用者数が少ないため、ソフト面の評価が低くなっています。

・コミュニティセンター「かがりの郷」は、ハード面に課題はありませんが、延床面積当たりのコストが高いため、ソフト面の評価が低くなっています。

・東公民館は、ハード面に大きな課題はありませんが、アクセス状況の評価が低いため、ソフト面の評価が低くなっています。

■施設評価結果（2 次）

小分類	施設名	基本的要件		民間代替性	地元移管可能性	主な機能	主な利用者	周辺施設数	広域連携可能性
		設置義務	上位・関連計画						
すばるホール	すばるホール	×	○	×	×	貸館・集会、レク・観光	市民等	8	○
コミュニティ施設	コミュニティセンター「かがりの郷」	×	×	×	×	貸館・集会、医療・福祉	市民	3	×
	福祉青少年センター	×	×	×	×	貸館・集会	市民	14	×
高辺台集会所	高辺台集会所	×	×	×	○	貸館・集会	地域住民	13	×
公民館	東公民館	×	○	×	×	貸館・集会、講座、図書館	市民	0	×
	中央公民館	×	○	×	×	貸館・集会、講座	市民	15	×
	金剛公民館	×	○	×	×	貸館・集会、講座	市民	7	×

【すばるホール】

・「市総合基本計画」第 3 章　個別施策 6 において、施策に関する指標として、本施設の利用者数を掲げています。
・本施設には、プラネタリウムやホールなどの特殊な設備が含まれているため、他施設への機能移転は制限がありますが、他用途の受け入れは可能です。
・本施設の半径 500m圏内には、同じ貸館・集会及び講座機能を有する施設が 1 施設（総合福祉会館）あります。
・本施設は、市域を超えた利用圏域を想定している施設であり、周辺自治体にも同種の施設が設置されているため、広域連携の可能性があります。

【コミュニティ施設】

■コミュニティセンター「かがりの郷」

・本施設は、入浴施設を備えているため、他施設への機能移転には制限がありますが、他用途の受け入れは可能です。

■福祉青少年センター

・本施設の半径 500m圏内には、同じ貸館・集会機能を有する施設が 3 施設（中央公民館・寺内町センター・じないまち交流館）あります。
・本施設で提供しているサービスは、特殊な設備を要するものではないため、他施設への機能移転及び他用途の受け入れが可能です。

【高辺台集会所】

・本施設は、地域住民の集会を目的とした施設であるため、地元等に移管できる可能性があります。
・本施設の半径 500m圏内には、同じ貸館・集会機能を有する施設が 5 施設（金剛公民館・青少年スポーツホール・金剛老人いこいの家・高辺プラザ・金剛連絡所）あります。
・本施設は、特殊な設備を有していないため、他施設への機能移転は可能ですが、施設を中心とする地域住民が利用対象となっており、近隣施設以外への機能移転には制限があります。ただし、他用途の受け入れは可能です。

【公民館】

・「市総合基本計画」第 3 章　個別施策 5 において、施策に関する指標として、本施設の利用者数や市民企画の講座開催回数を掲げています。
・中央公民館の半径 500m圏内には、同じ貸館・集会機能を有する施設が 7 施設（福祉青少年センター・人権文化センター・寺内町センター・じないまち交流館・観光交流施設きらめきファクトリー・若松町一丁目老人いこいの家・児童館）、講座機能を有する施設が 3 施設（人権文化センター・中央図書館・児童館）あります。
・金剛公民館の半径 500m圏内には、同じ貸館・集会機能を有する施設が 2 施設（高辺台集会所・高辺プラザ）あり、同様に講座機能を有する施設が 1 施設（金剛図書館）あります。
・本施設で提供しているサービスは、特殊な設備を要するものではないため、他施設への機能移転及び他用途の受け入れが可能です。

再配置方針
1. 機能方針 【すばるホール】 ・「市総合基本計画」に掲げている市民文化・芸術活動の促進に向け、機能を維持します。 【コミュニティ施設】 ・世代間交流の機能を維持しながら、多様な市民が集まる場を提供するため、機能を維持します。 【高辺台集会所】 ・地域住民の集会等の場として機能を維持します。 【公民館】 ・「市総合基本計画」に掲げている生涯学習環境の充実に向け、機能を維持します。
2. 建物方針 【すばるホール】 ・本施設は維持しますが、施設の効率的運用を図るため、他用途の受入れ（一部転用）及び周辺自治体の同種施設との広域連携を検討します。 【コミュニティ施設】 ■コミュニティセンター「かがりの郷」 ・本施設は維持しますが、施設の効率的運用を図るため、他用途の受入れ（一部転用）を検討します。 ■福祉青少年センター ・本施設は、きらめき創造館「Ｔｏｐｉｃ」に機能移転しました。また、旧施設については、除却及び跡地の売却等について検討します。 【高辺台集会所】 ・本施設は維持しますが、地元等による管理運営及び近隣他施設への機能移転を検討します。 【公民館】 ■東公民館・中央公民館・金剛公民館 ・本施設は維持しますが、施設の効率的運用を図るため、他用途の受入れ（一部転用）及び機能移転を検討します。

再配置方針に関する課題及び考慮すべき点
【全施設】 貸館・集会及び講座等の機能については、他施設の同機能の利用状況を踏まえ、規模の変更や機能統合の検討を行う必要があります。 【すばるホール】 ・年間総コストの縮減及び費用対効果の検証を行う必要があります。

【コミュニティ施設】

■コミュニティセンター「かがりの郷」

・「市総合ビジョンおよび総合基本計画」に掲げる基本施策「主体的な市民参加と協働によるまちづくり」をさらに推進することのできる施設運営に向け、施設の設置目的等の再検討を行う必要があります。

【高辺台集会所】

・学校の余裕教室を利用していることから、その利用に際しては、教育環境に配慮する必要があります。

【公民館】

■東公民館・中央公民館・金剛公民館

・長寿命化及びバリアフリー化の課題解決に向けた検討を行う必要があります。

（2）文化施設

対象施設の概要	
小分類	施設名
市民会館「レインボーホール」	市民会館「レインボーホール」
人権文化センター	人権文化センター

■施設の状況

1. 施設の概要と建物の状況

小分類	施設名	延床面積（㎡）	敷地面積（㎡）	代表建築年度	築年数（年）	建物構造	耐震性能
市民会館「レインボーホール」	市民会館「レインボーホール」	9,624.61	9,511.00	1975	41	ＲＣ	旧基準（補強済）
人権文化センター	人権文化センター	1,012.80	1,329.01	1966	50	ＲＣ	旧基準

・市民会館「レインボーホール」は、大規模改修が必要となる目安の建築後 30 年を経過していますが、平成 25（2013）年度に耐震補強工事を行っています。
・人権文化センターは、建築後 50 年を経過しており、耐震補強が未実施であるため、耐震性が確保されていません。

2. 利用状況とコスト

小分類	施設名	年間利用者数（人）	年間総コスト（円）	一人当たりコスト（円／人）	延床面積当たりコスト（円／㎡）
市民会館「レインボーホール」	市民会館「レインボーホール」	113,520	60,337,979	532	6,269
人権文化センター	人権文化センター	21,012	7,133,383	339	7,043

【市民会館「レインボーホール」】

・本施設は、指定管理者制度を導入しています。

施設評価結果

■施設評価結果（1 次）

小分類	施設名	評価分類		ハード面（建物性能）				ソフト面（必需性）				総合計
				建物状況（満点68）	敷地状況（満点24）	拠点性状況（満点8）	ハード計（満点100）	コスト状況（満点28）	アクセス状況（満点32）	稼働状況（満点40）	ソフト計（満点100）	
市民会館「レインボーホール」	市民会館「レインボーホール」	A	維持	34	24	8	66	14	16	20	50	116
人権文化センター	人権文化センター	B	更新	12	24	0	36	14	20	20	54	90

【評価分類Ａ】

・市民会館「レインボーホール」は、ハード面、ソフト面共に大きな課題はありません。

【評価分類Ｂ】

・人権文化センターは、建築後 50 年を経過しており、耐震補強が未実施であるため、ハード面の評価が低くなっています。

■施設評価結果（2 次）

小分類	施設名	基本的要件		民間代替性	地元移管可能性	主な機能	主な利用者	周辺施設数	広域連携可能性
		設置義務	上位・関連計画						
市民会館「レインボーホール」	市民会館「レインボーホール」	×	○	×	×	貸館・集会、講座	市民等	1	×
人権文化センター	人権文化センター	×	○	×	×	貸館・集会、講座	市民	13	×

【市民会館「レインボーホール」】

・「市総合基本計画」第 3 章個別施策 6 において、施策に関する指標として、本施設の利用者数を掲げています。

・本施設は、入浴施設を備えているため、他施設への機能移転は制限がありますが、他用途の受け入れは可能です。

【人権文化センター】

・「市若松地区再整備基本構想」において、他の公共施設との合築やその施設規模を検討しています。

・本施設の半径 500m圏内には、同じ貸館・集会機能を有する施設が 7 施設（中央公民館、じないまち交流館、じないまち展望広場、観光交流施設きらめきファクトリー、若松町一丁目老人いこいの家、若松老人いこいの家、児童館）あり、講座機能を有する施設が 3 施設（中央公民館、中央図書館、児童館）あります。

・本施設で提供しているサービスは、特殊な設備を要するものではないため、他施設への機能移転及び他用途の受け入れが可能です。

再配置方針

1. 機能方針

【市民会館「レインボーホール」】

・「市総合基本計画」に掲げている市民文化・芸術活動の促進に向け、機能を維持します。

【人権文化センター】

・人権啓発の推進及び地域福祉の向上に向け、「市若松地区再整備基本構想」において検討している新施設への機能移転を検討します。

2. 建物方針

【市民会館「レインボーホール」】

・本施設は維持しますが、施設の効率的運用を図るための他用途の受入れ（一部転用）を検討します。

【人権文化センター】

・本施設は機能移転後、除却します。

再配置方針に関する課題及び考慮する点

【市民会館「レインボーホール」】

・施設の一部を他団体が所有しています。

・「市総合ビジョンおよび総合基本計画」に掲げる基本施策「主体的な市民参加と協働によるまちづくり」をさらに推進することのできる施設運営に向け、施設の設置目的等の再検討

を行う必要があります。
・長寿命化及びバリアフリー化の課題解決に向けた検討を行う必要があります。

【人権文化センター】
・新施設への機能統合に当たっては、「市総合ビジョンおよび総合基本計画」に掲げる基本施策「主体的な市民参加と協働によるまちづくり」をさらに推進することのできる施設運営に向け、施設の設置目的等の再検討を行うとともに、隣保機能を維持しながら、引き続き多様な人権課題への対応に取り組む必要があります。
・貸館・集会及び講座の機能については、他施設の同機能の利用状況を踏まえ、規模の変更や機能統合の検討を行う必要があります。
・新施設については、民間活力の導入について検討を行う必要があります。

（3）図書館

対象施設の概要	
小分類	施設名
図書館	中央図書館、金剛図書館

■施設の状況

1. 施設の概要と建物の状況

小分類	施設名	延床面積（㎡）	敷地面積（㎡）	代表建築年度	築年数（年）	建物構造	耐震性能
図書館	中央図書館	902.32	3494.59 ※1	1976	40	ＳＲＣ	旧基準（補強済）
	金剛図書館	927.54	3800.18 ※1	1983	33	ＲＣ	新基準

※1 公民館部分の敷地を含みます。

・中央図書館には中央公民館が、金剛図書館には金剛公民館が併設されています。
・中央図書館は、大規模改修が必要となる目安の建築後 30 年を経過していますが、平成 24（2012）年度に耐震補強工事を行っています。
・金剛図書館は、大規模改修が必要となる目安の建築後 30 年を経過しています。

2. 利用状況とコスト

小分類	施設名	年間利用者数（人）	年間総コスト（円）	一人当たりコスト（円／人）	延床面積当たりコスト（円／㎡）
図書館	中央図書館	142,737	5,202,421	36	5,766
	金剛図書館	213,868	5,319,082	25	5,735

【図書館】
・中央図書館は、金剛図書館よりも年間利用者数が少なく、1 人当たりのコスト及び延床面積あたりのコストが高くなっています。

施設評価結果

■施設評価結果（1 次）

小分類	施設名	評価分類		ハード面（建物性能）				ソフト面（必需性）				総合計
				建物状況（満点68）	敷地状況（満点24）	拠点性状況（満点8）	ハード計（満点100）	コスト状況（満点28）	アクセス状況（満点32）	稼働状況（満点40）	ソフト計（満点100）	
図書館	中央図書館	A	維持	34	24	4	62	14	24	20	58	120
	金剛図書館	A	維持	44	24	4	72	14	16	20	50	122

【評価分類Ａ】
・中央図書館及び金剛図書館は、ハード面・ソフト面ともに大きな課題はありません。

■施設評価結果（2 次）

小分類	施設名	基本的要件		民間代替性	地元移管可能性	主な機能	主な利用者	周辺施設数	広域連携可能性
		設置義務	上位・関連計画						
図書館	中央図書館	×	○	×	×	図書館、講座	市民	15	×
	金剛図書館	×	○	×	×	図書館、講座	市民	7	×

・「市総合基本計画」第 3 章　個別施策 5 において、図書館サービスの充実を掲げています。
・中央図書館の半径 500m圏内には、同じ講座機能を有する施設が 3 施設（中央公民館・人権文化センター・児童館）あります。

・金剛図書館の半径 500m圏内には、同じ講座機能を有する施設が 1 施設（金剛公民館）あります。
・本施設で提供しているサービスは、特殊な設備を要するものではないため、他施設への機能移転及び他用途の受け入れが可能です。

再配置方針
1. 機能方針 【図書館】 ・市民ニーズに応じた図書資料の充実や情報の提供に向け、機能を維持します。
2. 建物方針 【図書館】 ■中央図書館・金剛図書館 ・本施設は維持しますが、図書館サービスの充実に向けた更なる効率的運用について検討します。

再配置方針に関する課題及び考慮すべき点
【図書館】 ■中央図書館・金剛図書館 ・長寿命化及びバリアフリー化の課題解決に向けた検討を行う必要があります。 ・講座の機能については、他施設の同機能の利用状況を踏まえ、規模の変更や機能統合の検討を行う必要があります。

（4）歴史的文化施設

対象施設の概要	
小分類	施設名
埋蔵文化財センター	埋蔵文化財センター
寺内町関連施設	寺内町センター、じないまち交流館、じないまち展望広場

■施設の状況

1. 施設の概要と建物の状況

小分類	施設名	延床面積（㎡）	敷地面積（㎡）	代表建築年度	築年数（年）	建物構造	耐震性能
埋蔵文化財センター	埋蔵文化財センター	819.00	※1	1971	45	ＲＣ	旧基準（補強済）
寺内町関連施設	寺内町センター	300.75	267.34	1991	25	Ｗ	新基準
	じないまち交流館	316.05	322.02	2006	10	Ｗ	新基準
	じないまち展望広場	117.46	611.58	2010	6	Ｗ	新基準

※1 第一中学校敷地を使用しています。

・埋蔵文化財センターは、第一中学校内に併設され、大規模改修が必要となる目安の建築後30年を経過していますが、平成26（2014）年度に耐震補強工事を行っています。

2. 利用状況とコスト

小分類	施設名	年間利用者数（人）	年間総コスト（円）	一人当たりコスト（円／人）	延床面積当たりコスト（円／㎡）
埋蔵文化財センター	埋蔵文化財センター	177	39,006 ※1	220	48
寺内町関連施設	寺内町センター	1,807	764,654	423	2,542
	じないまち交流館	33,330	1,088,637	33	3,445
	じないまち展望広場	12,615	1,515,710	120	12,904

※1 光熱水費は第一中学校に計上しています。

【寺内町関連施設】

・寺内町センターは、年間利用者数が最も少なく、一人当たりのコストが最も高くなっています。
・じないまち交流館は、指定管理者制度を導入しています。
・じないまち交流館は、年間利用者数が最も多く、一人当たりのコストが最も低くなっています。
・じないまち展望広場は、年間総コスト及び延床面積当たりのコストが最も高くなっています。

施設評価結果

■施設評価結果（1次）

小分類	施設名	評価分類		ハード面（建物性能）				ソフト面（必需性）				総合計
				建物状況（満点68）	敷地状況（満点24）	拠点性状況（満点8）	ハード計（満点100）	コスト状況（満点28）	アクセス状況（満点32）	稼働状況（満点40）	ソフト計（満点100）	
埋蔵文化財センター	埋蔵文化財センター	A	維持	20	24	8	52	28	24	0	52	104
寺内町関連施設	寺内町センター	A	維持	30	24	4	58	28	28	0	56	114
	じないまち交流館	A	維持	62	24	4	90	14	28	40	82	172
	じないまち展望広場	A	維持	52	24	0	76	0	24	40	64	140

【評価分類Ａ】

・すべての施設について、ハード面・ソフト面ともに大きな課題はありません。

■施設評価結果（2 次）

小分類	施設名	基本的要件		民間代替性	地元移管可能性	主な機能	主な利用者	周辺施設数	広域連携可能性
		設置義務	上位・関連計画						
埋蔵文化財センター	埋蔵文化財センター	×	×	×	×	展示、その他（文化財保管）	市民等	10	×
寺内町関連施設	寺内町センター	×	○	×	×	展示、レク・観光、貸館・集会	市民等	16	×
	じないまち交流館	×	○	×	×	レク・観光、貸館・集会、展示	市民等	17	×
	じないまち展望広場	×	○	×	×	レク・観光、貸館・集会	市民等	10	×

【埋蔵文化財センター】

・本施設で提供しているサービスは、特殊な設備を要するものではないため、他施設への機能移転及び他用途の受け入れが可能です。

【寺内町関連施設】

・「市総合基本計画」第 3 章　個別施策 29 において、寺内町における市保有施設の活用を掲げています。

■寺内町センター

・本施設の半径 500m圏内には、同じ展示機能を有する施設が 2 施設（じないまち交流館・観光交流施設きらめきファクトリー）、レクリエーション・観光機能を有する施設が 3 施設（じないまち交流館・じないまち展望広場・観光交流施設きらめきファクトリー）、貸館・集会機能を有する施設が 6 施設（福祉青少年センター・中央公民館・じないまち交流館・じないまち展望広場・観光交流施設きらめきファクトリー・若松町一丁目老人いこいの家）あります。

■じないまち交流館

・本施設の半径 500m圏内には、同じレクリエーション・観光機能を有する施設が 3 施設（寺内町センター・じないまち展望広場・観光交流施設きらめきファクトリー）、貸館・集会機能を有する施設が 8 施設（福祉青少年センター・中央公民館・人権文化センター・寺内町センター・じないまち展望広場・観光交流施設きらめきファクトリー・若松町一丁目老人いこいの家・児童館）、展示機能を有する施設が 2 施設（寺内町センター・観光交流施設きらめきファクトリー）あります。

■じないまち展望広場

・本施設の半径 500m圏内には、同じレクリエーション・観光機能を有する施設が 2 施設（寺内町センター・じないまち交流館）、貸館・集会機能を有する施設が 5 施設（人権文化センター・寺内町センター・じないまち交流館・若松町一丁目老人いこいの家・児童館）あります。

再配置方針

1. 機能方針

【埋蔵文化財センター】

・市内で発掘した埋蔵文化財資料の復元・保存作業等を行い、資料を保管、展示するため、機能を維持します。

【寺内町関連施設】

・寺内町の町並み保全及び啓発のため、機能を維持します。

2. 建物方針

【埋蔵文化財センター】

・本施設は維持しますが、施設の効率的運用について検討します。
・研究や展示等イベントのあり方を踏まえた規模及び多機能化を検討します。

【寺内町関連施設】

■寺内町センター・じないまち交流館・じないまち展望広場

・本施設は維持しますが、施設の効率的運用について検討します。

再配置方針に関する課題及び考慮すべき点
【埋蔵文化財センター】 ・埋蔵文化財資料が大量に保管されている状況であり、展示公開スペースの確保に課題があります。 【寺内町関連施設】 ■寺内町センター・じないまち交流館・じないまち展望広場 ・「じないまち交流館」のみ指定管理者制度を導入していますが、「寺内町センター」「じないまち展望広場」「旧杉山家住宅」及び「旧田中家住宅」も含めた一体的検討を行う必要があります。

（5）スポーツ施設

対象施設の概要	
小分類	施設名
スポーツ施設	市民総合体育館、総合スポーツ公園、青少年スポーツホール、 市民プール「アクアパークきらめき」（管理棟）

■施設の状況

1. 施設の概要と建物の状況

小分類	施設名	延床面積（㎡）	敷地面積（㎡）	代表建築年度	築年数（年）	建物構造	耐震性能
スポーツ施設	市民総合体育館	4,781.60	13,225.67	1980	36	ＲＣ	旧基準（補強済）
	総合スポーツ公園	2,888.14	50,287.00	1993	23	ＲＣ	新基準
	青少年スポーツホール	1,069.42	※1	1971	45	Ｓ	旧基準
	市民プール 「アクアパークきらめき」（管理棟）	328.00	3,770.24	1978	38	Ｓ	旧基準 ※2

※1 金剛中央公園敷地を使用しています。
※2 耐震診断未実施のため耐震性能は不明です。

・市民総合体育館、青少年スポーツホール及び市民プール「アクアパークきらめき」（管理棟）は、大規模改修が必要となる目安の建築後 30 年を経過しています。
・青少年スポーツホールは、建築後 45 年を経過しており、耐震補強が未実施であるため、耐震性が確保されていません。
・市民プール「アクアパークきらめき」（管理棟）は、耐震診断が未実施ですが、平成 26（2014）年度に全面改修しました。

2. 利用状況とコスト

小分類	施設名	年間利用者数（人）	年間総コスト（円）	一人当たりコスト（円／人）	延床面積当たりコスト（円／㎡）
スポーツ施設	市民総合体育館	164,339	29,963,472	182	6,266
	総合スポーツ公園	87,025	28,975,829 ※1	333	10,033
	青少年スポーツホール	36,112	5,895,277	163	5,513
	市民プール 「アクアパークきらめき」（管理棟）	18,581	5,031,905	271	15,341

※1 公園施設管理コストを含んでいます。

【スポーツ施設】

・すべての施設において指定管理者制度を導入しています。
・市民総合体育館は、年間利用者数が最も多く、年間総コストも最も高くなっています。
・総合スポーツ公園は、広大な屋外施設を有しているため、年間総コストが高く、一人当たりのコストが最も高くなっています。
・青少年スポーツホールは、一人当たりのコスト及び延床面積当たりのコストが最も低くなっています。
・市民プール「アクアパークきらめき」（管理棟）は、施設規模が小さく、延床面積当たりのコストが最も高くなっています。

施設評価結果

■施設評価結果（1 次）

小分類	施設名	評価分類		ハード面（建物性能）				ソフト面（必需性）				総合計
				建物状況（満点68）	敷地状況（満点24）	拠点性状況（満点8）	ハード計（満点100）	コスト状況（満点28）	アクセス状況（満点32）	稼働状況（満点40）	ソフト計（満点100）	
スポーツ施設	市民総合体育館	A	維持	34	24	8	66	28	16	20	64	130
	総合スポーツ公園	A	維持	52	24	4	80	14	16	20	50	130
	青少年スポーツホール	B	更新	0	24	0	24	28	16	20	64	88
	市民プール「アクアパークきらめき」（管理棟）	B	更新	12	24	0	36	0	16	40	56	92

【評価分類Ａ】

・市民総合体育館及び総合スポーツ公園は、ハード面・ソフト面ともに大きな課題はありません。

【評価分類Ｂ】

・青少年スポーツホールは、建築後 45 年を経過しており、耐震補強が未実施であるため、ハード面の評価が低くなっています。

・市民プール「アクアパークきらめき」（管理棟）は、耐震診断が未実施であるため、ハード面の評価が低くなっています。

■施設評価結果（2 次）

小分類	施設名	基本的要件		民間代替性	地元移管可能性	主な機能	主な利用者	周辺施設数	広域連携可能性
		設置義務	上位・関連計画						
スポーツ施設	市民総合体育館	×	○	×	×	スポーツ、貸館・集会	市民等	2	○
	総合スポーツ公園	×	○	×	×	スポーツ	市民等	4	○
	青少年スポーツホール	×	○	×	×	スポーツ、貸館・集会	市民等	10	○
	市民プール「アクアパークきらめき」（管理棟）	×	○	×	×	スポーツ	市民等	7	○

【スポーツ施設】

・「市総合基本計画」第 3 章　個別施策 6 において、施策に関する指標として、スポーツ施設の利用者数を掲げています。

・スポーツ施設は、市域を超えた利用圏域を想定している施設であり、周辺自治体にも同種の施設が設置されているため、広域連携の可能性があります。

■市民総合体育館

・本施設で提供しているサービスは、体育館等の特殊な設備を要するため、他施設への機能移転には制限がありますが、他用途の受け入れは可能です。

■総合スポーツ公園

・本施設で提供しているサービスは、グラウンドやテニスコート等に広大な敷地を要するため、他施設への機能移転には制限がありますが、他用途の受け入れは可能です。

■青少年スポーツホール

・「金剛地区再生指針」において、金剛中央公園の屋外型交流拠点化を進める中での本施設のあり方の検討を掲げています。

・本施設の半径 500m圏内には、同じ貸館・集会機能を有する施設が 4 施設（高辺台集会所・金剛老人いこいの家・高辺プラザ・金剛連絡所）あります。

・本施設で提供しているサービスは、体育館等の特殊な設備を要するため、他施設への機能

移転には制限がありますが、他用途の受け入れは可能です。

■市民プール「アクアパークきらめき」（管理棟）

・本施設で提供しているサービスは、特殊な設備を要するため、他施設への機能移転には制限があります。

再配置方針
1. 機能方針 【スポーツ施設】 ・「市総合基本計画」に掲げているスポーツ活動の促進に向け、機能を維持します。
2. 建物方針 【スポーツ施設】 ■市民総合体育館、総合スポーツ公園 ・本施設は維持しますが、施設の効率的運用を図るため、他用途の受入れ（一部転用）及び周辺自治体の同種施設との広域連携を検討します。 ■青少年スポーツホール ・本施設は、「金剛地区再生指針」に基づき、金剛中央公園の屋外型交流拠点化を進める中で、多世代が交流する機能も含め、施設のあり方を検討します。 ■市民プール「アクアパークきらめき」（管理棟） ・本施設は、計画的な予防保全を実施しながら維持し、維持管理費の縮小を図っていきます。

再配置方針に関する課題及び考慮すべき点
【スポーツ施設】 ■市民総合体育館、総合スポーツ公園 ・長寿命化及びバリアフリー化の課題解決に向けた検討を行う必要があります。 ■青少年スポーツホール ・老朽化も進み、耐震性能も維持されていないことから、その方向性について早期の検討が必要です。

（6）レクリエーション・観光施設

対象施設の概要	
小分類	施設名
ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ・観光施設	農業公園「サバーファーム」、にこにこ市場、青少年教育キャンプ場、観光交流施設きらめきファクトリー

■施設の状況

1. 施設の概要と建物の状況

小分類	施設名	延床面積（㎡）	敷地面積（㎡）	代表建築年度	築年数（年）	建物構造	耐震性能
レクリエーション・観光施設	農業公園「サバーファーム」	2,584.04	336.00 ※1	1990	26	S	新基準
	にこにこ市場	141.96	※2	2009	7	S	新基準
	青少年教育キャンプ場	164.93	4,955.00	1979	37	W	旧基準 ※3
	観光交流施設きらめきファクトリー	251.39	275.65	2015	1	S	新基準

※1 借地（193,027 ㎡）を除きます。
※2 農業公園敷地を使用しています。
※3 耐震診断未実施のため耐震性能は不明です。

・青少年教育キャンプ場は、建築後 37 年を経過しており、耐震診断が未実施です。

2. 利用状況とコスト

小分類	施設名	年間利用者数（人）	年間総コスト（円）	一人当たりコスト（円／人）	延床面積当たりコスト（円／㎡）
レクリエーション・観光施設	農業公園「サバーファーム」	81,342	120,409,043 ※1	1,480	46,597
	にこにこ市場	71,633	446,888	6	3,148
	青少年教育キャンプ場	223	1,208,638	5,420	7,328
	観光交流施設きらめきファクトリー	28,740	1,855,882	65	7,382

※1 公園施設管理コストを含んでいます。

【レクリエーション・観光施設】

・農業公園「サバーファーム」、青少年教育キャンプ場及び観光交流施設きらめきファクトリーの 3 施設は、指定管理者制度を導入しています。
・農業公園「サバーファーム」の敷地の大半が有償借地です。
・農業公園「サバーファーム」は、広大な屋外施設を有しているため、年間総コスト及び延床面積当たりのコストが最も高くなっています。
・にこにこ市場は、年間総コスト、一人当たりのコスト及び延床面積当たりのコストが最も低くなっています。
・青少年教育キャンプ場は、年間利用者数が最も少なく、一人当たりのコストが最も高くなっています。

施設評価結果

■施設評価結果（1 次）

小分類	施設名	評価分類		ハード面（建物性能）				ソフト面（必需性）				総合計
				建物状況（満点68）	敷地状況（満点24）	拠点性状況（満点8）	ハード計（満点100）	コスト状況（満点28）	アクセス状況（満点32）	稼働状況（満点40）	ソフト計（満点100）	
レクリエーション・観光施設	農業公園「サバーファーム」	C	転用	32	16	8	56	0	16	0	16	72
	にこにこ市場	A	維持	62	24	0	86	28	8	40	76	162
	青少年教育キャンプ場	D	廃止	0	24	0	24	28	0	0	28	52
	観光交流施設きらめきファクトリー	A	維持	68	24	0	92	28	24	20	72	164

【評価分類Ａ】

・にこにこ市場及び観光交流施設きらめきファクトリーは、ハード面・ソフト面ともに大きな課題はありません。

【評価分類Ｃ】

・農業公園「サバーファーム」は、ハード面に大きな課題はありませんが、延床面積当たりのコストが高いため、ソフト面の評価が低くなっています。

【評価分類Ｄ】

・青少年教育キャンプ場は、耐震診断が未実施であり、年間利用者数も少ないため、総合的に低い評価となっています。

■施設評価結果（2 次）

小分類	施設名	基本的要件		民間代替性	地元移管可能性	主な機能	主な利用者	周辺施設数	広域連携可能性
		設置義務	上位・関連計画						
レクリエーション・観光施設	農業公園「サバーファーム」	×	○	○	×	レク・観光、講座、貸館・集会	市民等	4	×
	にこにこ市場	×	×	○	×	その他（農産物販売）	市民等	4	×
	青少年教育キャンプ場	×	×	○	×	レク・観光	市民等	0	×
	観光交流施設きらめきファクトリー	×	○	×	×	レク・観光、貸館・集会、講座、展示	市民等	11	×

【レクリエーション・観光施設・農産物直売所】

■農業公園「サバーファーム」

・「市総合基本計画」第 3 章　個別施策 19 において、施策に関する指標として、本施設の入園者数を掲げています。

・本施設で提供しているサービスと同等のものが、民間事業者により供給されています。

・本施設で提供しているサービスは、野菜や果物の収穫体験などに広大な敷地を要するため、他施設への機能移転には制限がありますが、他用途の受け入れは可能です。

■にこにこ市場

・「市総合基本計画」第 3 章　個別施策 18 において、地産地消の取り組みの推進を掲げています。

・本施設で提供しているサービスと同等のものが、民間事業者により供給されています。

・本施設で提供しているサービスは、特殊な設備を要するものではないため、他施設への機能移転及び他用途の受け入れが可能です。

■青少年教育キャンプ場

・本施設で提供しているサービスと同等のものが、民間事業者により供給されています。

・本施設は、施設及びその運営を民間事業者に移管できる可能性があります。

・本施設で提供しているサービスは、広大な敷地を要するため、他施設への機能移転には制限があります。

■観光交流施設きらめきファクトリー

・「市総合基本計画」第 3 章　個別施策 19 において、本施設における情報発信等の充実を掲げています。

・本施設の半径 500m圏内には、同じレクリエーション・観光機能を有する施設が 2 施設（寺内町センター・じないまち交流館）、貸館・集会機能を有する施設が 6 施設（中央公民館・人権文化センター・寺内町センター・じないまち交流館・若松町一丁目老人いこいの家・児童館）、展示機能を有する施設が 2 施設（寺内町センター・じないまち交流館）あります。

・本施設は、本市の玄関口である富田林駅前に設置した観光交流施設であるため、近隣施設以外への機能移転には制限があります。ただし、他用途の受け入れは可能です。

再配置方針
1. 機能方針 【レクリエーション・観光施設】 ・「市総合基本計画」に掲げている自然資源や歴史的資源を活かした観光振興、農産物の生産価値向上に向け、機能を維持します。 ・青少年教育キャンプ場については、利用者数が低迷していることに加え、施設が老朽化し、また民間事業者による同等サービスが供給されていることから、機能の廃止を検討します。
2. 建物方針 【レクリエーション・観光施設】 ■農業公園「サバーファーム」 ・本施設を維持しますが、地元等の協力のもと、本施設の魅力向上に努め、その上で効果的・効率的な管理運営について検討を進めます。 ■にこにこ市場 ・本施設は維持しますが、農業公園「サバーファーム」との一体的な運営及び地元等による協力のもと、集客力の強化に努め、その上で効果的・効率的な管理運営について検討を進めます。 ■青少年教育キャンプ場 ・本施設は、除却及び跡地の売却等について検討します。 ■観光交流施設きらめきファクトリー ・本施設は維持しますが、施設の効率的運用について検討します。

再配置方針に関する課題及び考慮すべき点
【レクリエーション・観光施設・農産物直売所】 ■農業公園「サバーファーム」、にこにこ市場 ・6 次産業化、農産物特産品のブランド化等、都市農業振興に向けた積極的な機能更新について検討する必要があります。 ・敷地の大半が有償借地（農地）となっています。 ■青少年教育キャンプ場 ・廃止に向けては、跡地利用について検討も必要です。 ■観光交流施設きらめきファクトリー

・寺内町関連施設及び周辺市町村との連携と広域的な観光マネジメントが必要です。
・貸館・集会機能については、他施設の同機能の利用状況を踏まえ、規模の変更や機能統合の検討を行う必要があります。

（7）小学校

対象施設の概要	
小分類	施設名
小学校	富田林小学校、新堂小学校、喜志小学校、大伴小学校、彼方小学校、錦郡小学校、川西小学校、東条小学校、高辺台小学校、久野喜台小学校、寺池台小学校、伏山台小学校、喜志西小学校、藤沢台小学校、小金台小学校、向陽台小学校

■施設の状況

1. 施設の概要と建物の状況

小分類	施設名	延床面積（㎡）	敷地面積（㎡）	代表建築年度	築年数（年）	建物構造	耐震性能
小学校	富田林小学校	5,810.85	13,017.00	1967	49	ＲＣ	旧基準（補強済）
	新堂小学校	9,256.00	16,433.25 ※1	1966	50	ＲＣ	旧基準（補強済）
	喜志小学校	4,971.61	7,316.74 ※2	1968	48	ＲＣ	旧基準（耐震性能あり）
	大伴小学校	5,652.00	12,772.00	1965	51	ＲＣ	旧基準（補強済）
	彼方小学校	5,692.68	13,590.12 ※3	1968	48	ＲＣ	旧基準（補強済）
	錦郡小学校	5,124.90	10,790.90	1972	44	ＲＣ	旧基準（補強済）
	川西小学校	5,821.84	13,254.00 ※4	1970	46	ＲＣ	旧基準（補強済）
	東条小学校	3,694.00	8,783.62	1974	42	ＲＣ	旧基準（補強済）
	高辺台小学校	6,867.00	16,183.86	1967	49	ＲＣ	旧基準（補強済）
	久野喜台小学校	6,527.59	20,044.23	1968	48	ＲＣ	旧基準（補強済）
	寺池台小学校	7,051.36	17,558.56	1969	47	ＲＣ	旧基準（補強済）
	伏山台小学校	4,738.36	18,853.00	1977	39	ＲＣ	旧基準（補強済）
	喜志西小学校	3,905.00	17,349.00	1978	38	ＲＣ	旧基準（耐震性能あり）
	藤沢台小学校	6,073.12	28,900.13	1980	36	ＲＣ	旧基準（補強済）
	小金台小学校	7,433.15	24,498.62	1989	27	ＲＣ	新基準
	向陽台小学校	6,787.00	26,912.66	1990	26	ＲＣ	新基準

※1 借地（710㎡）を除きます。
※2 借地（593㎡）を除きます。
※3 借地（918㎡）を除きます。
※4 借地（114㎡）を除きます。

・各小学校には、学童施設が設置されています。
・高辺台小学校には、高辺台集会所及び高辺プラザが併設されています。
・16校中14校で大規模改修が必要となる目安の建築後30年を経過していますが、すべての小学校において、耐震性が確保されています。

2. 利用状況とコスト

小分類	施設名	児童数（人）	年間総コスト（円）	一人当たりコスト（円／人）	延床面積当たりコスト（円／㎡）
小学校	富田林小学校	310	6,371,001	20,552	1,096
	新堂小学校	457	8,553,541	18,717	924
	喜志小学校	457	9,249,297	20,239	1,860
	大伴小学校	465	5,748,820	12,363	1,017
	彼方小学校	258	7,039,593	27,285	1,237
	錦郡小学校	301	4,412,487	14,659	861
	川西小学校	398	6,287,736	15,798	1,080
	東条小学校	129	4,766,995	36,953	1,290
	高辺台小学校	166	4,232,225	25,495	616
	久野喜台小学校	297	5,579,737	18,787	855
	寺池台小学校	467	6,263,316	13,412	888
	伏山台小学校	312	5,849,065	18,747	1,234
	喜志西小学校	304	3,719,351	12,235	952
	藤沢台小学校	426	5,863,704	13,765	966
	小金台小学校	502	7,464,953	14,870	1,004
	向陽台小学校	214	6,439,489	30,091	949

※喜志、大伴、彼方、川西、東条、伏山台小学校については、併設している幼稚園の光熱水費の一部または

全部をコストに計上しています。また、全ての小学校について、学童クラブの光熱水費の一部をコストに計上しています。

【小学校】

・新堂、喜志、彼方及び川西小学校の 4 校は、敷地の一部が有償借地です。
・喜志小学校は、年間総コスト及び延床面積当たりのコストが最も高くなっています。
・東条小学校は、児童数が最も少なく、一人当たりのコストが最も高くなっています。

施設評価結果

■施設評価結果（1 次）

小分類	施設名	評価分類		ハード面（建物性能）				ソフト面（必需性）				総合計
				建物状況（満点68）	敷地状況（満点24）	拠点性状況（満点8）	ハード計（満点100）	コスト状況（満点28）	アクセス状況（満点32）	稼働状況（満点40）	ソフト計（満点100）	
小学校	富田林小学校	A	維持	36	24	4	64	14	32	20	66	130
	新堂小学校	A	維持	36	16	8	60	14	16	20	50	110
	喜志小学校	A	維持	36	16	4	56	0	28	40	68	124
	大伴小学校	A	維持	36	24	4	64	14	12	40	66	130
	彼方小学校	B	更新	36	8	4	48	14	28	20	62	110
	錦郡小学校	A	維持	36	24	4	64	14	28	20	62	126
	川西小学校	A	維持	36	16	4	56	14	32	20	66	122
	東条小学校	A	維持	36	16	0	52	14	16	20	50	102
	高辺台小学校	C	転用	36	24	4	64	28	16	0	44	108
	久野喜台小学校	A	維持	26	24	4	54	14	24	20	58	112
	寺池台小学校	A	維持	36	24	4	64	14	24	20	58	122
	伏山台小学校	A	維持	36	24	4	64	14	20	20	54	118
	喜志西小学校	A	維持	36	24	0	60	14	16	40	70	130
	藤沢台小学校	A	維持	36	24	4	64	14	16	20	50	114
	小金台小学校	A	維持	46	24	4	74	14	16	20	50	124
	向陽台小学校	A	維持	56	24	4	84	14	16	20	50	134

【評価分類Ａ】

・富田林、新堂、喜志、大伴、錦郡、川西、東条、久野喜台、寺池台、伏山台、喜志西、藤沢台、小金台及び向陽台小学校の 14 校は、ハード面・ソフト面ともに大きな課題はありません。

【評価分類Ｂ】

・彼方小学校は、敷地の一部が土砂災害警戒区域に位置するため、ハード面の評価が低くなっています。

【評価分類Ｃ】

・高辺台小学校は、ハード面に大きな課題はありませんが、延床面積当たりの児童数が少ないためソフト面の評価が低くなっています。

■施設評価結果（2 次）

小分類	施設名	基本的要件		民間代替性	地元移管可能性	主な機能	主な利用者	周辺施設数	広域連携可能性
		設置義務	上位・関連計画						
小学校	富田林小学校	○	○	×	×	教育	市民（校区内）	14	×
	新堂小学校	○	○	×	×	教育	市民（校区内）	5	×
	喜志小学校	○	○	×	×	教育	市民（校区内）	3	×
	大伴小学校	○	○	×	×	教育	市民（校区内）	3	×
	彼方小学校	○	○	×	×	教育	市民（校区内）	2	×
	錦郡小学校	○	○	×	×	教育	市民（校区内）	4	×
	川西小学校	○	○	×	×	教育	市民（校区内）	7	×
	東条小学校	○	○	×	×	教育	市民（校区内）	3	×
	高辺台小学校	○	○	×	×	教育	市民（校区内）	13	×
	久野喜台小学校	○	○	×	×	教育	市民（校区内）	7	×
	寺池台小学校	○	○	×	×	教育	市民（校区内）	6	×
	伏山台小学校	○	○	×	×	教育	市民（校区内）	4	×
	喜志西小学校	○	○	×	×	教育	市民（校区内）	2	×
	藤沢台小学校	○	○	×	×	教育	市民（校区内）	4	×
	小金台小学校	○	○	×	×	教育	市民（校区内）	4	×
	向陽台小学校	○	○	×	×	教育	市民（校区内）	8	×

【小学校】

・学校教育法第 38 条※の規定により、市町村に設置が義務付けられている施設です。

・本施設は、体育館やプール等の特殊な設備を有するため、他施設への機能移転には制限がありますが、他用途の受け入れは可能です

・高辺台と久野喜台小学校、寺池台と伏山台小学校は、それぞれ半径500m圏内に設置されています。

・富田林、川西、高辺台、藤沢台、小金台及び向陽台小学校の 6 校は、半径 500m圏内に市立中学校が設置されています。

※学校教育法第 38 条…市町村は、その区域内にある学齢児童を就学させるに必要な小学校を設置しなければならない

再配置方針

1. 機能方針

【小学校】

・「市総合基本計画」に掲げている小・中学校における教育の充実向け、機能を維持します。

2. 建物方針

【小学校】

・本施設はすべて維持しますが、他用途の受入れ（一部転用）を検討します。また、後期計画策定に向け、各学区の児童数の推移を見極めながら小学校及び小・中学校の機能統合についても検討を始めます。

再配置方針に関する課題及び考慮すべき点

【小学校】

・地域のまちづくりと効率的な学校運営を進めていく上で小学校区の再編等について検討が必要です。

・「市総合ビジョンおよび総合基本計画」に掲げる基本施策「主体的な市民参加と協働による

まちづくり」のさらなる推進に向け、学校施設の活用について検討が必要です。
・他用途の受入れに際しては、教育環境に配慮する必要があります。
・借地料が発生している小学校については、その解消に向けた取組みが必要です。

（8）中学校

対象施設の概要	
小分類	施設名
中学校	第一中学校、第二中学校、第三中学校、金剛中学校、葛城中学校、喜志中学校、藤陽中学校、明治池中学校

■施設の状況

1. 施設の概要と建物の状況

小分類	施設名	延床面積（㎡）	敷地面積（㎡）	代表建築年度	築年数（年）	建物構造	耐震性能
中学校	第一中学校	9,657.90	25,195.00	1963	53	RC	旧基準（補強済）
	第二中学校	7,271.29	20,384.91	1966	50	RC	旧基準（補強済）
	第三中学校	6,986.05	17,386.61	1971	45	RC	旧基準（補強済）
	金剛中学校	9,066.30	30,253.19	1967	49	RC	旧基準（補強済）
	葛城中学校	7,398.00	33,936.11	1980	36	RC	旧基準（補強済）
	喜志中学校	6,003.00	22,048.00	1983	33	RC	新基準
	藤陽中学校	7,808.93	29,400.14	1986	30	RC	新基準
	明治池中学校	6,087.26	26,585.90	1990	26	RC	新基準

・各中学校には、学校給食施設が併設されています。
・第一中学校には、埋蔵文化財センターが併設されています。
・8 校中 7 校で大規模改修が必要となる目安の建築後 30 年を経過していますが、すべての中学校において、耐震性が確保されています。

2. 利用状況とコスト

小分類	施設名	生徒数（人）	年間総コスト（円）	一人当たりコスト（円／人）	延床面積当たりコスト（円／㎡）
中学校	第一中学校	467	11,191,470	23,965	1,159
	第二中学校	500	10,900,606	21,801	1,499
	第三中学校	442	7,899,074	17,871	1,131
	金剛中学校	456	9,964,625	21,852	1,099
	葛城中学校	267	10,310,687	38,617	1,394
	喜志中学校	430	11,504,906	26,756	1,917
	藤陽中学校	325	8,438,723	25,965	1,081
	明治池中学校	296	10,468,809	35,368	1,720

【中学校】
・第三中学校は、年間総コスト及び一人当たりのコストが最も低くなっています。
・喜志中学校は、年間総コスト及び延床面積当たりのコストが最も高くなっています。
・葛城中学校は、生徒数が最も少なく、一人当たりのコストが最も高くなっています。

施設評価結果

■施設評価結果（1 次）

小分類	施設名	評価分類		ハード面（建物性能）				ソフト面（必需性）				総合計
				建物状況（満点68）	敷地状況（満点24）	拠点性状況（満点8）	ハード計（満点100）	コスト状況（満点28）	アクセス状況（満点32）	稼働状況（満点40）	ソフト計（満点100）	
中学校	第一中学校	A	維持	38	24	4	66	14	32	20	66	132
	第二中学校	A	維持	36	24	4	64	14	32	20	66	130
	第三中学校	C	転用	36	24	4	64	14	12	20	46	110
	金剛中学校	A	維持	36	24	4	64	14	24	20	58	122
	葛城中学校	A	維持	36	24	4	64	14	16	20	50	114
	喜志中学校	A	維持	46	24	4	74	0	20	40	60	134
	藤陽中学校	A	維持	46	24	4	74	14	16	20	50	124
	明治池中学校	A	維持	46	24	4	74	14	24	20	58	132

【評価分類Ａ】

・第一、第二、金剛、葛城、喜志、藤陽及び明治池中学校の 7 校は、ハード面・ソフト面ともに大きな課題はありません。

【評価分類Ｃ】

・第三中学校は、アクセス状況の評価が低いため、ソフト面の評価が低くなっています。

■施設評価結果（2 次）

小分類	施設名	基本的要件		民間代替性	地元移管可能性	主な機能	主な利用者	周辺施設数	広域連携可能性
		設置義務	上位・関連計画						
中学校	第一中学校	○	○	×	×	教育	市民（校区内）	10	×
	第二中学校	○	○	×	×	教育	市民（校区内）	7	×
	第三中学校	○	○	×	×	教育	市民（校区内）	1	×
	金剛中学校	○	○	×	×	教育	市民（校区内）	8	×
	葛城中学校	○	○	×	×	教育	市民（校区内）	1	×
	喜志中学校	○	○	×	×	教育	市民（校区内）	1	×
	藤陽中学校	○	○	×	×	教育	市民（校区内）	11	×
	明治池中学校	○	○	×	×	教育	市民（校区内）	5	×

【中学校】

・学校教育法第 49 条※の規定により、市町村に設置が義務付けられている施設です。

・本施設は、体育館やプール等の特殊な設備を有するため、他の既存施設への機能移転には制限がありますが、他用途の受け入れは可能です。

・各中学校の半径 500m圏内に、他の市立中学校はありませんが、第一、第二、金剛、藤陽及び明治池中学校の 5 校については、同圏内に市立小学校が設置されています。

※学校教育法第 49 条…学校教育法 38 条の規定（P107 に記載）を中学校に準用します。

再配置方針

1. 機能方針

【中学校】

・「市総合基本計画」に掲げている小・中学校における教育の充実に向け、機能を維持します。

2. 建物方針

【中学校】

・本施設はすべて維持しますが、他用途の受入れ（一部転用）を検討します。また、後期計画策定に向け、各学区の生徒数の推移を見極めながら小・中学校の機能統合について検討を始めます。

再配置方針に関する課題及び考慮すべき点

【中学校】

・地域のまちづくりと効率的な学校運営を進めていく上で中学校区の再編等について検討が必要です。

・「市総合ビジョンおよび総合基本計画」に掲げる基本施策「主体的な市民参加と協働によるまちづくり」のさらなる推進に向け、学校施設の活用について検討が必要です。

・他用途の受入れに際しては、教育環境に配慮する必要があります。

（9）幼稚園

対象施設の概要	
小分類	施設名
幼稚園	富田林幼稚園、新堂幼稚園、喜志幼稚園、大伴幼稚園、板持幼稚園、彼方幼稚園、錦郡幼稚園、川西幼稚園、東条幼稚園、伏山台幼稚園、喜志西幼稚園、青葉丘幼稚園、津々山台幼稚園

■施設の状況

1. 施設の概要と建物の状況

小分類	施設名	延床面積（㎡）	敷地面積（㎡）	代表建築年度	築年数（年）	建物構造	耐震性能
幼稚園	富田林幼稚園	888.00	※1	1983	33	S	新基準
	新堂幼稚園	937.00	2,907.00	1976	40	RC	旧基準（耐震性能あり）
	喜志幼稚園	413.00	3,362.00	1976	40	S	旧基準（補強済）
	大伴幼稚園	647.00	2,340.06	1976	40	S	旧基準（補強済）
	板持幼稚園	573.00	※2	1982	34	S	旧基準
	彼方幼稚園	432.00	1,820.00	1980	36	S	旧基準（補強済）
	錦郡幼稚園	416.00	1,983.73	1979	37	S	旧基準（補強済）
	川西幼稚園	713.00	2,850.00	1984	32	S	新基準
	東条幼稚園	238.00	608.00	1974	42	S	旧基準
	伏山台幼稚園	686.00	4,821.00	1977	39	S	旧基準（補強済）
	喜志西幼稚園	453.00	1,811.00	1982	34	S	旧基準（補強済）
	青葉丘幼稚園	1,122.00	4,558.22	1970	46	S	旧基準（補強済）
	津々山台幼稚園	702.50	2,000.01	1993	23	S	新基準

※1 敷地のすべてが借地（2,554 ㎡）です。
※2 敷地のすべてが借地（1,755 ㎡）です。

・青葉丘幼稚園には、青葉地区老人いこいの家が併設されています。
・13 園中 12 園で大規模改修が必要となる目安の建築後 30 年を経過しています。
・板持幼稚園及び東条幼稚園は、耐震補強が未実施であるため、耐震性が確保されていません。
・板持幼稚園は平成 26（2014）年度、東条幼稚園は平成 22（2010）年度、喜志西幼稚園は平成 29（2017）年度より休園しています。

2. 利用状況とコスト

小分類	施設名	園児数（人）	年間総コスト（円）	一人当たりコスト（円／人）	延床面積当たりコスト（円／㎡）
幼稚園	富田林幼稚園	34	8,400,295	247,068	9,460
	新堂幼稚園	29	1,227,760	42,337	1,310
	喜志幼稚園	31	462,803	14,929	1,121
	大伴幼稚園	51	741,498	14,539	1,146
	板持幼稚園	0	330,270	－	576
	彼方幼稚園	37	1,094,021	29,568	2,532
	錦郡幼稚園	27	947,572	35,095	2,278
	川西幼稚園	35	1,408,566	40,245	1,976
	東条幼稚園	0	149,223	－	627
	伏山台幼稚園	22	252,647	11,484	368
	喜志西幼稚園	14	1,146,093	81,864	2,530
	青葉丘幼稚園	37	1,687,538	45,609	1,504
	津々山台幼稚園	74	1,181,476	15,966	1,682

※喜志、大伴、彼方、川西、東条、伏山台幼稚園については、光熱水費の一部または全部を小学校のコストに計上しています。

【幼稚園】

・富田林幼稚園は、敷地が有償借地です。

・富田林幼稚園は、年間総コスト、一人当たりのコスト及び延床面積当たりのコストが最も高くなっています。

・板持幼稚園は、敷地が無償借地です。

・板持幼稚園及び東条幼稚園は休園中ですが、維持管理コストが発生しています。

施設評価結果

■施設評価結果（1 次）

小分類	施設名	評価分類		ハード面（建物性能）				ソフト面（必需性）				総合計
				建物状況（満点68）	敷地状況（満点24）	拠点性状況（満点8）	ハード計（満点100）	コスト状況（満点28）	アクセス状況（満点32）	稼働状況（満点40）	ソフト計（満点100）	
幼稚園	富田林幼稚園	C	転用	30	16	8	54	0	28	20	48	102
	新堂幼稚園	A	維持	32	24	8	64	28	16	20	64	128
	喜志幼稚園	A	維持	32	24	0	56	28	28	40	96	152
	大伴幼稚園	A	維持	30	24	4	58	28	12	40	80	138
	板持幼稚園	D	廃止	12	16	4	32	28	16	0	44	76
	彼方幼稚園	B	更新	30	16	0	46	14	28	40	82	128
	錦郡幼稚園	A	維持	30	24	0	54	14	28	40	82	136
	川西幼稚園	A	維持	30	24	4	58	14	32	20	66	124
	東条幼稚園	D	廃止	10	16	0	26	28	16	0	44	70
	伏山台幼稚園	A	維持	30	24	4	58	28	20	20	68	126
	喜志西幼稚園	A	維持	30	24	4	58	14	16	20	50	108
	青葉丘幼稚園	A	維持	20	24	8	52	14	16	20	50	102
	津々山台幼稚園	A	維持	50	24	4	78	14	16	40	70	148

【評価分類Ａ】

・新堂、喜志、大伴、錦郡、川西、伏山台、喜志西、青葉丘及び津々山台幼稚園の 9 園は、ハード面・ソフト面ともに大きな課題はありません。

【評価分類Ｂ】

・彼方幼稚園は、土砂災害特別警戒区域に位置するため、ハード面の評価が低くなっています。

【評価分類Ｃ】

・富田林幼稚園は、ハード面に大きな課題はありませんが、敷地が有償借地であり延床面積当たりのコストが高いため、ソフト面の評価が低くなっています。

【評価分類Ｄ】

・板持幼稚園及び東条幼稚園は、耐震補強が未実施であり、また現在休園中であるため、総合的に低い評価となっています。

■施設評価結果（2 次）

小分類	施設名	基本的要件		民間代替性	地元移管可能性	主な機能	主な利用者	周辺施設数	広域連携可能性
		設置義務	上位・関連計画						
幼稚園	富田林幼稚園	×	○	○	×	教育	市民	15	×
	新堂幼稚園	×	○	○	×	教育	市民	4	×
	喜志幼稚園	×	○	○	×	教育	市民	3	×
	大伴幼稚園	×	○	○	×	教育	市民	3	×
	板持幼稚園	×	○	○	×	教育	市民	1	×
	彼方幼稚園	×	○	○	×	教育	市民	3	×
	錦郡幼稚園	×	○	○	×	教育	市民	4	×
	川西幼稚園	×	○	○	×	教育	市民	7	×
	東条幼稚園	×	○	○	×	教育	市民	3	×
	伏山台幼稚園	×	○	○	×	教育	市民	4	×
	喜志西幼稚園	×	○	○	×	教育	市民	3	×
	青葉丘幼稚園	×	○	○	×	教育	市民	1	×
	津々山台幼稚園	×	○	○	×	教育	市民	7	×

【幼稚園】

・「市総合基本計画」第 3 章　個別施策 2 において、保育・子育て支援の充実を掲げています。また、同個別施策 3 において、健全な発達を育む幼児教育の推進を掲げています。
・本施設で提供しているサービスと同等のものが、民間事業者により供給されています。
・本施設は、プール等の特殊な設備を有するため、他施設への機能移転には制限がありますが、他用途の受け入れは可能です。
・各幼稚園の半径 500m圏内に他の市立幼稚園はありませんが、富田林、新堂及び彼方幼稚園の 3 園については、同圏内に市立保育園があります。また、板持幼稚園及び青葉丘幼稚園以外の幼稚園については、同圏内に小学校があります。

再配置方針

1. 機能方針

【幼稚園】

・「市総合基本計画」に掲げられた保育・子育て支援の充実・幼児教育の質の向上に向け、機能を維持します。

2. 建物方針

【幼稚園】

・現在休園中である板持幼稚園及び東条幼稚園については、廃止し除却します。また、喜志西幼稚園については、廃止の上、他用途の受入れ（転用）を検討します。
・新たな保育・子育てニーズへの対応につながる施設のあり方について引き続き検討します。

再配置方針に関する課題及び考慮すべき点

【幼稚園】

・平成 29（2017）年 5 月現在、公立幼稚園 10 園 1,820 人の定員に対し 313 人の園児数であり、1 園を除き、各年齢別 1 クラス体制となっています。また、私立幼稚園については、6 園 2,090 人の定員に対し 1,177 人（他市町村からの通園児童含む）であるため、幼稚園全体の総量を勘案しながら、公立園の役割について検討する必要があります。

・借地料が発生している幼稚園については、その解消に向けた取組みが必要です。

（10）保育所

対象施設の概要	
小分類	施設名
保育所	富田林保育園、彼方保育園、大伴保育園、若葉保育園、金剛保育園、金剛東保育園

■施設の状況

1. 施設の概要と建物の状況

小分類	施設名	延床面積（㎡）	敷地面積（㎡）	代表建築年度	築年数（年）	建物構造	耐震性能
保育所	富田林保育園	541.30	740.48	1990	26	S	新基準
	彼方保育園	736.57	2,304.75	1971	45	S	旧基準（補強済）
	大伴保育園	686.18	1,886.16	1968	48	S	旧基準（耐震性能あり）
	若葉保育園	951.76	3,346.00	1969	47	S	旧基準（補強済）
	金剛保育園	1,731.00	※1	1969	47	S	旧基準（補強済）
	金剛東保育園	995.44	※2	1993	23	RC	新基準

※1 敷地のすべてが借地（3,507 ㎡）です。
※2 敷地のすべてが借地（2,400 ㎡）です。

・6 園中 4 園で大規模改修が必要となる目安の建築後 30 年を経過していますが、すべての保育園において、耐震性が確保されています。

2. 利用状況とコスト

小分類	施設名	園児数（人）	年間総コスト（円）	一人当たりコスト（円／人）	延床面積当たりコスト（円／㎡）
保育所	富田林保育園	68	4,216,328	62,005	7,789
	彼方保育園	103	4,969,519	48,248	6,747
	大伴保育園	103	5,780,967	56,126	8,425
	若葉保育園	109	6,040,271	55,415	6,346
	金剛保育園	243	10,451,888	43,012	6,038
	金剛東保育園	113	6,421,469	56,827	6,451

【保育所】

・金剛保育園及び金剛東保育園は、敷地が無償借地です。
・富田林保育園は、園児数が最も少なく、年間総コストが最も低く、一人当たりのコストが最も高くなっています。
・大伴保育園は、延べ床面積当たりのコストが最も高くなっています。
・金剛保育園は、園児数が最も多く、年間総コストが最も高く、一人当たりのコスト及び延床面積当たりのコストが最も低くなっています。

施設評価結果

■施設評価結果（1 次）

小分類	施設名	評価分類		ハード面（建物性能）				ソフト面（必需性）				総合計
				建物状況（満点68）	敷地状況（満点24）	拠点性状況（満点8）	ハード計（満点100）	コスト状況（満点28）	アクセス状況（満点32）	稼働状況（満点40）	ソフト計（満点100）	
保育所	富田林保育園	C	転用	30	24	0	54	14	12	20	46	100
	彼方保育園	A	維持	32	24	4	60	14	16	20	50	110
	大伴保育園	D	廃止	20	24	4	48	14	4	20	38	86
	若葉保育園	A	維持	32	24	4	60	14	16	20	50	110
	金剛保育園	A	維持	34	24	8	66	14	24	20	58	124
	金剛東保育園	C	転用	52	24	4	80	14	8	20	42	122

【評価分類Ａ】
・彼方、若葉及び金剛保育園の 3 園は、ハード面・ソフト面ともに大きな課題はありません。
【評価分類Ｃ】
・富田林保育園及び金剛東保育園は、ハード面に大きな課題はありませんが、アクセス状況の評価が低いため、ソフト面の評価が低くなっています。
【評価分類Ｄ】
・大伴保育園は、建物状況及びアクセス状況の評価が低いため、総合的に低い評価となっています。

■施設評価結果（2 次）

小分類	施設名	基本的要件		民間代替性	地元移管可能性	主な機能	主な利用者	周辺施設数	広域連携可能性
		設置義務	上位・関連計画						
保育所	富田林保育園	×	○	○	×	育児・児童育成	市民	16	×
	彼方保育園	×	○	○	×	育児・児童育成	市民	2	×
	大伴保育園	×	○	○	×	育児・児童育成	市民	0	×
	若葉保育園	×	○	○	×	育児・児童育成	市民	11	×
	金剛保育園	×	○	○	×	育児・児童育成	市民	10	×
	金剛東保育園	×	○	○	×	育児・児童育成	市民	4	×

【保育所】
・「市総合基本計画」第 3 章　個別施策 2 において、施策に関する指標として、保育所の待機児童数を掲げています。
・本施設で提供しているサービスと同等のものが、民間事業者により供給されています。
・本施設は、調理室やプール等の特殊な設備を有するため、他施設への機能移転には制限がありますが、他用途の受け入れは可能です。
・各保育所の半径 500m圏内に他の市立保育所はありませんが、富田林、彼方及び若葉保育園の 3 園については、同圏内に市立幼稚園があります。
・若葉保育園の半径 500m圏内には、同じ育児・児童育成機能を有する施設が 1 施設（児童館）あります。

再配置方針

1. 機能方針
【保育所】
・「市総合基本計画」に掲げられた保育・子育て支援の充実・幼児教育の質の向上に向け、機能を維持します。

2. 建物方針
【保育所】
・新たな保育・子育てニーズへの対応につながる施設のあり方について引き続き検討します。

再配置方針に関する課題及び考慮すべき点

【保育所】
・平成 29（2017）年 5 月現在、公立保育所 6 園 670 人の定員に対し 716 人の園児数となっており、待機児童が発生しています。

・公的保育が担う役割を明確にし、幼稚園のあり方も勘案した上で、保育所の配置を検討していく必要があります。

（11）児童施設

対象施設の概要	
小分類	施設名
学童クラブ	富田林学童クラブ、新堂学童クラブ、喜志学童クラブ、大伴学童クラブ、 彼方学童クラブ、錦郡学童クラブ、川西学童クラブ、東条学童クラブ、 高辺台学童クラブ、久野喜台学童クラブ、寺池台学童クラブ、伏山台学童クラブ、 喜志西学童クラブ、藤沢台学童クラブ、小金台学童クラブ、向陽台学童クラブ

■施設の状況

1. 施設の概要と建物の状況

小分類	施設名	延床面積（㎡）	敷地面積（㎡）	代表建築年度	築年数（年）	建物構造	耐震性能
学童クラブ	富田林学童クラブ	90.00	※1	1967	49	RC	旧基準（補強済）
	新堂学童クラブ	177.00		1971	45	RC	旧基準（補強済）
	喜志学童クラブ	184.20		2011	5	S	新基準
	大伴学童クラブ	98.02		2010	6	S	新基準
	彼方学童クラブ	88.00		1981	35	RC	旧基準（補強済）
	錦郡学童クラブ	148.09		2000	16	S	新基準
	川西学童クラブ	125.44		1983	33	S	新基準
	東条学童クラブ	91.00		1974	42	RC	旧基準（補強済）
	高辺台学童クラブ	85.00		1975	41	RC	旧基準（耐震性能あり）
	久野喜台学童クラブ	105.00		1968	48	RC	旧基準（補強済）
	寺池台学童クラブ	236.00		1969	47	RC	旧基準（補強済）
	伏山台学童クラブ	152.86		2013	3	S	新基準
	喜志西学童クラブ	80.00		1982	34	S	新基準
	藤沢台学童クラブ	88.30		1983	33	S	新基準
	小金台学童クラブ	146.62		1989	27	S	新基準
	向陽台学童クラブ	76.75		1992	24	S	新基準

※1 各小学校の敷地を使用しています。

・富田林、新堂、彼方、東条、高辺台、久野喜台及び寺池台学童クラブの 7 施設は、各小学校の校舎内に併設されています。
・大伴、川西、伏山台、喜志西、藤沢台、小金台及び向陽台学童クラブの 7 施設は、各小学校の敷地内に設置されています。
・喜志学童クラブ及び錦郡学童クラブは、各小学校の校舎内及び敷地内に設置されています。
・16 施設中 10 施設で大規模改修が必要となる目安の建築後 30 年を経過していますが、すべての学童クラブにおいて、耐震性が確保されています。

2. 利用状況とコスト

小分類	施設名	児童数（人）	年間総コスト（円）	一人当たりコスト（円／人）	延床面積当たりコスト（円／㎡）
学童クラブ	富田林学童クラブ	47	59,676	1,270	663
	新堂学童クラブ	50	144,732	2,895	818
	喜志学童クラブ	88	662,576	7,529	3,597
	大伴学童クラブ	49	335,876	6,855	3,427
	彼方学童クラブ	21	156,170	7,437	1,775
	錦郡学童クラブ	61	368,018	6,033	2,485
	川西学童クラブ	52	165,772	3,188	1,322
	東条学童クラブ	20	149,710	7,486	1,645
	高辺台学童クラブ	34	329,138	9,681	3,872
	久野喜台学童クラブ	58	25,116	433	239
	寺池台学童クラブ	70	116,145	1,659	492
	伏山台学童クラブ	49	370,402	7,559	2,423
	喜志西学童クラブ	56	167,165	2,985	2,090
	藤沢台学童クラブ	55	431,470	7,845	4,886
	小金台学童クラブ	61	570,456	9,352	3,891
	向陽台学童クラブ	28	100,416	3,586	1,308

※ 全ての学童クラブにおいて、光熱水費の一部を各小学校のコストに計上しています。

【学童クラブ】

・喜志学童クラブは、児童数が最も多く、年間総コストが最も高くなっています。

・久野喜台学童クラブは、年間総コスト、一人当たりのコスト及び延床面積当たりのコストが最も低くなっています。

施設評価結果

■施設評価結果（1 次）

小分類	施設名	評価分類		ハード面（建物性能）				ソフト面（必需性）				総合計
				建物状況（満点68）	敷地状況（満点24）	拠点性状況（満点8）	ハード計（満点100）	コスト状況（満点28）	アクセス状況（満点32）	稼働状況（満点40）	ソフト計（満点100）	
学童クラブ	富田林学童クラブ	A	維持	22	24	4	50	28	32	20	80	130
	新堂学童クラブ	A	維持	20	24	8	52	28	16	20	64	116
	喜志学童クラブ	C	転用	62	24	8	94	0	28	20	48	142
	大伴学童クラブ	C	転用	62	24	4	90	0	12	20	32	122
	彼方学童クラブ	A	維持	40	16	4	60	14	28	20	62	122
	錦郡学童クラブ	A	維持	60	24	4	88	14	28	20	62	150
	川西学童クラブ	A	維持	30	24	4	58	28	32	20	80	138
	東条学童クラブ	A	維持	32	16	4	52	14	16	20	50	102
	高辺台学童クラブ	D	廃止	20	24	0	44	0	16	20	36	80
	久野喜台学童クラブ	B	更新	20	24	4	48	28	24	40	92	140
	寺池台学童クラブ	A	維持	20	24	8	52	28	24	20	72	124
	伏山台学童クラブ	A	維持	62	24	4	90	14	20	20	54	144
	喜志西学童クラブ	A	維持	30	24	0	54	14	16	40	70	124
	藤沢台学童クラブ	A	維持	30	24	4	58	0	16	40	56	114
	小金台学童クラブ	C	転用	32	24	4	60	0	16	20	36	96
	向陽台学童クラブ	A	維持	40	24	0	64	28	16	20	64	128

【評価分類Ａ】

・富田林、新堂、彼方、錦郡、川西、東条、寺池台、伏山台、喜志西、藤沢台及び向陽台学童クラブの 11 施設は、ハード面・ソフト面ともに大きな課題はありません。

【評価分類Ｂ】

・久野喜台学童クラブは、建築後 48 年を経過しており、ハード面の評価が低くなっています。

【評価分類Ｃ】

・喜志、大伴及び小金台学童クラブの 3 施設は、ハード面に大きな課題はありませんが、延床面積当たりのコストが高いため、ソフト面の評価が低くなっています。

【評価分類Ｄ】

・高辺台学童クラブは、建築後 41 年が経過し、延床面積当たりのコストが高いため、総合的に低い評価となっています。

■施設評価結果（2 次）

小分類	施設名	基本的要件		民間代替性	地元移管可能性	主な機能	主な利用者	周辺施設数	広域連携可能性
		設置義務	上位・関連計画						
学童クラブ	富田林学童クラブ	×	○	×	×	育児・児童育成	市民（校区内）	14	×
	新堂学童クラブ	×	○	×	×	育児・児童育成	市民（校区内）	5	×
	喜志学童クラブ	×	○	×	×	育児・児童育成	市民（校区内）	3	×
	大伴学童クラブ	×	○	×	×	育児・児童育成	市民（校区内）	3	×
	彼方学童クラブ	×	○	×	×	育児・児童育成	市民（校区内）	2	×
	錦郡学童クラブ	×	○	×	×	育児・児童育成	市民（校区内）	4	×
	川西学童クラブ	×	○	×	×	育児・児童育成	市民（校区内）	7	×
	東条学童クラブ	×	○	×	×	育児・児童育成	市民（校区内）	3	×
	高辺台学童クラブ	×	○	×	×	育児・児童育成	市民（校区内）	13	×
	久野喜台学童クラブ	×	○	×	×	育児・児童育成	市民（校区内）	7	×
	寺池台学童クラブ	×	○	×	×	育児・児童育成	市民（校区内）	6	×
	伏山台学童クラブ	×	○	×	×	育児・児童育成	市民（校区内）	4	×
	喜志西学童クラブ	×	○	×	×	育児・児童育成	市民（校区内）	2	×
	藤沢台学童クラブ	×	○	×	×	育児・児童育成	市民（校区内）	4	×
	小金台学童クラブ	×	○	×	×	育児・児童育成	市民（校区内）	4	×
	向陽台学童クラブ	×	○	×	×	育児・児童育成	市民（校区内）	8	×

【学童クラブ】

・「市総合基本計画」第 3 章　個別施策 2 において、放課後のこどもの居場所づくりや多様な体験・交流の場として掲げています。

・本施設で提供しているサービスは、特殊な設備を要するものではないため、他施設への機能移転及び他用途の受け入れが可能です。

・高辺台と久野喜台学童クラブ、及び寺池台と伏山台学童クラブは、それぞれ半径 500m圏内に設置されています。

再配置方針

1. 機能方針

【学童クラブ】

・「市総合基本計画」に掲げている地域ぐるみの子育て環境づくりに向け、機能を維持します。

2. 建物方針

【学童クラブ】

・本施設は維持しますが、小学校内の余裕教室の活用を基本に計画的な整備を行います。

再配置方針に関する課題及び考慮すべき点

【学童クラブ】

・利用児童数が増加している施設においては、余裕教室の確保が課題です。

（12）高齢福祉施設

対象施設の概要	
小分類	施設名
シルバー人材センター	シルバー人材センター
老人いこいの家	若松町一丁目老人いこいの家、若松老人いこいの家、錦織老人いこいの家、東条老人いこいの家、金剛老人いこいの家、高辺プラザ、金剛東老人いこいの家、明治池老人いこいの家、向陽台老人いこいの家、青葉地区老人いこいの家、西板持老人いこいの家
富田林市ケアセンター「けあぱる」	富田林市ケアセンター「けあぱる」

■施設の状況

1. 施設の概要と建物の状況

小分類	施設名	延床面積（㎡）	敷地面積（㎡）	代表建築年度	築年数（年）	建物構造	耐震性能
シルバー人材センター	シルバー人材センター	310.44	2,239.00	1989	27	S	新基準
老人いこいの家	若松町一丁目老人いこいの家	324.66	836.18	1976	40	W	旧基準
	若松老人いこいの家	250.00	406.61	1981	35	RC	新基準
	錦織老人いこいの家	148.09	280.99	1980	36	S	旧基準（耐震性能あり）
	東条老人いこいの家	433.44	1,438.81	1990	26	RC	新基準
	金剛老人いこいの家	160.00	※1	1979	37	S	旧基準（耐震性能あり）
	高辺プラザ	219.00	※2	1975	41	RC	旧基準（耐震性能あり）
	金剛東老人いこいの家	314.97	500.00	1988	28	S	新基準
	明治池老人いこいの家	299.73	※3	1999	17	S	新基準
	向陽台老人いこいの家	290.18	500.00	1994	22	S	新基準
	青葉地区老人いこいの家	183.02	※4	1936	80	W	旧基準 ※5
	西板持老人いこいの家	328.00	780.23	2003	13	S	新基準
富田林市ケアセンター「けあぱる」	富田林市ケアセンター「けあぱる」	10,819.56	12,048.90	1996	20	RC	新基準

※1 借地（282.79 ㎡）を除きます。
※2 高辺台小学校敷地を使用しています。
※3 借地（499.75 ㎡）を除きます。
※4 青葉丘幼稚園敷地を使用しています。
※5 耐震診断未実施のため耐震性能は不明です。

- 高辺台プラザは、高辺台小学校に青葉地区老人いこいの家は、青葉丘幼稚園に併設されています。
- 金剛東、明治池及び向陽台老人いこいの家の 3 施設は、市立集会所が併設されています。
- 13 施設中 6 施設で大規模改修が必要となる目安の建築後 30 年を経過しています。
- 若松町一丁目老人いこいの家は、建築後 40 年を経過しており、耐震補強が未実施であるため、耐震性が確保されていません。

2. 利用状況とコスト

小分類	施設名	年間利用者数（人）	年間総コスト（円）	一人当たりコスト（円／人）	延床面積当たりコスト（円／㎡）
シルバー人材センター	シルバー人材センター	8,640	584,892	68	1,884
老人いこいの家	若松町一丁目老人いこいの家	8,138	449,048	55	1,383
	若松老人いこいの家	6,091	890,649	146	3,563
	錦織老人いこいの家	4,638	355,601	77	2,401
	東条老人いこいの家	6,634	1,437,853	217	3,317
	金剛老人いこいの家	11,758	332,461	28	2,078
	高辺プラザ	3,012	121,930	40	557
	金剛東老人いこいの家	6,071	704,597	116	2,237
	明治池老人いこいの家	4,772	591,072	124	1,972
	向陽台老人いこいの家	5,011	1,067,532	213	3,679
	青葉地区老人いこいの家	3,701	334,685	90	1,829
	西板持老人いこいの家	8,824	841,480	95	2,565
富田林市ケアセンター「けあぱる」	富田林市ケアセンター「けあぱる」	42,148	111,054,216	2,635	10,264

【老人いこいの家】

・金剛老人いこいの家及び明治池老人いこいの家は、敷地が無償借地です。

・東条老人いこいの家は、年間総コスト及び一人当たりのコストが最も高くなっています。

・高辺プラザは、年間利用者数が最も少なく、年間総コスト及び延床面積当たりのコストが最も低くなっています。

【富田林市ケアセンター「けあぱる」】

・本施設は、指定管理者制度を導入しています。

施設評価結果

■施設評価結果（1 次）

小分類	施設名	評価分類		ハード面（建物性能）				ソフト面（必需性）				総合計
				建物状況（満点68）	敷地状況（満点24）	拠点性状況（満点8）	ハード計（満点100）	コスト状況（満点28）	アクセス状況（満点32）	稼働状況（満点40）	ソフト計（満点100）	
シルバー人材センター	シルバー人材センター	A	維持	42	24	0	66	28	16	20	64	130
老人いこいの家	若松町一丁目老人いこいの家	B	更新	2	24	0	26	28	20	20	68	94
	若松老人いこいの家	C	転用	44	24	0	68	14	8	20	42	110
	錦織老人いこいの家	A	維持	34	24	0	58	14	20	20	54	112
	東条老人いこいの家	C	転用	44	16	0	60	14	8	20	42	102
	金剛老人いこいの家	A	維持	34	16	0	50	14	12	40	66	116
	高辺プラザ	B	更新	22	24	0	46	28	8	20	56	102
	金剛東老人いこいの家	C	転用	34	24	0	58	14	8	20	42	100
	明治池老人いこいの家	A	維持	54	16	0	70	28	8	20	56	126
	向陽台老人いこいの家	C	転用	54	24	0	78	14	4	20	38	116
	青葉地区老人いこいの家	B	更新	4	24	0	28	28	16	20	64	92
	西板持老人いこいの家	C	転用	64	24	0	88	14	8	20	42	130
富田林市ケアセンター「けあぱる」	富田林市ケアセンター「けあぱる」	C	転用	64	24	8	96	0	16	0	16	112

【評価分類Ａ】

・シルバー人材センター、錦織、金剛、明治池老人いこいの家の 4 施設は、ハード面・ソフト面ともに大きな課題はありません。

【評価分類Ｂ】

・若松町一丁目老人いこいの家及び青葉地区老人いこいの家は、建築後 40 年が経過しており、耐震補強が未実施であるため、ハード面の評価が低くなっています。

・高辺プラザは、建築後 41 年が経過しており、ハード面の評価が低くなっています。

【評価分類Ｃ】

・若松、東条、金剛東、向陽台及び西板持老人いこいの家の 5 施設は、ハード面に大きな課題はありませんが、アクセス状況の評価が低いため、ソフト面の評価が低くなっています。

・富田林市ケアセンター「けあぱる」は、ハード面に大きな課題はありませんが、延床面積当たりのコストが高く、利用者数が少ないため、ソフト面の評価が低くなっています。

■施設評価結果（2 次）

小分類	施設名	基本的要件		民間代替性	地元移管可能性	主な機能	主な利用者	周辺施設数	広域連携可能性
		設置義務	上位・関連計画						
シルバー人材センター	シルバー人材センター	×	×	×	×	その他（貸付）	市民	0	×
老人いこいの家	若松町一丁目老人いこいの家	×	○	×	○	貸館・集会	地域住民	14	×
	若松老人いこいの家	×	×	×	○	貸館・集会	地域住民	10	×
	錦織老人いこいの家	×	×	×	○	貸館・集会	地域住民	4	×
	東条老人いこいの家	×	×	×	○	貸館・集会	地域住民	3	×
	金剛老人いこいの家	×	×	×	○	貸館・集会	地域住民	10	×
	高辺プラザ	×	×	×	○	貸館・集会	地域住民	13	×
	金剛東老人いこいの家	×	×	×	○	貸館・集会	地域住民	3	×
	明治池老人いこいの家	×	×	×	○	貸館・集会	地域住民	4	×
	向陽台老人いこいの家	×	×	×	○	貸館・集会	地域住民	9	×
	青葉地区老人いこいの家	×	×	×	○	貸館・集会	地域住民	1	×
	西板持老人いこいの家	×	×	×	○	貸館・集会	地域住民	2	×
富田林市ケアセンター「けあぱる」	富田林市ケアセンター「けあぱる」	×	×	○	×	貸館・集会 医療・福祉、スポーツ	市民等	8	×

【シルバー人材センター】

・本建物は、公益社団法人富田林市シルバー人材センターに貸付を行っており、同団体等に移管できる可能性があります。

・同団体が実施している事業は、特殊な設備を要するものではないため、他施設への移転及び他用途の受け入れが可能です。

【老人いこいの家】

・若松町一丁目老人いこいの家については、「市若松地区再整備基本構想」において、他の公共施設との合築やその施設規模を検討しています。

・本施設は、施設及びその運営を地元に移管できる可能性があります。

・本施設で提供しているサービスは、特殊な設備を要するものではないため、他施設への機能移転及び他用途の受け入れが可能です。

■若松町一丁目老人いこいの家

・本施設の半径 500m圏内には、同じ貸館・集会機能を有する施設が 8 施設（中央公民館・人権文化センター・寺内町センター・じないまち交流館・じないまち展望広場・観光交流施設きらめきファクトリー・若松老人いこいの家・児童館）あります。

■若松老人いこいの家

・本施設の半径 500m圏内には、同じ貸館・集会機能を有する施設が 3 施設（人権文化センター・若松町一丁目老人いこいの家・児童館）あります。

■金剛老人いこいの家

・本施設の半径 500m圏内には、同じ貸館・集会機能を有する施設が 4 施設（高辺台集会所・青少年スポーツホール・高辺プラザ・金剛連絡所）あります。

■高辺プラザ

・本施設の半径 500m圏内には、同じ貸館・集会機能を有する施設が 5 施設（高辺台集会所・金剛公民館・青少年スポーツホール・金剛老人いこいの家・金剛連絡所）あります。

■向陽台老人いこいの家

・本施設の半径 500m圏内には、同じ貸館・集会機能を有する施設が 1 施設（富田林市ケアセンター「けあぱる」）あります。

【富田林市ケアセンター「けあぱる」】

・本施設は、「介護老人保健施設」と「健康づくり・世代間交流施設」の 2 つの機能を有してしていますが、何れのサービスも同等するものが、民間事業者により供給されています。

・本施設で提供しているサービスは、特殊な設備を要するため、他施設への機能移転は制限がありますが、他用途の受け入れは可能です。

・本施設の半径 500m圏内には、同じ貸館・集会機能を有する施設が 1 施設（向陽台老人いこいの家）あります。

再配置方針
1. 機能方針 【シルバー人材センター】 ・高齢者等の雇用の安定等に関する法律に基づき、高齢者の社会参加等に向けた支援を行います。 【老人いこいの家】 ・老人福祉の増進を図るため機能を維持します。 【富田林市ケアセンター「けあぱる」】 ・介護老人保健施設の機能は維持しますが、健康づくり・世代間交流施設の機能については、そのあり方について検討します。
2. 建物方針 【シルバー人材センター】 ・本施設は維持しますが、他施設への機能移転の上、他用途の受入れ（転用）を検討します。 【老人いこいの家】 ・本施設は維持しますが、地元等による管理運営及び施設の譲渡を検討します。 【富田林市ケアセンター「けあぱる」】 ・本施設は維持しますが、民間事業者により同サービスが提供されていることから、民間事業者への譲渡等を検討します。

再配置方針に関する課題及び考慮する点
【シルバー人材センター】 ・隣接する第 1 給食センター（廃止予定）との一体的検討を行う必要があります。 【老人いこいの家】 ・本施設の譲渡については、個々の事情を考慮する必要があります。 ・貸館・集会機能については、他施設の同機能の利用状況を踏まえ、規模の変更や機能統合の検討を行う必要があります。

【富田林市ケアセンター「けあぱる」】

・民間事業者への譲渡の際には、施設機能の検討を行う必要があります。
・福祉避難所に指定しています。
・貸館・集会機能については、他施設の同機能の利用状況を踏まえ、規模の変更や機能統合の検討を行う必要があります。

（13）児童福祉施設・保健施設・その他（福祉）

対象施設の概要	
小分類	施設名
児童館	児童館
保健センター	保健センター
総合福祉会館	総合福祉会館

■施設の状況

1. 施設の概要と建物の状況

小分類	施設名	延床面積（㎡）	敷地面積（㎡）	代表建築年度	築年数（年）	建物構造	耐震性能
児童館	児童館	1,402.60	1,140.00	1970	46	ＲＣ	旧基準
保健センター	保健センター	1,034.98	1,455.43	1987	29	ＲＣ	新基準
総合福祉会館	総合福祉会館	2,307.95	4,437.60	1980	36	ＲＣ	旧基準（耐震性能あり）

・3 施設中 2 施設で大規模改修が必要となる目安の建築後 30 年を経過しています。

・児童館は、建築後 46 年を経過しており、耐震補強が未実施であるため、耐震性が確保されていません。

2. 利用状況とコスト

小分類	施設名	年間利用者数（人）	年間総コスト（円）	一人当たりコスト（円／人）	延床面積当たりコスト（円／㎡）
児童館	児童館	28,548	6,964,382	244	4,965
保健センター	保健センター	15,454	5,781,020	374	5,586
総合福祉会館	総合福祉会館	105,674	25,665,021	243	11,120

【総合福祉会館】

・総合福祉会館は、指定管理者制度を導入しています。

施設評価結果

■施設評価結果（1 次）

小分類	施設名	評価分類		ハード面（建物性能）				ソフト面（必需性）				総合計
				建物状況（満点68）	敷地状況（満点24）	拠点性状況（満点8）	ハード計（満点100）	コスト状況（満点28）	アクセス状況（満点32）	稼働状況（満点40）	ソフト計（満点100）	
児童館	児童館	B	更新	10	24	4	38	14	28	20	62	100
保健センター	保健センター	A	維持	44	24	4	72	14	16	20	50	122
総合福祉会館	総合福祉会館	A	維持	34	24	4	62	14	32	40	86	148

【評価分類Ａ】

・保健センター、総合福祉会館は、ハード面・ソフト面ともに大きな課題はありません。

【評価分類Ｂ】

・児童館は、建築後 46 年を経過しており、耐震補強が未実施であるため、ハード面の評価が低くなっています。

■施設評価結果（2 次）

小分類	施設名	基本的要件		民間代替性	地元移管可能性	主な機能	主な利用者	周辺施設数	広域連携可能性
		設置義務	上位・関連計画						
児童館	児童館	×	○	×	×	育児・児童育成、貸館・集会、講座	市民	12	×
保健センター	保健センター	×	×	×	×	事務、医療・福祉、講座	市民	8	×
総合福祉会館	総合福祉会館	×	×	×	×	貸館・集会、医療・福祉、講座、その他（浴室）	市民	7	×

【児童館】

・「市総合基本計画」第 3 章　個別施策 2 において、放課後の子どもの居場所づくりや多様な体験・交流の場の提供主体として掲げています。

・「市若松地区再整備基本構想」において、他の公共施設との合築やその施設規模を検討しています。

・本施設で提供しているサービスは、特殊な設備を要するものではないため、他施設への機能移転及び他用途の受け入れが可能です。

・本施設の半径 500m圏内には、同じ貸館・集会機能を有する施設が 7 施設（中央公民館・人権文化センター・じないまち交流館・じないまち展望広場・観光交流施設きらめきファクトリー・若松町一丁目老人いこいの家・若松老人いこいの家）、育児・児童育成機能を有する施設が 1 施設（若葉保育園）、講座機能を有する施設が 3 施設（中央公民館・人権文化センター・中央図書館）あります。

【保健センター】

・本施設で提供しているサービスは、特殊な機能を要するものではないため、他施設への機能移転及び他用途の受け入れが可能です。

【総合福祉会館】

・本施設で供給しているサービスは、入浴施設を有しているため、他施設への機能移転は制限があります。ただし、他用途の受け入れは可能です。

・本施設の半径 500m圏内には、同じ貸館・集会及び講座機能を有する施設が 1 施設（すばるホール）あります。

再配置方針
1. 機能方針 【児童館】 ・「市総合基本計画」に掲げる地域ぐるみの子育て環境づくりに向け、「市若松地区再整備基本構想」において検討している新施設への機能移転を検討します。 【保健センター】 ・市民の健康の保持及び増進を図るため、機能を維持します。 【総合福祉会館】 ・市民福祉の向上を図るため、機能を維持します。
2. 建物方針 【児童館】 ・本施設は機能移転後、除却します。 【保健センター】 ・本施設は維持しますが、施設の効率的運用について検討します。 【総合福祉会館】 ・本施設は維持しますが、施設の効率的運用について検討します。

再配置方針に関する課題及び考慮すべき点
【児童館】 ・新施設への機能統合にあたっては、「市総合ビジョンおよび総合基本計画」に掲げる基本施策「主体的な市民参加と協働によるまちづくり」をさらに推進することのできる施設運営に向け、施設の設置目的等の再検討を行う必要があります。 ・貸館・集会、育児・児童育成及び講座の機能については、他施設の同機能の利用状況を踏まえ、規模の変更や機能統合の検討を行う必要があります。 ・新施設については、民間活力の導入について検討を行う必要があります。 【総合福祉会館】 ・貸館・集会及び講座の機能については、他施設の同機能の利用状況を踏まえ、規模の変更や機能統合の検討を行う必要があります。

（14）医療施設

対象施設の概要	
小分類	施設名
病院	富田林病院、富田林病院健診センター
診療所	休日診療所、新堂診療所

■施設の状況

1. 施設の概要と建物の状況

施設名	延床面積（㎡）	敷地面積（㎡）	代表建築年度	築年数（年）	建物構造	耐震性能
富田林病院	11,162.05 ※1	24,621.82	1977	39	ＲＣ	旧基準（耐震性能あり）
富田林病院健診センター	552.75	※2	1997	19	Ｓ	新基準
休日診療所	297.47	※3	2012	4	ＲＣ	新基準
新堂診療所	1,210.38	1,131.25	1990	26	ＲＣ	新基準

※1 表記は市所有面積のみです。
※2 富田林病院敷地を使用しています。
※3 保健センター敷地を使用しています。

・休日診療所には、富田林医師会の事務所が併設されています。
・すべての施設において、耐震性が確保されています。

2. 利用状況とコスト

小分類	施設名	年間利用者数（人）	年間総コスト（円）	一人当たりコスト（円／人）	延床面積当たりコスト（円／㎡）
病院	富田林病院	254,802	13,784,880	53	1,177
	富田林病院健診センター	7,671			
診療所	休日診療所	2,487	857,350	345	2,882
	新堂診療所	23,385	－	－	－

・富田林病院及び富田林病院健診センターは、指定管理者制度を導入しています。

施設評価結果

■施設評価結果（1 次）

小分類	施設名	評価分類		ハード面（建物性能）				ソフト面（必需性）				総合計
				建物状況（満点68）	敷地状況（満点24）	拠点性状況（満点8）	ハード計（満点100）	コスト状況（満点28）	アクセス状況（満点32）	稼働状況（満点40）	ソフト計（満点100）	
病院	富田林病院	B	更新	24	16	8	48	28	16	40	84	132
	富田林病院健診センター	A	維持	52	16	0	68	28	16	20	64	132
診療所	休日診療所	C	転用	64	24	0	88	0	16	20	36	124
	新堂診療所	A	維持	44	24	0	68	14	20	20	54	122

【評価分類Ａ】
・富田林病院健診センター及び新堂診療所は、ハード面、ソフト面ともに大きな課題はありません。
【評価分類Ｂ】
・富田林病院は、建築後 39 年を経過し、敷地の一部が無償借地であるため、ハード面の評価が低くなっています。
【評価分類Ｃ】
・休日診療所は、ハード面に大きな課題はありませんが、延床面積当たりのコストが高いため、ソフト面の評価が低くなっています。

■施設評価結果（2 次）

小分類	施設名	基本的要件		民間代替性	地元移管可能性	主な機能	主な利用者	周辺施設数	広域連携可能性
		設置義務	上位・関連計画						
病院	富田林病院	×	○	○	×	医療・福祉	市民等	8	○
	富田林病院健診センター	×	○	○	×	医療・福祉	市民等	8	○
診療所	休日診療所	×	○	○	×	医療・福祉	市民等	8	×
	新堂診療所	×	×	○	×	医療・福祉	市民等	10	×

【病院】

■富田林病院・富田林病院健診センター

・「市総合基本計画」第 3 章　個別施策 8 において、本施設の建替えにより良質な医療サービスの提供や災害時の体制強化を図るとともに、各医療機関との連携強化により、地域医療体制の充実を図ることを掲げています。

・本施設で提供しているサービスと同等のものが、民間事業者により供給されています。

・本施設は、市域を超えた利用圏域を想定している施設であり、周辺自治体にも同種の施設が設置されているため、広域連携の可能性があります。

【診療所】

■休日診療所

・「市総合基本計画」第 3 章　個別施策 8 において、休日の医療体制の確保を掲げています。

・本施設で提供しているサービスは、特殊な設備を要するため、他施設への機能移転には制限がありますが、他用途の受け入れは可能です。

■新堂診療所

・本施設は、医療法人同愛会に貸付を行っており、同団体等に移管できる可能性があります。

・同法人が実施している事業は、特殊な設備を要するため、他の公共施設への移転は制限がありますが、他用途の受け入れは可能です。

再配置方針

1. 機能方針

【病院】

・本機能は、公的医療機関として（社福）恩賜財団済生会支部大阪府済生会が運営することで維持されます。

【診療所】

・「市総合基本計画」に掲げている救急医療体制の充実に向け、機能を維持します。

2. 建物方針

【病院】

■富田林病院・富田林病院健診センター

・本施設は、（社福）恩賜財団済生会支部大阪府済生会に譲渡します。

【診療所】

■休日診療所

・本施設は維持しますが、施設の効率的運用について検討します。

■新堂診療所

・本施設は維持しますが、民間事業者により同サービスが提供されていることから、民間事業者への譲渡等を検討します。

再配置方針に関する課題及び考慮すべき点
【診療所】 ■休日診療所 ・施設の一部を他団体に貸付けています。

（15）庁舎等

対象施設の概要	
小分類	施設名
市庁舎	市庁舎
金剛連絡所	金剛連絡所

■施設の状況

1. 施設の概要と建物の状況

小分類	施設名	延床面積（㎡）	敷地面積（㎡）	代表建築年度	築年数（年）	建物構造	耐震性能
市庁舎	市庁舎	13,631.89	5,824.29 ※1	1970	46	ＳＲＣ	旧基準
金剛連絡所	金剛連絡所	603.59	460.24	2010	6	Ｓ	新基準

※1 借地（3,027 ㎡）を除きます。

・市庁舎は大規模改修が必要となる目安の建築後 30 年を経過しており、耐震補強が未実施であるため、耐震性が確保されていません。

2. 利用状況とコスト

小分類	施設名	年間利用者数（人）	年間総コスト（円）	一人当たりコスト（円／人）	延床面積当たりコスト（円／㎡）
市庁舎	市庁舎	143,936	102,752,566	714	7,538
金剛連絡所	金剛連絡所	37,765	6,939,593	184	11,497

【市庁舎】

・市庁舎は、敷地の一部が有償借地です。

施設評価結果

■施設評価結果（1 次）

小分類	施設名	評価分類		ハード面（建物性能）				ソフト面（必需性）				総合計
				建物状況（満点68）	敷地状況（満点24）	拠点性状況（満点8）	ハード計（満点100）	コスト状況（満点28）	アクセス状況（満点32）	稼働状況（満点40）	ソフト計（満点100）	
市庁舎	市庁舎	B	更新	4	16	8	28	14	32	20	66	94
金剛連絡所	金剛連絡所	A	維持	64	24	0	88	14	16	20	50	138

【評価分類Ａ】

・金剛連絡所は、ハード面・ソフト面ともに大きな課題はありません。

【評価分類Ｂ】

・市庁舎は、建築後 46 年を経過しており、耐震補強が未実施であるため、ハード面の評価が低くなっています。

■施設評価結果（2 次）

小分類	施設名	基本的要件		民間代替性	地元移管可能性	主な機能	主な利用者	周辺施設数	広域連携可能性
		設置義務	上位・関連計画						
市庁舎	市庁舎	×	○	×	×	事務	市民	14	×
金剛連絡所	金剛連絡所	×	×	×	×	事務、貸館・集会	市民	10	×

【本庁舎】

・「市総合基本計画」第 3 章　個別施策 21 において、行政機能維持に向けた公共施設の耐震化を掲げています。

・「第 2 期市耐震改修促進計画」において、市庁舎の耐震化を掲げています。
・本施設で提供しているサービスは、特殊な設備を要しないため、他施設への機能移転及び他用途の受け入れが可能です。
・本施設の半径 500m圏内には、同じ事務機能を有する施設が 1 施設（消防庁舎）あります。

【金剛連絡所】

・本施設は、施設を中心とする地域住民が利用対象となっており、近隣施設以外への機能移転には制限がありますが、他用途の受け入れは可能です。
・本施設の半径 500m圏内には、同じ貸館・集会機能を有する施設が 4 施設（高辺台集会所・青少年スポーツセンター・金剛老人いこいの家・高辺プラザ）あります。

再配置方針
1. 機能方針 【市庁舎】 ・行政上の執務及び手続き等の拠点として、機能を維持します。 【金剛連絡所】 ・金剛地区の行政上の執務及び手続き等の拠点として、機能を維持します。
2. 建物方針 【市庁舎】 ・本施設は維持しますが、防災体制の強化や災害時の行政機能の維持に向け、耐震化を検討します。 【金剛連絡所】 ・本施設は維持しますが、施設の効率的運用について検討します。

再配置方針に関する課題及び考慮すべき点
【市庁舎】 ・民間活力の導入について検討を行う必要があります。 【金剛連絡所】 ・貸館・集会機能については、他施設の同機能の利用状況を踏まえ、規模の変更や機能統合の検討を行う必要があります。

（16）消防施設

対象施設の概要	
小分類	施設名
消防庁舎	消防庁舎
消防署金剛分署	消防署金剛分署
分団消防車庫	第 1 分団消防車庫、第 2 分団消防車庫、第 5 分団消防車庫、 第 8 分団消防車庫、第 10 分団消防車庫、第 12 分団消防車庫、 第 13 分団消防車庫、第 16 分団消防車庫

■施設の状況

1. 施設の概要と建物の状況

小分類	施設名	延床面積（㎡）	敷地面積（㎡）	代表建築年度	築年数（年）	建物構造	耐震性能
消防庁舎	消防庁舎	5,312.20	2,677.00	2003	13	ＳＲＣ	新基準
消防署金剛分署	消防署金剛分署	577.92	935.00	1982	34	ＲＣ	新基準
分団消防車庫	第１分団消防車庫	69.15	89.24	1957	59	Ｓ	旧基準
	第２分団消防車庫	220.66	182.87	1975	41	ＲＣ	旧基準
	第５分団消防車庫	69.61	※1	2009	7	Ｓ	新基準
	第８分団消防車庫	120.30	※2	2005	11	Ｓ	新基準
	第１０分団消防車庫	73.40	125.39	1982	34	Ｓ	新基準
	第１２分団消防車庫	70.83	※3	2011	5	Ｓ	新基準
	第１３分団消防車庫	88.14	254.54	1977	39	Ｓ	旧基準（耐震性能あり）
	第１６分団消防車庫	66.72	※4	2008	8	Ｓ	新基準

注：第 4、第 9、第 14 分団消防車庫は欠番です。また、第 3、第 6、第 7、第 11、第 15、第 17 分団消防車庫は地元管理です。
※1：借地（90.92 ㎡）を除きます。
※2：借地（68.84 ㎡）を除きます。
※3：借地（328.71 ㎡）を除きます。
※4：川西小学校敷地を使用しています。

- 10 施設中 5 施設で、大規模改修が必要となる目安の建築後 30 年を経過しています。
- 第 1 分団消防車庫は、平成 29（2017）年度にきらめき創造館「Ｔｏｐｉｃ」に合築しています。
- 第 2 分団消防車庫は、平成 28（2016）年度に耐震改修しています。

2. 利用状況とコスト

小分類	施設名	年間利用者数（人）	年間総コスト（円）	一人当たりコスト（円／人）	延床面積当たりコスト（円／㎡）
消防庁舎	消防庁舎	502	23,508,031	46,829	4,425
消防署金剛分署	消防署金剛分署	－	1,429,756	－	2,474
分団消防車庫	第１分団消防車庫	－	40,068	－	579
	第２分団消防車庫	－	137,713	－	624
	第５分団消防車庫	－	110,303	－	1,585
	第８分団消防車庫	－	353,863	－	2,942
	第１０分団消防車庫	－	59,995	－	817
	第１２分団消防車庫	－	110,197	－	1,556
	第１３分団消防車庫	－	40,416	－	459
	第１６分団消防車庫	－	65,512	－	982

【分団消防車庫】

- 第 5、第 8 及び第 12 分団消防車庫の 3 施設は、敷地が無償借地です。
- 第 8 分団消防車庫は、年間総コスト及び延べ床面積当たりのコストが最も高くなっています。

施設評価結果

■施設評価結果（1 次）

小分類	施設名	評価分類		ハード面（建物性能）				ソフト面（必需性）				総合計
				建物状況（満点68）	敷地状況（満点24）	拠点性状況（満点8）	ハード計（満点100）	コスト状況（満点28）	アクセス状況（満点32）	稼働状況（満点40）	ソフト計（満点100）	
消防庁舎	消防庁舎	A	維持	68	24	8	100	0	32	40	72	172
消防署金剛分署	消防署金剛分署	A	維持	30	24	4	58	0	16	40	56	114
分団消防車庫	第１分団消防車庫	B	更新	0	16	0	16	28	24	20	72	88
	第２分団消防車庫	B	更新	0	24	0	24	28	20	20	68	92
	第５分団消防車庫	A	維持	60	16	0	76	14	16	20	50	126
	第８分団消防車庫	C	転用	60	8	0	68	0	16	20	36	104
	第１０分団消防車庫	B	更新	20	24	0	44	28	8	20	56	100
	第１２分団消防車庫	A	維持	60	24	0	84	14	16	20	50	134
	第１３分団消防車庫	B	更新	20	24	0	44	28	20	20	68	112
	第１６分団消防車庫	A	維持	60	24	0	84	28	24	20	72	156

【評価分類Ａ】

・消防庁舎、消防署金剛分署、第 5 分団消防車庫、第 12 分団消防車庫及び第 16 分団消防車庫の 5 施設は、ハード面・ソフト面ともに大きな課題はありません。

【評価分類Ｂ】

・第 1 分団及び第 2 分団消防車庫は、耐震補強が未実施であるため、ハード面の評価が低くなっています。

・第 10 分団消防車庫及び第 13 分団消防車庫は、建物劣化度が高いことからハード面に課題があります。

【評価分類Ｃ】

・第 8 分団消防車庫は、ハード面に大きな課題はありませんが、延床面積当たりのコストが高いため、ソフト面の評価が低くなっています。

■施設評価結果（2 次）

小分類	施設名	基本的要件		民間代替性	地元移管可能性	主な機能	主な利用者	周辺施設数	広域連携可能性
		設置義務	上位・関連計画						
消防庁舎	消防庁舎	○	○	×	×	事務、その他	市民（貸館利用）	9	×
消防署金剛分署	消防署金剛分署	○	○	×	×	その他	－	7	×
分団消防車庫	第１分団消防車庫	×	○	×	×	その他	－	10	×
	第２分団消防車庫	×	○	×	×	その他	－	14	×
	第５分団消防車庫	×	○	×	×	その他	－	1	×
	第８分団消防車庫	×	○	×	×	その他	－	2	×
	第１０分団消防車庫	×	○	×	×	その他	－	0	×
	第１２分団消防車庫	×	○	×	×	その他	－	1	×
	第１３分団消防車庫	×	○	×	×	その他	－	4	×
	第１６分団消防車庫	×	○	×	×	その他	－	7	×

【消防庁舎・消防署金剛分署】

・消防組織法第 9 条により組織の設置が義務付けられており、「市総合基本計画」第 3 章　個別施策 23 において、消防力の強化等を掲げています。

・本施設で提供しているサービスは、特殊な設備を要するため機能移転は制限がありますが、他用途の受け入れは可能です。

・消防庁舎の半径 500m圏内には、同じ事務機能を有する施設が 1 施設（市庁舎）あります。

【分団消防車庫】

・「市総合基本計画」第 3 章　個別施策 23 において、団員の確保と組織の強化を掲げています。
・本施設は、施設周辺地域の消防団員の消火活動に必要な配置となっており、近隣施設以外への機能移転は制限がありますが、他用途の受け入れは可能です。

※消防組織法第 9 条…市町村は、その消防事務を処理するため、次に掲げる機関の全部又は一部を設けなければならない。
一　消防本部
二　消防署
三　消防団

再配置方針
1. 機能方針 【消防庁舎・金剛分署】・【分団消防車庫】 ・「市総合基本計画」に掲げている消防・救急体制の充実に向け、機能を維持します。
2. 建物方針 【消防庁舎】 ・本施設は維持しますが、施設の効率的運用について検討します。 【消防署金剛分署】 ・本施設は維持しますが、防災体制の強化や消防機能の維持に向け、長寿命化を検討します。 【分団消防車庫】 ・第 1 分団消防車庫は、きらめき創造館「Ｔｏｐｉｃ」に機能移転しました。また、旧施設については、除却及び跡地の売却等について検討します。 ・本施設は維持しますが、施設の効率的運用について検討します。

（17）その他施設

対象施設の概要	
小分類	施設名
富田林斎場	富田林斎場
富田林霊園	富田林霊園
駐輪場関連施設	喜志駅地下自転車駐車場、第１自転車等保管所
共同浴場	共同浴場「葛城温泉」
水道局旧庁舎	水道局旧庁舎

■施設の状況

1. 施設の概要と建物の状況

小分類	施設名	延床面積（㎡）	敷地面積（㎡）	代表建築年度	築年数（年）	建物構造	耐震性能
富田林斎場	富田林斎場	2,321.72	8,401.12	1993	23	ＲＣ	新基準
富田林霊園	富田林霊園	565.30	81,259.00	1994	22	ＲＣ	新基準
駐輪場関連施設	喜志駅地下自転車駐車場	1,792.80	※1	1995	21	ＲＣ	新基準
	第１自転車等保管所	363.86	634.94	1993	23	Ｓ	新基準
共同浴場「葛城温泉」	共同浴場「葛城温泉」	425.67	823.15	1973	43	Ｓ	旧基準（耐震性能あり）
水道局旧庁舎	水道局旧庁舎	255.14	309.37	1980	36	Ｓ	旧基準 ※2

※1 借地（235.98 ㎡）及び道路用地（1556.82 ㎡）です。
※2 耐震診断未実施のため耐震性能は不明です。

・共同浴場「葛城温泉」及び水道局旧庁舎は、大規模改修の必要となる目安の建築後 30 年を経過しています。
・水道局旧庁舎は、耐震診断が未実施です。

2. 利用状況とコスト

小分類	施設名	年間利用者数（人）	年間総コスト（円）	一人当たりコスト（円／人）	延床面積当たりコスト（円／㎡）
富田林斎場	富田林斎場	1,575	47,391,454	30,090	20,412
富田林霊園	富田林霊園	4,701	19,675,251	4,185	34,805
駐輪場関連施設	喜志駅地下自転車駐車場	226,846	16,213,776	71	9,044
	第１自転車等保管所	256	3,579,267	13,982	9,837
共同浴場「葛城温泉」	共同浴場「葛城温泉」	34,972	7,524,411	215	17,677
水道局旧庁舎	水道局旧庁舎	3,358	0	0	0

【駐輪場関連施設】
・喜志駅地下自転車駐車場は、指定管理者制度を導入しています。
・喜志駅地下自転車駐車場は、敷地の一部が有償借地です。
・第 1 自転車等保管所は、喜志駅地下自転車駐車場と比較して年間利用者数が少なく、1 人当たりのコスト及び延床面積当たりのコストが高くなっています。

施設評価結果

■施設評価結果（1 次）

小分類	施設名
富田林斎場	富田林斎場
富田林霊園	富田林霊園
駐輪場関連施設	喜志駅地下自転車駐車場
	第 1 自転車等保管所
共同浴場「葛城温泉」	共同浴場「葛城温泉」
水道局旧庁舎	水道局旧庁舎

1 次評価は、同等目的の施設同士のハード面・ソフト面を比較することにより、その結果を得ていますが、本分類は、どの分類にも属さない施設を括る分類のため、評価対象外としています。

■施設評価結果（2 次）

小分類	施設名	基本的要件		民間代替性	地元移管可能性	主な機能	主な利用者	周辺施設数	広域連携可能性
		設置義務	上位・関連計画						
富田林斎場	富田林斎場	×	×	○	×	その他	市民等	4	×
富田林霊園	富田林霊園	×	×	○	×	その他	市民等	4	×
駐輪場関連施設	喜志駅地下自転車駐車場	×	×	○	×	その他	市民（駅利用者）	3	×
	第 1 自転車等保管所	×	×	○	×	その他	市民等	3	×
共同浴場「葛城温泉」	共同浴場「葛城温泉」	×	○	○	×	その他	地域住民	14	×
水道局旧庁舎	水道局旧庁舎	×	×	○	○	その他（貸付）	市民（NPO法人）	11	×

【富田林斎場】

・富田林斎場で提供しているサービスは、特殊な設備を要するため、機能移転には制限があります。

【富田林霊園】

・本施設で提供しているサービスと同等のものが、民間事業者により供給されています。

・富田林霊園は、墓地であるため、機能移転には制限があります。

【駐輪場関連施設】

■喜志駅地下自転車駐車場

・本施設で提供しているサービスと同等のものが、民間事業者により供給されています。

・本施設は、喜志駅利用者を対象とした施設であるため、近隣施設以外への機能移転には制限がありますが、他用途の受け入れは可能です。

■第 1 自転車等保管所

・本施設で提供しているサービスは、特殊な設備を要するものではないため、機能移転及び他用途の受け入れは可能です。

【共同浴場「葛城温泉」】

・「市若松地区再整備基本構想」において、他の公共施設との合築やその施設規模を検討しています。

【水道局旧庁舎】

・本施設は、ＮＰＯ法人とんだばやし国際交流協会に貸付を行っており、同団体等に移管できる可能性があります。

・同法人が実施している事業は、特殊な設備を要するものではないため、他施設への機能移転及び他用途の受け入れが可能です。

再配置方針
1. 機能方針 【富田林斎場・富田林霊園】 ・火葬及び埋葬に特化しているため、機能を維持します。 【駐輪場関連施設】 ・放置自転車対策として必要であるため、機能を維持します。 【共同浴場「葛城温泉」】 ・市営若松団地及びその周辺地域の共同浴場としての役割を終えると考えられることから、廃止を検討します。 【水道局旧庁舎】 ・貸付先の移転検討に伴い、貸付機能の廃止を検討します。
2. 建物方針 【富田林斎場】 ・本施設は維持しますが、施設の効率的運用について検討します。 【富田林霊園】 ・本施設は維持しますが、施設の効率的運用について検討します。 【駐輪場関連施設】 ■喜志駅地下自転車駐車場 ・本施設は維持しますが、施設の効率的運用について検討します。 ■第１自転車等保管所 ・本施設は維持しますが、施設の効率的運用について検討します。 【共同浴場「葛城温泉」】 ・本施設は、除却及び跡地の売却等について検討します。 【水道局旧庁舎】 ・本施設は、除却及び跡地の売却等について検討します。

再配置方針に関する課題及び考慮すべき点
【水道局旧庁舎】 ・ＮＰＯ法人とんだばやし国際交流協会の移転先について、調整が必要です。

4. 再配置計画の目標

（1）再配置方針の一覧表

再配置方針					
小分類	機能方針	施設名	建物方針	具体的取組	主な課題及び考慮する点
すばるホール	維持	すばるホール	維持	・他用途の受入れ検討 ・広域連携の検討	・貸館・集会、講座の機能統合の検討 ・年間総コストの縮減及び費用対効果の検証
コミュニティ施設	維持	コミュニティセンター 「かがりの郷」	維持	・他用途受入れの検討	・施設の設置目的等の再検討
		福祉青少年センター	廃止	・施設の除却及び跡地の売却等の検討	
高辺台集会所	維持	高辺台集会所	維持	・地元等による管理運営及び機能移転の検討	・貸館・集会の機能統合の検討
公民館	維持	公民館（3館）	維持	・他用途受入れ及び機能移転の検討	・貸館・集会、講座の機能統合の検討 ・長寿命化及びバリアフリー化の検討
市民会館 「レインボーホール」	維持	市民会館 「レインボーホール」	維持	・他用途受入れの検討	・施設の設置目的等の再検討 ・長寿命化及びバリアフリー化の検討
人権文化センター	維持	人権文化センター	廃止	・新施設への機能移転の検討	・施設の設置目的等の再検討 ・貸館・集会、講座の機能統合の検討 ・民間活力導入の検討
図書館	維持	図書館（2館）	維持	・効率的運用の検討	・長寿命化及びバリアフリー化の検討
埋蔵文化財センター	維持	埋蔵文化財センター	維持	・効率的運用の検討	・展示公開スペースの確保 ・長寿命化及びバリアフリー化の検討
寺内町関連施設	維持	寺内町センター	維持	・効率的運用の検討	・寺内町関連施設、「旧杉山家住宅」及び「旧田中家住宅」の一体的検討
		じないまち交流館	維持		
		じないまち展望広場	維持		
スポーツ施設	維持※	市民総合体育館	維持	・他用途の受入れ検討 ・広域連携の検討	・貸館・集会の機能統合の検討 ・長寿命化及びバリアフリー化の検討
		総合スポーツ公園	維持		
		青少年スポーツホール	※	※金剛中央公園の屋外型交流拠点化に向けた検討	
		市民プール 「アクアパークきらめき」(管理棟)	維持	・効率的運用の検討	
レクリエーション・ 観光施設	維持※	農業公園「サバーファーム」	維持	・施設の魅力向上を検討 ・効率的運用の検討	・機能更新の検討
		にこにこ市場	維持	・集客力の強化 ・効率的運用の検討	
		青少年教育キャンプ場	廃止	※機能廃止、並びに施設の除却及び跡地の売却等の検討	
		観光交流施設きらめきファクトリー	維持	・効率的運用の検討	・寺内町関連施設及び周辺市町村との連携 ・広域的な観光マネージメントの検討
小学校	維持	小学校（16校）	維持	・他用途の受入れ検討 ・後期計画策定に向けた機能統合の検討	・校区再編等による効率的学校運営の検討 ・施設活用の検討 ・有償借地の解消
中学校	維持	中学校（8校）	維持	・他用途の受入れ検討 ・後期計画策定に向けた機能統合の検討	・校区再編等による効率的学校運営の検討 ・施設活用の検討

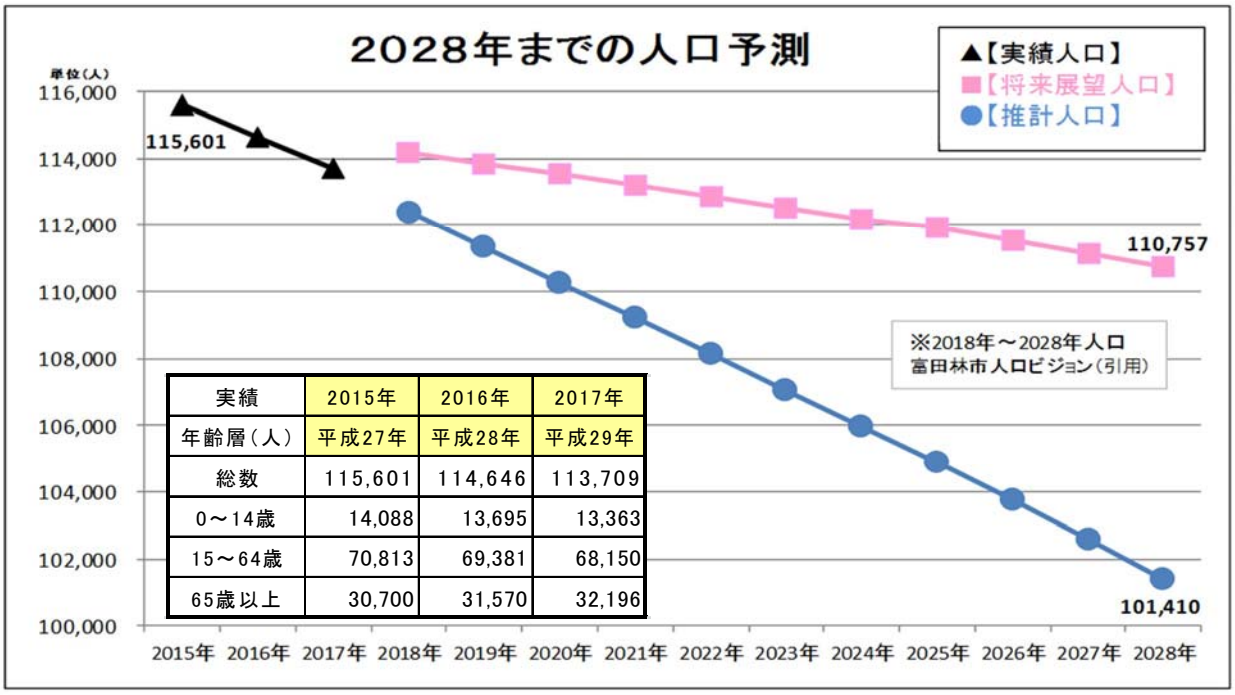
再配置方針					
小分類	機能方針	施設名	建物方針	具体的取組	主な課題及び考慮する点
幼稚園	維持	幼稚園（13園）	維持	・新たな保育・子育てニーズへの対応	・供給量を勘案した公立園の役割について検討 ・有償借地の解消
保育所	維持	保育園（6園）	維持	・新たな保育・子育てニーズへの対応	・公的保育が担う役割及び幼稚園のあり方を勘案した配置検討
児童施設	維持	学童クラブ（16施設）	維持	・小学校余裕教室活用を基本とした計画的な整備	・余裕教室の確保
シルバー人材センター	維持	シルバー人材センター	維持	・貸付先の移転及び他用途受入れの検討	・隣接する第1給食センターとの一体的検討
老人いこいの家	維持	老人いこいの家（11施設）	維持	・地元等による管理運営及び譲渡の検討	
富田林市ケアセンター「けあぱる」	維持	富田林市ケアセンター「けあぱる」	維持	・民間事業者への譲渡等の検討	・施設機能の検討 ・福祉避難所の指定
児童館	維持	児童館	廃止	・新施設への機能移転の検討	・施設の設置目的等の再検討 ・児童育成、貸館・集会及び講座の機能統合の検討 ・民間活力導入の検討
保健センター	維持	保健センター	維持	・効率的運用の検討	
総合福祉会館	維持	総合福祉会館	維持	・効率的運用の検討	・貸館・集会、講座の機能統合の検討
病院	廃止※	富田林病院	廃止※	※（社福）恩賜財団済生会支部大阪府済生会に建物を譲渡し、公的医療機関としての機能を維持	
		富田林病院健診センター	廃止※		
診療所	維持	休日診療所	維持	・効率的運用の検討	
		新堂診療所	維持	・民間事業者への譲渡の検討	
市庁舎	維持	市庁舎	維持	・耐震化及び長寿命化の検討	・民間活力の導入検討
金剛連絡所	維持	金剛連絡所	維持	・効率的運用の検討	
消防庁舎	維持	消防庁舎	維持	・効率的運用の検討	
消防署金剛分署	維持	消防署金剛分署	維持	・長寿命化の検討	
分団消防車庫	維持	分団消防車庫（8施設）	維持	・効率的運用の検討	
富田林斎場	維持	富田林斎場	維持	・効率的運用の検討	
富田林霊園	維持	富田林霊園	維持	・効率的運用の検討	
駐車場関連施設	維持	喜志駅地下自転車駐車場	維持	・効率的運用の検討	
	維持	第1自転車等保管所	維持	・効率的運用の検討	
共同浴場「葛城温泉」	廃止	共同浴場「葛城温泉」	廃止	・施設の除却及び跡地の売却等の検討	
水道局旧庁舎	廃止	水道局旧庁舎	廃止	・貸付先の移転検討 ・施設の除却及び跡地の売却等の検討	

（2）将来の施設保有量の最適化

1）総量最適化目標の設定条件

総合管理計画では、市民１人あたりの公共施設の延床面積（公共施設の総延床面積／人口）2.84 ㎡を将来的にも同程度維持することを目標としています。

このことから、2028 年までの「市人口ビジョン」の人口予測を参考に公共施設の総延床面積の目標値を設定します。



実績	2015年	2016年	2017年
年齢層（人）	平成27年	平成28年	平成29年
総数	115,601	114,646	113,709
0～14歳	14,088	13,695	13,363
15～64歳	70,813	69,381	68,150
65歳以上	30,700	31,570	32,196

※市人口ビジョン…まち・ひと・しごと創生法に基づく、本市の人口の現状と将来展望です。
※将来展望人口…市人口ビジョンにおける、合計特殊出生率の回復（2040 年に 2.07）と社会移動の均衡（増減ゼロ）を仮定した場合のシミュレーション人口です。
※推計人口…市人口ビジョンにおける将来推計人口です。

	将来展望人口										
年齢層(人)	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年
総数	114,205	113,846	113,564	113,207	112,859	112,510	112,194	111,905	111,523	111,145	110,757
0～14歳	12,787	12,658	12,580	12,582	12,671	12,754	12,936	13,103	13,286	13,513	13,756
15～64歳	68,869	68,237	67,776	67,240	66,710	66,149	65,449	64,796	64,165	63,390	62,601
65歳以上	32,549	32,951	33,208	33,385	33,478	33,607	33,809	34,006	34,072	34,242	34,400
年齢層(人)	推計人口										
総数	112,404	111,319	110,266	109,203	108,125	107,045	105,967	104,916	103,745	102,576	101,410
0～14歳	12,662	12,368	12,097	11,742	11,461	11,142	10,922	10,679	10,375	10,119	9,844
15～64歳	67,362	66,235	65,262	64,406	63,550	62,697	61,671	60,728	59,850	58,825	57,832
65歳以上	32,380	32,716	32,907	33,055	33,114	33,206	33,374	33,509	33,520	33,632	33,734

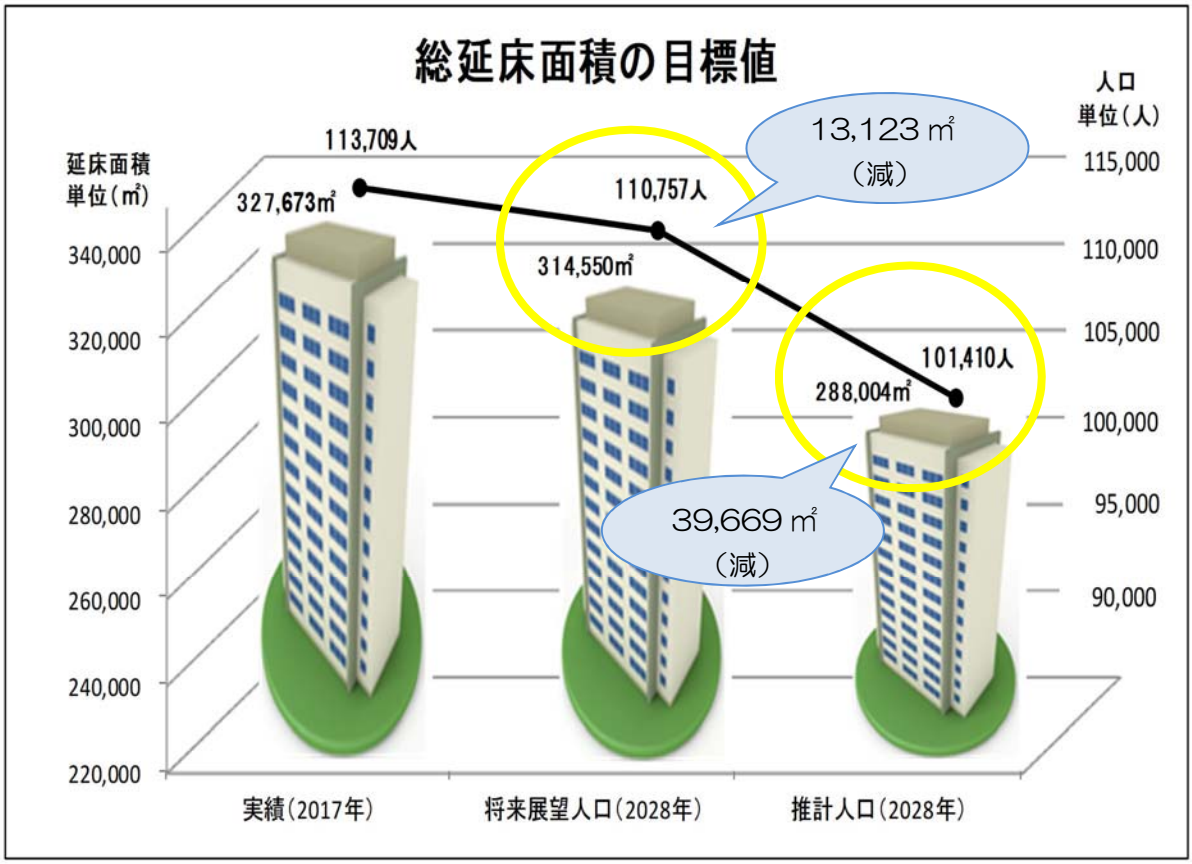
2）総量最適化の目標値

総延床面積については、行政財産と普通財産（集会所等を除く）として計上されている公共施設の合計延床面積を対象とします。

本計画では、「市人口ビジョン」の 2028 年「将来展望人口」に 2．84 ㎡を乗じた面積を目標値として設定します。

2028 年の総延床面積の目標値・・314,550 ㎡

※ただし、将来展望人口と実人口に大きな乖離が生じた場合は、目標値を見直します。



※総延床面積の目標値＝2028 年の将来展望人口×2．84 ㎡／1 人

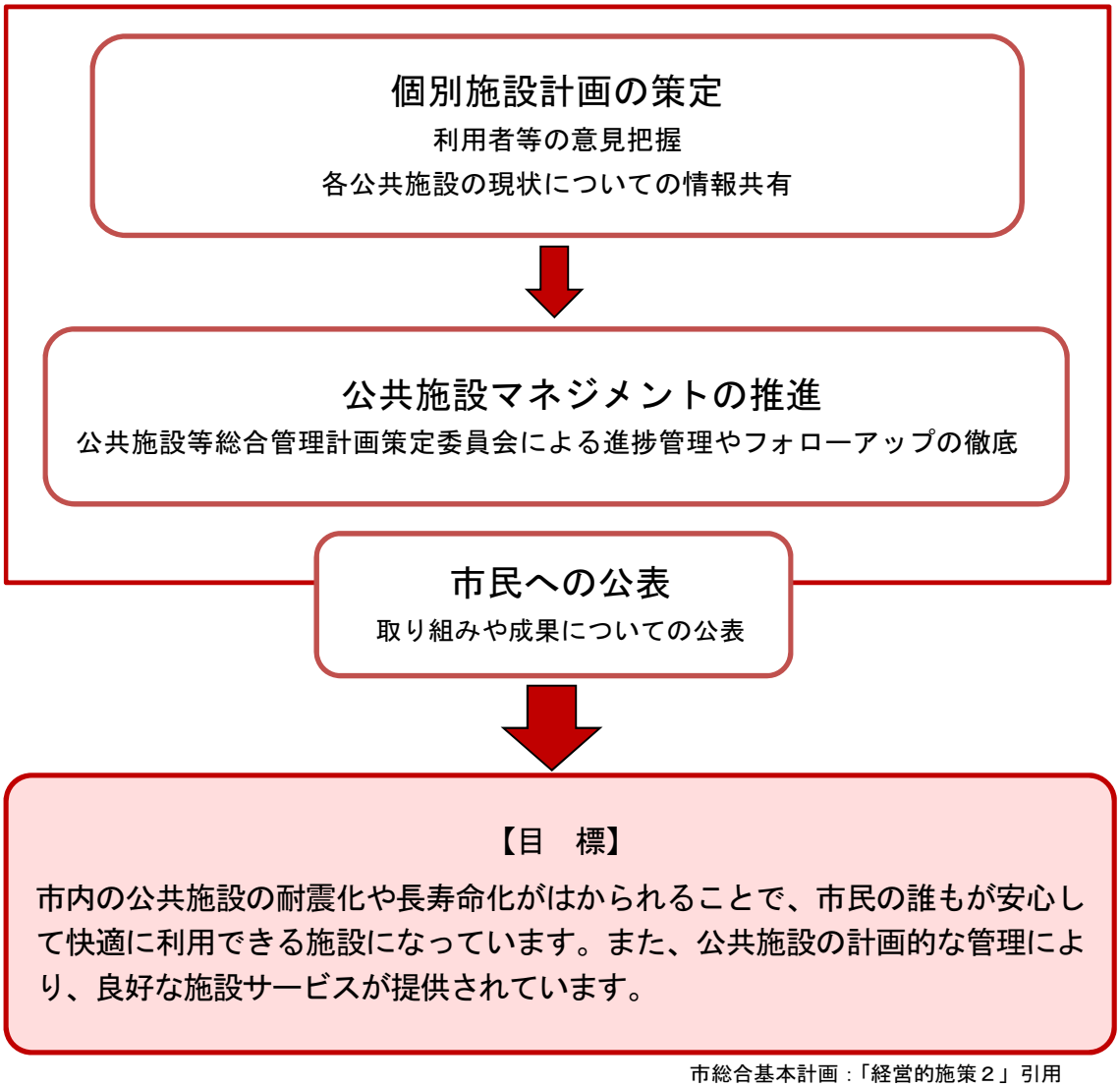
5. 今後の取り組み

今後、各公共施設の周知や魅力向上に引き続き取り組む一方で、本計画に基づく再配置方針のもと、各公共施設の情報を共有しながら、概ね 5 年間を計画期間とした個別施設計画を策定し、公共施設の適切な維持管理、再編・再整備を進めていきます。この個別施設計画の策定にあたっては、利用者等の意見を聴きながら進めていくこととします。

本計画及び個別施設計画に基づく計画的な公共施設マネジメントを推進していくため、富田林市公共施設等総合管理計画策定委員会において、適宜、公共施設の総量、長寿命化、ライフサイクルコストの縮減の状況など、計画の進捗状況を確認し、予算化、実施に至るＰＤＣＡサイクルによるマネジメントを徹底していきます。（本計画書「1. 2 本計画の運用」参照）

なお、本計画は、社会情勢や市民ニーズの変化などにより、適宜見直しを行っていくものとします。

また、本計画における公共施設マネジメントの取り組みは、「市総合ビジョンおよび総合基本計画」、「市行財政改革プラン」と合わせ、三位一体の計画として推進を図っていきます。そのため、本計画の取り組み成果については、「市総合ビジョンおよび総合基本計画」の施策に関する指標としても位置付け、公表していきます。



市総合基本計画：「経営的施策２」引用

資　料　編

１．再配置計画の策定経過

２．市民アンケート結果

1. 再配置計画の策定経過

日　程	内　容
平成 28 年 5 月 16 日	公共施設再配置計画策定に係る施設コスト調査
平成 28 年 5 月 27 日(金)	平成 28 年度　第 1 回　公共施設等総合管理計画策定委員会※1 議題：・再配置計画について ・市民アンケートの実施について
平成 28 年 7 月	再配置計画策定に係る市民アンケート調査 実施期間…平成 28 年 7 月 12 日～平成 28 年 9 月 12 日
平成 28 年 8 月	公共施設等総合管理計画の庁内周知研修
平成 28 年 10 月 21 日(金)	平成 28 年度　第 2 回　公共施設等総合管理計画策定委員会 【公共施設等総合管理計画プロジェクト※2 会議と同時開催】 議題：・アンケート結果の報告について ・施設の現状評価について
平成 28 年 11 月 18 日(金)	若松地区公共施設再整備検討会議
平成 29 年 2 月 23 日(木)	平成 28 年度　第 3 回　公共施設等総合管理計画策定委員会 【公共施設等総合管理計画プロジェクト会議と同時開催】 議題：・再配置計画の概要について ・若松地区公共施設再整備に係る庁内調査依頼について
平成 29 年 3 月	若松地区公共施設再整備に関する庁内アンケート調査
平成 29 年 8 月 22 日(火)	平成 29 年度　第 1 回　公共施設等総合管理計画策定委員会 【公共施設等総合管理計画プロジェクト会議と同時開催】 議題：・再配置計画の概要及び分野別方針について
平成 29 年 8 月 25 日(金)	再配置計画における各施設の再配置方針(案)について各所属に対する意見照会
平成 29 年 8 月 28 日(月)	第1回　若松地区公共施設再整備検討部会
平成 28 年 9 月	公共施設の現状についての庁内研修

平成 29 年 10 月 6 日(金)	再配置計画における各施設の2次評価及び再配置方針(案)について各所属対する意見照会	
平成 29 年 10 月 30 日(月)	各所属に対する公共施設活用可能性調査	
平成 29 年 11 月 16 日(木)	平成 29 年度　第 2 回　公共施設等総合管理計画策定委員会 【公共施設等総合管理計画プロジェクト会議と同時開催】	
	議題	(大阪府立大学　増田教授　・　近畿大学　久教授　出席) ・再配置方針(案)について ・再配置方針に関する課題及び考慮すべき点について
平成 29 年 12 月	計画素案について各所属に対する内容確認照会	
平成 30 年 1 月	パブリックコメント実施	
		実施期間…平成 30 年 1 月 4 日～平成 30 年 1 月 30 日
平成 30 年 1 月 30 日(火)	第 2 回　若松地区公共施設再整備検討部会	
平成 30 年 2 月 13 日(火)	平成 29 年度　第 3 回　公共施設等総合管理計画策定委員会 【公共施設等総合管理計画プロジェクト会議と同時開催】	
	議題	(大阪府立大学　増田教授　・　近畿大学　久教授　出席) ・パブリックコメントの結果について
平成 30 年 3 月	計画策定	

※1 公共施設等総合管理計画策定委員会…富田林市公共施設等総合管理計画を策定するための平成 26 年に設置された諮問機関。当該計画の策定終了後は、その進捗状況等に関する評価及び改訂等を所掌する。委員は、委員長である総務部長のほか、市長公室長、子育て福祉部長、まちづくり政策部長、上下水道部長、教育総務部長、生涯学習部長。

※2 公共施設等総合管理計画プロジェクト…富田林市公共施設等総合管理計画を策定するため平成 26 年に期間を限定して設置されたプロジェクトチーム。当該計画の策定終了後も引き続き、その目的の達成に向け、本計画の策定業務を担ってきた。

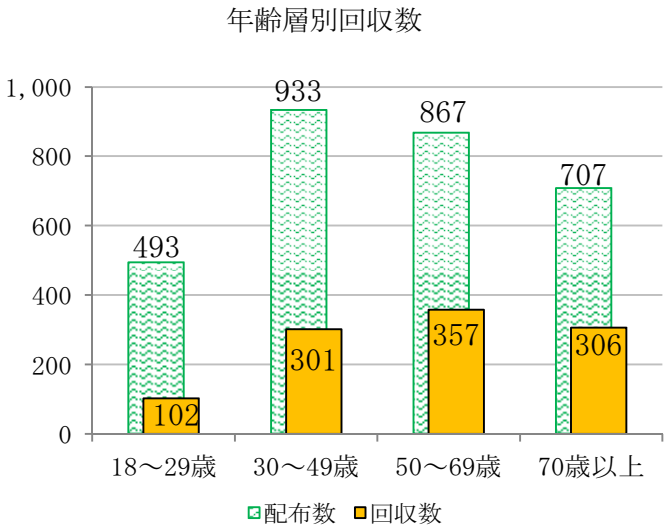
2. 市民アンケート結果

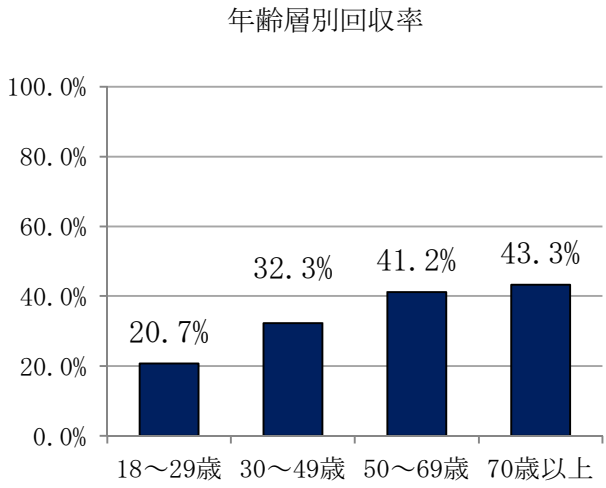
富田林市　公共施設の再配置に関する市民アンケート調査
報　告　書

■アンケート実施概要

配布数・対象	富田林市内 18 歳以上を対象に 3,000 票配布
実施時期	平成 28 年 7 月 12 日発送　8 月 2 日回収締切 （9 月 12 日まで締切延長）
実施方法 回収・回答方法	郵送、インターネットを利用した Web アンケート
回収状況	総回収数　1,072 票　回収率　35.7% （郵送：1,007 票、インターネット：65 票）

■年齢層別回収状況



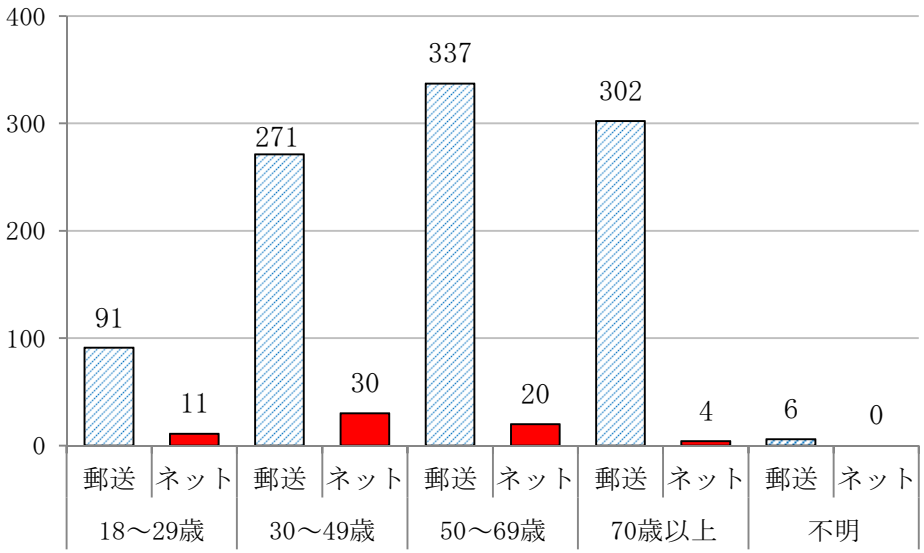


年齢別	18～29歳	30～49歳	50～69歳	70歳以上	不明	全体
配布数	493	933	867	707	－	3,000
回収数	102	301	357	306	6	1,072
回収率	20.7%	32.3%	41.2%	43.3%	－	35.7%

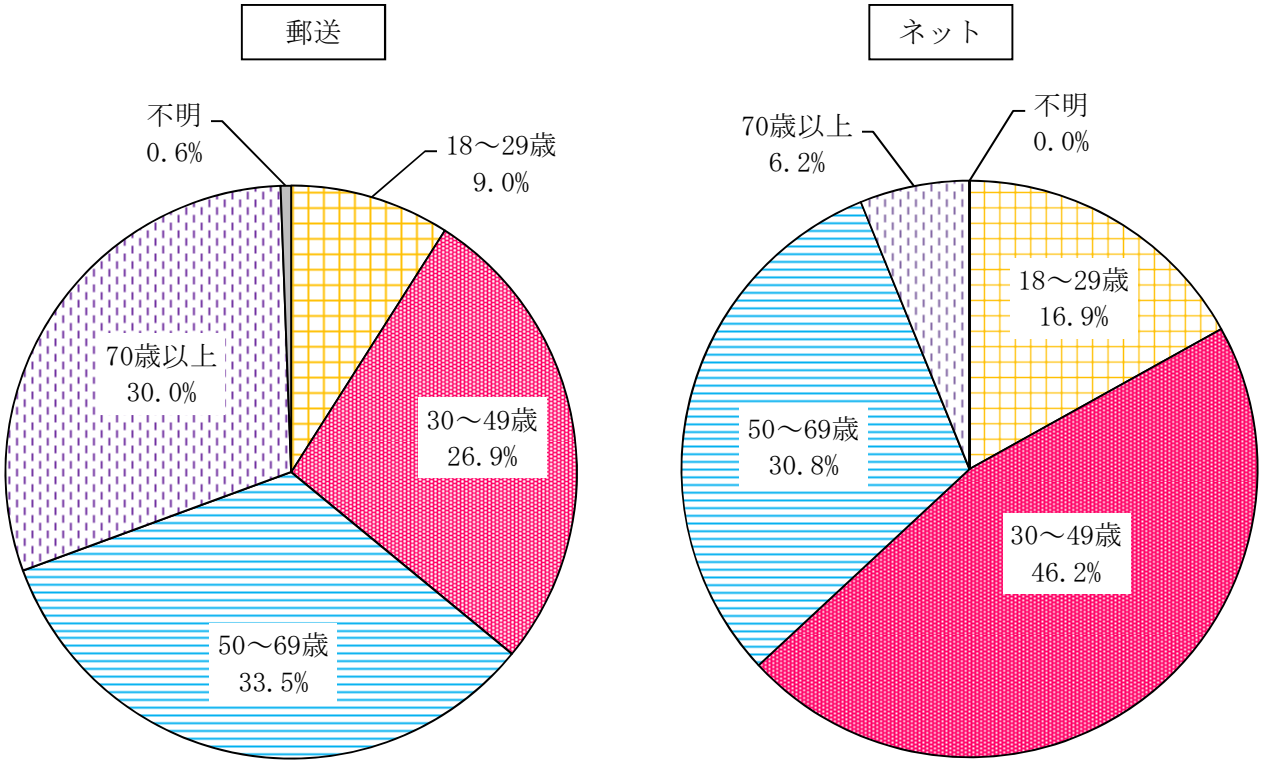
■年齢層別、回収方法別回収状況

年齢別	18～29歳		30～49歳		50～69歳		70歳以上		不明		全体	
回収方法	郵送	ネット	郵送	ネット	郵送	ネット	郵送	ネット	郵送	ネット	郵送	ネット
回収数	91	11	271	30	337	20	302	4	6	0	1,007	65
回収率	9.0%	16.9%	26.9%	46.2%	33.5%	30.8%	30.0%	6.2%	0.6%	0.0%	－	－

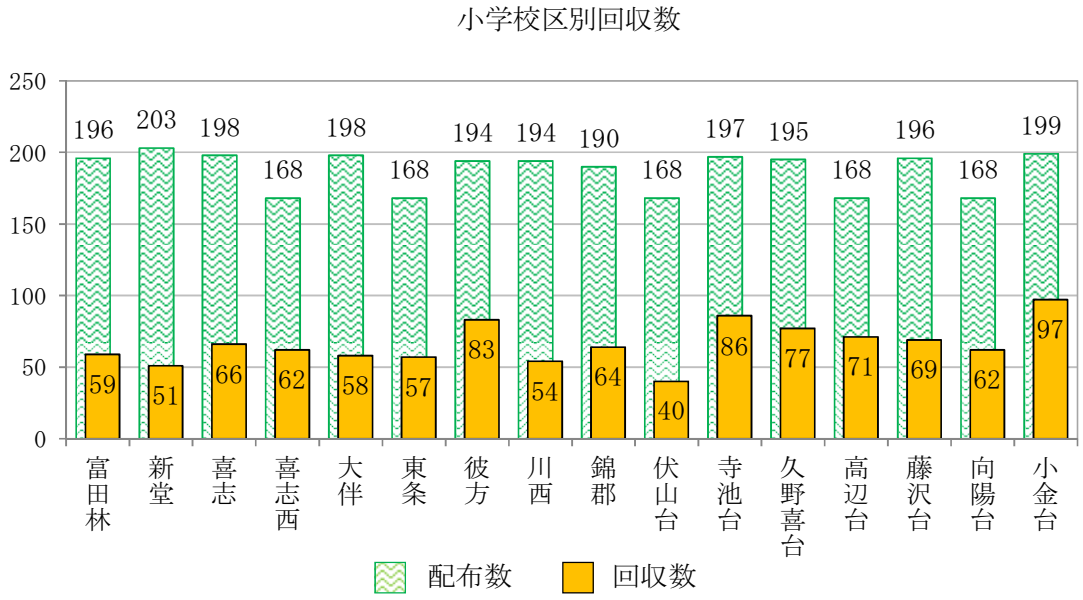
年齢層別回収数

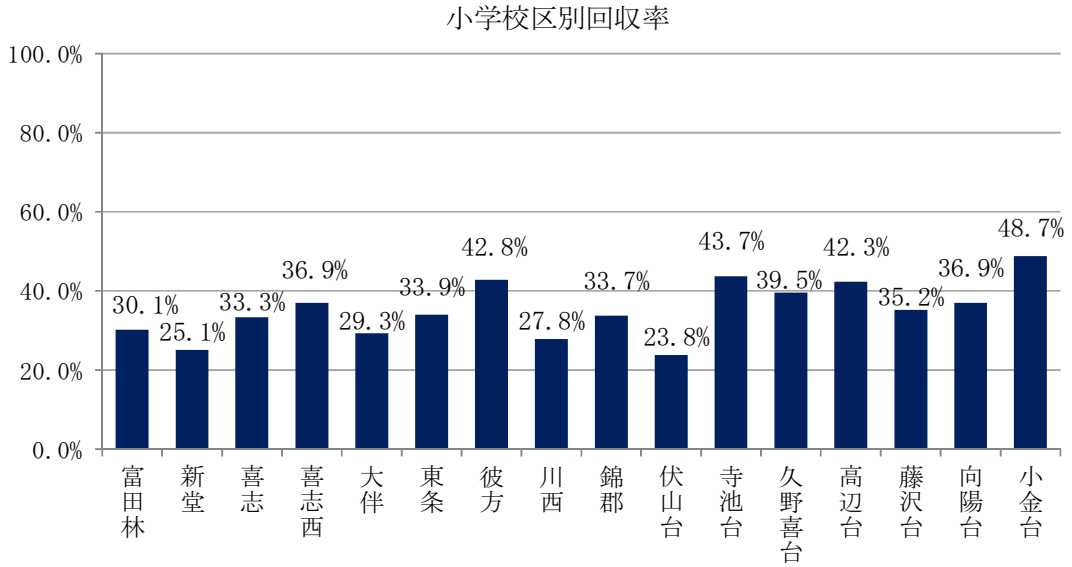


年齢層別方法別回収率



■小学校区別回収状況

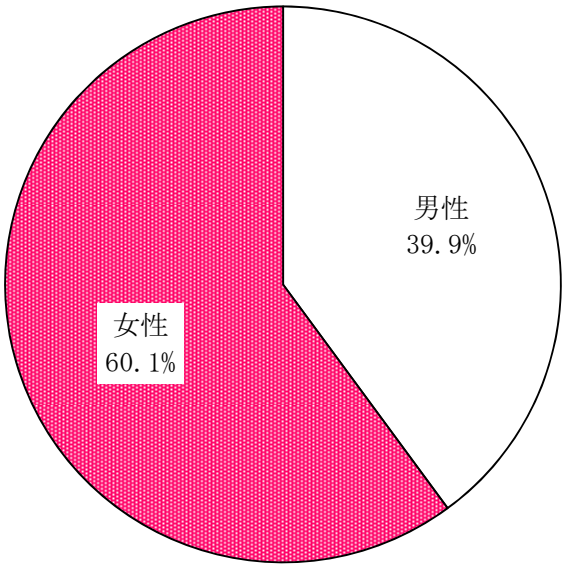




地区別	富田林	新堂	喜志	喜志西	大伴	東条	彼方	川西	錦郡
配布数	196	203	198	168	198	168	194	194	190
回収数	59	51	66	62	58	57	83	54	64
回収率	30.1%	25.1%	33.3%	36.9%	29.3%	33.9%	42.8%	27.8%	33.7%

地区別	伏山台	寺池台	久野喜台	高辺台	藤沢台	向陽台	小金台	無回答	合計
配布数	168	197	195	168	196	168	199	－	3,000
回収数	40	86	77	71	69	62	97	16	1,072
回収率	23.8%	43.7%	39.5%	42.3%	35.2%	36.9%	48.7%	－	35.7%

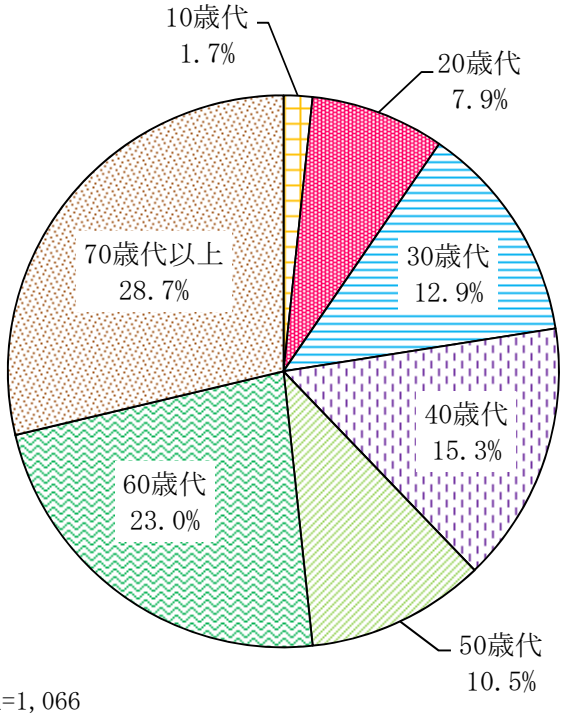
【問１】性別



n=1, 055

選択肢		回答数	割合
1	男性	421	39. 9%
2	女性	634	60. 1%
有効回答数		1, 055	100. 0%
無回答		17	－
合計		1, 072	－

【問２】年齢



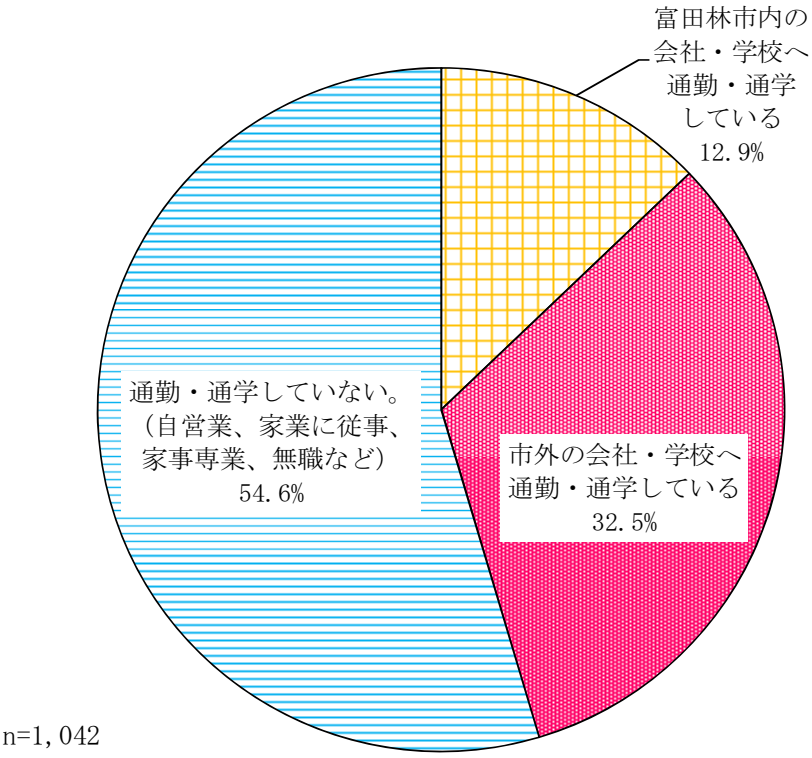
n=1, 066

選択肢		回答数	割合
1	10歳代	18	1. 7%
2	20歳代	84	7. 9%
3	30歳代	138	12. 9%
4	40歳代	163	15. 3%
5	50歳代	112	10. 5%
6	60歳代	245	23. 0%
7	70歳代以上	306	28. 7%
有効回答数		1, 066	100. 0%
無回答		6	－
合計		1, 072	－

【問３】居住小学校区

小　学　校　区	回答数	割合
喜志小学校区	66	6.3%
喜志西小学校区	62	5.9%
新堂小学校区	51	4.8%
富田林小学校区	59	5.6%
川西小学校区	54	5.1%
錦郡小学校区	64	6.1%
大伴小学校区	58	5.5%
彼方小学校区	83	7.9%
東条小学校区	57	5.4%
高辺台小学校区	71	6.7%
久野喜台小学校区	77	7.3%
寺池台小学校区	86	8.1%
伏山台小学校区	40	3.8%
藤沢台小学校区	69	6.5%
向陽台小学校区	62	5.9%
小金台小学校区	97	9.2%
合計	1,056	100.0%
不明	16	－

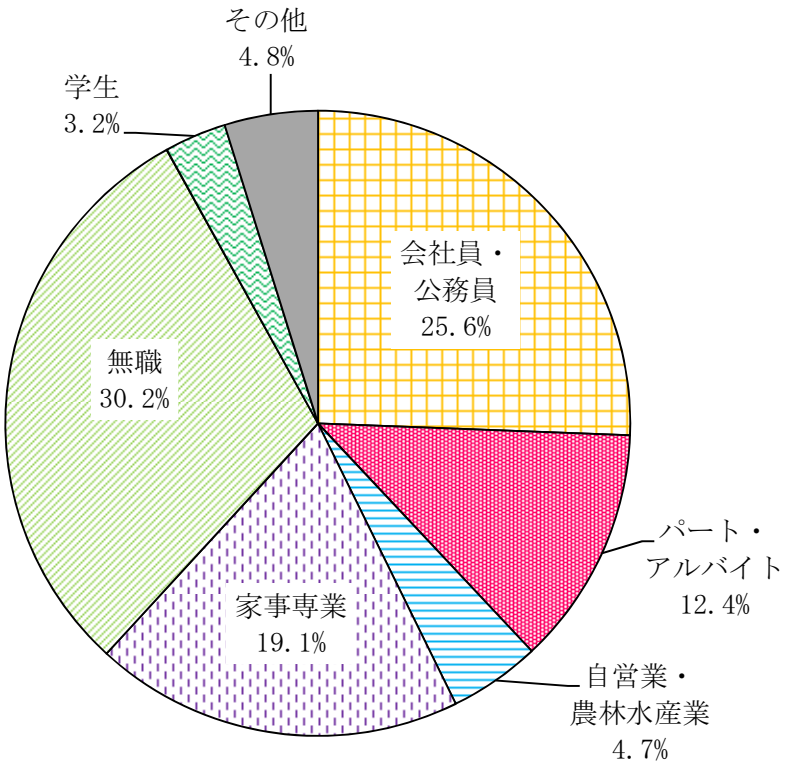
【問４】通勤、通学先



n=1,042

	選択肢	回答数	割合
1	富田林市内の会社・学校へ通勤・通学している	134	12.9%
2	市外の会社・学校へ通勤・通学している	339	32.5%
3	通勤・通学していない。（自営業、家業に従事、家事専業、無職など）	569	54.6%
	有効回答数	1,042	100.0%
	無回答	30	－
	合計	1,072	－

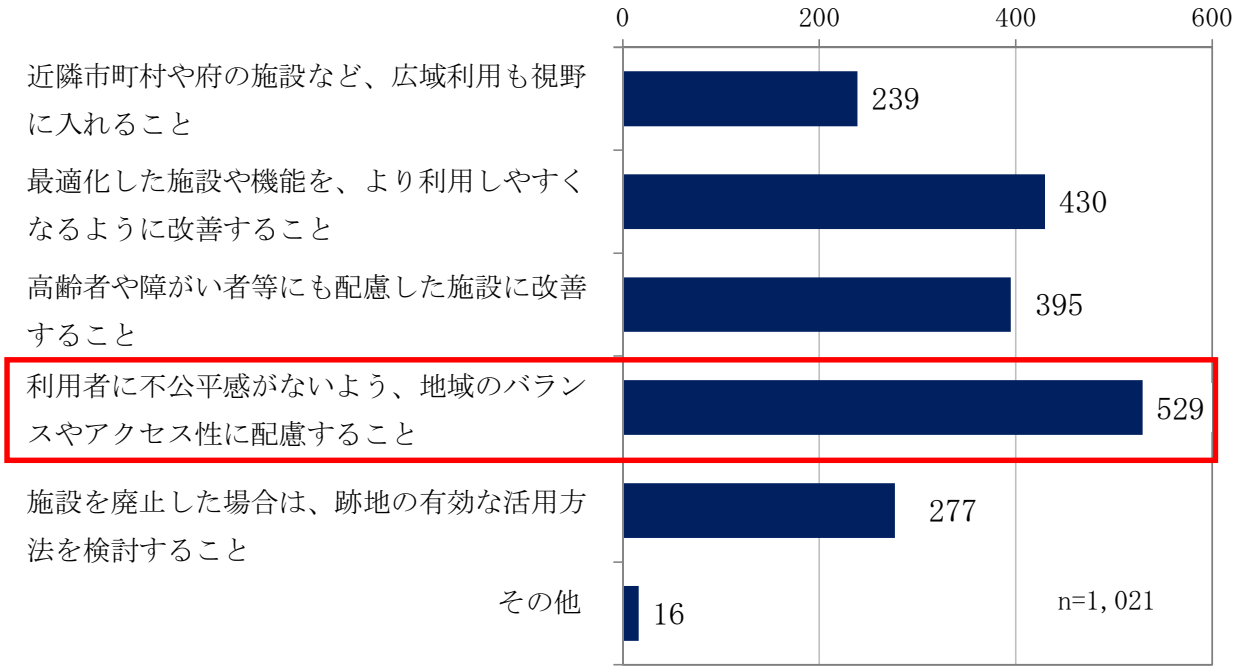
【問５】職業



n=1,058

	選択肢	回答数	割合
1	会社員・公務員	271	25.6%
2	パート・アルバイト	131	12.4%
3	自営業・農林水産業	50	4.7%
4	家事専業	202	19.1%
5	無職	319	30.2%
6	学生	34	3.2%
7	その他	51	4.8%
	有効回答数	1,058	100.0%
	無回答	14	－
	合計	1,072	－

【問６】公共施設の複合化（異なった用途の施設を統合すること）・集約化（同じ用途の施設を統合すること）等による施設の総量・配置の最適化を進めるにあたり、特に考慮することが必要だと思うことはありますか。以下の中から２つまで選択してください。（○印は二つまで）

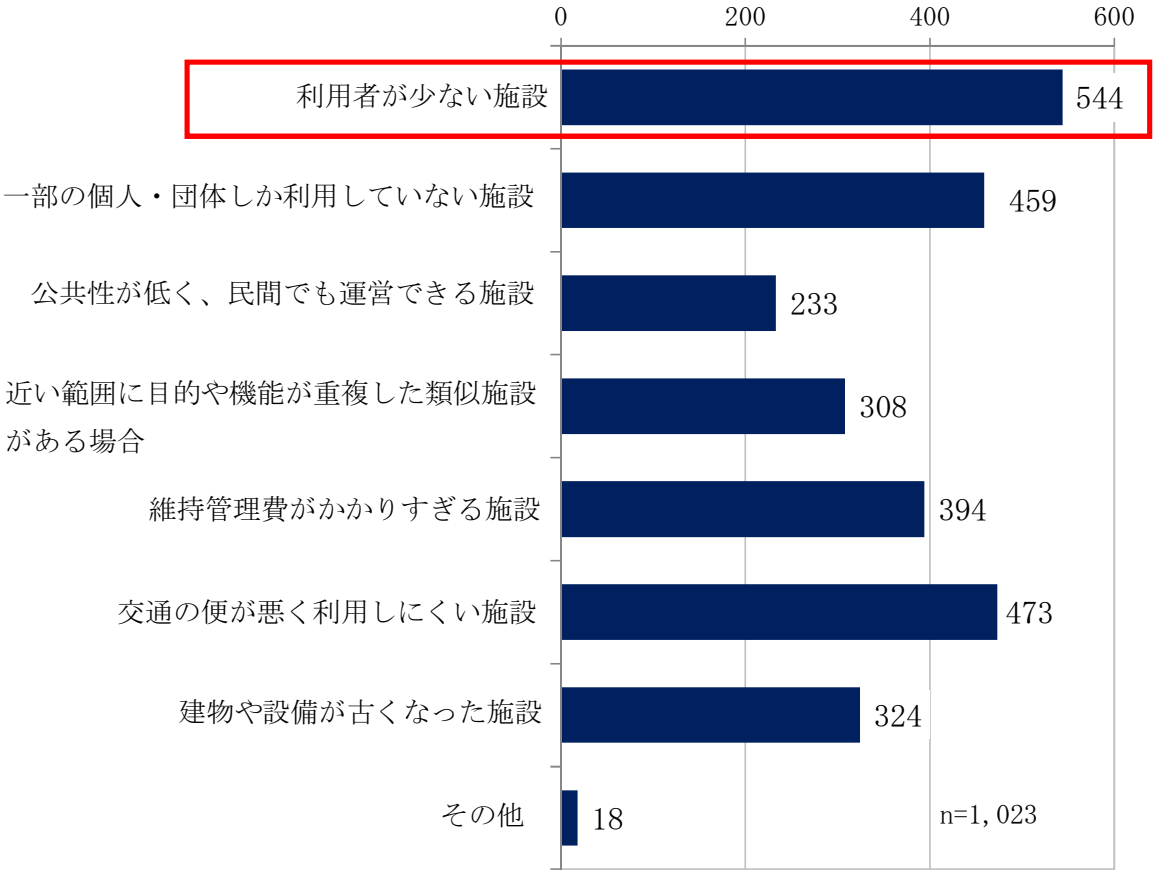


	選択肢	回答数	割合（参考）
1	近隣市町村や府の施設など、広域利用も視野に入れること	239	23.4%
2	最適化した施設や機能を、より利用しやすくなるように改善すること	430	42.1%
3	高齢者や障がい者等にも配慮した施設に改善すること	395	38.7%
4	利用者に不公平感がないよう、地域のバランスやアクセス性に配慮すること	529	51.8%
5	施設を廃止した場合は、跡地の有効な活用方法を検討すること	277	27.1%
6	その他	16	1.6%

※割合（参考）の算出方法：各選択肢の回答数を有効回答数 1,021 で割った数。

※複数回答は全て回答に含めます。複数回答者数の割合は全体の 84.6%でした。

【問７】公共施設の複合化・集約化等を進めるにあたり、その対象としてもよいと思われる施設について、あてはまるものを３つまで選択してください。（〇印は三つまで）

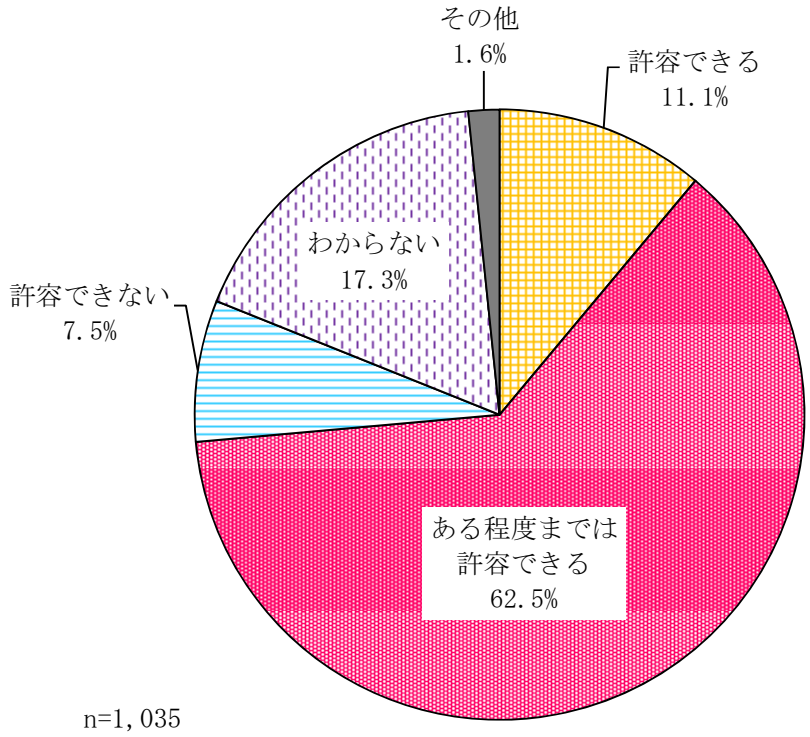


	選択肢	回答数	割合（参考）
1	利用者が少ない施設	544	53.2%
2	一部の個人・団体しか利用していない施設	459	44.9%
3	公共性が低く、民間でも運営できる施設	233	22.8%
4	近い範囲に目的や機能が重複した類似施設がある場合	308	30.1%
5	維持管理費がかかりすぎる施設	394	38.5%
6	交通の便が悪く利用しにくい施設	473	46.2%
7	建物や設備が古くなった施設	324	31.7%
8	その他	18	1.8%

※割合（参考）の算出方法：各選択肢の回答数を有効回答数 1,023 で割った数。

※複数回答は全て回答に含めます。複数回答者数の割合は全体の 93.1%でした。

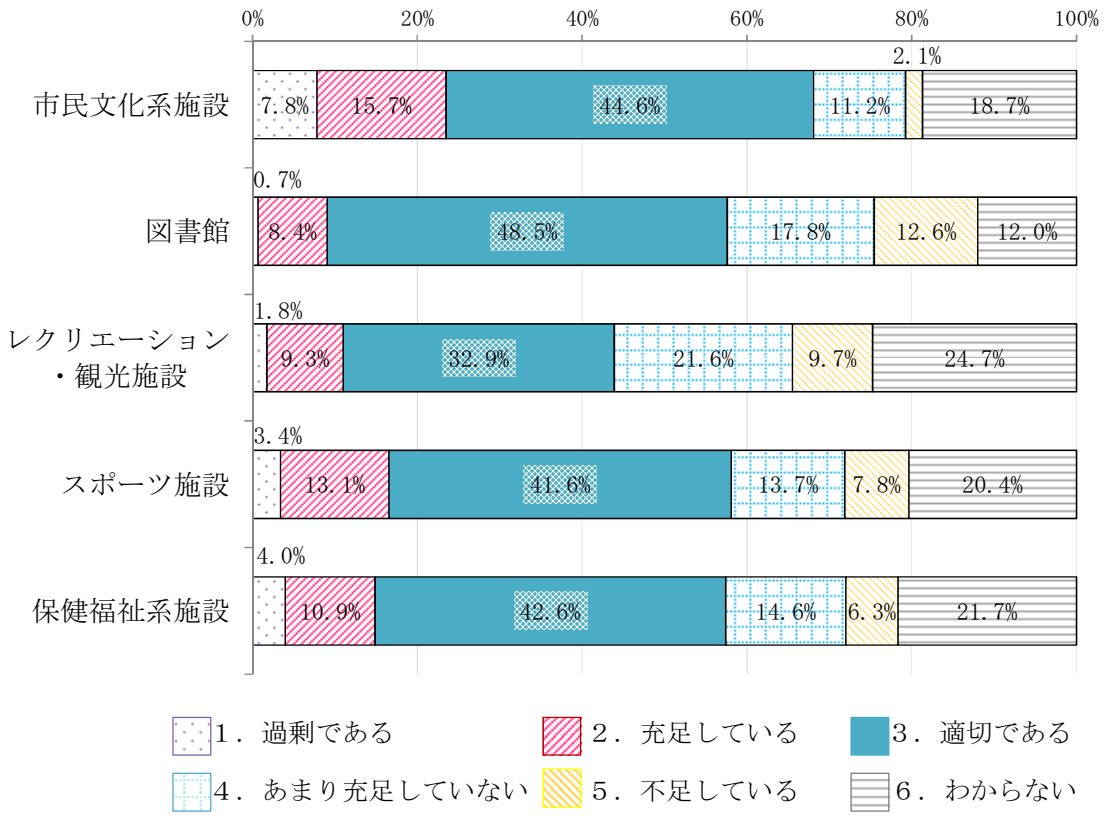
【問８】複合化・集約化等により施設が遠くなったり、スペースが狭くなったり、利用できる回数が少なくなったりすることも考えられます。それについて、あなたはどの程度許容できますか。（○印は一つ）



	選択肢	回答数	割合
1	許容できる	115	11.1%
2	ある程度までは許容できる	647	62.5%
3	許容できない	77	7.5%
4	わからない	179	17.3%
5	その他	17	1.6%
	有効回答数	1,035	100.0%
	無回答	37	－
	合計	1,072	－

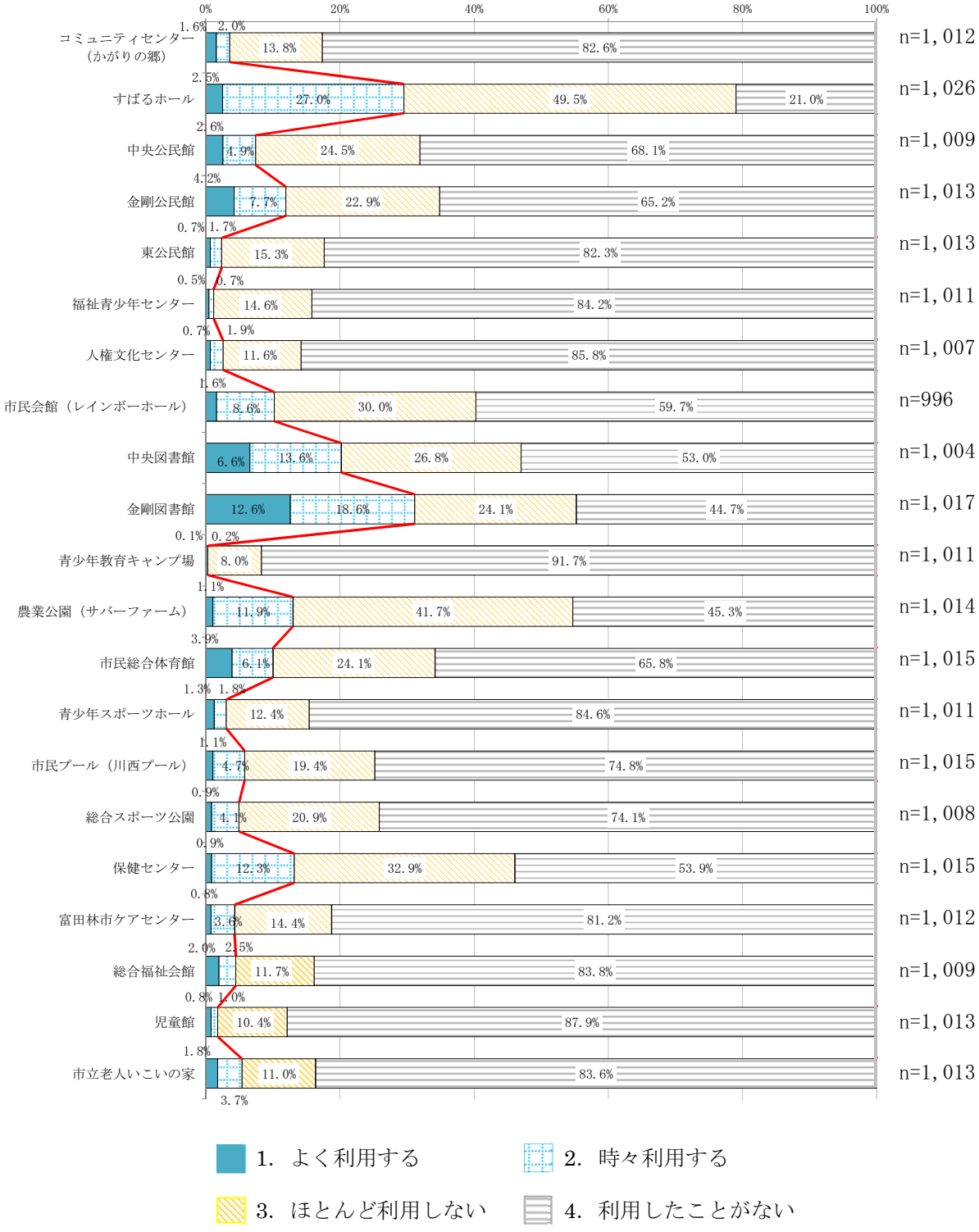
※複数回答(1,2)が１名ありました。１を回答されたものとしてカウントしました。

【問９】あなたは、次の公共施設の数や規模は充足していると思いますか。下記の施設分類ごとに一つずつ○をつけてください。（○印は一つ）



選択肢	1. 過剰である		2. 充足している		3. 適切である		4. あまり充足していない		5. 不足している		6. わからない		合計
市民文化系施設	80	7.8%	160	15.7%	456	44.6%	114	11.2%	21	2.1%	191	18.7%	1,022
図書館	7	0.7%	86	8.4%	498	48.5%	183	17.8%	129	12.6%	123	12.0%	1,026
レクリエーション・観光施設	18	1.8%	95	9.3%	338	32.9%	222	21.6%	100	9.7%	254	24.7%	1,027
スポーツ施設	35	3.4%	135	13.1%	427	41.6%	141	13.7%	80	7.8%	209	20.4%	1,027
保健福祉系施設	41	4.0%	112	10.9%	438	42.6%	150	14.6%	65	6.3%	223	21.7%	1,029

【問１０】あなた自身は、次の公共施設をどのくらい利用していますか。（家族等の送迎で訪れた回数は除きます。）

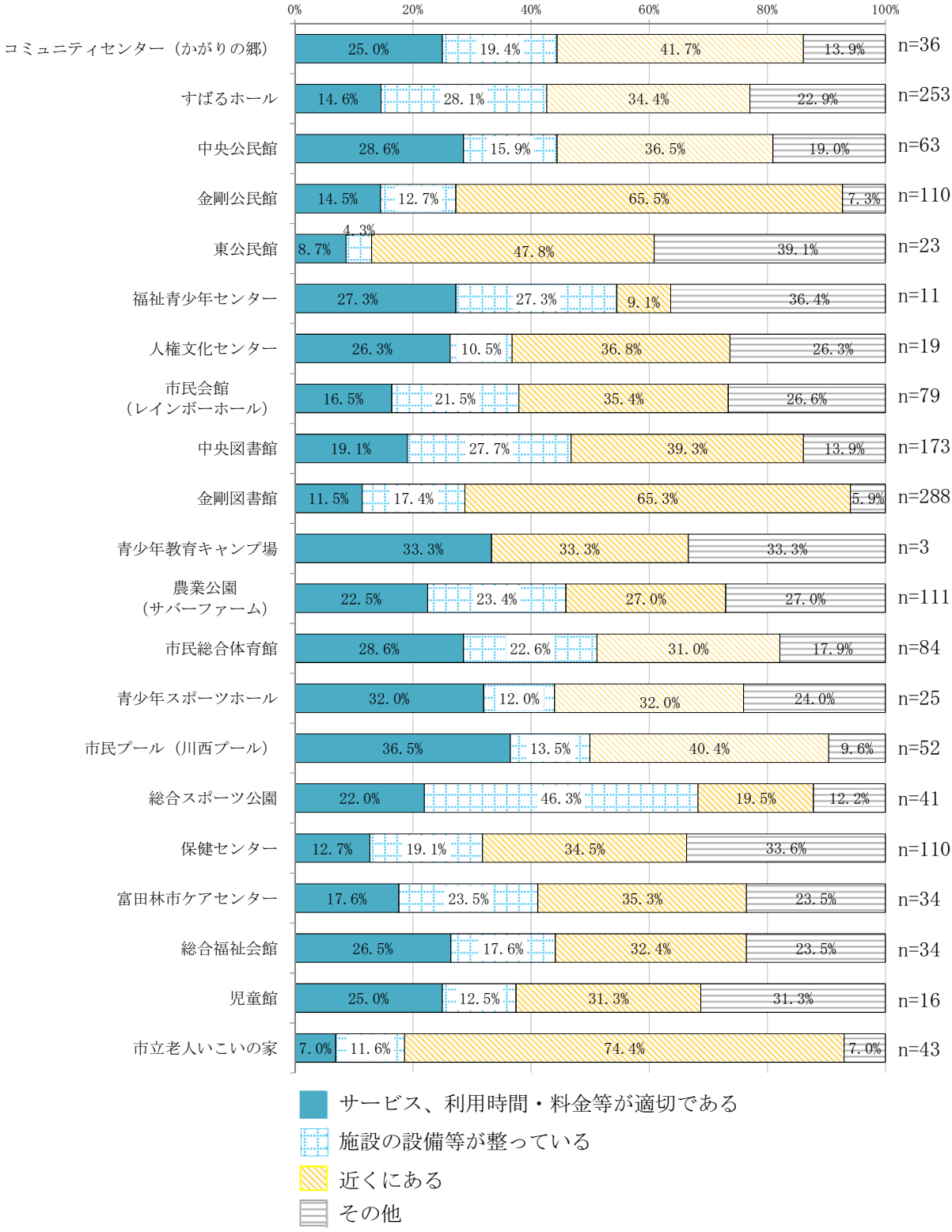


各施設の利用状況

施設分類	施設名	1.よく利用する		2.時々利用する		3.ほとんど利用しない		4.利用したことがない		有効回答数	無回答	無効回答
市民文化系施設	コミュニティセンター（かがりの郷）	16	1.6%	20	2.0%	140	13.8%	836	82.6%	1,012	59	1
	すばるホール	26	2.5%	277	27.0%	508	49.5%	215	21.0%	1,026	44	2
	中央公民館	26	2.6%	49	4.9%	247	24.5%	687	68.1%	1,009	60	3
	金剛公民館	43	4.2%	78	7.7%	232	22.9%	660	65.2%	1,013	58	1
	東公民館	7	0.7%	17	1.7%	155	15.3%	834	82.3%	1,013	58	1
	福祉青少年センター	5	0.5%	7	0.7%	148	14.6%	851	84.2%	1,011	60	1
	人権文化センター	7	0.7%	19	1.9%	117	11.6%	864	85.8%	1,007	63	2
	市民会館（レインボーホール）	16	1.6%	86	8.6%	299	30.0%	595	59.7%	996	75	1
図書館	中央図書館	66	6.6%	137	13.6%	269	26.8%	532	53.0%	1,004	66	2
	金剛図書館	128	12.6%	189	18.6%	245	24.1%	455	44.7%	1,017	53	2
観光施設・レクリエーション	青少年教育キャンプ場	1	0.1%	2	0.2%	81	8.0%	927	91.7%	1,011	60	1
	農業公園（サバーファーム）	11	1.1%	121	11.9%	423	41.7%	459	45.3%	1,014	56	2
スポーツ施設	市民総合体育館	40	3.9%	62	6.1%	245	24.1%	668	65.8%	1,015	56	1
	青少年スポーツホール	13	1.3%	18	1.8%	125	12.4%	855	84.6%	1,011	60	1
	市民プール（川西プール）	11	1.1%	48	4.7%	197	19.4%	759	74.8%	1,015	56	1
	総合スポーツ公園	9	0.9%	41	4.1%	211	20.9%	747	74.1%	1,008	63	1
保健福祉系施設	保健センター	9	0.9%	125	12.3%	334	32.9%	547	53.9%	1,015	54	3
	富田林市ケアセンター	8	0.8%	36	3.6%	146	14.4%	822	81.2%	1,012	59	1
	総合福祉会館	20	2.0%	25	2.5%	118	11.7%	846	83.8%	1,009	61	2
	児童館	8	0.8%	10	1.0%	105	10.4%	890	87.9%	1,013	58	1
	市立老人いこいの家	18	1.8%	37	3.7%	111	11.0%	847	83.6%	1,013	57	2

※複数回答(1,2)は1を回答されたものとしてカウントしました。
※複数回答(3,4)は3を回答されたものとしてカウントしました。
※複数回答(1,3)(1,4)(2,3)(2,4)は無効としました。

【問１０】また、「よく利用する（月１回以上）」「時々利用する（年３回以上）」と回答された施設については、その代表的な理由を１つ選択してください。　（○印は一つ）



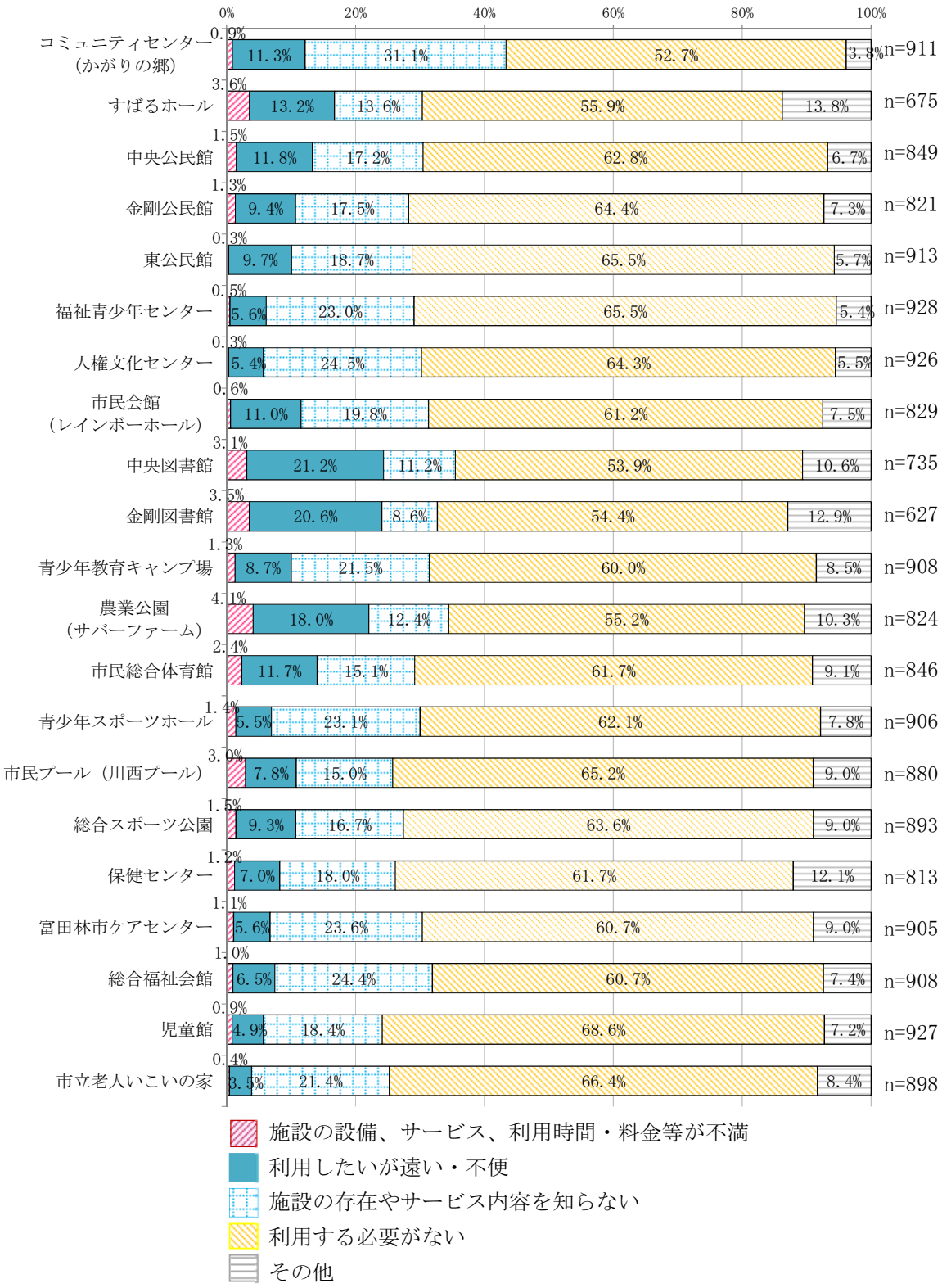
各施設の利用状況

施設分類	施設名	サービス、利用時間・料金等が適切である		施設の設備等が整っている		近くにある		その他		有効回答数	無回答
市民文化系施設	コミュニティセンター（かがりの郷）	9	25.0%	7	19.4%	15	41.7%	5	13.9%	36	2
	すばるホール	37	14.6%	71	28.1%	87	34.4%	58	22.9%	253	51
	中央公民館	18	28.6%	10	15.9%	23	36.5%	12	19.0%	63	12
	金剛公民館	16	14.5%	14	12.7%	72	65.5%	8	7.3%	110	12
	東公民館	2	8.7%	1	4.3%	11	47.8%	9	39.1%	23	1
	福祉青少年センター	3	27.3%	3	27.3%	1	9.1%	4	36.4%	11	1
	人権文化センター	5	26.3%	2	10.5%	7	36.8%	5	26.3%	19	7
	市民会館（レインボーホール）	13	16.5%	17	21.5%	28	35.4%	21	26.6%	79	23
図書館	中央図書館	33	19.1%	48	27.7%	68	39.3%	24	13.9%	173	30
	金剛図書館	33	11.5%	50	17.4%	188	65.3%	17	5.9%	288	31
観光レクリエーション施設	青少年教育キャンプ場	1	33.3%	0	0.0%	1	33.3%	1	33.3%	3	0
	農業公園（サバーファーム）	25	22.5%	26	23.4%	30	27.0%	30	27.0%	111	23
スポーツ施設	市民総合体育館	24	28.6%	19	22.6%	26	31.0%	15	17.9%	84	18
	青少年スポーツホール	8	32.0%	3	12.0%	8	32.0%	6	24.0%	25	6
	市民プール（川西プール）	19	36.5%	7	13.5%	21	40.4%	5	9.6%	52	7
	総合スポーツ公園	9	22.0%	19	46.3%	8	19.5%	5	12.2%	41	9
保健福祉系施設	保健センター	14	12.7%	21	19.1%	38	34.5%	37	33.6%	110	24
	富田林市ケアセンター	6	17.6%	8	23.5%	12	35.3%	8	23.5%	34	10
	総合福祉会館	9	26.5%	6	17.6%	11	32.4%	8	23.5%	34	11
	児童館	4	25.0%	2	12.5%	5	31.3%	5	31.3%	16	2
	市立老人いこいの家	3	7.0%	5	11.6%	32	74.4%	3	7.0%	43	12

※グレー網掛けは、回答割合が最も多かった施設ごとの代表的な理由です。

※複数回答は全て回答に含めます。

【問１０】また、「ほとんど利用しない」「利用したことがない」と回答された施設については、その代表的な理由を１つ選択してください。　（○印は一つ）



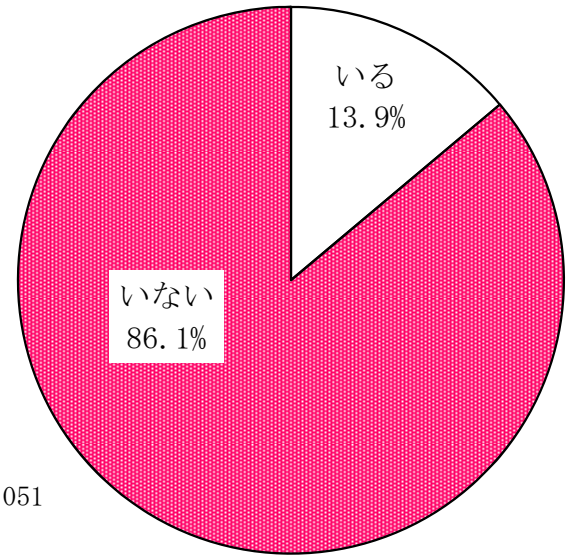
各施設の利用状況

施設分類	施設名	施設の設備、サービス、利用時間・料金等が不満		利用したいが遠い・不便		施設の存在やサービス内容を知らない		利用する必要がない		その他		有効回答数	無回答
市民文化系施設	コミュニティセンター（かがりの郷）	8	0.9%	103	11.3%	285	31.1%	480	52.7%	35	3.8%	911	71
	すばるホール	24	3.6%	89	13.2%	92	13.6%	377	55.9%	93	13.8%	675	51
	中央公民館	13	1.5%	100	11.8%	146	17.2%	533	62.8%	57	6.7%	849	85
	金剛公民館	11	1.3%	77	9.4%	144	17.5%	529	64.4%	60	7.3%	821	73
	東公民館	3	0.3%	89	9.7%	171	18.7%	598	65.5%	52	5.7%	913	77
	福祉青少年センター	5	0.5%	52	5.6%	213	23.0%	608	65.5%	50	5.4%	928	75
	人権文化センター	3	0.3%	50	5.4%	227	24.5%	595	64.3%	51	5.5%	926	59
	市民会館（レインボーホール）	5	0.6%	91	11.0%	164	19.8%	507	61.2%	62	7.5%	829	67
図書館	中央図書館	23	3.1%	156	21.2%	82	11.2%	396	53.9%	78	10.6%	735	70
	金剛図書館	22	3.5%	129	20.6%	54	8.6%	341	54.4%	81	12.9%	627	74
観光施設・レクリエーション	青少年教育キャンプ場	12	1.3%	79	8.7%	195	21.5%	545	60.0%	77	8.5%	908	106
	農業公園（サバーファーム）	34	4.1%	148	18.0%	102	12.4%	455	55.2%	85	10.3%	824	62
スポーツ施設	市民総合体育館	20	2.4%	99	11.7%	128	15.1%	522	61.7%	77	9.1%	846	73
	青少年スポーツホール	13	1.4%	50	5.5%	209	23.1%	563	62.1%	71	7.8%	906	75
	市民プール（川西プール）	26	3.0%	69	7.8%	132	15.0%	574	65.2%	79	9.0%	880	77
	総合スポーツ公園	13	1.5%	83	9.3%	149	16.7%	568	63.6%	80	9.0%	893	66
保健福祉系施設	保健センター	10	1.2%	57	7.0%	146	18.0%	502	61.7%	98	12.1%	813	71
	富田林市ケアセンター	10	1.1%	51	5.6%	214	23.6%	549	60.7%	81	9.0%	905	69
	総合福祉会館	9	1.0%	59	6.5%	222	24.4%	551	60.7%	67	7.4%	908	60
	児童館	8	0.9%	45	4.9%	171	18.4%	636	68.6%	67	7.2%	927	72
	市立老人いこいの家	4	0.4%	31	3.5%	192	21.4%	596	66.4%	75	8.4%	898	63

※グレー網掛けは、回答割合が１番目と２番目に多かった施設ごとの代表的な理由です。

※複数回答は全て回答に含めます。

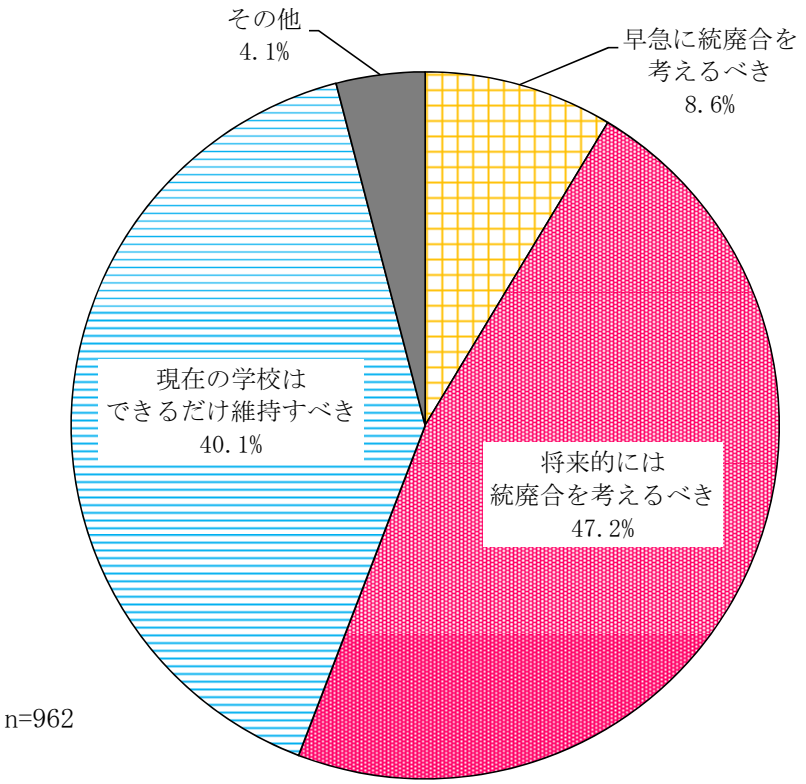
【問１１】あなたのご家庭には、児童生徒（小学生又は中学生のお子様）がいらっしゃいますか。当てはまる番号に○印を付けてください。（○印は一つ）



n=1,051

選択肢		回答数	割合
1	いる	146	13.9%
2	いない	905	86.1%
有効回答数		1,051	100.0%
無回答		21	－
合計		1,072	－

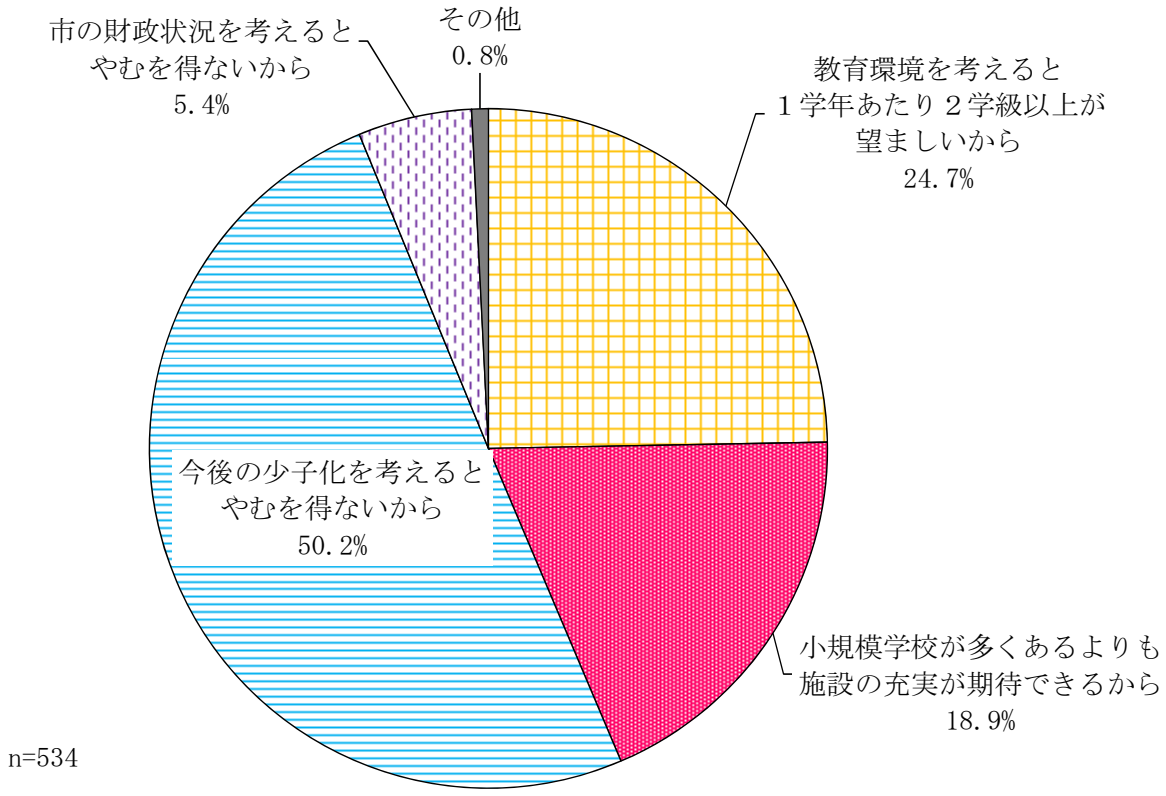
【問１２】学校教育では、児童生徒が集団の中での、ふれあい、協力、切磋琢磨等を通じてひとり１人の資質や能力を伸ばすことが重要であることから、一定の集団規模の確保が望まれます。近年、少子化による学校の小規模化が進んでいることから、将来的に小中学校の統廃合が課題となってきます。小中学校の統廃合についてどう考えますか。当てはまる番号に○印を付けてください。（○印は一つ）



	選択肢	回答数	割合
1	早急に統廃合を考えるべき	83	8.6%
2	将来的には統廃合を考えるべき	454	47.2%
3	現在の学校はできるだけ維持すべき	386	40.1%
4	その他	39	4.1%
	有効回答数	962	100.0%
	無回答	110	－
	合計	1,072	－

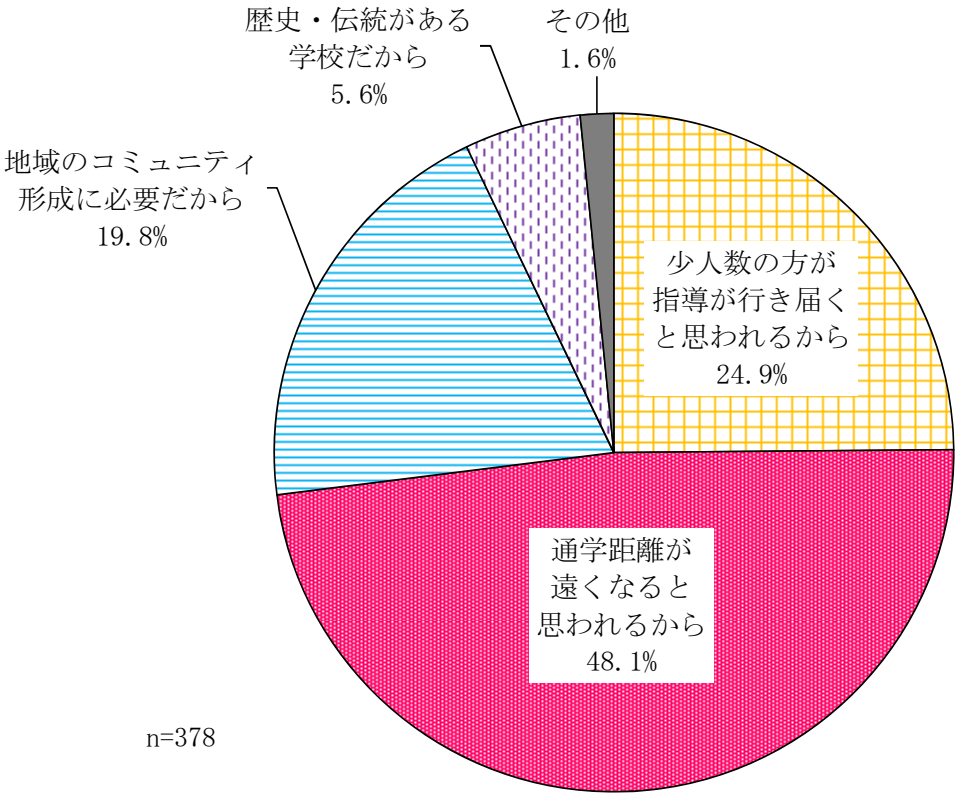
※複数回答(1,3)が１名ありました。１を回答されたものとしてカウントしました。

【問１３】問 12 の質問で「統廃合を考えるべき」とお答えになった理由はどのようなことですか。当てはまる番号に○印を付けてください。（○印は一つ）



	選択肢	回答数	割合
1	教育環境を考えると１学年あたり２学級以上が望ましいから	132	24.7%
2	小規模学校が多くあるよりも施設の充実が期待できるから	101	18.9%
3	今後の少子化を考えるとやむを得ないから	268	50.2%
4	市の財政状況を考えるとやむを得ないから	29	5.4%
5	その他	4	0.8%
	有効回答数	534	100.0%
	無回答	3	－
	合計	537	－

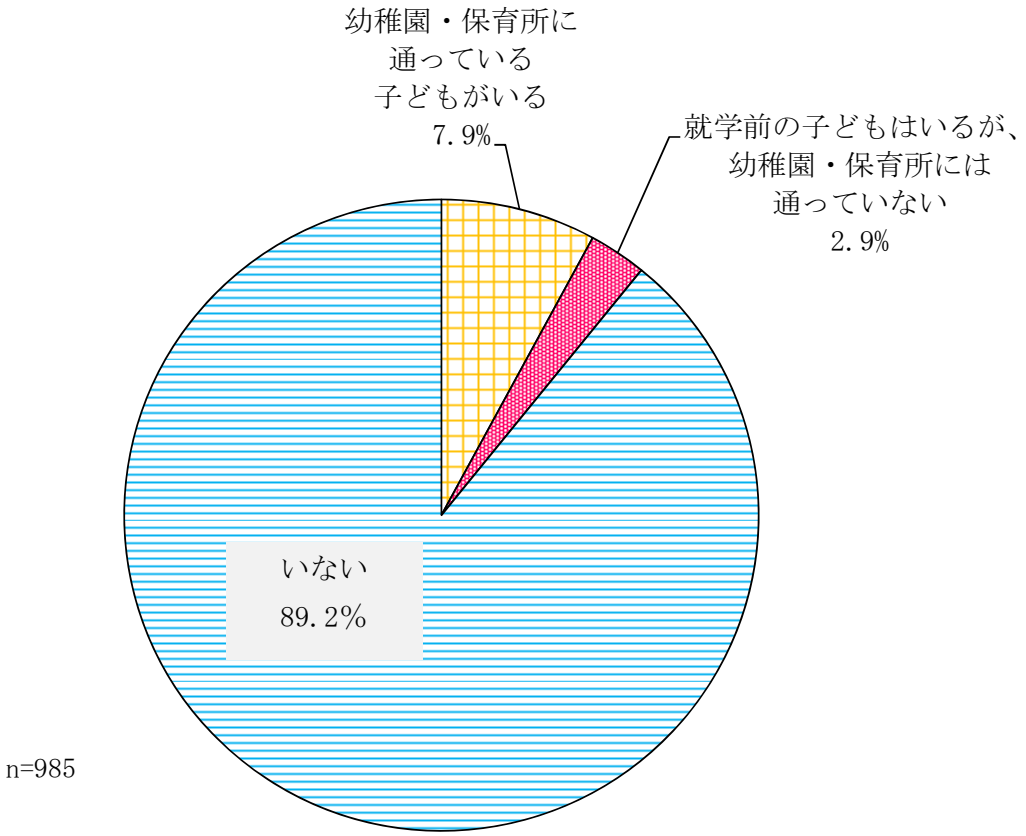
【問１４】問 12 の質問で「維持すべき」とお答えになった理由はどのようなことですか。当てはまる番号に○印を付けてください。（○印は一つ）



	選択肢	回答数	割合
1	少人数の方が指導が行き届くと思われるから	94	24.9%
2	通学距離が遠くなると思われるから	182	48.1%
3	地域のコミュニティ形成に必要だから	75	19.8%
4	歴史・伝統がある学校だから	21	5.6%
5	その他	6	1.6%
	有効回答数	378	100.0%
	無回答	8	－
	合計	386	－

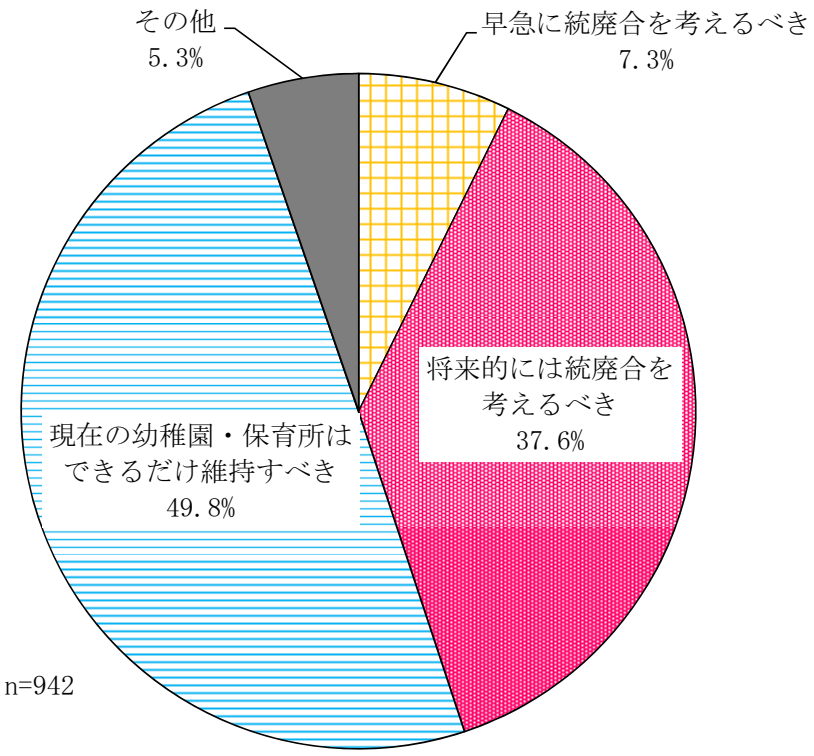
※複数回答(1,2)が５名、(1,3)、(2,3)、(2,5)が各１名ありました。(1,2)、(1,3)は１を、(2,3)、(2,5)は２を回答されたものとしてカウントしました。

【問１５】あなたのご家庭には、小学校に通う前のお子様がいらっしゃいますか。当てはまる番号に○印をつけてください。（○印は一つ）



	選択肢	回答数	割合
1	幼稚園・保育所に通っている子どもがいる	78	7.9%
2	就学前の子どもはいるが、幼稚園・保育所には通っていない	29	2.9%
3	いない	878	89.2%
	有効回答数	985	100.0%
	無回答	87	－
	合計	1,072	－

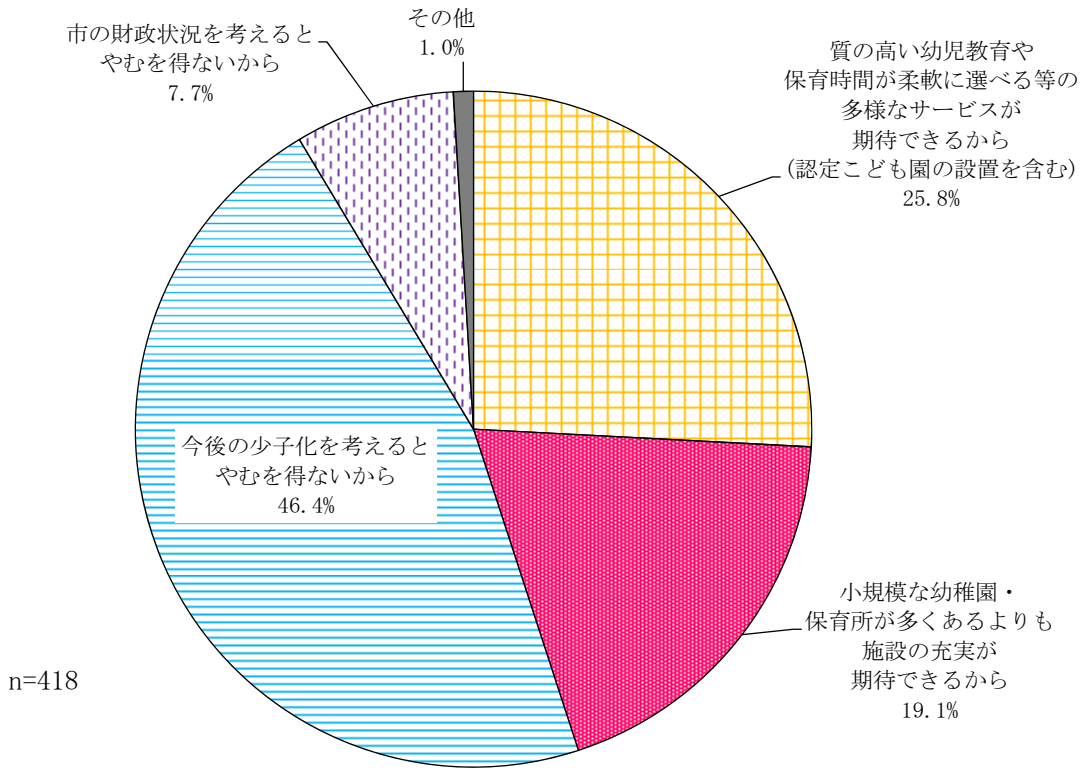
【問１６】充実した幼児教育を提供していくためには、幼児のいるご家庭のニーズを踏まえた幼児教育・保育環境を整えていく必要があります。近年、少子化による幼稚園・保育所の小規模化が進んでいることから、将来的に幼稚園・保育所の統廃合が課題となってきます。幼稚園・保育所の統廃合についてどう考えますか。当てはまる番号に○印をつけてください。（○印は一つ）



	選択肢	回答数	割合
1	早急に統廃合を考えるべき	69	7.3%
2	将来的には統廃合を考えるべき	354	37.6%
3	現在の幼稚園・保育所はできるだけ維持すべき	469	49.8%
4	その他	50	5.3%
	有効回答数	942	100.0%
	無回答	130	－
	合計	1,072	－

※複数回答(2,3)が１名ありました。2 を回答されたものとしてカウントしました。

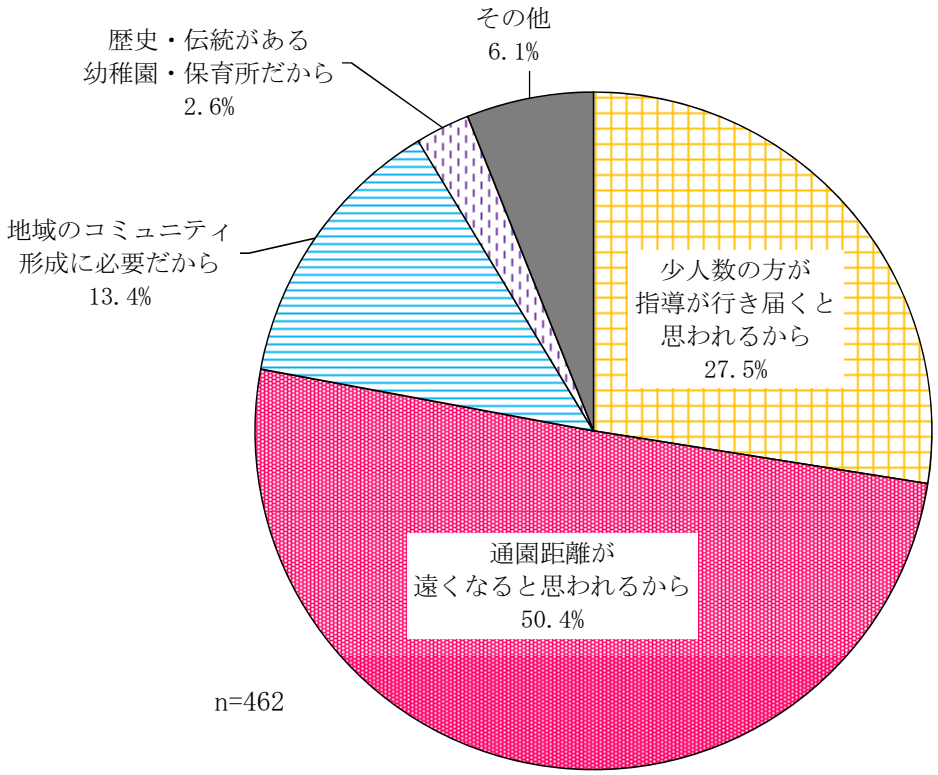
【問１７】問 16 の質問で「統廃合を考えるべき」とお答えになった理由はどのようなことですか。当てはまる番号に○印をつけてください。（○印は一つ）



	選択肢	回答数	割合
1	質の高い幼児教育や保育時間が柔軟に選べる等の多様なサービスが期待できるから（認定こども園の設置を含む）	108	25.8%
2	小規模な幼稚園・保育所が多くあるよりも施設の充実が期待できるから	80	19.1%
3	今後の少子化を考えるとやむを得ないから	194	46.4%
4	市の財政状況を考えるとやむを得ないから	32	7.7%
5	その他	4	1.0%
	有効回答数	418	100.0%
	無回答	5	－
	合計	423	－

※複数回答(1,4)が 1 名ありました。1 を回答されたものとしてカウントしました。

【問１８】問 16 の質問で「維持すべき」とお答えになった理由はどのようなことですか。当てはまる番号に○をつけてください。（○印は一つ）



	選択肢	回答数	割合
1	少人数の方が指導が行き届くと思われるから	127	27.5%
2	通園距離が遠くなると思われるから	233	50.4%
3	地域のコミュニティ形成に必要だから	62	13.4%
4	歴史・伝統がある幼稚園・保育所だから	12	2.6%
5	その他	28	6.1%
	有効回答数	462	100.0%
	無回答	7	－
	合計	469	－

※複数回答(1,2)、(1,3)、(2,3)が各 1 名ありました。(1,2)、(1,3)は 1 を、(2,3)は 2 を回答されたものとしてカウントしました。

富田林市公共施設再配置計画（前期）
発行日：平成３０(２０１８)年３月
発　行：富田林市総務部行政管理課

〒584-8511　富田林市常盤町１番１号
Tel:0721-25-1000　Fax:0721-25-9037
E-mail：g-kanri@city.tondabayashi.lg.jp
Web：http://www.city.tondabayashi.lg.jp

富田林市公共施設再配置計画

（前期）

富田林市　再配置計画　検　索